

令和3年度版

久留米市上下水道事業統計年報

久留米市企業局上下水道部

はじめに

久留米市は、筑後川や耳納連山に代表される美しい自然、豊かな歴史、文化、産業といった地域資源に恵まれ、県南の中核都市として発展してきました。さらに、現在、「時代の変化を見据えた施策の展開」、「市民満足度の高い生活の場として選ばれる都市の実現」、「あらゆる主体が協働した持続的な地域社会の形成」を基本的視点として「住みやすさ日本一」をめざした新しいまちづくりを進めているところで

す。

この中において、水道及び下水道は、生活に欠くことのできないライフラインであり、将来にわたり市民生活と産業活動を支える基盤として永続的に維持していく必要があります。

一方、上下水道事業は、人口減少社会の到来、景気低迷による産業用需要の低下等により、事業の根幹を成す水道料金収入の低下や下水道使用料の大きな伸びを見込むことが期待できなくなっており、両事業をとりまく環境が大きく変化しています。そのような中、高度成長期に拡張した施設の老朽化による更新や自然災害に対応する危機管理体制の充実などの新たな課題を抱えています。

このため、企業局では、今後も地方公営企業の経営原則に則り、長期的な展望に立った経済的な事業運営を図り、より一層の市民サービスの向上に努めてまいります。

本書は、令和2年度における水道、下水道事業の経営実績をもとに編集したものです。両事業をご理解していただく上で少しでもお役に立てれば幸いです。

令和3年9月

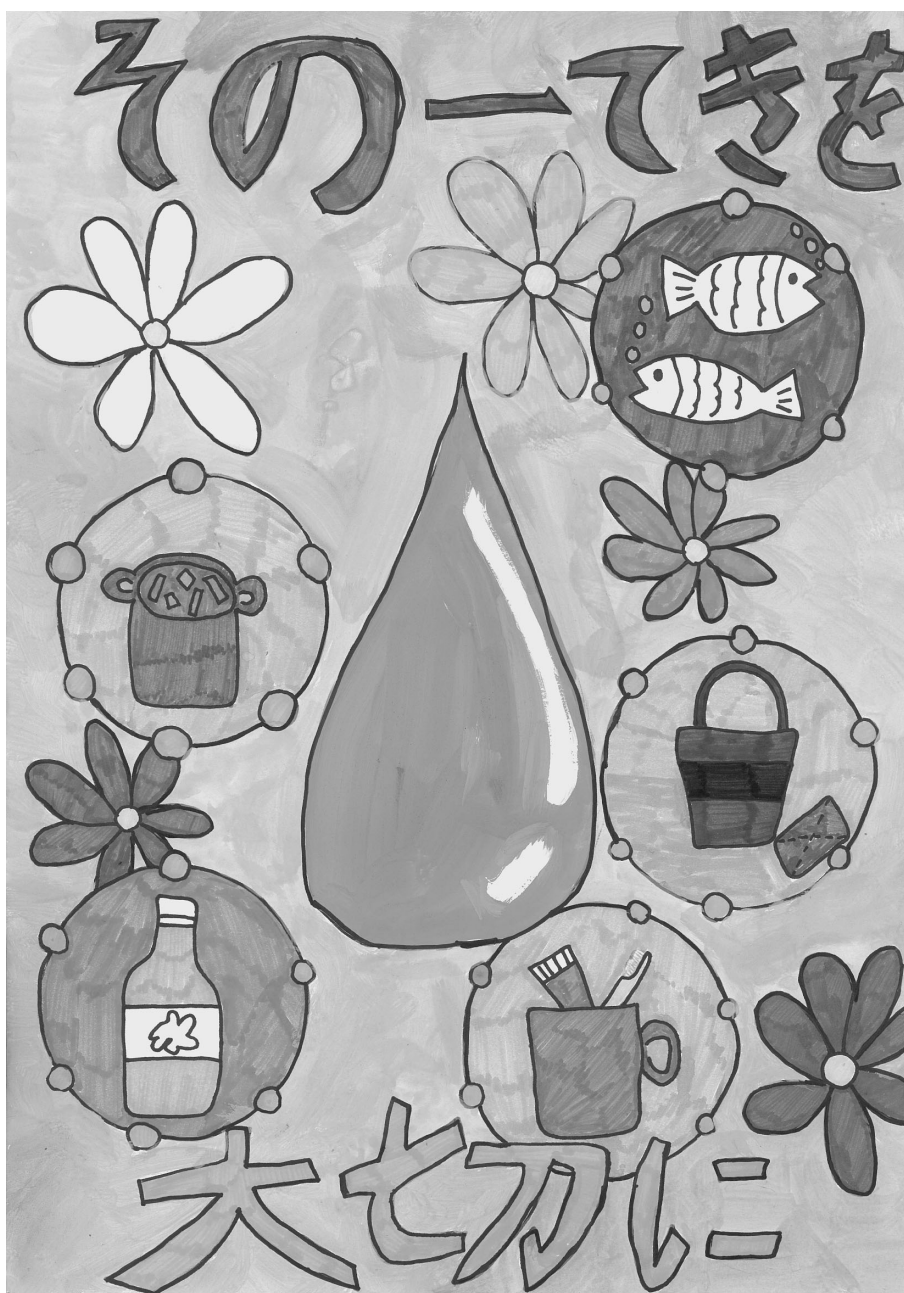
久留米市企業局上下水道部

久留米市上下水道部では、令和2年度に社会科の授業において、浄水場の見学など環境学習に取り組んだ小学生を対象に、「たいせつな水」「みんなの水道」をテーマに図画作品を募集したところ、小学校20校から948点におよぶ作品の応募がありました。

この中から、犬塚小学校の柳 祐衣さんの作品が最優秀作品に選ばれました。また優秀作品として、江上小学校の澁田 雪乃さん、金丸小学校の吉福 ことはさん、大善寺小学校の白濱 咲彩さんの作品、計3点が選ばれました。

統計年報の誌面をかりて、この4点をご紹介します。

令和3年度 水道週間図画作品展 最優秀作品



最優秀賞 犬塚小学校 柳 祐衣さん

目次

I 機構と職制

1 機構	2
(1) 組織図	2
(2) 職員配置表	2
2 事務分掌	3
3 職員構成	5
(1) 職種別構成	5
(2) 年齢別構成(企業会計職員)	7
(3) 在局年数別構成(企業会計職員)	7
(4) 年齢別・在局年数別分布(企業会計職員)	7

II 水道事業

1 総説	12
(1) 事業の沿革	12
(2) 最近10年間の事業推移	18
① 主要数値の推移	18
② 配水量・給水戸数の推移	20
③ 収益・費用・純利益の推移	20
(3) 上水道事業計画	21
(4) 分水の推移	22
① 城島水道株式会社への分水	22
② 旧筑邦町(荒木簡易水道)への分水	22
③ 北茂安町への分水	22
④ 広川町への分水	23
⑤ 三瀨町への分水	23
⑥ 大木町への分水	23
(5) 広域上水道	23
① 福岡県南広域水道企業団	23
② 筑後地域広域的下水道整備計画	25
③ 水道広域化推進プラン	25
(6) 公益社団法人日本水道協会	25
2 施設概要	28
(1) 浄水・配水等設備	28
① 配水形態	28
② 放光寺浄水場系統	29
③ 藤山配水系統	31
④ 西部配水系統	32
⑤ 石垣配水系統	32
⑥ 水処理工程図	34
(2) 給水設備	36
① 配水管布設延長状況	36
(3) 給水区域図	37
① 久留米地区	37
② 城島・三瀨地区	39
③ 田主丸地区	41

3	水質	44
(1)	水質試験結果表	44
①	原水(太郎原取水口)	44
②	放光寺配水池(2系配水池)	46
③	藤山配水池 (福岡県南広域水道企業団からの受水)	48
④	西部配水池 (福岡県南広域水道企業団からの受水を含む)	50
⑤	給水栓(久留米市内の給水栓15か所の月平均)	52
(2)	薬品等の注入率	54
①	塩素注入率	54
②	苛性ソーダ注入率	54
③	PAC(凝集剤)注入率	54
④	活性炭注入率	54
⑤	酸注入率	54
4	取水・配水	56
(1)	取水量・配水量・有効水量	56
①	取水量・配水量等	56
②	受水の推移	58
③	給水量分析	59
④	有収率の推移	59
⑤	取水場、浄水場電力使用量及び料金	60
⑥	高所地区電力使用量及び料金	60
⑦	西部、下田配水場電力使用量及び料金	62
⑧	田主丸地区電力使用量及び料金	62
(2)	使用水量・調定	64
①	使用水量分析(段階別、口径別)	64
②	月別配水量推移	65
③	水道料金調定	66
(3)	収納	68
①	年度内収納率	68
②	納期内収納率	68
(4)	料金	69
①	水道料金(変遷)表	69
②	水道加入金表	70
5	給水工事・配給水管修繕・メーター他	72
(1)	給水工事	72
①	給水装置工事申込受付	72
②	給水申込受付	72
(2)	配給水管修繕	73
①	修繕工事等の件数	73
②	管種別漏水修理の推移	74
③	弁栓類別漏水修理の推移	75
④	漏水防止年度別実績	76
(3)	メーター	77
①	メーター設置数	77
②	メーター移動年次比較	78

6 経理統計	80
(1) 決算状況	80
① 収益的収支年次表	80
② 資本的収支年次表	82
③ 資産・負債・資本対比表	84
(2) 供給単価・給水原価分析	86
① 1m ³ 当たり供給単価及び給水原価内訳表	86
② 給水原価構成表	86
(3) 企業債借入残高状況	88
(4) 経営分析表	89
(5) キャッシュ・フロー計算書	92

Ⅲ 下水道事業

1 総説	98
(1) 事業の沿革	98
(2) 最近10年間の事業推移	102
① 主要数値の推移	102
② 処理水量・処理区域内人口の推移	104
③ 収益・費用・純利益の推移	104
2 終末処理場	106
(1) 総括	106
① 月別流入水量	106
② 汚泥処理状況	107
③ 消化ガス利用状況	108
(2) 中央浄化センター	109
① 施設概要	109
② 汚水処理状況	112
③ 放流水の水質基準及び水質状況	116
④ 下水精密試験結果	118
⑤ 汚泥処理状況	121
(3) 南部浄化センター	122
① 施設概要	122
② 汚水処理状況	125
③ 放流水の水質基準及び水質状況	127
④ 下水精密試験結果	128
⑤ 汚泥処理状況	131
(4) 田主丸浄化センター	132
① 水処理フローシート	132
② 汚水・汚泥処理状況	133
③ 下水精密試験結果	136
3 管渠等	142
(1) マンホール、取付管数及び管路延長	142
(2) 中継ポンプ場	144
① 施設概要	144
② 電力使用量、料金及び吐出量	148
(3) 下水道処理区域図	151
① 久留米・北野地区	151
② 三潴・城島地区	153
③ 田主丸地区	155

4 使用料、受益者負担金	158
(1) 下水道使用料	158
① 有収水量と有収率の推移	158
② 下水道使用料の単価表	158
③ 下水道使用料調定	159
(2) 下水道事業受益者負担金・分担金	160
① 受益者負担金・分担金の額	160
② 受益者負担金・分担金の調定・収納状況	160
(3) 水洗化の促進	161
① 融資制度	161
② 融資の状況	161
(4) 私道への公共下水道布設制度	162
5 経理統計	164
(1) 決算状況	164
① 収益的収支年次表	164
② 資本的収支年次表	166
③ 資産・負債・資本対比表	168
(2) 汚水処理原価・汚水処理原価分析	170
① 1㎡当たり使用料単価及び汚水処理原価内訳表	170
② 汚水処理原価構成表	170
(3) 企業債借入残高状況	172
(4) 経営分析表	173
(5) キャッシュ・フロー計算書	176

IV その他の事業

1 農業集落排水事業	182
(1) 概要	182
(2) 使用料	183
① 使用料の算定	183
② 収納状況	183
(3) 受益者分担金	183
① 分担金の額	183
② 収納状況	183
(4) 発生汚泥量及び流入汚水量	184
(5) 水質データ	185
2 浄化槽の整備	188
(1) 合併処理浄化槽設置費助成事業(個人設置型)	188
①-1 補助概要(令和2年度まで)	188
①-2 補助概要(令和2年度以降の変更点)	189
② 設置補助状況	189
③ 維持管理費補助状況	189
(2) 特定地域生活排水処理事業(市町村設置型)	190
① 概要	190
② 分担金及び使用料	190
3 し尿等処理	192
(1) 概要	192
(2) 清掃津福工場フローシート	193
(3) 搬入量の推移	194

V 久留米市と企業局の概要

1 久留米市の市勢	196
2 歴代企業管理者	197
3 主要施設所在地一覧	198
4 年表	199

本書利用上の注意

数字の単位未満や構成比の表示未満の数値は四捨五入を原則としているため、合計の数値と内容を集計した数値が一致しない場合があります。

I 機構と職制

II 水道事業

1 総説

2 施設概要

3 水質

4 取水・配水

5 給水工事・配給水管修繕・メーター他

6 経理統計

III 下水道事業

1 総説

2 終末処理場

3 管渠等

4 使用料、受益者負担金

5 経理統計

IV その他の事業

1 農業集落排水事業

2 浄化槽の整備

3 し尿等処理

V 久留米市と企業局の概要

I 機構と職制

1 機 構

- (1) 組織図
- (2) 職員配置表

2 事務分掌

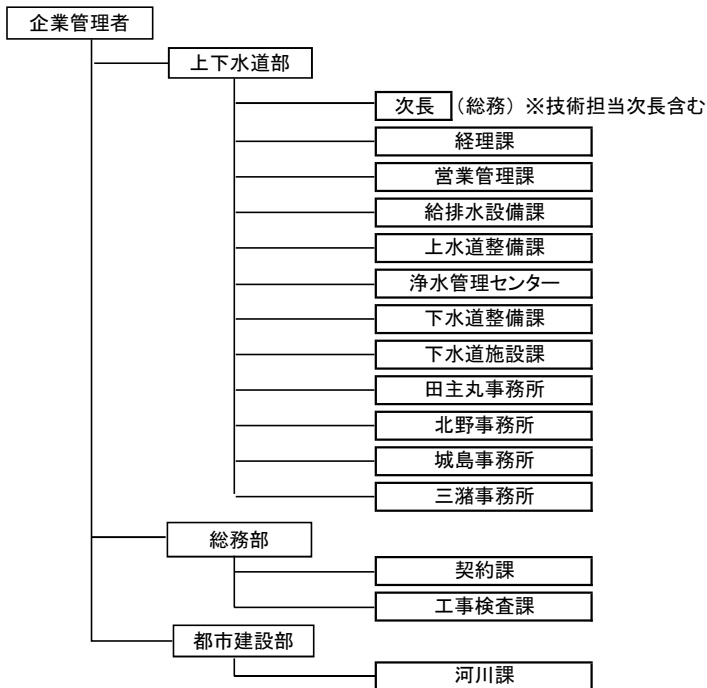
3 職員構成

- (1) 職種別構成
- (2) 年齢別構成（企業会計職員）
- (3) 在局年数別構成（企業会計職員）
- (4) 年齢別・在局年数別分布（企業会計職員）

I 機構と職制

1 機構

(1) 組織図



(2) 職員配置表

	特別職	職員								会計年度任用職員	備考
	企業管理者	部長級	次長級	課長級		課長補佐級	主査級	一般職			
	部長	部長	次長 検査企画監	課長 所長	主幹 (南即所長)	課長補佐	主査	主任主事	主事		
企業局	1	5	6	13	5 (1)	24	39 (6)	91 (14)	183 (21)	4	
(企業管理者)	1										
上下水道部		1	2	11	4 (1)	17	33 (1)	80 (12)	148 (14)	2	二重下線のうち企業会計職員は132名
(部長)		1							1		
(次長(総務))			2		(1)	1	1	6	10 (1)	1	
経理課				1		1	1	3	6		
営業管理課				1		2	1	9 (4)	13 (4)		
給排水設備課				1		2	5	6 (2)	14 (2)		
上水道整備課				1	1	2	7 (1)	17 (2)	28 (3)	1	
浄水管理センター				1	1	2	2	8	14		
下水道整備課				1	1	3	5	17 (3)	27 (3)		
下水道施設課				1	1	2	4	8	16		
田主丸事務所				1		1	1	2	5		
北野事務所				1		1		1	3		
城島事務所				1			3	2	6		全員、市長部局との併任 (下線の主査、主事のうち各1名は企業会計職員)
三瀨事務所				1			3	1 (1)	5 (1)		
総務部		2	2	1		5	4 (5)	5 (2)	19 (7)	2	
(部長)		2							2		
(次長)			1						1		
(検査企画監)			1						1		全員、市長部局との併任
契約課				1		2	2	5 (2)	10 (2)	2	
工事検査課						3	2 (5)		5 (5)		
都市建設部		2	2	1	1	2	2	6	16		
(部長)		2							2		
(次長)			2						2		全員、市長部局との併任
河川課				1	1	2	2	6	12		

()内は短時間勤務職員数で外数

2 事務分掌

上下水道部

総務

- (1) 上下水道行政の総合企画に関すること。
- (2) 水道事業及び下水道事業の総合調整に関すること。
- (3) 料金制度に関すること。
- (4) 予算及び事業に関する事務の総括に関すること。
- (5) 情報の公開に関すること。
- (6) 個人情報の開示、訂正、削除及び目的外利用等の中止に関すること。
- (7) 職員の任免、分限、懲戒その他身分に関すること。
- (8) 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。
- (9) 職員研修の総括に関すること。
- (10) 職員の安全衛生及び福利厚生に関すること。
- (11) 職員の公務災害補償に関すること。
- (12) 公印に関すること。
- (13) 条例及び規程に関すること。
- (14) 公益通報者保護に関すること（外部の労働者からの通報に限る。）。
- (15) 広聴に関すること。
- (16) 農業集落排水事業の総合調整に関すること。
- (17) 特定地域生活排水処理事業の総合調整に関すること。
- (18) し尿処理事業の総合調整に関すること。

経理課

- (1) 決算に関すること。
- (2) 資金計画及び運用に関すること。
- (3) 収入及び支出に関すること。
- (4) 企業債に関すること。
- (5) 現金及び有価証券の出納及び保管に関すること。
- (6) 物品の購入（総務部契約課購入物品に係るものを除く。）、出納、保管、修理及び処分（売却によるものを除く。）に関すること。
- (7) 財産の取得、管理及び処分に関すること。
- (8) 合川庁舎の管理に関すること。
- (9) 統計調査に関すること。

営業管理課

- (1) 使用の開始、中止等の受付に関すること。
- (2) 下水道の受益者負担金及び分担金の賦課徴収に関すること。
- (3) 水道料金及び下水道使用料の調定、収納及び還付に関すること。
- (4) 滞納整理及び不納欠損に関すること。
- (5) メーターの検針に関すること。
- (6) 広報に関すること。
- (7) 電子計算機の運用及び管理に関すること。
- (8) 農業集落排水事業の調整に関すること。

給排水設備課

- (1) 給水装置工事の受付、審査、施行、監督及び検査に関すること。
- (2) 貯水槽水道に関すること。
- (3) 指定給水装置工事業者に関すること。
- (4) 排水設備の普及、許可及び検査に関すること。
- (5) 水洗便所の改造資金に関すること。
- (6) 指定下水道工事店の許可及び技術審査に関すること。
- (7) 浄化槽の設置に関すること。
- (8) 浄化槽保守点検業者の登録に関すること。
- (9) 浄化槽の維持管理に係る指導監督に関すること。
- (10) 特定地域生活排水処理事業の会計処理に関すること。

上水道整備課

- (1) 水道工事に係る基本計画及び技術調整に関すること。
- (2) 水道施設の占用更新に関すること。
- (3) 水道施設の事業計画に基づく工事の設計、施行及び監督に関すること。
- (4) 水道施設の改良に係る工事の設計、施行及び監督に関すること。
- (5) 配水管及び附属設備の維持管理並びに附帯作業に関すること。
- (6) 漏水防止調査及び実施に関すること。
- (7) 工事用機器の運用及び整備に関すること。
- (8) 水道施設の図面管理に関すること。

浄水管理センター

- (1) 取水、導水、浄水、配水及び受水の水量並びに水圧の調整並びに水質の監視に関すること。
- (2) 給水量の調整に関すること。
- (3) 排水処理施設の運転及び監視に関すること。
- (4) 取水、導水、浄水、配水の施設及び設備並びに管理用地に関すること。
- (5) 水質検査の計画及び実施に関すること。
- (6) 水質の調査及び研究に関すること。

下水道整備課

- (1) 下水道及びし尿処理施設の事業計画に関すること。
- (2) 下水道（終末処理場及びポンプ場を除く。）の占用許可、境界明示、証明及び維持管理に関すること。
- (3) 終末処理施設及びし尿処理施設の新設及び改良に関すること。
- (4) 汚水管渠及び雨水管渠の新設及び改良に関すること。

下水道施設課

- (1) 終末処理場、ポンプ場及びし尿処理施設の維持管理及び補修に関すること。
- (2) 下水及びし尿の水質検査に関すること。
- (3) し尿の収集及び処理業務に関すること。

田主丸事務所

- (1) 下水道事業（特定環境保全公共下水道事業を含む。）に係る連絡調整に関すること。
- (2) 水道料金、下水道使用料その他収入金の収納に関すること。
- (3) 農業集落排水事業に関すること。
- (4) 特定環境保全公共下水道田主丸第1工期負担区に係る分担金の賦課徴収に関すること。

北野事務所

- (1) 下水道事業に係る連絡調整に関すること。
- (2) 下水道使用料の収納に関すること。
- (3) 農業集落排水事業に関すること。

城島事務所

- (1) 使用の開始、中止等の受付に関すること。
- (2) 水道料金、下水道使用料その他収入金の収納に関すること。
- (3) 滞納整理に関すること。
- (4) メーターの検針に関すること。
- (5) 施設及び工作物の工事の監督に関すること。
- (6) 給水装置工事の監督及び検査に関すること。
- (7) 配水管及び附帯設備の維持管理並びに附帯作業に関すること。
- (8) 配水施設に関すること。
- (9) 下水道事業（特定環境保全公共下水道事業を含む。）に係る連絡調整に関すること。
- (10) 特定地域生活排水処理事業に関すること。

三猪事務所

- (1) 使用の開始、中止等の受付に関すること。
- (2) 水道料金、下水道使用料その他収入金の収納に関すること。
- (3) 滞納整理に関すること。
- (4) メーターの検針に関すること。
- (5) 施設及び工作物の工事の監督に関すること。
- (6) 給水装置工事の監督及び検査に関すること。
- (7) 配水管及び附帯設備の維持管理並びに附帯作業に関すること。
- (8) 配水施設に関すること。
- (9) 下水道事業に係る連絡調整に関すること。

総務部

契約課

- (1) 工事請負の契約に関すること。
- (2) 測量、設計、地質調査及び補償コンサルタントに係る委託の契約に関すること。
- (3) 物品の購入、検査及び処分(売却によるものに限る。)に関すること。
- (4) 入札参加者の資格審査及び登録に関すること。
- (5) 契約事務の統轄に関すること。

工事検査課

- (1) 工事の検査に関すること。
- (2) 測量、設計、地質調査及び補償コンサルタントに係る委託の検査に関すること。
- (3) 検査事務の統轄に関すること。

都市建設部

河川課

- (1) 雨水事業に関すること。

3 職員構成

(1) 職種別構成

(令和3年3月31日現在)

	課	チーム	職 員										会計年度 任用職員	合計		
			事務系職種			技術系職種						計			うち企業 会計職員	
			一般 事務職	情報	小計	土木	機械	建築	電気	化学	小計					
上 下 水 道 部	部長		1		1							0	1	1		1
	(総務)	次長	1		1	1						1	2	2		2
		主幹				(1)						(1)	(1)	(1)		(1)
		部補佐	1		1							1	1	1		1
		総務	5		5	1			1			2	7	7	1	8
		小計	7	0	7	2	0	0	1	0		3	10	10	1	11
	経理課	課長	1		1							1	1	1		1
		課長補佐	1		1							1	1	1		1
		経理	4		4							4	4	4		4
		小計	6	0	6	0	0	0	0	0		6	6	6	0	6
		営業管理課	課長	1		1							1	1	1	
	課長補佐		2		2							2	2	2		2
	管理		4	1	5							5	5	5		5
	営業		(1)		(1)							(1)	(1)	(1)		(1)
	小計		5		5							5	5	5		5
	給排水設備課	課長	(3)		(3)							(3)	(3)	(3)		(3)
		小計	12	1	13	0	0	0	0	0		13	13	13	0	13
		課長	(4)		(4)							(4)	(4)	(4)		(4)
		課長補佐				1						1	1	1		1
		課長補佐				2						2	2	2		2
浄水管理センター	給水	1		1	4	1					5	6	6		6	
	排水設備・浄化槽	1		1	2	1			1		4	5	5		5	
	小計	2	0	2	9	2	0	0	1		12	14	14	0	14	
	課長	(2)		(2)							(2)	(2)	(2)		(2)	
	小計	2	0	2	26	0	0	0	0		26	28	28	1	29	
下水道整備課	課長	(1)		(1)	9						9	11	11	1	12	
	主幹				1						1	1	1		1	
	課長補佐				2						2	2	2		2	
	計画管理				2			(1)			2	2	2		2	
	建設整備				(1)				(1)		(2)	(2)	(2)		(2)	
下水道施設課	建設整備	2		2	11						11	11	11		11	
	維持	(1)		(1)	9						9	11	11	1	12	
	小計	2	0	2	26	0	0	0	0		26	28	28	1	29	
	課長	(1)		(1)	(1)				(1)		(2)	(3)	(3)		(3)	
	小計	2	0	2	26	0	0	0	0		26	28	28	1	29	
田主丸事務所	所長				1						1	1	1		1	
	主幹				1						1	1	1		1	
	課長補佐				2			1			3	3	3		3	
	施設				2			5			7	7	7		7	
	水質				0	3	0	6	5	14	14	14	14	0	14	
北野事務所	小計	0	0	0	0	3	0	6	5	14	14	14	0	14		
	課長				1						1	1	1		1	
	主幹				1						1	1	1		1	
	課長補佐				2			1			3	3	3		3	
	計画				1	1					2	2	2		2	
城島事務所	耐震・土木				3						3	3	3		3	
	維持				6						6	6	6		6	
	西部管渠				5						5	5	5		5	
	東部管渠				(1)	(1)					(2)	(2)	(2)		(2)	
	小計	0	0	0	25	1	0	1	0		27	27	27	0	27	
三瀨事務所	課長				(1)	(2)					(3)	(3)	(3)		(3)	
	課長				1						1	1	1		1	
	南部所長								1		1	1	1		1	
	課長補佐	1		1					1		1	2	2		2	
	施設管理(中央)					2		3			5	5	5		5	
田主丸事務所	施設管理(南部)								3	1	4	4	4		4	
	水質管理・L尿計画	1		1					2		2	3	3		3	
	小計	2	0	2	0	3	0	7	4	14	16	16	0	16		
	所長				1						1	1	1		1	
	(田主丸)	3		3	1						1	4			4	
北野事務所	小計	3	0	3	2	0	0	0	0		2	5	0	5		
	所長				1						1	1			1	
	(北野)	2		2							2	2			2	
	小計	2	0	2	1	0	0	0	0		1	3	0	3		
	所長				1						1	1			1	
城島事務所	(城島)	4		4	1						1	5	2		5	
	小計	4	0	4	2	0	0	0	0		2	6	2	0	6	
	所長				1						1	1			1	
	(三瀨)	2		2	2						2	4	1		4	
	小計	(1)		(1)							(1)	(1)			(1)	
三瀨事務所	小計	2	0	2	3	0	0	0	0		3	5	1	0	5	
	所長	(1)		(1)							(1)	(1)			(1)	
	小計	2	0	2	3	0	0	0	0		3	5	1	0	5	
	計	(6)	1	44	70	9	0	15	10		104	148	132	2	150	
	計	(6)	1	44	70	9	0	15	10		104	148	132	2	150	

	課	チーム	職 員										会計年度 任用職員	合計		
			事務系職種			技術系職種						計			うち企業 会計職員	
			一般 事務職	情報	小計	土木	機械	建築	電気	化学	小計					
総務部	部長		1		1							0	1		1	
	契約監理担当部長		1		1							0	1		1	
	次長		1		1							0	1		1	
	検査企画監				0	1						1	1		1	
	契約課	課長		1		1							1			1
		課長補佐		2		2							2			2
		工事		4		4							4		2	6
				(1)		(1)							(1)			(1)
		物品		3		3							3			3
				(1)		(1)							(1)			(1)
	小計		10	0	10	0	0	0	0	0	0	10	0	2	12	
			(2)		(2)							(2)			(2)	
	工事検査課	課長補佐					1		1	1		3	3			3
		土木工事検査					1					1	1			1
					(3)						(3)	(3)			(3)	
建築・設備工事検査			1		1		(1)	(1)			(2)	(2)			1	
小計		1	0	1	2	0	1	1	0	4	5	0	0	5		
		(2)		(2)	(3)	(1)	(1)			(5)	(5)			(5)		
計		14	0	14	3	0	1	1	0	5	19	0	2	21		
		(2)		(2)	(3)	(1)	(1)			(5)	(7)			(7)		
都市建設部	部長				0	1					1	1			1	
	都市づくり推進担当部長				0	1					1	1			1	
	次長		1		1			1			1	2			2	
	河川課	課長					1					1	1			1
		治水対策主幹					1					1	1			1
		課長補佐					2					2	2			2
		計画調整					4					4	4			4
		河川整備					4					4	4			4
小計		0	0	0	12	0	0	0	0	12	12	0	0	12		
計		1	0	1	14	0	1	0	0	15	16	0	0	16		
企業局 合計		58	1	59	87	9	2	16	10	124	183	132	4	187		
		(8)		(8)	(8)	(3)	(1)	(1)		(13)	(21)	(14)		(21)		

・ ()内は短時間勤務職員数で外数

・ 田主丸事務所、北野事務所、城島事務所、三渚事務所、総務部及び都市建設部職員は、全員市長部局との併任

(2) 年齢別構成(企業会計職員)

年齢	区分	事務系職種		技術系職種		計	
		職員数	比率(%)	職員数	比率(%)	職員数	比率(%)
	20歳未満	1	3.0	1	1.0	2	1.5
	20歳以上 25歳未満	0	0.0	4	4.0	4	3.0
	25歳以上 30歳未満	0	0.0	8	8.1	8	6.1
	30歳以上 35歳未満	3	9.1	11	11.1	14	10.6
	35歳以上 40歳未満	6	18.2	13	13.1	19	14.4
	40歳以上 45歳未満	5	15.2	15	15.2	20	15.2
	45歳以上 50歳未満	2	6.1	26	26.3	28	21.2
	50歳以上 55歳未満	8	24.2	10	10.1	18	13.6
	55歳以上	8	24.2	11	11.1	19	14.4
	合計	33	100.0	99	100.0	132	100.0
	平均年齢	46歳1月		41歳9月		42歳9月	

※構成比は、表示単位に四捨五入してあることから、内訳の計は必ずしも合計に一致しない。

(3) 在局年数別構成(企業会計職員)

年数	区分	事務系職種		技術系職種		計	
		職員数	比率(%)	職員数	比率(%)	職員数	比率(%)
	3年未満	14	42.4	31	31.3	45	34.1
	3年以上 5年未満	7	21.2	19	19.2	26	19.7
	5年以上 7年未満	5	15.2	21	21.2	26	19.7
	7年以上 10年未満	3	9.1	8	8.1	11	8.3
	10年以上 15年未満	3	9.1	17	17.2	20	15.2
	15年以上 20年未満	0	0.0	1	1.0	1	0.8
	20年以上 25年未満	1	3.0	0	0.0	1	0.8
	25年以上 30年未満	0	0.0	2	2.0	2	1.5
	30年以上 35年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	35年以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	合計	33	100.0	99	100.0	132	100.0
	平均年数	4年3月		5年5月		5年2月	

※構成比は、表示単位に四捨五入してあることから、内訳の計は必ずしも合計に一致しない。

(4) 年齢別・在局年数別分布(企業会計職員)

年数	区分	~20歳	~25歳	~30歳	~35歳	~40歳	~45歳	~50歳	~55歳	55歳~	計
		未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満		
	3年未満	2	1	4	4	9	8	9	4	4	45
	3年以上 5年未満		1	4	6	3	3	4	3	2	26
	5年以上 7年未満		2		3	3	6	6	4	2	26
	7年以上 10年未満				1	2	2	2	2	2	11
	10年以上 15年未満					2	1	6	3	8	20
	15年以上 20年未満							1			1
	20年以上 25年未満								1		1
	25年以上 30年未満								1	1	2
	30年以上 35年未満										0
	35年以上										0
	合計	2	4	8	14	19	20	28	18	19	132

※(2)年齢別構成及び(3)在局年数別構成における職員の区分については、一般事務職及び情報職を事務系職種、土木職、機械職、建築職、電気職及び化学職を技術系職種として集計した。

Ⅱ 水道事業

1 総 説

(1) 事業の沿革

(2) 最近10年間の事業推移

- ① 主要数値の推移
- ② 配水量・給水戸数の推移
- ③ 収益・利益・純利益の推移

(3) 上水道事業計画

(4) 分水の推移

- ① 城島水道株式会社への分水
- ② 旧筑邦町（荒木簡易水道）への分水
- ③ 北茂安町への分水
- ④ 広川町への分水
- ⑤ 三瀦町への分水
- ⑥ 大木町への分水

(5) 広域上水道

- ① 福岡県南広域水道企業団
- ② 筑後地域広域的水道整備計画
- ③ 水道広域化推進プラン

(6) 公益社団法人日本水道協会

1 総説

(1) 事業の沿革

本市は、九州最大の筑紫平野のほぼ中央に位置し、東部には耳納連山がそびえ、北部には筑後川がとうとうと流れています。筑後川は、その源を阿蘇外輪山に発する津江川と杖立川を源流とし、これが玖珠川と日田地点で合流し、有明海に注ぐ流路延長 143km、流域面積 2,860km²、年間流量 40 億 m³にも及ぶ九州第一の大河です。

① 創設

大正12年4月水道調査課の設置と共に市議会に水道調査委員会を設け、堀江勝己氏を顧問として水道調査全般を囑託し、水道設置の運びとなりました。

水源を河川式による筑後川河底の伏流水に求め、基本計画給水人口 100,000 人、1人平均給水量 110ℓ/日、1人最大給水量 150ℓ/日、即ち1日最大給水量 15,000 m³/日として、布設総事業費 1,797,956 円をもって、昭和2年1月15日に着工、同4年11月15日竣工、翌5年1月から給水が開始されました。

その後、昭和8年7月失業応急事業として、配水管の拡張を計画、総工費 194 千円をもって、市内未給水地域へ配水管を布設するとともに、同11年3月三潁郡城島町城島水道株式会社への分水工事を施行し、一部分水を開始しました。

② 第一次拡張事業

戦時中を含み8年余に亘る空白期における施設改良に対する労働力や資材の不足による放任によって、施設はいちじるしく老朽化し、加えて昭和20年8月終戦直前における戦災によって、市内配給水管は多大なる被害を受け、揚水・配水能力共に激減しました。一方戦後の人口増加と各産業の発展により需要は増加し、既施設の供給能力ではしばしば制限

給水が必要な状態になりました。

昭和26年度から同30年度に至る5か年計画、総事業費 191,268 千円により、第一次拡張事業を基本計画給水人口 144,000 人、1人平均給水量 180ℓ/日、1人最大給水量 250ℓ/日、1日最大給水量 36,000 m³/日として、昭和26年6月着工したのはこういった背景によるものであり、昭和28年6月の大洪水による被害の復旧(被害額 40,400 千円)とともに、拡張工事を続行、同32年10月、計画どおり拡張工事を完成することができました。

これにより戦後数年間にわたる夏期給水制限は一応解消しました。

③ 第二次拡張事業

第一次拡張事業の完成によって給水能力は 2.4 倍に増加しました。しかし、市の発展と生活の向上による需要増や昭和34年4月から開始した佐賀県北茂安町への分水によって需要量は急速に増加しました。そこで需要量の増加に応え、未給水地域へ水道水を供給し住民の福祉増進と市の発展に寄与するため第二次拡張事業を企画し、昭和36年4月から5か年計画をもって着手、これら未給水地域である高良内、山川、小森野、長門石、上津、藤光町等へ 75 mm～250 mmの配水管延長約 85,900m を布設し、導水管の布設替えも行き、総事業費 293,396 千円を投じ、同41年3月竣工しました。この工事完成により、給水人口 144,000 人、1日最大給水量 40,000 m³/日にまで拡大することができました。

④ 第三次拡張事業

昭和38年頃から、再び夏場における水不足が生じ減圧給水の事態となり、また、生活様式の向上によって今後大幅に需要が増加することも容易に予測されたため、将来の都市発展を考え、昭和54年度を目標とする第三次拡張事業に昭和40年6月着手しました。この事業は昭和47年度までの8か年継続事業で、昭和43年度末にはその前期工事である太郎原取水場の取水施設及び導水施設、中部配水本管の施設が完成、放光寺浄水場の浄水施設及び配水施設の一部が完成し、昭和44年4月から26,500 m³の一部通水を開始しました。

ひきつづき後期工事に移りましたが、昭和42年2月に三漕郡筑邦町の久留米市編入に伴う荒木、安武地区簡易水道の上水道への切替え統合や高良内ニュータウンに対する給水を図るために第三次拡張事業の計画変更を行い、残施設である東部地区への配水管布設、草野ポンプ所、発心配水池、吉木配水池の完成により従来市において運営していた草野、山本地区簡易水道を上水道に切替え昭和45年度より給水を開始しました。

また高良内ポンプ所、高良内配水池の完成に伴い昭和46年度から高良内ニュータウン及び高所地区への給水を開始するとともに昭和47年度末までに取水、浄水及び配水施設並びに宮ノ陣地区配水管布設等の施設を総事業費1,948,425千円を投じ完成しました。

これら一連の施設完成により既設の給水能力40,000 m³と併せて1日の最大給水能力は93,000 m³となり拡張工事は予定どおり終了しました。

⑤ 第一次整備事業

第三次拡張事業の完成に伴い給水能力は大幅な能力アップを図ることができたものの、市内中心部は創設時の老朽配水管により給水しているため、赤水、出水不良の原因となっている箇所を解消を図る必要がありました。また水質汚濁防

止法の施行に伴い汚水を河川放流できなくなるため、これらの対策として昭和48年4月第一次整備事業に着手しました。これは、赤水、出水不良を解消するための老朽管改良(配水管クリーニング)、需要増加地区(長門石町)及び未給水地区(荒木町、上津町の一部)への配水管整備(17,710m)を行い、また常に安全な水質を確保するための原水対策として、太郎原取水場に脱臭装置を設置するとともに浄水処理工程において発生する汚水の処理を行うため、放光寺浄水場に排水処理施設等を建設するもので、昭和50年度末までに3か年継続事業として、総事業費764,803千円を投じ完成しました。

⑥ 第四次拡張事業

第三次拡張事業認可後における善導寺町、大橋町との合併及び市中心部のビルの高層化、下水道の普及、都市開発など市の形態は著しく変化し、併せて第一次整備事業(昭和48年度～50年度)の管網整備により使用水量は増加の一途をたどり、既設能力では将来において水不足が懸念されたため、今後の水源の確保を久留米広域上水道企業団に求め、昭和55年度を目標に給水人口212,000人、一日最大給水量116,200 m³として、第四次拡張事業を計画しました。

事業の概要は、広域水道からの受水施設ならびに善導寺、大橋地区への給水区域の拡大に伴う配水管布設、水量水圧不足地区の解消と需要増加地区に対する配水管網の整備を施工する一方、原水対策施設の建設などを総事業費1,611,000千円を投じて昭和54年度までの5か年継続事業として昭和50年4月工事に着手しました。しかし、新たな給水区域となった善導寺、大橋町の地域住民による要望を受け、昭和52年5月に当初計画を見直し、当該地域に配水管布設を行いました。

一方、高良内、藤山地区の高圧給水区域内においては民間資本により急速に宅地開発が進み、施設の給水能力が限界に近づいてきたため、上津加圧ポンプ所を建設しました。また、計画を昭和55年度までの6か年継続事業に変更し、総事業費2,115,671千円を投じて拡張工事を終了しました。

⑦ 第二次整備事業

第四次拡張事業(昭和50年度～55年度)の完成によって給水能力のアップ及び給水区域の拡大を図ることができました。しかし、市民生活の向上や生活環境の整備等による使用水量が増加する予測であったため、これに対応した確固たる供給体制の確立を図ることが必要となりました。長期計画に基づく配水池の造成と47,867mにおよぶ配水管網の整備等を昭和56年度から昭和58年度までの3か年継続事業として、総事業費1,912,000千円を投じて施工しました。

⑧ 浄水場改築事業

創設以来50年にわたって稼働を続けた御井浄水場系統は、増設・補修等により40,000 m³/日の能力を有していましたが、筑後川河床及び流況の変化、さらには経年による施設の老朽化により水処理能力に不足をきたすようになりました。

そこで、御井浄水場系統を既存の放光寺浄水場系統に統合し、近代的設備による集中管理システムを導入するなど、効率化を図りました。昭和57年度から昭和60年度までの4か年で、継続事業として総事業費7,577,000千円を投じ、放光寺浄水場の改築事業を行いました。その結果、第五次拡張事業における自己水源の開発7,000 m³と合わせて100,000 m³の供給体制が整いました。

⑨ 第五次拡張事業

久留米市総合計画基本構想に基づく30万都市建設、テクノポリスの構築など魅力ある都市づくりのための施策の推進により、住宅団地、工業団地等の開発が行われると共に、下水道の整備や市東部及び南部地域の人口増に伴う水需要の増加が予想されました。このため、新規水源の確保と市全域にわたる配水形態の確立及び水量、水圧の均等化を図るための管網の構成が必要となり、昭和63年度を目標に給水人口233,400人、一日最大給水量を126,800 m³とする第五次拡張事業を計画しました。

事業の概要は、新規水源として8,600 m³(自己開発7,000 m³、受水1,600 m³)の確保と藤山配水場、山本配水池の建設及び配水管網の整備などを行うために、昭和59年度から平成元年度までの6か年継続事業として、総事業費4,968,000千円を投じ拡張工事を施工するものでした。

藤山配水場(配水池容量16,000 m³)は、昭和62年9月に完成し、同10月1日より藤山系配水区域への給水を開始しました。これに伴い、上津ポンプ所及び高良内ポンプ所を廃止し、施設の統合を行いました。

また、昭和62年4月には宮ノ陣八丁島地区の一部に給水を開始しました。

さらに東部地域(山本町、草野町)については、山本配水池(配水池容量2,000 m³)の築造を行い、昭和63年11月25日から運転を開始しました。これに伴い、草野ポンプ所及び吉木・発心両配水池は廃止としました。

⑩ 第三次整備事業

第五次拡張事業(昭和59年度～平成元年度)の完成によって、給水能力のアップ及び配水形態の確立を図りましたが、市全域には創設時からの経年の老朽管も多く残り、安定給水に支障をきたすため平成3年度から5か年継続事業として、事業費 2,800,000 千円を設定し、老朽管の計画的更新及び配水管網の整備を行ってきました。

平成5年度に事業計画の見直しを行い、平成9年までの7か年間の継続事業としました。最終的には 54,578m の配水管網の整備を 2,760,000 千円を投じて行いました。

⑪ 第四次整備事業

第三次整備事業により老朽管の計画的改良を行いました。が、市内にはまだ非ライニング管の老朽管が残っており、また需要増の予測に基づく計画的な配水管改良の必要性から、平成10年度からの3か年の継続事業として第四次整備事業を実施しました。平成12年度の事業終了時まで、総事業費 1,156,000 千円を投じて 23,477m の配水管の改良を行いました。

⑫ 基幹施設整備事業

第五次拡張事業では、昭和59年5月に厚生大臣より、計画目標年度を昭和63年、計画給水人口233,400人、計画一日最大給水量 126,800 m³の規模で認可を得ました。

その後、平成5年には久留米地方拠点都市地域指定を受け、拠点都市形成のための諸施策が展開されるなかで、久留米市新総合計画が策定され、水道事業においてもこれらの施策に併せて給水人口・給水量を変更する必要が生じることとなりました。

給水区域については、広川町との行政区域にまたがる南部流通団地の開発等に伴い一部区域の拡張を行いました。

また、水源開発(大山ダム開発)については、福岡県南水

道企業団より受水量(35,800 m³/日)を確保しました。

さらに、安定給水の確保や危機管理対応の向上を図るため、配水本管のブロック化、調整池や配水池の築造等、基幹施設整備を計画しました。

これらを実施するにあたり、目標年度を平成26年、計画給水人口 262,500 人、計画一日最大給水量 135,800 m³とする計画変更認可申請を行い、厚生大臣より平成12年7月に認可を受けました。

⑬ 第五次整備事業

経年配水管改良事業として非ライニング鑄鉄管・鋼管などの老朽管を改良することにより、水質の保全及び安定供給を図るため、平成13年度からの3か年間の継続事業として第五次整備事業を実施しました。平成15年度の事業終了までに、総事業費 1,472,000 千円を投じて 34,228m の配水管の改良を行いました。

⑭ 第六次整備事業

第五次整備事業により市内の経年配水管を積極的に改良しましたが、市内にはまだ非ライニング管が残っており、更なる水質の保全と安定供給を図るため、平成16年度から3か年間の継続事業として第六次整備事業を実施しました。平成18年度の事業終了時まで、総事業費 1,865,000 千円を投じて 34,688m の配水管の改良を行いました。

⑮ 広域合併

平成17年2月5日に久留米市、田主丸町、北野町、城島町、三潯町の一市四町が合併し、城島地区及び三潯地区の水道事業を久留米市水道事業へ統合しました。

また、田主丸地区の一部で行っていた簡易水道事業を引き継ぎました。しかしながら、北野地区は当面、合併前のおり三井水道企業団の給水地域としました。水道事業

統合に伴い目標年度を平成26年度、計画給水人口293,000人、計画一日最大給水量145,800m³とする水道事業計画変更届を厚生労働大臣へ提出しました。

また、城島、三瀧両地区の既存配水場を統合し、施設の効率的運用を図るため、平成17年度から4か年間の継続事業として西部配水場整備事業を行いました。平成17年度途中から大木町の同事業への参画もあり、久留米市、大木町の共同施設とし整備しました。西部配水場は平成20年4月から稼動し、これにより城島、三瀧地区及び大木町へのより安定的な給水が可能となりました。

また、同配水場は耐震性を有し、地震災害時には非常時用水が確保でき、災害対策面での向上が図られています。

⑩ 第六次拡張事業

水道が未普及である田主丸地区に給水を行うため、目標年度を平成29年、計画給水人口286,700人、計画一日最大給水量145,800m³とする水道事業計画変更届を厚生労働大臣へ提出し、平成20年8月、認可を得ました。平成20年度以降、送配水管の布設、簡易水道事業の水道事業への統合を行う計画です。

⑪ 第七次整備事業

第六次整備事業により市内の経年配水管を計画的に改良しましたが、市内にはまだ非ライニング管が残っており、更なる水質の保全と安定供給を図るため、引き続き平成19年度から3か年間の継続事業として第七次整備事業を実施しました。

平成21年度の事業終了時まで、総事業費1,479,000千円を投じて30,100mの配水管の改良を行いました。

⑫ 第八次整備事業

第七次整備事業により市内の経年配水管を計画的に改良しましたが、市内にはまだ非ライニング管が残っており、更なる水質の保全と安定供給を図るため、引き続き平成22年度から4か年間の継続事業として第八次整備事業を実施しました。

平成25年度の事業終了時(一部、平成26年度へ繰越)までに、総事業費1,029,000千円を投じて16,600mの配水管の改良を行いました。

令和3年度 水道週間図画作品展 優秀作品

1



優秀賞 江上小学校 澁田 雪乃さん

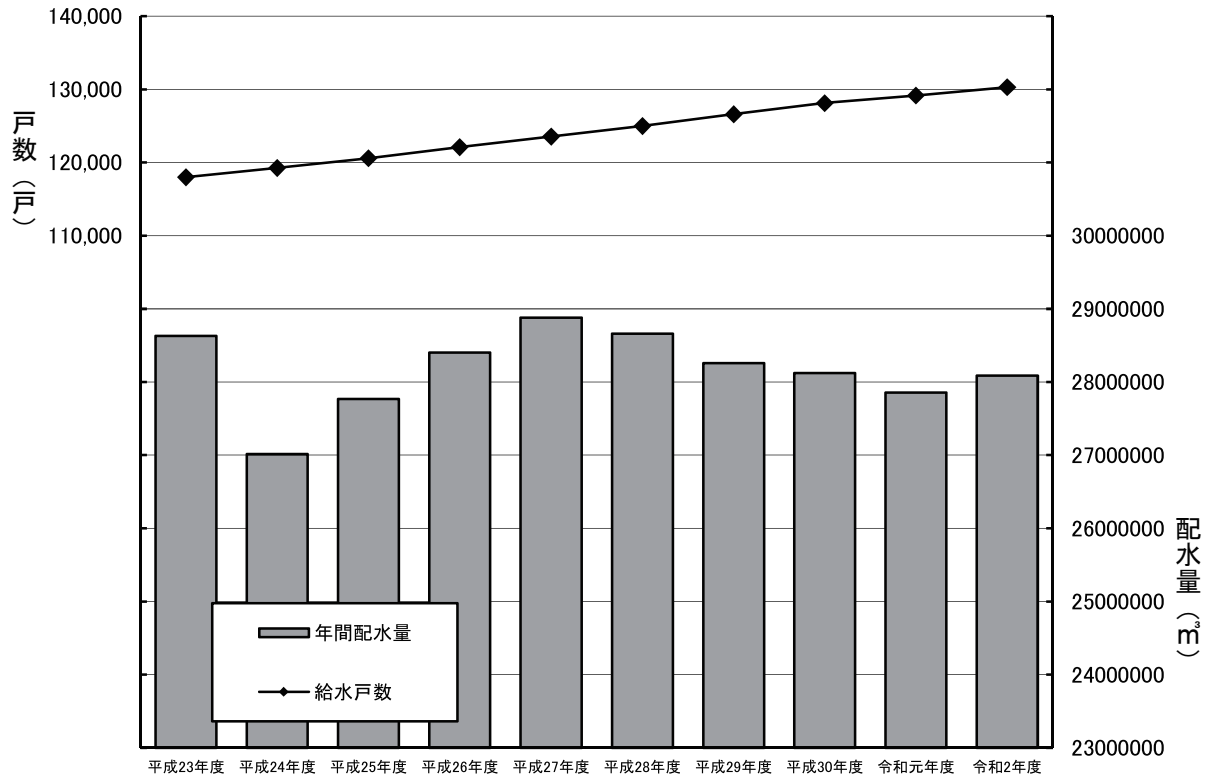
(2)最近10年間の事業推移

① 主要数値の推移

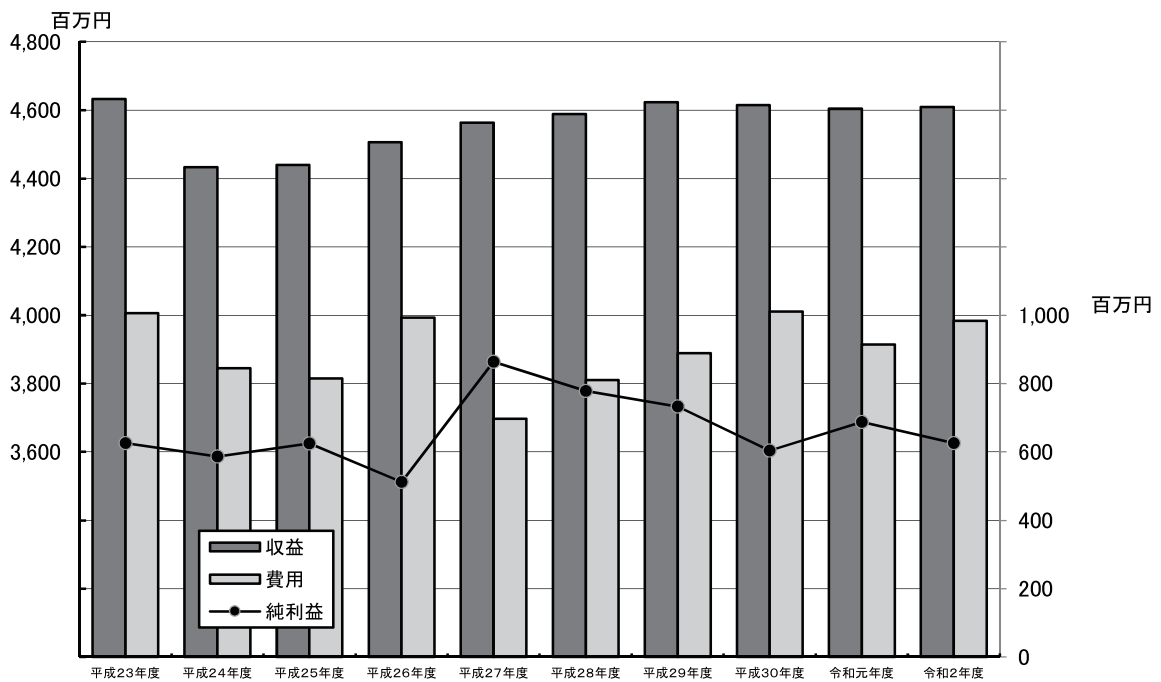
項目	年度 単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		行政区域内人口	人	302,333	304,831	305,214
行政区域内戸数	戸	122,568	125,305	127,031	128,613	130,262
給水区域内人口(A)	人	284,236	286,665	287,167	287,568	287,997
給水区域内戸数	戸	116,460	118,983	120,628	122,080	123,593
給水人口(B)	人	264,198	266,632	267,677	270,745	272,398
給水戸数	戸	117,994	119,261	120,557	122,088	123,536
普及率(B/A)	%	93.0	93.0	93.2	94.1	94.6
年間配水量(E)	m ³	28,630,788	27,013,097	27,769,748	28,400,471	28,878,314
年間有収水量(F)	m ³	26,612,709	25,058,184	24,859,071	24,589,007	24,769,977
有収率(F/E)	%	93.0	92.8	89.5	86.6	85.8
一日最大配水量	m ³	83,320	81,472	84,304	85,394	117,223
		(6月)	(6月)	(7月)	(9月)	(1月)
一日平均配水量	m ³	78,226	74,008	76,082	77,810	78,902
一人一日最大配水量	ℓ	315	306	315	315	430
一人一日平均配水量	ℓ	296	278	284	287	290
導送配水管延長	m	1,247,590	1,252,911	1,292,792	1,309,395	1,332,691
メーター設置個数	個	123,677	125,161	126,553	127,789	129,174
公設消火栓	個	3,261	3,272	3,302	3,329	3,353
総収益	千円	4,632,746	4,433,637	4,440,307	4,506,501	4,563,548
(うち給水収益)	千円	4,395,629	4,308,331	4,292,192	4,242,592	4,274,205
総費用	千円	4,006,268	3,845,638	3,815,178	3,993,675	3,698,901
純利益	千円	626,478	587,999	625,129	512,826	864,647
職員数	人	95	86	81	77	78

平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	伸率(%)		伸率(%)		伸率(%)		伸率(%)		伸率(%)
306,211	0.1	305,581	△ 0.2	304,703	△ 0.3	304,705	0.0	304,079	△ 0.2
132,122	1.4	133,555	1.1	134,537	0.7	136,444	1.4	138,008	1.1
288,204	0.1	287,666	△ 0.2	286,792	△ 0.3	286,881	0.0	286,425	△ 0.2
125,322	1.4	126,643	1.1	127,518	0.7	129,269	1.4	130,777	1.2
273,615	0.4	275,072	0.5	274,939	0.0	275,953	0.4	275,929	0.0
124,966	1.2	126,592	1.3	128,112	1.2	129,119	0.8	130,282	0.9
94.9	0.3	95.6	0.7	95.9	0.3	96.2	0.3	96.3	0.1
28,661,734	△ 0.7	28,255,582	△ 1.4	28,122,187	△ 0.5	27,852,685	△ 1.0	28,089,099	0.8
24,850,712	0.3	24,994,619	0.6	24,893,343	△ 0.4	24,761,182	△ 0.5	25,024,237	1.1
86.7	1.0	88.5	2.1	88.5	0.0	88.9	0.5	89.1	0.2
86,473	△ 26.2	84,526	△ 2.3	85,279	0.9	82,792	△ 2.9	83,377	0.7
(7月)		(7月)		(7月)		(6月)		(9月)	
78,525	△ 0.5	77,413	△ 1.4	77,047	△ 0.5	76,100	△ 1.2	76,956	1.1
316	△ 26.5	307	△ 2.8	310	1.0	300	△ 3.2	302	0.7
287	△ 1.0	281	△ 2.1	280	△ 0.4	276	△ 1.4	279	1.1
1,346,483	1.0	1,353,748	0.5	1,365,850	0.9	1,374,880	0.7	1,393,022	1.3
130,267	0.8	131,941	1.3	133,213	1.0	134,300	0.8	135,190	0.7
3,376	0.7	3,392	0.5	3,403	0.3	3,409	0.2	3,414	0.1
4,589,775	0.6	4,623,221	0.7	4,615,047	△ 0.2	4,604,184	△ 0.2	4,610,816	0.1
4,295,881	0.5	4,321,014	0.6	4,307,607	△ 0.3	4,278,587	△ 0.7	4,282,221	0.1
3,810,971	3.0	3,889,723	2.1	4,011,033	3.1	3,915,640	△ 2.4	3,984,075	1.7
778,804	△ 9.9	733,498	△ 5.8	604,014	△ 17.7	688,544	14.0	626,741	△ 9.0
76	△ 2.6	78	2.6	77	△ 1.3	78	1.3	73	△ 6.4

② 配水量・給水戸数の推移



③ 収益・費用・純利益の推移



(3) 上水道事業計画

事業名	認可年月日 (届出年月日)	着工年月 竣工年月	総事業費 (千円)	計画給水量			計画給水 人口(人)	給水区域
				1人1日 平均 給水量 (ℓ)	1人1日 最大 給水量 (ℓ)	1日 最大 給水量 (m ³)		
創設	大正14年3月31日 内務省丘士第28号	昭和2年1月 昭和4年11月	1,798	110	150	15,000	100,000	市内全域並びに三井郡御井町の一部
第一次拡張事業 (導水、浄水、送水配水 設備)	昭和29年5月11日 厚生省福衛第30号	昭和26年6月 昭和32年10月	191,268	180	250	36,000	144,000	市内一円(小森野、 長門石を除く)並び に城島水道分水
第二次拡張事業 (配水管布設 75mm~250mm)	昭和35年10月19日 厚生省福衛第689号	昭和36年4月 昭和41年3月	293,396	220	280	40,000	144,000	市内一円未給水地 区を重点給水。北茂 安、筑邦に分水
第三次拡張事業 (導水、浄水、配水設備)	昭和39年12月21日 厚生省収環第503号	昭和40年4月 昭和48年3月	1,948,425	293	419	93,000	212,000	市行政区域より善導 寺、大橋及び山間部 の一部を除く区域
第四次拡張事業 (受水施設、配水管布設 50mm~500mm)	昭和50年2月6日 厚生省環第84号	昭和50年4月 昭和56年3月	2,115,671	384	540	116,200	212,000	市行政区域より山間 部の一部を除く区域
浄水場改築事業 (導水、浄水、配水施設)	昭和57年3月31日 厚生省環第221号	昭和57年4月 昭和61年3月	7,577,000	392	534	118,200	219,300	市行政区域より山間 部の一部を除く区域
第五次拡張事業 (受水施設、配水施設)	昭和59年5月8日 厚生省環第277号	昭和59年5月 平成2年3月	4,968,000	394	539	126,800	233,400	市行政区域より山間 部の一部を除く区域
施設整備事業 (基幹施設整備)	平成12年7月27日 厚生省収生衛第791号	平成12年9月 平成27年3月	11,961,180	398	517	135,800	262,500	市行政区域より山間 部の一部を除く区域 及び八女郡広川町 大字藤田の一部
	平成17年1月15日 事業変更届認可値 (合併に伴う届出値)	平成12年9月 平成27年3月	14,252,420	(383) (343)	(498) (464)	(145,800) (124,700)	(293,000) (269,000)	市行政区域(田主 丸、北野、三瀬の一 部及び山間部の一 部を除く)及び八女 郡広川町大字藤田 の一部
第六次拡張事業 (給水区域拡張)	平成20年8月26日 事業変更届認可値	平成20年8月 平成30年3月	7,767,000	388	509	145,800	286,700	市行政区域(北野、 三瀬の一部及び山 間部の一部を除く)、 八女郡広川町大字 藤田の一部及びうき は市鷹取の一部

(4) 分水の推移

① 城島水道株式会社への分水

城島水道株式会社は、大正12年2月、国内でも数少ない水道株式会社として、酒の醸造用水及び町民の一部を対象とした飲料水の供給のために、筑後川(三瀧町草場)より取水し給水していました。

ところが、筑後川の改修工事が計画され、取水口が筑後川本流から遮断され支流化し取水不能となり、水道用水の確保が危惧されるため、大正15年7月内務大臣宛救済を陳情していました。

この間、久留米市が大正14年3月布設許可を得て昭和5年1月から給水を開始したため、久留米市上水道に水源を求めることになり、内務大臣の許可を得て久留米市境界(現在の津福今町)より安武村、大善寺村、三瀧村を経る配水管布設工事を行い、1か月 10,000 m³の分水の契約を結び、昭和11年3月から分水を開始しました。

昭和46年8月31日、城島町が城島水道株式会社の給水区域を含め水道事業創設許可を得て、会社との協議に基づき経営を引き継ぎ、昭和52年4月から久留米広域上水道企業団より用水の供給を受け給水を開始するようになりました。そのため、久留米市は昭和52年3月31日をもって41年間にわたる城島水道株式会社への分水を中止しました。しかし、城島町が引き継いだ城島水道株式会社の給水区域の配水管が古く、城島町の配水管との連結ができないため、久留米市は城島町と契約を結び減圧を行って分水してきましたが、配水管網の整備完了に伴い、昭和52年8月23日をもって城島町への分水を中止しました。

② 旧筑邦町(荒木簡易水道)への分水

筑邦町の荒木簡易水道は、飲料水の確保のため地下水を水源として昭和32年4月から荒木及び白口に給水を開始しました。また安武簡易水道も地下水を水源として昭和34年4月から安武本、武島及び住吉の一部に給水を開始しました。

その後、両簡易水道とも順調に運営されていましたが、荒木簡易水道は地域産業の発達や給水人口の増加等により施

設拡張を行うことになったので、この水源として久留米市は昭和39年12月から1日 300 m³の分水を開始しました。

昭和42年2月1日、旧筑邦町(荒木町、安武町、大善寺町)は久留米市に編入され、両簡易水道は引き続き簡易水道として運営されることになりましたが、安武簡易水道は地下水源に鉄分が多いため、上水道からの給水に変更しました。その後、昭和43年11月より荒木簡易水道は上水道へ統合されました。

③ 北茂安町への分水

昭和33年2月久留米市と筑後川をはさみ対岸にある佐賀県三養基郡北茂安村は、同北茂安村大字江口並びに大字白壁、東尾の一部に簡易水道建設を予定し着工しました。当該地区は水質が悪く、飲用に適した地下水を得る見込みがないため、久留米市上水道に水源を求めることになりました。

そこで、大石町より豆津橋を経由する配水管布設工事を行い、昭和34年4月から1日 218 m³の久留米市からの分水を開始しました。

一方、昭和50年4月1日に水道用水供給事業を共同処理するため北茂安町を含む13市町村で構成された佐賀東部水道企業団が発足しました。7町村の水道事業が昭和56年1月10日から佐賀東部水道企業団へ移管統合されたので、北茂安町への分水契約は同企業団との分水契約に変更されました。その後、昭和60年1月26日の同企業団の供給開始により、久留米市からの分水を中止しました。

④ 広川町への分水

広川町は、久留米都市圏のベッドタウン化の傾向が見られ、住宅団地が造成されました。更に広川中核工業団地も造成されたことから、ますます生活基盤整備としての上水供給の要望が高まりました。

また、久留米・鳥栖テクノポリス圏域における産業の立地拠点として位置づけられたことに伴い、企業誘致に必要な条件として水供給は不可欠であり、この対策として広川町において簡易水道事業を実施することになりました。その水源として久留米市に対し水供給の要請がなされ、昭和59年2月22日に1日 1,000 m³の分水契約を締結し、昭和60年6月1日から分水を開始しました。平成2年4月1日には1日 3,000 m³に契約を変更しました。

平成元年10月1日に広川町は福岡県南広域水道企業団に加入し、平成5年4月1日からの供給開始により同年3月31日、久留米市からの分水を中止しました。

しかし、久留米市と広川町の行政境における住民への水道供給を確保するため、平成6年6月24日に1日最大 100 m³の分水契約を締結し分水を再開しました。

⑤ 三潁町への分水

三潁町の西牟田地域における出水不良の解消のため、三潁町の要請に応じて平成14年10月1日に1日平均 250 m³、1日最大 1,000 m³の協定を締結し、分水を行っていました。しかし、平成17年2年5日の広域合併により水道事業を統合し、久留米市の給水区域となりました。

⑥ 大木町への分水

平成17年2月5日の広域合併により、久留米市の給水区域となった三潁・城島地区における安定給水を図るため、老朽化した両地区の既存配水場を統合し、新たに西部配水場を建設しました。この西部配水場の建設にあたっては隣接する大木町も建設に参画し、共同配水場として運用を行っています。このことにより、久留米市及び大木町は福岡県南広域水道企業団から送水を受けた水の一体的運用（相互融通）が可能となりました。平成20年4月の同配水

場の運用開始に伴い久留米市と大木町の間で締結した協定に基づき、大木町の水需要が一定量を超えるときは、久留米市から1日最大 2,200 m³の分水を行うこととしています。

(5) 広域上水道

① 福岡県南広域水道企業団

福岡県南広域水道企業団は、福岡県南部いわゆる筑後川中下流域住民の生活用水の安定確保を図るため、昭和45年10月設立された「久留米広域市町村圏事務組合」の中で生活環境施設の根幹事業として検討され、昭和46年10月30日福岡県知事の許可を得て久留米市、大川市、筑後市、北野町、城島町、大木町、三潁町の3市4町により「久留米広域上水道企業団」として設立されました。昭和48年3月30日には柳川市が加入し、同年3月31日に厚生大臣より「久留米広域上水道用水供給事業」が認可され昭和51年6月1日に久留米市水道からの分水により、久留米市、城島町を除く3市3町に臨時給水を開始しました。

翌、昭和52年4月1日には、既加入の北野町が小郡市、大刀洗町と共に「三井水道企業団」を設立し加入しました。久留米広域上水道企業団は同年6月1日、筑後川からの取水による本格的供給を開始しました。

さらに、昭和58年1月19日には、数年来加入要望の強かった大牟田市、大和町、高田町、平成元年10月1日には八女市、広川町、立花町が加入し、構成団体は6市7町1企業団となりました。これら加入団体の増加に伴い、平成元年10月1日をもって名称を「福岡県南広域水道企業団」と変更し運営を行っています。

福岡県南広域水道企業団の水源として、江川ダム、寺内ダム、合所ダム、筑後大堰、大山ダムおよび小石原川ダムがあります。

(イ)第一期拡張事業

第一期拡張事業は、大牟田系送水施設、藤山系送水施設、新規水配分等に伴う施設の拡充を目的として昭和58年度から昭和62年度までの5か年の継続事業として総事業費9,779,657千円で行いました。これにより大牟田系送水施設については、昭和61年7月1日から大牟田市、大和町、高田町へ送水を開始しました。藤山系送水施設は、昭和62年10月1日より送水を開始しました。

(ロ)第二期拡張事業

第二期拡張事業は、既存団体における今後の新規水源確保、新規加入1市2町(八女市・広川町・立花町)の水源確保及び新規加入に伴う給水対象地域の拡大と新規水源の確保に対する施設整備を目的に、平成元年度から平成21年度までの21か年継続事業として総事業費36,891,000千円をかけ施工を行っていました。しかし、甘木市と筑前町の加入に伴い平成17年3月25日に厚生労働大臣の認可を受け、一日最大供給量157,640m³/日、総事業費41,416,000千円に変更しています。

平成25年度には送水管を布設する道路及び橋梁整備の遅れに伴う送水管布設工事の工期見直し及び水需要の増加に対応するための送水管の二重化工事の実施等により、工期を令和元年度までに延長し、総事業費を48,223,000千円に変更しました。また、平成29年度には送水管布設ルートの見直し及び一部区間の工法変更等により、工期を令和4年度までに延長し、総事業費を51,897,000千円に変更しました。さらに、令和2年度には、平成29年度時点で想定した布設条件との相違(埋設深度の増大など)による工事費の増などにより、総事業費を53,000,000千円に変更しました。

【主な施設整備】

- 東楡原系第二導水管
- 八女水源施設
- 荒木浄水場浄水施設の増設
- 送水連絡管及び高田調整池
- 藤山系藤山調整池及び立花系送水管
- 朝倉系及び甘木山系送水管

(ハ)第三期拡張事業

将来の水需要の増大に対処するため、小石原川ダムを新規水源とした第三期拡張事業について、平成29年10月5日に厚生労働大臣からの認可を受け、平成30年度から令和8年度までの9か年継続事業として総事業費7,756,038千円をかけ施工を行っています。

【主な施設整備(予定)】

- 東楡原取水場導水ポンプ増設
- 荒木浄水場浄水施設の増強
- 藤山系送水管増設
- 筑後系送水管増設

●水利権

江川ダム・寺内ダム	67,140 m ³ /日
合所ダム	13,140 m ³ /日
筑後大堰	13,500 m ³ /日
大山ダム	61,080 m ³ /日
小石原川ダム	50,420 m ³ /日
計	205,280 m ³ /日

●供給能力

現在供給能力	157,640 m ³ /日
計画供給能力	186,700 m ³ /日

基本水量内訳

受水団体	基本水量 m ³ /日
久留米市	46,790
大川市	16,740
筑後市	9,440
柳川市	27,790
大牟田市	21,500
八女市	11,070
朝倉市	7,700
みやま市	5,000
大木町	4,660
広川町	6,800
筑前町	6,340
三井水道企業団	22,840
計	186,670

② 筑後地域広域的水道整備計画

水道事業が直面している水源の確保、料金格差是正、水質管理等の問題を広域的、計画的な水道整備により解決を図るために、昭和52年6月水道法が改正され、新たに広域的水道整備計画についての規定が設けられました。

すなわち、都道府県知事、関係地方公共団体の要請により、水道の広域的な整備に関する基本計画を定め、この計画を軸として水道行政の広域化を推進することになりました。

福岡県では、県内を、北九州地域、福岡地域、筑豊地域、筑後地域、の4ブロックに区分した広域生活圏を単位として計画が進められ、まず、福岡地域について昭和56年3月に「福岡地域広域的水道整備計画」が策定され、筑後地域においては、本市を含む7市16町1村を計画区域とする「筑後地域広域的水道整備計画」が昭和58年2月に策定されました。

この計画は、福岡県南広域水道企業団を核として、水道の広域的な整備を計画的に推進し、筑後地域における安全で安定的な給水の確保を図るものです。

平成14年12月に水道整備の効率性、自然的・経済的な一体性等の面で筑後地域として広域的な水道整備を行うことが合理的であると考えられることから、甘木・朝倉地区を含めた筑後地区31市町村を対象として新たに策定されました。

○計画区域(8市20町3村)

久留米市、大牟田市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、小郡市、甘木市、杷木町、朝倉町、三輪町、夜須町、小石原村、宝珠山村、吉井町、田主丸町、浮羽町、北野町、大刀洗町、城島町、大木町、三潨町、黒木町、立花町、広川町、矢部村、瀬高町、大和町、三橋町、山川町、高田町 ※策定時の市町村名で記載しています

○計画期間 平成14年度から令和2年度まで

○需要水量と供給水量(令和2年度計画値)

給水人口 841 千人

1日最大需要水量 367 千 m^3 /日

供給(見込)水量 331 千 m^3 /日

不足水量 36 千 m^3 /日

供給水源については、小石原川ダムの開発により需要水量に対する供給水量を確保できる見通しです。

③ 水道広域化推進プラン

水道事業の基盤強化を目的とし、令和元年10月に施行された改正水道法において、国から都道府県に対して、令和4年度までに「水道広域化推進プラン」を策定することが求められており、福岡県においても、広域化等に向けた検討が具体的に進められています。「水道広域化推進プラン」の動向を注視し、最適な広域化の形態について研究・調査を行っていく必要があります。

(6) 公益社団法人日本水道協会

社団法人日本水道協会は、水道の普及とその健全な発達を図ることを目的とし、上水協議会を前身として昭和7年5月12日に内務省の許可を得て設立され、昭和31年に社団法人日本水道協会と改称し、平成25年には公益社団法人日本水道協会へ移行されました。

水道事業者等による正会員(1,337会員)、水道についての学識経験者等による特別会員(354会員)、水道事業に密接に関係がある者による賛助会員(568会員)及び名誉会員(6会員)で組織されています。(令和3年1月現在)

その主な事業は次のとおりです。

- ・水道についての諸般の調査研究
- ・水道用品の規格についての調査研究
- ・委託による水道用品の検査
- ・政府その他に請願、建議等をする
- ・機関雑誌その他水道の参考図書を刊行

令和3年度 水道週間図画作品展 優秀作品



優秀賞 金丸小学校 吉福 ことはさん

2 施設概要

(1) 浄水・配水等設備

- ① 配水形態
- ② 放光寺浄水場系統
- ③ 藤山配水系統
- ④ 西部配水系統
- ⑤ 石垣配水系統
- ⑥ 水処理工程図

(2) 給水設備

- ① 配水管布設延長状況

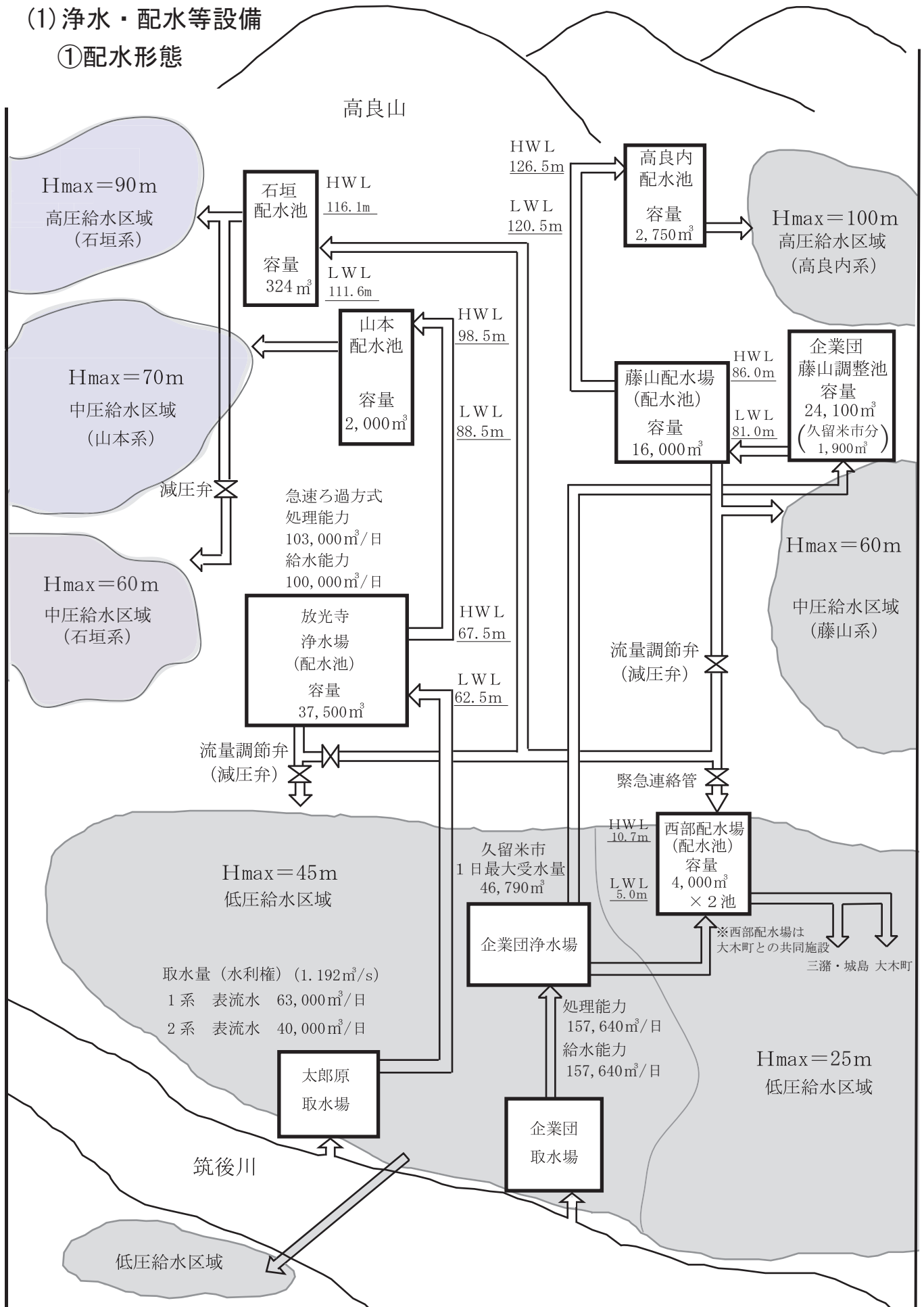
(3) 給水区域図

- ① 久留米地区
- ② 城島・三潴地区
- ③ 田主丸地区

2 施設概要

(1) 浄水・配水等設備

① 配水形態



② 放光寺浄水場系統

施設	施設名称	概要	備考
取水施設	堤外水路	鉄筋コンクリート造り 幅3.2m 深さ4.2m 長さ33.2m	2条
	取水樋門	電動ステンレス鋼製ゲート 口径1.35m	2門
	取水樋管	ダクタイル鋳鉄管 口径1.35m 長さ73.8m	2条
	接合井	鉄筋コンクリート造り 幅3.55m 深さ8.85m 長さ7.90m 取水樋管制水ゲート 口径1.35m 2門 1系分水樋管制水ゲート 口径1.20m 1門	1井
	除塵井	鉄筋コンクリート造り 幅3.0m 深さ14.6m 長さ6.0m	1井
	分水樋管	ダクタイル鋳鉄管 口径1.2m 長さ32.4m	1条
	沈砂池	鉄筋コンクリート造り 1系 幅3.5m 長さ29.5m 深さ4.0m 2系 幅3.5m 長さ32.1m 深さ4.5m	2池 2池
	天日乾燥施設	コンクリート重力式擁壁構造 幅23.85m 長さ41.58m 高さ0.86m(平均) 容量852.8m ³	1池
	魚類監視装置	魚の活動量による水質監視装置	1式
	散気管装置	ブローア 吐出力5.43m ³ /分 定格出力11kW 散気管56本	1式
	ITV設備	カメラ3台 モニター1台(無線)	1式
	水質計器	電導度計・濁度計・アンモニア計・油分計・UV計・塩素要求量計	各1台
	導水施設	ポンプ井	鉄筋コンクリート造り 1系 幅13.00m 長さ5.30m 深さ14.55m 2系 幅12.70m 長さ5.30m 深さ5.80m
ポンプ室		鉄筋コンクリート造り(地上1階・地下1階) 1系 延べ面積374.55m ² 2系 延べ面積652.15m ²	2棟
取水ポンプ		両吸込み渦巻きポンプ(型式DV-CH・CDm) 1系 吐出力10.98m ³ /分 揚程84m 定格出力220kW 2系 吐出力9.26m ³ /分 揚程80m 定格出力170kW	5台 4台
非常用動力機関		1系ディーゼル機関 4・5号機(ラジエター式) 燃料地上タンク 鋼板製1,950L	2台 1基
非常用発電機		ガスタービンエンジン (型式PU-1250-B-ER)900kVA 燃料地下タンク 鋼板製5,000L	1台 1基
導水管		1系DCIP管 管口径800mm 延長2,240m 2系DCIP管 管口径800mm 延長2,357m	1条 1条
流量計		1系超音波流量計 FUR800 0~3,500m ³ /時 2系超音波流量計 FUR800 0~2,000m ³ /時	1台 1台
浄水施設	粉末活性炭注入設備	鉄骨造PC板張り(2階建て)延べ面積284.4m ² 注入ポンプ 一軸偏心ポンプ 吐出力23~1,067L/時 溶解槽 鉄筋コンクリート41m ³ 攪拌機 二段バドル式 定格出力5.5kW	1棟 3台 2槽 2台
	着水井	鉄筋コンクリート造り 1系 幅4.0m 長さ8.0m 深さ3.0m 容量96m ³ 2系 幅4.0m 長さ13.8m 深さ3.8m 容量209m ³	1池 1池
	混和池	鉄筋コンクリート造り 2系 幅4.0m 長さ4.0m 深さ3.8m 容量60.8m ³ 攪拌機 サイクロ減速機29.6rpm 1,200Φ 定格出力3.7kW	1池 1台
	フロック形成池	2系 鉄筋コンクリート造り 幅14.0m 長さ3.5m 深さ4.1m 容量200.9m ³ フロキュレーター 3段 定格出力7.5kW 2.2kW 0.75kW	2池 各2台
	横流式沈澱池	2系 鉄筋コンクリート造り(傾斜板入り) 幅14.00m 長さ33.95m 深さ4.95m 容量2,353m ³ 排泥装置 リンクベルト式掻寄機 定格出力2.2kW	2池 4台

浄水施設	高速凝集沈殿池	1系 鉄筋コンクリート造り (傾斜管入り) 幅20.0m 長さ26.0m 深さ4.3m 容量2,236m ³ 真空ポンプ1,000mmHg 定格出力7.5kW	2池 3台
	中塩混合井	鉄筋コンクリート造り 幅4.2m 長さ10.2m 深さ4.8m 容量205.6m ³ 攪拌機 サイクロ減速機29.6rpm 1,100Φ 定格出力3.7kW	1池 1台
	急速ろ過池	鉄筋コンクリート造り ろ過面積75.6m ² 幅10.6m 長さ8.3m 深さ2.7m	14池
	薬品注入棟	鉄筋コンクリート造り (平屋建て) 延べ面積343.6m ²	1棟
	PAC注入設備	PAC貯槽 (PE製) 容量20m ³ 注入ポンプ 吐出量2~150L/時 定格出力0.4kW 後PAC注入ポンプ (ダイヤフラム式) 吐出量0.3~30L/時	3槽 3台 2台
	次亜塩素酸ナトリウム注入設備	NaClO貯槽 (PE製) 容量15m ³ 前塩注入ポンプ 吐出量1.9~172L/時 中塩注入ポンプ 吐出量3.6~296L/時 後塩注入ポンプ 吐出量1.0~95L/時	3槽 3台 2台 2台
	苛性ソーダ注入設備	NaOH貯槽 (SUS製) 容量10m ³ 注入ポンプ 吐出量2.0~150L/時 攪拌機 定格出力0.4kW	2槽 2台
	酸注入設備	鉄筋コンクリート造り 67.62m ² 硫酸貯槽 (SS製、内面ETFEライニング) 容量2m ³ 注入ポンプ 吐出量0.012~0.375L/分 定格出力0.4kW	1棟 2槽 3台
	後塩混合井	幅8.0m 長さ8.9m 深さ4.5m 容量320.4m ³	1池
	洗浄水槽	PCタンク 内径18.0m 水深7.1m 容量1,800m ³ ポンプ型式DV 揚水量5.5m ³ /分 揚程30m	1槽 2台
	水質計器	濁度計14台・PH計7台・アルカリ度計2台 残塩計10台・水温計1台・粒子計1台・UV計1台	1式
	受電設備	高圧6,600V受電式 (屋外・1回線)	1式
	非常用発電機	ディーゼルエンジン 型式LX-M-35ZL-4-400kVA 二重殻燃料地下タンク 3,000L	1台 1基
	制御用計算機	POC (プロセスオペレーターズコンソール) PCS (制御ステーション) 二重化 TC/Tm用PCS シングル 大型スクリーン 70インチ 制御LAN μΣ Network-100 二重化リング ファイルサーバー 二重化 リモートPOC (水道本庁)	3台 2台 1台 2面 1式 1台 1台
	ITV設備	モニターカメラ (ズーム付3台) 5台 モニター5台	1式
	展示棟	鉄筋コンクリート造り (地下1階・地上2階) 地下: 後塩混合井 1階: 水質計器室 2階: 展示室 延べ面積167.04m ²	1棟
	管理本館	鉄筋コンクリート造り (地下1階・地上2階) 延べ面積1,813.03m ²	1棟
	事務所	パソコン室、書庫、倉庫 延べ面積939.23m ²	-
	水質試験室	分析、理化学、その他 延べ面積401.1m ²	-
	中央管理室	コントローラー室、ミーティングルーム 延べ面積204.8m ²	-
アクアホール	施設見学及び学習ホール 延べ面積140.0m ²	-	
電気室	受変電設備室 延べ面積146.4m ²	-	
配水施設	配水池	鉄筋コンクリート造り 1系 幅35.0m 長さ52.7m 深さ5.0m 容量 8,750m ³ 2系 幅36.4m 長さ48.0m 深さ5.8m 容量10,000m ³	2池 2池
	山本送水ポンプ	HOV型渦巻ポンプ 吐出量4.167m ³ /分 揚程50m 定格出力55kW	2台
	超音波流量計	管径900mm 0~4,000m ³ /時	2台
	流量調節弁室	鉄筋コンクリート造り (1・2系共) 延べ面積29m ² 型式逆洗型900mm 電動キャピレスバルブ	2台
山本配水池	配水池	鉄筋コンクリート造り 内径16.5m 深さ10.0m 容量2,000m ³	1池
	追塩設備	注入ポンプ (ダイヤフラム式) 吐出量0.03~1.8L/時	2台
	水質計器	残留塩素計	1台

排水処理	排水槽	鉄筋コンクリート造り (1・2系共) 幅12m 長さ16m 深さ3m 容量576m ³	4池
	排水槽水中ポンプ	吐出量1.25m ³ /分 定格出力5.5kW	8台
	雨水返送ポンプ	1系 吐出量4.7m ³ /分 定格出力22kW 2系 吐出量6.5m ³ /分 定格出力37kW	2台 2台
	1次・2次濃縮槽	鉄筋コンクリート造り (1・2系共) 幅14.5m 長さ14.5m 深さ4.5m 容量946m ³	4槽
	排泥槽	鉄筋コンクリート造り (1・2系共) 幅4.5m 長さ4.5m 深さ4m (有効3.2m) 容量64.8m ³	2池
	汚泥貯槽	鉄筋コンクリート造り (1・2系共) 幅6m 長さ5m 深さ4m (有効3.5m) 容量105m ³	2池
	汚泥貯留槽	鉄筋コンクリート造り 幅4m 長さ4m 深さ2.25m 容量36m ³	1槽
	返送水槽	PC造り (内径8.2m 深さ10.0m) 容量500m ³ 返送水ポンプ 吐出量3.83m ³ /分 定格出力45kW	1槽 2台
	汚泥濃縮機	濃縮筒ろ布53Φ 長さ1,600mm モジュール185本	4基
	濃縮汚泥貯槽	鉄筋コンクリート造り 幅4m 長さ4m 深さ3.25m 容量52m ³	1槽
	濃縮汚泥貯留槽	鉄筋コンクリート造り 幅5m 長さ5m 深さ3m 容量75m ³	1槽
	加圧脱水機	無薬注加圧脱水方式 (短時間形) ろ過面積218m ² ろ過速度1.34kg-DS/m ² ・時	1台
	低区雨水樹	鉄筋コンクリート造り 幅5.0m 長さ6.0m 深さ5.2m 容量135m ³	1槽
	低区雨水樹ポンプ	吐出量1.7m ³ /分 定格出力5.5kW	1台
	処理棟	鉄骨瓦葺き 2階建て 延べ面積823m ²	1棟
ケーキヤード	鉄骨フィルムハウス 1階建て 延べ面積300m ²	1棟	

③ 藤山配水系統

施設	施設名称	概要	備考
藤山配水場	配水池	鉄筋コンクリート造り 幅48.4m 長さ34.8m 深さ5.0m 容量8,000m ³	2池
	ポンプ室	鉄筋コンクリート造り(地上1階地下1階) 延べ面積245m ²	1棟
	送水ポンプ	両吸込渦巻ポンプ 吐出量5.5m ³ /分 定格出力75kW 全揚程55m 250×200	2台
	追塩設備	貯槽(PE製)6m ³ 注入ポンプ 吐出量0~0.3L/分 定格出力0.2kW 予備注入ポンプ 吐出量0~0.4L/分 定格出力0.4kW	2槽 2台 1台
	非常用発電機	ガスタービンエンジン 型式PU-250S-B-CR 440V 250kVA 燃料地下タンク 鋼板製1,950L	1式 1基
	超音波流量計	管径700mm 0~3,000m ³ /時	1台
	ITV設備	カメラ1台 モニター1台 NTT回線	1式
	水質計器	残塩計2台	1式
高良内配水池	配水池	1号配水池 SUS造り(幅16m 深さ7m 長さ8m) 容量 750m ³ 2号配水池 PC造り (内径20.9m 深さ6.8m) 容量 2,000m ³	2池
	超音波流量計	管径350mm 0~500m ³ /時	1台
	ITV設備	カメラ1台 NTT回線	1式
上津流量調節弁室	弁室	鉄筋コンクリート造り 延べ面積29m ²	1棟
	流量調節弁	型式逆洗型500mm 電動キャピレスバルブ	1式
	超音波流量計	管径900mm 0~2,000m ³ /時	1台
福岡県南広域水道 企業団藤山調整池	調整池	鉄筋コンクリート造り 底面積4,725m ² 深さ5.1m 容量24,100m ³ (内久留米市分1,900m ³)	1池

④ 西部配水系統

施設	施設名称	概要	備考
西部配水場	配水池	プレストレストコンクリート構造 直径29.2m 高さ6.0m 容量4,000m ³	2池
	管理棟	鉄筋コンクリート構造 地下1階・地上1階 延べ面積533.37m ²	1棟
	配水ポンプ	HOV形渦巻ポンプ 吐出量6.0m ³ /分 揚程6.2m 定格出力90kW インバータモーター	4台
	非常用発電機	ディーゼル発電機 375kVA 400V 燃料貯留槽 鋼板製1,500L	1台 1基
	追塩設備	貯槽(PE製)1,000L 注入ポンプ(ダイヤフラム式) 吐出量0.3~6.0L/時	2槽 2台
	電磁流量計	配水流量計 管径 350mm 0~2,000m ³ /時 緊急連絡管流量計 管径 200mm 0~500m ³ /時	2台
	侵入監視装置	ITV設備 赤外線センサー Web監視	1式
下田配水場	ポンプ室	鉄筋コンクリート造り 延べ面積17m ²	1棟
	配水ポンプ	3段渦巻ポンプ 吐出量0.34m ³ /分 揚程4.1m 定格出力5.5kW	3台
	追塩設備	貯槽(PV製)100L 注入ポンプ 型式EP21-5	1基 1台
	非常用発電機	ディーゼル発電機(型式P2-30)40kVA	1台

⑤ 石垣配水系統

施設	施設名称	概要	備考
石垣配水池	配水池	SUS構造 幅9m 長さ8m 高さ5m 容量324m ³ 2槽式	1池
	追塩設備	貯槽(PE製)100L 注入ポンプ(ダイヤフラム式) 吐出量最大0.75~1.5L/時	2槽 2台
	電磁流量計	配水流量計 管径 150mm 0~200m ³ /時	1台
	侵入監視装置	ITV設備 赤外線センサー Web監視	1式
	非常用発電機	ディーゼル発電機(型式DCA-15LSX)15kVA	1台
石垣ポンプ場	ポンプ室	鉄筋コンクリート造り 延べ面積99m ²	1棟
	送水ポンプ	タービンポンプ 吐出量0.82m ³ /分 揚程70m 定格出力15kW	2台
	非常用発電機	ディーゼル発電機(型式AP95C)65kVA	1台

令和3年度 水道週間図画作品展 優秀作品

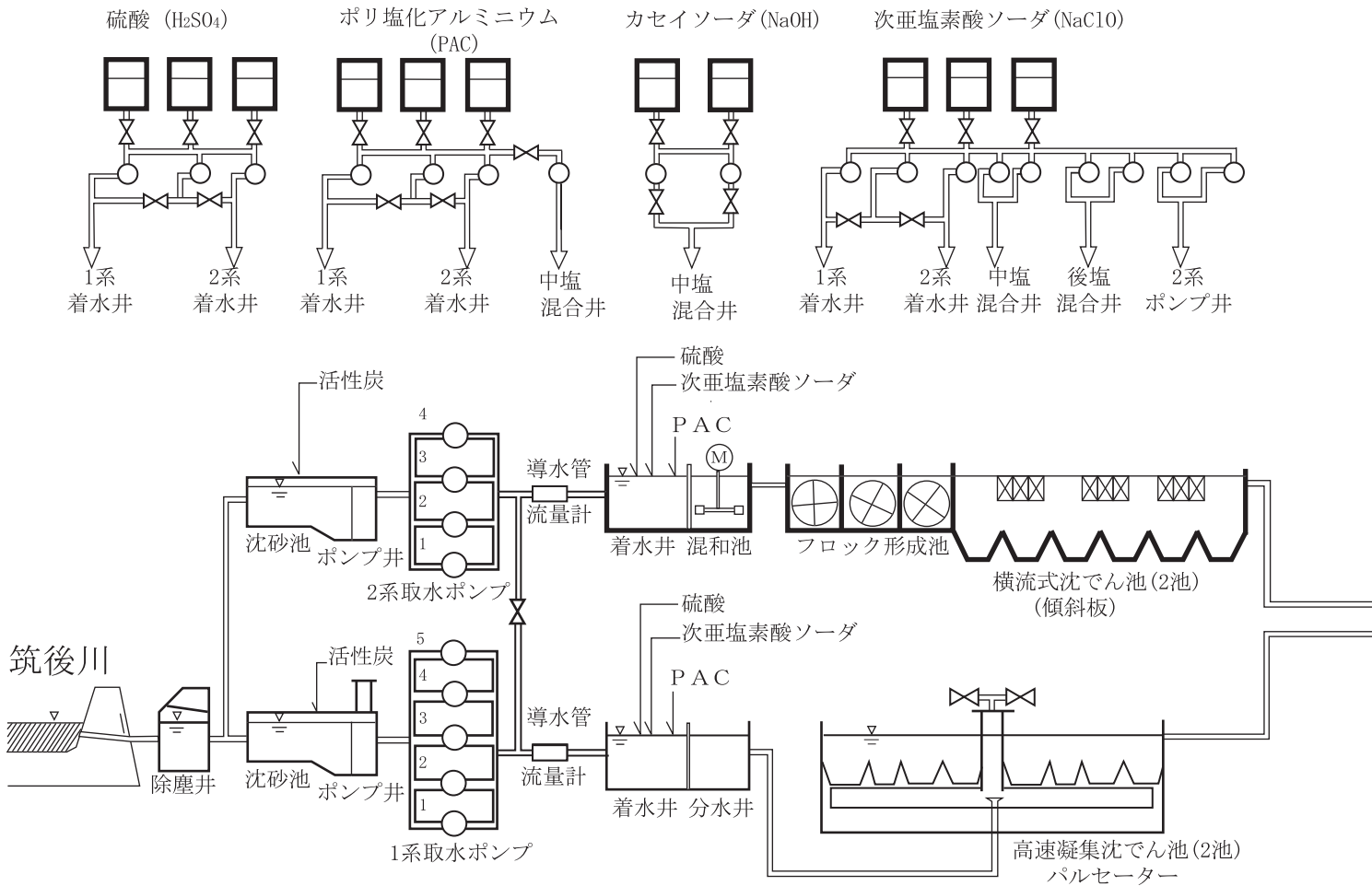
2



優秀賞 大善寺小学校 白濱 咲彩さん

⑥水処理工程図

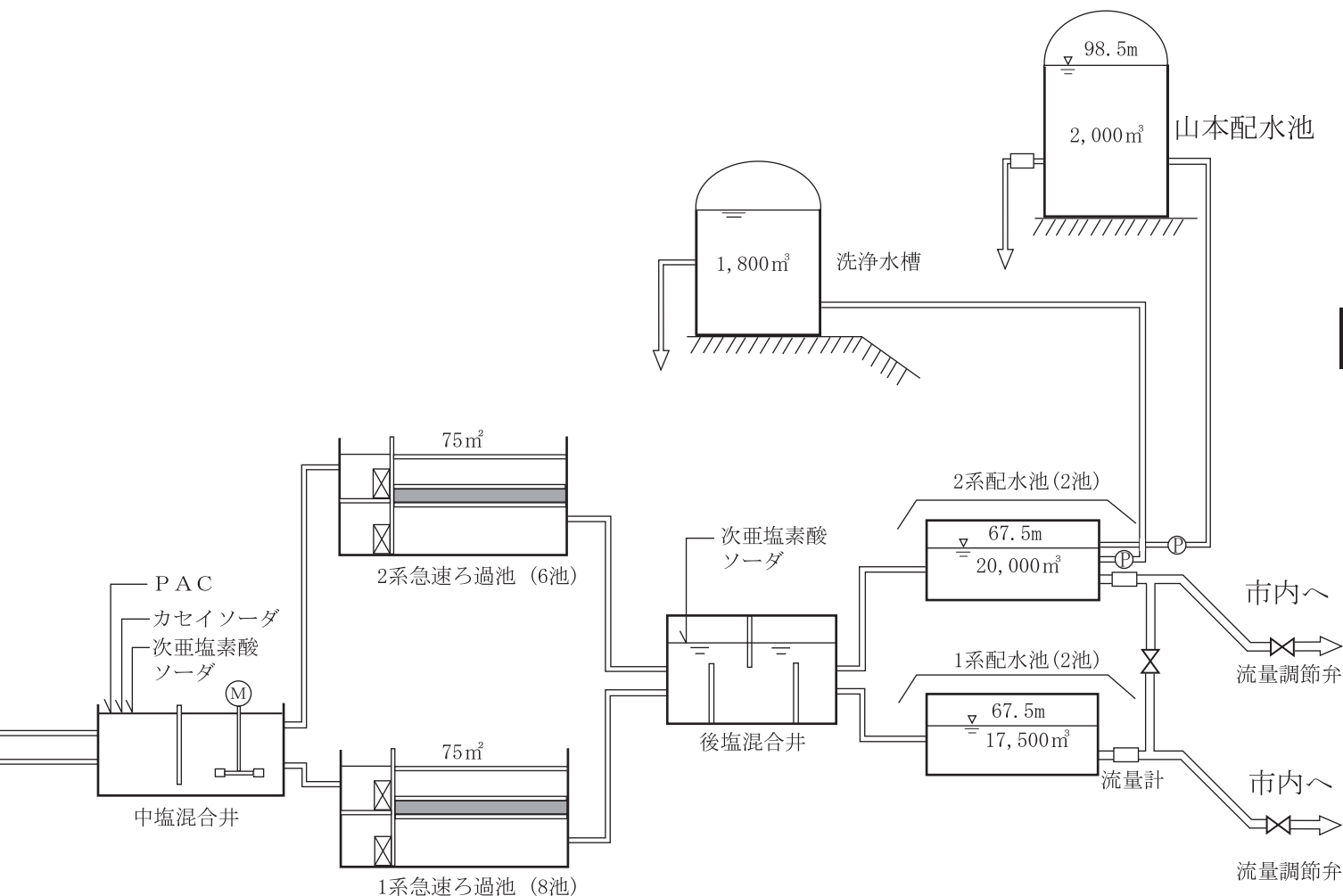
放光寺浄水場



取水施設 導水施設

<p>筑後川に設置した堤外水路より河川表流水を取水樋管により提内取水場へ導き、接合井にて1系、2系に分水し各々の沈砂池で河川水に浮遊する小さな砂を沈殿させます。 粉末活性炭を各々のポンプ井に注入し、藻臭やカビ臭等の臭いと有機物や農薬等を除去します。</p> <p>取水樋管 口径 1,350mm 2条</p>	<p>浮遊するゴミや砂を取り除いた水は各々のポンプ井に導かれ1系、2系ポンプにて各々の導水管を通し約2.5km離れた浄水場へ送ります。</p> <p>1系 5台 取水ポンプ 220kW (10.98m^3/min・台) 2系 4台 取水ポンプ 170kW (9.26m^3/min・台)</p> <p>導水管 口径800mm 2条</p>
--	---

1系・・・第三次拡張事業 2系・・・浄水場改築事業



浄水施設 送水施設 配水施設

<p>1系、2系着水井各々に送られてくる水量を測定し、原水PHを適正凝集域へ移行させるための酸（硫酸）及び、原水中に含まれる濁質物を除去するための凝集剤（ポリ塩化アルミニウム）を注入します。薬品注入された水は高速凝集沈でん池と横流式沈でん池で強制的に除濁し中塩混合井に送られます。中塩混合井にて鉄、マンガン等を除去するため塩素剤（次亜塩素酸ソーダ）を注入し1系、2系各急速ろ過池（2層ろ過池：砂、アンフラサイト）でろ過し、後塩混合井へ集め、更に塩素剤で消毒します。また、中塩混合井にてアルカリ剤（苛性ソーダ）を注入し、浄水PHのコントロールを行っています。</p>	<p>後塩混合井と配水池を直結する施設で自然流下により1系、2系配水池へ送水します。 管径 1,000mm " 1,200mm</p>	<p>飲料水となった水は配水池で需要家へ供給するのに必要な水を調整貯水し自然流下により配水管を通してお客様へ給水されます。</p>
--	---	---

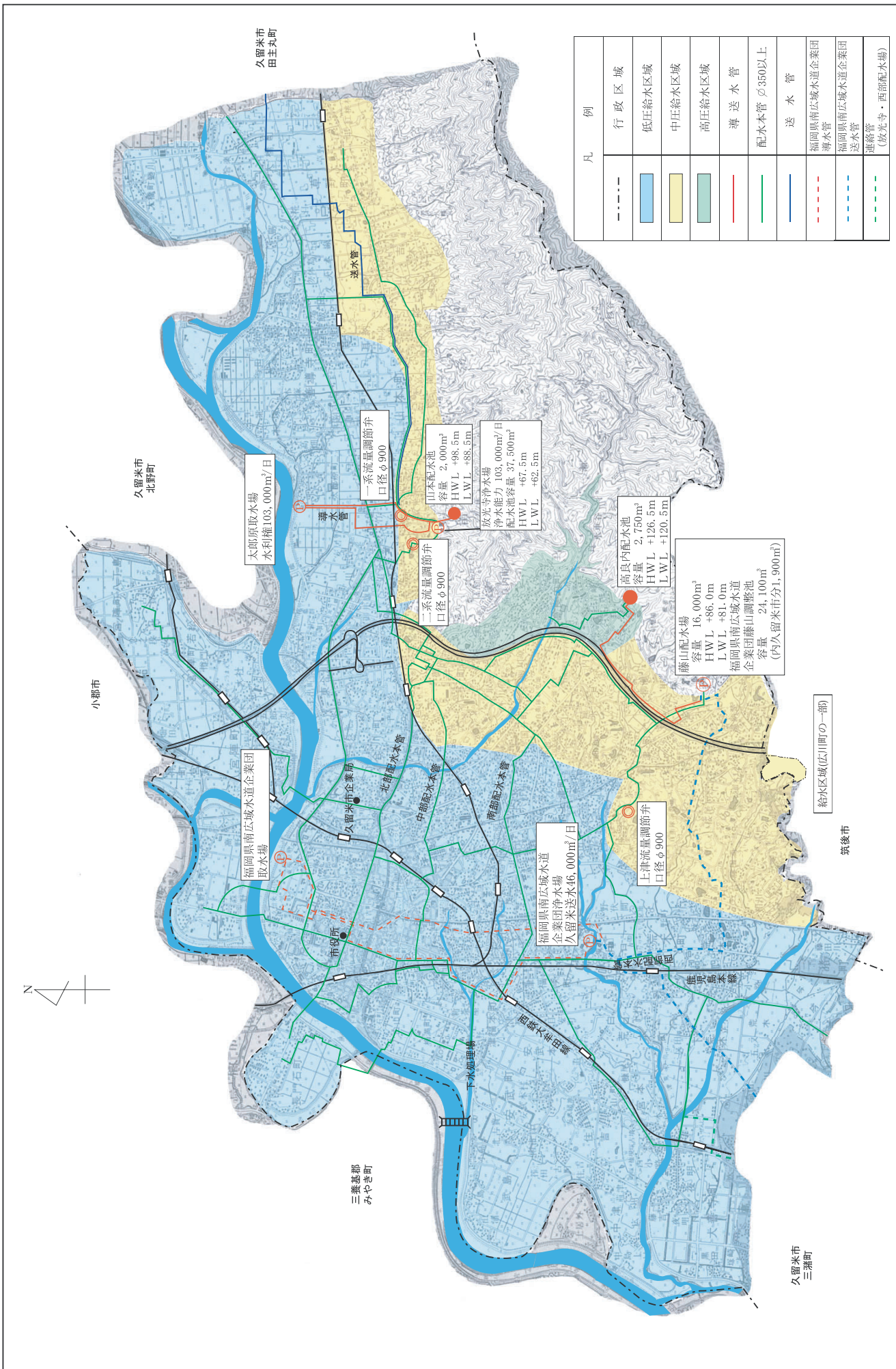
(2) 給水設備

① 配水管布設延長状況

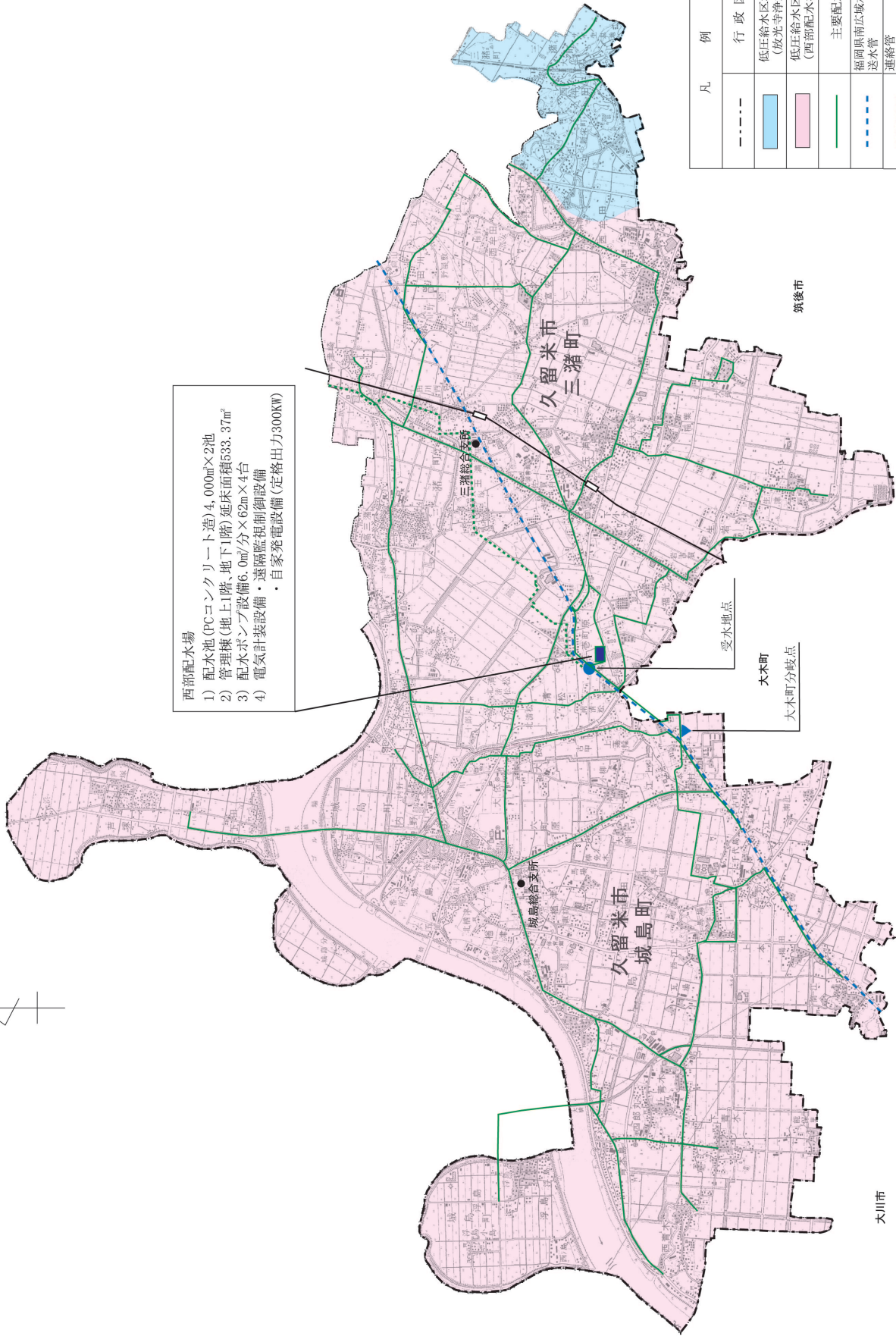
(単位:m)

口径 (mm)	種別	平成28年度末 までの延長	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	延長計
1100	鑄鉄管	1,011.20	-	-	-	-	1,011.20
900	鑄鉄管	8,156.30	-	-	-	-	8,156.30
	鋼管	13.20	-	-	-	-	13.20
800	鑄鉄管	3,417.99	-	-	-	-	3,417.99
700	鑄鉄管	4,995.50	-	-	-	-	4,995.50
600	鑄鉄管	14,489.16	-	△ 1,189.50	-	-	13,299.66
	鋼管	73.10	-	-	-	-	73.10
550	鑄鉄管	816.80	-	-	-	-	816.80
500	鑄鉄管	9,374.40	-	1,222.90	-	2,773.70	13,371.00
450	鑄鉄管	5,270.14	-	-	-	-	5,270.14
	鋼管	21.60	-	-	-	-	21.60
400	鑄鉄管	15,194.60	-	46.90	-	△ 72.60	15,168.90
	鋼管	104.30	-	-	-	-	104.30
350	鑄鉄管	25,384.03	-	28.60	0.10	-	25,412.73
	鋼管	123.00	-	-	-	-	123.00
300	鑄鉄管	32,889.28	0.10	-	145.80	75.00	33,110.18
	鋼管	418.80	-	-	-	-	418.80
	非金属管	92.00	-	-	-	-	92.00
250	鑄鉄管	53,729.21	-	104.80	239.80	34.50	54,108.31
	鋼管	662.30	-	-	△ 15.40	-	646.90
	非金属管	18.00	-	-	-	-	18.00
200	鑄鉄管	80,320.55	0.10	138.80	137.50	1,597.00	82,193.95
	鋼管	441.53	-	△ 377.00	-	-	64.53
	非金属管	-	-	377.00	-	-	377.00
150	鑄鉄管	323,594.97	3,486.40	4,522.32	2,000.40	3,072.34	336,676.43
	鋼管	59.93	-	-	9.90	△ 9.00	60.83
	非金属管	70,030.88	△ 3,660.60	△ 3,124.90	△ 1,373.80	△ 78.00	61,793.58
125	鑄鉄管	30.00	-	-	-	-	30.00
100	鑄鉄管	240,881.22	4,157.50	5,583.37	3,730.79	3,909.53	258,262.41
	鋼管	115.85	△ 15.00	-	-	-	100.85
	非金属管	89,998.77	△ 877.40	186.20	603.25	815.16	90,725.98
75	鑄鉄管	26,267.22	△ 593.70	11.00	△ 441.70	10.00	25,252.82
	鋼管	11.30	-	-	-	-	11.30
	非金属管	16,115.52	716.10	6.90	207.10	675.80	17,721.42
65	鑄鉄管	29.32	-	-	-	-	29.32
	非金属管	70.00	-	-	-	-	70.00
65未満		295,877.31	4,051.73	4,564.25	3,786.54	5,338.65	313,618.48
合計		1,320,099.28	7,265.23	12,101.64	9,030.28	18,142.08	1,366,638.51

(3) 給水区域図 ①久留米地区



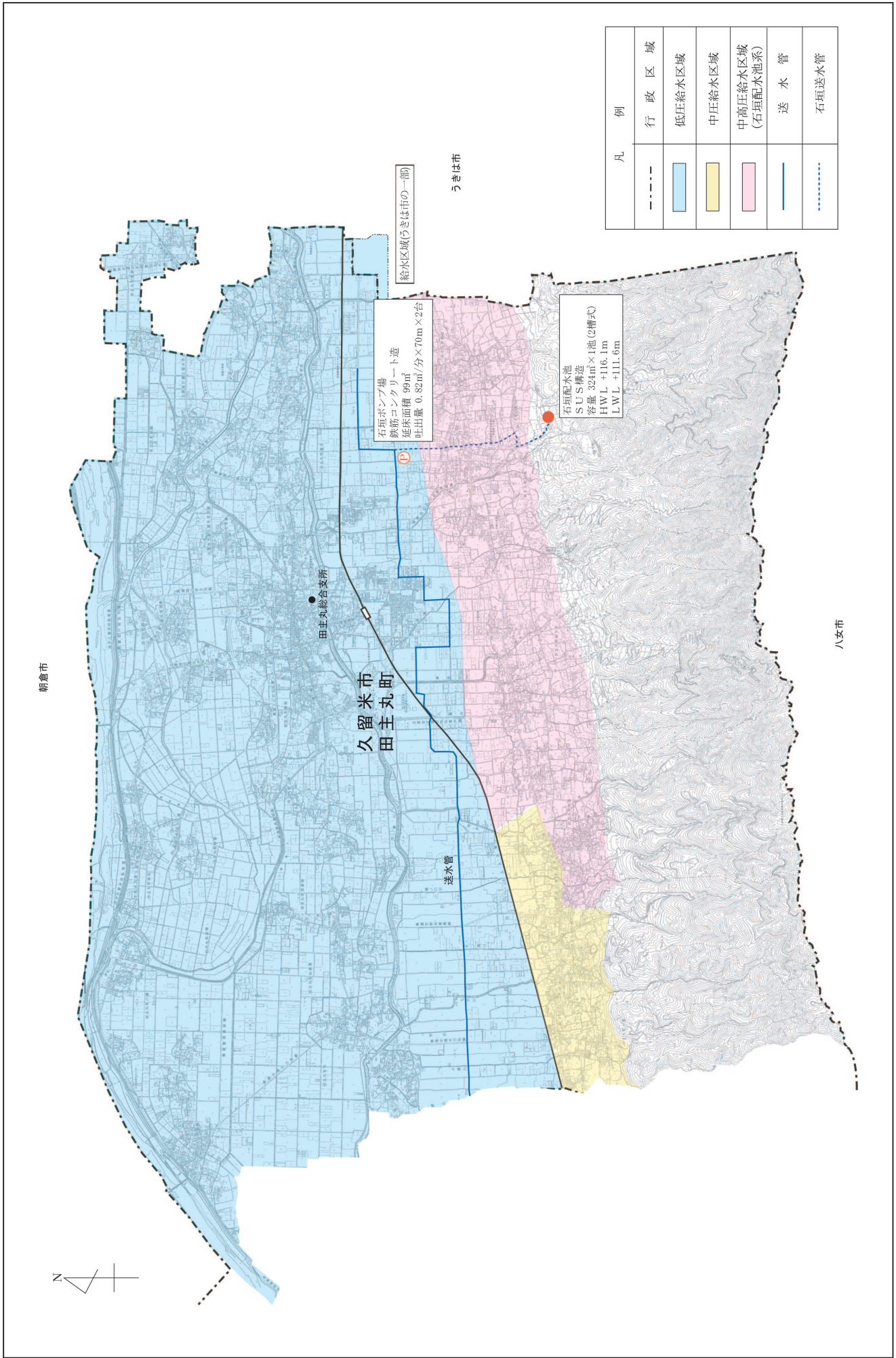
② 城島・三漕地区



西部配水場
 1) 配水池 (PCコンクリート造) 4,000m²×2池
 2) 管理棟 (地上1階、地下1階) 延床面積533.37m²
 3) 配水ポンプ設備 6.0m³/分×62m×4台
 4) 電気計装設備・遠隔監視制御設備
 ・自家発電設備 (定格出力300KW)

凡 例	
---	行政区域
■ (Blue)	低圧給水区域 (放光寺浄水場系)
■ (Pink)	低圧給水区域 (西部配水場系)
— (Green)	主要配水管
— (Blue)	福岡県南広域水道企業団 送水管
— (Dashed Green)	連絡管 (放光寺・西部配水場)

③ 田主丸地区



3 水 質

(1) 水質試験結果表

- ① 原水（太郎原取水口）
- ② 放光寺配水池（2系配水池）
- ③ 藤山配水池（福岡県南広域水道企業団からの受水）
- ④ 西部配水池（福岡県南広域水道企業団からの受水を含む）
- ⑤ 給水栓（久留米市内の給水栓15か所の月平均）

(2) 薬品等の注入率

- ① 塩素注入率
- ② 苛性ソーダ注入率
- ③ PAC（凝集剤）注入率
- ④ 活性炭注入率
- ⑤ 酸注入率

3 水質

(1) 水質試験結果表

① 原水(太郎原取水口)

項目	単位	04/13	05/11	06/08	07/20	08/17	09/14	
天候	-	雨	晴	晴	曇	晴	晴	
水温	℃	12.4	19.3	23.5	25.0	27.8	23.0	
水質基準項目	一般細菌	個/mL	2,700	1,400	3,900	4,600	8,400	5,800
	大腸菌	個/100mL	96	43	14	140	24	46
	カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
	セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	鉛及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ヒ素及びその化合物	mg/L	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002
	六価クロム化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	亜硝酸態窒素	mg/L	0.006	0.008	0.007	0.009	<0.004	0.005
	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	未測定	未測定	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.5	0.4	0.5	0.8	0.9	0.8
	フッ素及びその化合物	mg/L	0.09	0.09	0.11	0.08	0.12	0.09
	ホルム素及びその化合物	mg/L	0.07	0.07	0.06	0.03	0.05	0.05
	四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ジクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	塩素酸	mg/L	-	-	-	-	-	-
	クロ酢酸	mg/L	-	-	-	-	-	-
	クロホルム	mg/L	-	-	-	-	-	-
	ジクロロ酢酸	mg/L	-	-	-	-	-	-
	ジブromクロロメタン	mg/L	-	-	-	-	-	-
	臭素酸	mg/L	-	-	-	-	-	-
	総トリハロメタン	mg/L	-	-	-	-	-	-
トリクロロ酢酸	mg/L	-	-	-	-	-	-	
ブromジクロロメタン	mg/L	-	-	-	-	-	-	
ブromホルム	mg/L	-	-	-	-	-	-	
ホルムアルデヒド	mg/L	-	-	-	-	-	-	
亜鉛及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.20	0.17	0.16	0.63	0.19	0.13	
鉄及びその化合物	mg/L	0.21	0.25	0.18	0.59	0.18	0.20	
銅及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
ナトリウム及びその化合物	mg/L	10	10	10	7	9	8	
マンガン及びその化合物	mg/L	0.023	0.042	0.026	0.038	0.028	0.021	
塩化物イオン	mg/L	9	9	9	5	8	6	
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	44	46	46	39	53	47	
蒸発残留物	mg/L	未測定	未測定	130	110	120	120	
陰イオン界面活性剤	mg/L	未測定	未測定	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
ジェオスミン	mg/L	0.000002	0.000002	0.000002	<0.000001	0.000002	<0.000001	
2-メチルイソホルネオール	mg/L	<0.000001	0.000001	0.000001	<0.000001	0.000001	<0.000001	
非イオン界面活性剤	mg/L	未測定	未測定	0.007	0.007	<0.005	<0.005	
フェノール類	mg/L	未測定	未測定	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
有機物質(TOC)	mg/L	1.4	1.5	1.3	0.9	1.2	1.4	
pH値	-	7.7	7.7	7.7	7.4	7.4	7.4	
味	-	-	-	-	-	-	-	
臭気	-	藻臭	藻臭	藻臭	藻臭	藻臭	藻臭	
色度	度	6.1	8.9	7.1	8.8	8.1	9.1	
濁度	度	5.7	7.4	4.3	8.8	3.9	5.5	

※4月及び5月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、検査地点を減らし、検査項目を絞って実施。

10/12	11/16	12/07	01/18	02/08	03/08	回数	最高	最低	平均
晴	曇	晴	晴	晴	晴	12	-	-	-
21.5	16.2	11.2	7.5	10.4	12.0	12	27.8	7.5	17.5
460	2,900	740	900	760	630	12	8,400	460	2,766
10	16	17	7	16	48	12	140	7	40
<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	12	<0.0003	<0.0003	<0.0003
<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	12	<0.00005	<0.00005	<0.00005
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
0.002	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	12	0.003	0.002	0.003
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	12	<0.002	<0.002	<0.002
0.006	0.006	0.005	0.008	0.010	0.006	12	0.010	<0.004	0.006
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	10	<0.001	<0.001	<0.001
0.7	0.6	0.6	0.6	0.8	0.6	12	0.9	0.4	0.7
0.10	0.11	0.10	0.10	0.10	0.09	12	0.12	0.08	0.10
0.06	0.08	0.08	0.08	0.08	0.07	12	0.08	0.03	0.07
<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	12	<0.0002	<0.0002	<0.0002
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	12	<0.002	<0.002	<0.002
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	12	<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	12	<0.005	<0.005	<0.005
0.11	0.13	0.11	0.12	0.12	0.20	12	0.63	0.11	0.19
0.16	0.17	0.15	0.14	0.10	0.15	12	0.59	0.10	0.21
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	12	<0.005	<0.005	<0.005
11	12	12	12	11	10	12	12	7	10
0.012	0.011	0.016	0.015	0.011	0.013	12	0.042	0.011	0.021
8	9	10	11	10	9	12	11	5	9
52	52	49	51	49	46	12	53	39	48
120	140	120	130	140	120	10	140	110	125
<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	10	<0.02	<0.02	<0.02
0.000001	0.000001	<0.000001	0.000001	0.000001	0.000002	12	0.000002	<0.000001	0.000001
0.000002	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	12	0.000002	<0.000001	<0.000001
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	10	0.007	<0.005	<0.005
<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	10	<0.0005	<0.0005	<0.0005
0.9	0.8	0.7	0.7	0.8	1.3	12	1.5	0.7	1.1
7.6	7.7	7.7	7.7	7.6	7.7	12	7.7	7.4	7.6
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
藻臭	藻臭	藻臭	藻臭	藻臭	藻臭	12	-	-	-
4.6	3.8	3.6	3.8	5.2	8.6	12	9.1	3.6	6.5
2.5	2.7	2.5	2.7	4.7	7.3	12	8.8	2.5	4.8

② 放光寺配水池(2系配水池)

採水年月日	水質基準値	04/13	05/11	06/08	07/20	08/17	09/14
天 候	-	雨	晴	晴	曇	晴	晴
水 温(°C)	-	15.2	20.2	25.0	23.7	29.3	26.7
残留塩素(mg/L)	-	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.7
水 質 基 準 項 目	一般細菌	100個/mL以下	0	0	0	0	0
	大腸菌	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
	カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
	セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	0.001	0.001	<0.001	0.001
	六価クロム化合物	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	未測定	未測定	<0.001	<0.001	<0.001
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	0.6	0.4	0.5	0.8	0.8
	フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	0.09	0.09	0.10	0.07	0.11
	ホルム素及びその化合物	1.0mg/L以下	0.06	0.06	0.06	0.02	0.05
	四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
塩素酸	0.6mg/L以下	0.07	0.05	0.27	0.09	0.12	
クロロ酢酸	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
クロロホルム	0.06mg/L以下	0.005	0.006	0.010	0.006	0.012	
ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.003	0.003	0.004	0.002	0.007	
ジブromクロロメタン	0.1mg/L以下	0.002	0.002	0.002	0.002	0.003	
臭素酸	0.01mg/L以下	未測定	未測定	<0.001	<0.001	<0.001	
総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.011	0.012	0.018	0.012	0.022	
トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.004	0.004	0.006	0.004	0.008	
ブromジクロロメタン	0.03mg/L以下	0.004	0.004	0.006	0.004	0.007	
ブromホルム	0.09mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	0.001	0.001	0.002	<0.001	0.002	
亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	0.02	0.04	0.04	0.03	0.05	
鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
銅及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	12	12	12	9	12	
マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
塩化物イオン	200mg/L以下	11	12	12	8	10	
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	46	45	46	37	52	
蒸発残留物	500mg/L以下	未測定	未測定	140	89	110	
陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	未測定	未測定	<0.02	<0.02	<0.02	
ジェオスミン	0.00001mg/L以下	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	
2-メチルイソホルネオール	0.00001mg/L以下	<0.000001	<0.000001	0.000001	<0.000001	<0.000001	
非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	未測定	未測定	<0.005	<0.005	<0.005	
フェノール類	0.005mg/L以下	未測定	未測定	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
有機物質(TOC)	3mg/L以下	0.6	0.4	0.6	<0.3	0.6	
pH値	5.8~8.6	7.6	7.5	7.5	7.5	7.5	
味	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
色度	5度以下	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	
濁度	2度以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	

※4月及び5月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、検査地点を減らし、検査項目を絞って実施。

10/12	11/16	12/07	01/18	02/08	03/08	回数	最高	最低	平均
晴	曇	晴	晴	晴	晴	12	-	-	-
22.3	16.5	13.0	10.1	11.6	13.2	12	29.3	10.1	18.9
0.6	0.5	0.5	0.4	0.5	0.5	12	0.7	0.4	0.5
0	0	0	0	0	0	12	0	0	0
不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	12	不検出	不検出	不検出
<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	12	<0.0003	<0.0003	<0.0003
<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	12	<0.00005	<0.00005	<0.00005
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	0.001	0.001	0.001	<0.001	<0.001	12	0.001	<0.001	<0.001
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	12	<0.002	<0.002	<0.002
<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	12	<0.004	<0.004	<0.004
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	10	<0.001	<0.001	<0.001
0.7	0.6	0.6	0.6	0.8	0.7	12	0.8	0.4	0.7
0.09	0.11	0.10	0.10	0.09	0.08	12	0.11	0.07	0.09
0.06	0.07	0.08	0.08	0.07	0.07	12	0.08	0.02	0.06
<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	12	<0.0002	<0.0002	<0.0002
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	12	<0.002	<0.002	<0.002
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	12	<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
0.08	0.05	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	12	0.27	<0.04	0.07
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	12	0.006	<0.002	<0.002
0.008	0.004	0.003	0.003	0.007	0.008	12	0.010	0.003	0.007
<0.002	0.002	0.003	0.003	0.008	0.008	12	0.008	<0.002	0.004
0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	12	0.003	0.001	0.002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	10	<0.001	<0.001	<0.001
0.002	0.010	0.008	0.008	0.014	0.013	12	0.022	0.002	0.012
0.003	0.003	0.003	0.002	0.005	0.009	12	0.009	0.002	0.005
0.006	0.004	0.003	0.003	0.005	0.004	12	0.007	0.003	0.005
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
0.001	0.001	0.001	<0.001	0.001	0.001	12	0.002	<0.001	0.001
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	12	<0.005	<0.005	<0.005
0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	12	0.05	0.02	0.03
<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	12	<0.01	<0.01	<0.01
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	12	<0.005	<0.005	<0.005
12	13	13	13	13	13	12	13	9	12
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
12	13	12	13	14	13	12	14	8	12
52	52	49	51	49	47	12	52	37	48
110	170	120	120	140	120	10	170	89	123
<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	10	<0.02	<0.02	<0.02
<0.000001	<0.000001	<0.000001	0.000001	<0.000001	0.000001	12	0.000001	<0.000001	<0.000001
0.000003	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	12	0.000003	<0.000001	<0.000001
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	10	<0.005	<0.005	<0.005
<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	10	<0.0005	<0.0005	<0.0005
0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.7	12	0.7	<0.3	0.5
7.4	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	12	7.6	7.4	7.5
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	12	異常なし	異常なし	異常なし
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	12	異常なし	異常なし	異常なし
<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	12	<0.5	<0.5	<0.5
<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	12	<0.1	<0.1	<0.1

③ 藤山配水池(福岡県南広域水道企業団からの受水)

採水年月日		水質基準値	04/13	05/11	06/08	07/20	08/17	09/14
天 候		-	雨	晴	晴	曇	晴	晴
水 温(°C)		-	16.3	20.8	22.0	21.0	27.2	25.2
残留塩素(mg/L)		-	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5
水 質 基 準 項 目	一般細菌	100個/mL以下	0	0	0	0	0	0
	大腸菌	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
	カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
	セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	0.001	0.001	0.001	<0.001	0.001	<0.001
	六価クロム化合物	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	シアニ化物イオン及び塩化シアニ	0.01mg/L以下	未測定	未測定	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	0.6	0.4	0.5	0.7	0.8	0.9
	フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	0.09	0.09	0.10	0.06	0.10	0.08
	ホルム素及びその化合物	1.0mg/L以下	0.06	0.06	0.05	0.02	0.04	0.05
	四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
塩素酸	0.6mg/L以下	0.08	0.14	0.15	0.12	0.22	0.15	
クロロ酢酸	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
クロロホルム	0.06mg/L以下	0.007	0.015	0.014	0.010	0.014	0.019	
ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.002	0.002	<0.002	<0.002	0.004	0.004	
ジブromクロロメタン	0.1mg/L以下	0.003	0.003	0.003	0.002	0.003	0.004	
臭素酸	0.01mg/L以下	未測定	未測定	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.017	0.026	0.025	0.018	0.025	0.033	
トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.006	0.009	0.008	0.006	0.009	0.009	
ブromジクロロメタン	0.03mg/L以下	0.007	0.008	0.008	0.006	0.008	0.010	
ブromホルム	0.09mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	0.001	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	
亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	0.03	0.04	0.04	0.02	0.05	0.04	
鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
銅及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	12	11	11	7	11	10	
マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
塩化物イオン	200mg/L以下	11	11	11	7	10	9	
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	48	46	47	36	51	48	
蒸発残留物	500mg/L以下	未測定	未測定	120	79	100	110	
陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	未測定	未測定	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
ジェオスミン	0.00001mg/L以下	<0.000001	0.000001	0.000002	<0.000001	<0.000001	<0.000001	
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	0.000001	0.000001	
非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	未測定	未測定	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
フェノール類	0.005mg/L以下	未測定	未測定	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
有機物質(TOC)	3mg/L以下	0.8	0.6	0.7	0.3	0.6	0.8	
pH値	5.8~8.6	7.6	7.6	7.6	7.5	7.6	7.6	
味	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
色度	5度以下	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	
濁度	2度以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	

※4月及び5月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、検査地点を減らし、検査項目を絞って実施。

10/12	11/16	12/07	01/18	02/08	03/08	回数	最高	最低	平均
晴	曇	晴	晴	晴	晴	12	-	-	-
20.6	15.5	12.5	9.0	10.0	13.0	12	27.2	9.0	17.7
0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	12	0.5	0.4	0.4
0	0	0	0	0	0	12	0	0	0
不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	12	不検出	不検出	不検出
<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	12	<0.0003	<0.0003	<0.0003
<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	12	<0.00005	<0.00005	<0.00005
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
0.001	0.001	0.001	0.001	<0.001	<0.001	12	0.001	<0.001	<0.001
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	12	<0.002	<0.002	<0.002
<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	12	<0.004	<0.004	<0.004
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	10	<0.001	<0.001	<0.001
0.7	0.7	0.6	0.7	1.1	0.8	12	1.1	0.4	0.7
0.10	0.11	0.11	0.10	0.09	0.09	12	0.11	0.06	0.09
0.06	0.07	0.08	0.09	0.06	0.06	12	0.09	0.02	0.06
<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	12	<0.0002	<0.0002	<0.0002
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	12	<0.002	<0.002	<0.002
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	12	<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
0.13	0.10	0.11	0.06	0.07	0.07	12	0.22	0.06	0.12
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	12	<0.002	<0.002	<0.002
0.010	0.007	0.005	0.004	0.009	0.011	12	0.019	0.004	0.010
0.002	<0.002	0.002	0.002	0.004	0.004	12	0.004	<0.002	0.002
0.005	0.004	0.004	0.004	0.002	0.002	12	0.005	0.002	0.003
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	10	<0.001	<0.001	<0.001
0.023	0.018	0.002	0.013	0.017	0.020	12	0.033	0.002	0.020
0.006	0.006	0.004	0.004	0.009	0.012	12	0.012	0.004	0.007
0.008	0.007	0.006	0.005	0.006	0.007	12	0.010	0.005	0.007
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
0.001	0.002	0.001	0.001	0.002	0.002	12	0.002	0.001	0.002
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	12	<0.005	<0.005	<0.005
0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	12	0.05	0.02	0.03
<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	12	<0.01	<0.01	<0.01
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	12	<0.005	<0.005	<0.005
12	13	13	14	12	12	12	14	7	12
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
11	12	12	14	13	13	12	14	7	11
57	55	51	53	52	49	12	57	36	50
120	160	130	120	150	120	10	160	79	121
<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	10	<0.02	<0.02	<0.02
<0.000001	<0.000001	<0.000001	0.000001	0.000002	0.000002	12	0.000002	<0.000001	<0.000001
0.000002	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	12	0.000002	<0.000001	<0.000001
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	10	<0.005	<0.005	<0.005
<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	10	<0.0005	<0.0005	<0.0005
0.4	0.4	0.4	0.4	0.7	0.7	12	0.8	0.3	0.6
7.6	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	12	7.6	7.5	7.6
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	12	異常なし	異常なし	異常なし
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	12	異常なし	異常なし	異常なし
<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	12	<0.5	<0.5	<0.5
<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	12	<0.1	<0.1	<0.1

④ 西部配水池(福岡県南広域水道企業団からの受水を含む)

採水年月日		水質基準値	04/13	05/11	06/08	07/20	08/17	09/14
天 候		-	雨	晴	晴	晴	晴	晴
水 温(°C)		-	16.0	20.6	23.8	22.4	28.3	25.1
残留塩素(mg/L)		-	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5
水 質 基 準 項 目	一般細菌	100個/mL以下	0	0	0	0	0	0
	大腸菌	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
	カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
	セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	0.001	<0.001	0.001	<0.001	0.001	<0.001
	六価クロム化合物	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	未測定	未測定	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	0.5	0.4	0.5	0.8	0.9	0.9
	フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	0.10	0.09	0.10	0.07	0.10	0.08
	ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下	0.07	0.06	0.05	0.02	0.05	0.05
	四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
塩素酸	0.6mg/L以下	0.08	0.09	0.23	0.10	0.15	0.10	
クロロ酢酸	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
クロロホルム	0.06mg/L以下	0.006	0.008	0.012	0.008	0.017	0.015	
ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.002	0.002	0.003	0.002	0.006	0.005	
ジブromクロロメタン	0.1mg/L以下	0.003	0.002	0.003	0.002	0.004	0.002	
臭素酸	0.01mg/L以下	未測定	未測定	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.015	0.015	0.022	0.015	0.030	0.024	
トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.005	0.006	0.007	0.006	0.007	0.008	
ブromジクロロメタン	0.03mg/L以下	0.005	0.005	0.007	0.005	0.009	0.007	
ブromホルム	0.09mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	
亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.009	<0.005	
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	0.03	0.05	0.05	0.03	0.05	0.04	
鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
銅及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	12	12	12	8	11	10	
マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
塩化物イオン	200mg/L以下	12	12	12	7	10	10	
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	48	46	47	40	55	45	
蒸発残留物	500mg/L以下	未測定	未測定	140	91	120	100	
陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	未測定	未測定	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
ジオスミン	0.00001mg/L以下	0.000001	<0.000001	0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	
2-メチルイソホルネオール	0.00001mg/L以下	<0.000001	<0.000001	0.000001	<0.000001	0.000001	0.000001	
非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	未測定	未測定	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
フェノール類	0.005mg/L以下	未測定	未測定	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
有機物質(TOC)	3mg/L以下	0.5	0.5	0.7	0.3	0.6	0.7	
pH値	5.8~8.6	7.6	7.5	7.6	7.6	7.6	7.6	
味	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
色度	5度以下	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	
濁度	2度以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	

※4月及び5月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、検査地点を減らし、検査項目を絞って実施。

10/12	11/16	12/07	01/18	02/08	03/08	回数	最高	最低	平均
晴	曇	晴	晴	晴	晴		-	-	-
21.7	16.7	13.0	10.2	11.0	13.2	12	28.3	10.2	18.5
0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	12	0.5	0.4	0.5
0	0	0	0	0	0	12	0	0	0
不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	12	不検出	不検出	不検出
<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	12	<0.0003	<0.0003	<0.0003
<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	12	<0.00005	<0.00005	<0.00005
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
0.001	0.001	0.001	0.001	<0.001	<0.001	12	0.001	<0.001	<0.001
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	12	<0.002	<0.002	<0.002
<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	12	<0.004	<0.004	<0.004
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	10	<0.001	<0.001	<0.001
0.7	0.7	0.6	0.7	1.0	0.7	12	1.0	0.4	0.7
0.09	0.11	0.10	0.10	0.09	0.08	12	0.11	0.07	0.09
0.06	0.07	0.08	0.08	0.06	0.07	12	0.08	0.02	0.06
<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	12	<0.0002	<0.0002	<0.0002
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	12	<0.002	<0.002	<0.002
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	12	<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
0.09	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	12	0.23	0.05	0.09
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	12	<0.002	<0.002	<0.002
0.008	0.006	0.004	0.003	0.007	0.008	12	0.017	0.003	0.009
0.004	0.002	0.002	0.002	0.004	0.004	12	0.006	0.002	0.003
0.004	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002	12	0.004	0.002	0.003
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	10	<0.001	<0.001	<0.001
0.019	0.015	0.012	0.010	0.014	0.016	12	0.030	0.010	0.017
0.005	0.004	0.004	0.004	0.007	0.009	12	0.009	0.004	0.006
0.007	0.006	0.005	0.004	0.005	0.006	12	0.009	0.004	0.006
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
0.002	0.002	0.001	0.001	0.002	0.002	12	0.002	0.001	0.002
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	12	0.009	<0.005	<0.005
0.03	0.02	0.03	0.02	0.03	0.03	12	0.05	0.02	0.03
<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	12	0.01	<0.01	<0.01
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	12	<0.005	<0.005	<0.005
12	13	13	13	12	12	12	13	8	12
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001
11	12	12	14	13	12	12	14	7	11
54	55	51	54	50	48	12	55	40	49
120	210	140	120	170	120	10	210	91	133
<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	10	<0.02	<0.02	<0.02
<0.000001	<0.000001	<0.000001	0.000001	0.000001	0.000002	12	0.000002	<0.000001	<0.000001
0.000002	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	12	0.000002	<0.000001	<0.000001
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	10	<0.005	<0.005	<0.005
<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	10	<0.0005	<0.0005	<0.0005
0.5	0.4	0.4	0.4	0.6	0.7	12	0.7	0.3	0.5
7.6	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	12	7.6	7.5	7.6
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	12	異常なし	異常なし	異常なし
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	12	異常なし	異常なし	異常なし
<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	12	<0.5	<0.5	<0.5
<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	12	<0.1	<0.1	<0.1

⑤ 給水栓(久留米市内の給水栓15か所の月平均)

採水月	水質基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
水温(°C)	-	17.0	19.4	23.5	23.1	27.3	28.8	
残留塩素(mg/L)	-	0.4	0.4	0.3	0.5	0.4	0.4	
水質基準項目	一般細菌	100個/mL以下	0	0	0	0	0	
	大腸菌	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
	カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	未測定	未測定	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	未測定	未測定	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
	セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	未測定	未測定	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	未測定	未測定	0.0010	<0.001	<0.001	0.0015
	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	未測定	未測定	0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	六価クロム化合物	0.05mg/L以下	未測定	未測定	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	未測定	未測定	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	シアニ化物イオン及び塩化シアニ	0.01mg/L以下	未測定	未測定	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	未測定	未測定	0.5	0.7	0.9	0.9
	フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	未測定	未測定	0.10	0.06	0.10	0.08
	ホルム素及びその化合物	1.0mg/L以下	未測定	未測定	0.06	0.02	0.05	0.05
	四塩化炭素	0.002mg/L以下	未測定	未測定	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	未測定	未測定	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	未測定	未測定	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	未測定	未測定	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	未測定	未測定	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	未測定	未測定	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
ベンゼン	0.01mg/L以下	未測定	未測定	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
塩素酸	0.6mg/L以下	0.06	0.08	0.11	0.10	0.13	0.11	
クロロ酢酸	0.02mg/L以下	未測定	未測定	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
クロロホルム	0.06mg/L以下	0.009	0.013	0.015	0.007	0.017	0.017	
ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	未測定	未測定	<0.002	<0.002	0.004	0.003	
ジブromクロロメタン	0.1mg/L以下	0.003	0.003	0.002	0.001	0.003	0.004	
臭素酸	0.01mg/L以下	未測定	未測定	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.026	0.024	0.025	0.011	0.028	0.030	
トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	未測定	未測定	0.008	0.006	0.009	0.008	
ブromジクロロメタン	0.03mg/L以下	0.008	0.008	0.007	0.003	0.008	0.009	
ブromホルム	0.09mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	未測定	未測定	0.002	0.001	0.002	0.002	
亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	未測定	未測定	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	未測定	未測定	0.04	0.03	0.04	0.04	
鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	未測定	未測定	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
銅及びその化合物	1.0mg/L以下	未測定	未測定	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	未測定	未測定	12	8	12	11	
マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	未測定	未測定	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
塩化物イオン	200mg/L以下	12	11	11	7	10	11	
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	未測定	未測定	47	35	52	46	
蒸発残留物	500mg/L以下	未測定	未測定	140	80	110	110	
陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	未測定	未測定	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
ジオキシシン	0.00001mg/L以下	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	<0.000001	<0.000001	0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	
非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	未測定	未測定	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	
フェノール類	0.005mg/L以下	未測定	未測定	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
有機物質(TOC)	3mg/L以下	0.6	0.6	0.6	<0.3	0.6	0.6	
pH値	5.8~8.6	7.5	7.6	7.5	7.6	7.6	7.7	
味	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
色度	5度以下	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	
濁度	2度以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	

※久留米市内の給水栓における月平均値と全データの最高・最低・年間平均値。

※「令和2年度水質検査計画」に基づき、15か所中7か所にて、年4回「全項目検査」を実施。

※4月及び5月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、検査地点を減らし、検査項目を絞って実施。

10月	11月	12月	1月	2月	3月	回数	全データ最高	全データ最低	年間平均
24.3	19.2	16.2	10.5	11.3	13.0	166	30.5	2.3	19.5
0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	166	0.7	<0.1	0.4
0	0	0	0	0	0	166	0	0	0
不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	166	不検出	不検出	不検出
<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	23	<0.0003	<0.0003	<0.0003
<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	23	<0.00005	<0.00005	<0.00005
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	23	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	23	0.003	<0.001	<0.001
<0.001	0.001	0.001	0.001	<0.001	0.001	23	0.001	<0.001	<0.001
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	23	<0.002	<0.002	<0.002
<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	23	<0.004	<0.004	<0.004
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	23	<0.001	<0.001	<0.001
0.7	0.7	0.6	0.7	0.9	0.7	23	0.9	0.5	0.7
0.09	0.11	0.11	0.10	0.10	0.09	23	0.11	0.06	0.09
0.06	0.08	0.08	0.09	0.07	0.07	23	0.09	0.02	0.06
<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	23	<0.0002	<0.0002	<0.0002
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	23	<0.002	<0.002	<0.002
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	23	<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	23	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	23	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	23	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	23	<0.001	<0.001	<0.001
0.09	0.08	0.05	<0.04	<0.04	<0.04	166	0.23	<0.04	0.07
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	23	<0.002	<0.002	<0.002
0.010	0.006	0.005	0.004	0.008	0.010	56	0.021	0.002	0.012
<0.002	0.002	<0.002	0.003	0.006	0.003	23	0.006	<0.002	0.002
0.004	0.003	0.004	0.004	0.002	0.002	56	0.005	<0.0002	0.003
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	23	<0.001	<0.001	<0.001
0.021	0.014	0.013	0.012	0.016	0.019	56	0.035	0.008	0.022
0.007	0.005	0.005	0.005	0.007	0.008	23	0.010	0.004	0.006
0.008	0.006	0.005	0.005	0.006	0.007	56	0.011	0.002	0.007
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	56	<0.001	<0.001	<0.001
0.002	0.001	<0.001	0.001	0.002	0.002	23	0.002	<0.001	0.001
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	23	0.015	<0.005	<0.005
0.03	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	23	0.04	0.02	0.03
<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	23	0.02	<0.01	<0.01
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	23	<0.005	<0.005	<0.005
12	13	13	14	13	13	23	14	7	12
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	23	<0.001	<0.001	<0.001
11	12	12	13	14	14	166	15	6	12
55	52	50	52	50	48	23	57	33	48
120	195	130	130	175	125	23	200	<1	123
<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	23	<0.02	<0.02	<0.02
<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	0.000001	81	0.000002	<0.000001	<0.000001
0.000002	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	81	0.000003	<0.000001	<0.000001
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	23	<0.005	<0.005	<0.005
<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	23	<0.0005	<0.0005	<0.0005
0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.7	166	0.8	<0.3	0.5
7.5	7.5	7.6	7.5	7.5	7.5	166	7.8	7.4	7.6
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	166	異常なし	異常なし	異常なし
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	166	異常なし	異常なし	異常なし
<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	166	<0.5	<0.5	<0.5
<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	166	<0.1	<0.1	<0.1

(2) 薬品等の注入率

① 塩素注入率

年度	次亜塩素酸ナトリウム 注入量(L)	注入率(mg/L)				備考
		前塩	中塩	後塩	計	
令和2年度	359,589	1.22	0.87	0.12	2.21	注入率は次亜塩素酸ナトリウムを塩素に換算し算出
令和元年度	395,587	1.58	0.74	0.13	2.45	
平成30年度	405,042	1.65	0.71	0.12	2.48	
平成29年度	301,682	0.87	0.85	0.15	1.87	
平成28年度	226,354	0.19	1.05	0.15	1.39	

※塩素は、通常消毒の目的でろ過工程の後に注入される。これを後塩といい、浄水処理対策の一環として、ろ過工程以前の処理過程に注入することを前塩、中塩という。

② 苛性ソーダ注入率

年度	処理水量(m ³)	注入量(L)	固形換算(kg)	注入率(mg/L)	備考
令和2年度	21,981,580	46,501	17,300	0.79	処理水量は取水水量であり、無注入日は除く
令和元年度	21,709,560	72,022	26,792	1.23	
平成30年度	21,806,810	74,470	27,703	1.27	
平成29年度	21,789,340	74,920	27,870	1.28	
平成28年度	22,449,820	64,838	24,120	1.07	

③ PAC(凝集剤)注入率

年度	注入量(L)	平均注入率(mg/L)	最大注入率(mg/L)	最小注入率(mg/L)	備考
令和2年度	559,880	29.5	42.8	21.9	
令和元年度	482,548	25.7	42.7	18.2	
平成30年度	500,565	26.4	41.3	16.5	
平成29年度	437,764	23.1	42.8	13.8	
平成28年度	389,658	20.0	36.7	15.3	

④ 活性炭注入率

年度	処理水量(m ³)	注入量(kg)	注入率(mg/L)	備考
令和2年度	21,981,580	83,167	3.78	・水分を除いた活性炭量に換算し算出 ・処理水量は取水水量であり、無注入日は除く
令和元年度	21,709,560	115,919	5.34	
平成30年度	21,806,810	121,344	5.56	
平成29年度	21,556,340	90,731	4.21	
平成28年度	16,283,090	56,862	3.49	

⑤ 酸注入率

年度	処理水量(m ³)	注入量(kg)	注入率(mg/L)	備考
令和2年度	9,024,460	23,160	2.57	処理水量は着水量であり、無注入日は除く
令和元年度	19,182,006	51,322	2.68	
平成30年度	17,458,791	39,032	2.24	
平成29年度	20,719,248	48,273	2.33	
平成28年度	18,119,330	32,531	1.80	

4 取水・配水

(1) 取水量・配水量・有効水量

- ① 取水量・配水量等
- ② 受水の推移
- ③ 給水量分析
- ④ 有収率の推移
- ⑤ 取水場、浄水場電力使用量及び料金
- ⑥ 高所地区電力使用量及び料金
- ⑦ 西部、下田配水場電力使用量及び料金
- ⑧ 田主丸地区電力使用量及び料金

(2) 使用水量・調定

- ① 使用水量分析（段階別、口径別）
- ② 月別配水量推移
- ③ 水道料金調定

(3) 収納

- ① 年度内収納率
- ② 納期内収納率

(4) 料金

- ① 水道料金（変遷）表
- ② 水道加入金表

4 取水・配水

(1) 取水量・配水量・有効水量

① 取水量・配水量等

区分 年月		取水量(m ³)			配水量(m ³)			
		放光寺系	受水(上水)	計	放光寺系	受水系	計	1日最大
令和2年	4月	1,772,160	520,168	2,292,328	1,638,012	610,480	2,248,492	77,236
	5月	1,811,570	535,261	2,346,831	1,689,699	628,809	2,318,508	77,568
	6月	1,801,150	532,433	2,333,583	1,688,396	622,926	2,311,322	81,040
	7月	1,826,940	543,012	2,369,952	1,713,688	636,560	2,350,248	81,069
	8月	1,910,120	557,512	2,467,632	1,798,693	651,964	2,450,657	81,849
	9月	1,798,490	530,171	2,328,661	1,690,421	621,169	2,311,590	83,377
	10月	1,878,890	554,660	2,433,550	1,752,599	648,745	2,401,344	79,822
	11月	1,815,740	527,306	2,343,046	1,690,363	618,051	2,308,414	80,342
	12月	1,914,740	555,884	2,470,624	1,795,135	649,897	2,445,032	83,193
令和3年	1月	1,921,620	570,798	2,492,418	1,800,310	664,155	2,464,465	88,021
	2月	1,682,720	496,925	2,179,645	1,565,546	582,090	2,147,636	78,973
	3月	1,847,440	538,020	2,385,460	1,699,659	631,732	2,331,391	77,972
令和2年度		21,981,580	6,462,150	28,443,730	20,522,521	7,566,578	28,089,099	88,021
(伸率%)		(1.25)	(0.72)	(1.13)	(1.05)	(0.32)	(0.85)	(6.32)
令和元年度		21,709,560	6,416,248	28,125,808	20,310,099	7,542,586	27,852,685	82,792
(伸率%)		(△0.45)	(△1.81)	(△0.76)	(△0.81)	(△1.35)	(△0.96)	(△2.92)
平成30年度		21,806,810	6,534,748	28,341,558	20,476,509	7,645,678	28,122,187	85,279
(伸率%)		(0.08)	(△2.49)	(△0.52)	(0.01)	(△1.73)	(△0.47)	(0.89)
平成29年度		21,789,340	6,701,385	28,490,725	20,475,196	7,780,386	28,255,582	84,526
(伸率%)		(△2.94)	(3.02)	(△1.60)	(△2.34)	(1.09)	(△1.42)	(△2.25)
平成28年度		22,449,820	6,504,906	28,954,726	20,965,509	7,696,225	28,661,734	86,473

1日最小	1日平均	給水能力	有効水量(m ³)			無効水量(m ³)	有収率(%)
			有収水量	無収水量	計		
70,602	74,950		1,841,076		1,841,076		
67,647	74,791		2,231,312		2,231,312		
72,437	77,044		1,886,968		1,886,968		
70,124	75,814		2,239,708		2,239,708		
74,924	79,053		1,940,181		1,940,181		
65,589	77,053		2,301,303		2,301,303		
74,687	77,463		1,925,451		1,925,451		
70,975	76,947		2,255,514		2,255,514		
76,581	78,872		1,918,181		1,918,181		
69,249	79,499		2,320,226		2,320,226		
73,632	76,701		1,963,996		1,963,996		
71,013	75,206		2,200,321		2,200,321		
65,589	76,956	145,800	25,024,237	1,321,888	26,346,125	1,742,974	89.09
(△4.48)	(1.13)	(0.00)	(1.06)	(△4.09)	(0.79)	(1.74)	(0.21)
68,664	76,100	145,800	24,761,182	1,378,252	26,139,434	1,713,246	88.90
(△0.89)	(△1.23)	(0.00)	(△0.53)	(8.71)	(△0.08)	(△12.63)	(0.44)
69,278	77,047	145,800	24,893,343	1,267,874	26,161,217	1,960,970	88.52
(1.32)	(△0.47)	(0.00)	(△0.41)	(△2.92)	(△0.53)	(0.31)	(2.09)
68,376	77,413	145,800	24,994,619	1,306,061	26,300,680	1,954,902	88.46
(△0.01)	(△1.42)	(0.00)	(0.58)	(△20.39)	(△0.72)	(△9.93)	(2.02)
68,381	78,525	145,800	24,850,712	1,640,628	26,491,340	2,170,394	86.70

② 受水の推移

(税込額)

	基本水量	基準水量	責任水量率	1日責任水量	年間責任水量	年間受水量	受水率	総配水量対比	単価	受水費
平成28年度	46,000	-	75.0	34,500	12,592,500	6,504,906	51.66	22.7	(基本) 66.00	831,105
									(従量) 9.00	58,544
									(合計) 75.00	889,649
平成29年度	46,000	-	75.0	34,500	12,592,500	6,701,385	53.22	23.7	(基本) 66.00	831,105
									(従量) 9.00	60,312
									(合計) 75.00	891,417
平成30年度	46,000	-	75.0	33,120	12,088,800	6,534,748	54.06	23.2	(基本) 66.00	797,861
									(従量) 9.00	58,813
									(合計) 75.00	856,674
令和元年度	46,000	-	75.0	33,120	12,121,920	6,416,248	52.93	23.0	(基本4~9月) 66.00	400,023
									(基本10~3月) 68.00	412,145
									(従量) 9.00	57,746
									(合計4~9月) 75.00	869,915
(合計10~3月) 77.00										
令和2年度	46,790	-	75.0	33,689	12,296,412	6,462,150	52.55	23.0	(基本) 68.00	836,156
									(従量) 9.00	58,159
									(合計) 77.00	894,315

* 福岡県南広域水道企業団水道水供給条例の一部を改正する条例により、平成30年4月1日から令和5年3月31日までの基本料金を算定する際に基本水量に乗ずる割合は、3%減免し、72%となる。

* 注 令和元年10月より、消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴い、基本単価が66円から68円に改定された。

* 注 令和2年4月より、小石原川ダム供用開始に伴い、基本水量が46,000m³から46,790m³に改定された。

【受水費の計算方法】

受水費 = 基本料金 + 従量料金

基本料金 = 年間責任水量 × 基本単価

従量料金 = 年間受水量 × 従量単価

③ 給水量分析

(令和2年度)

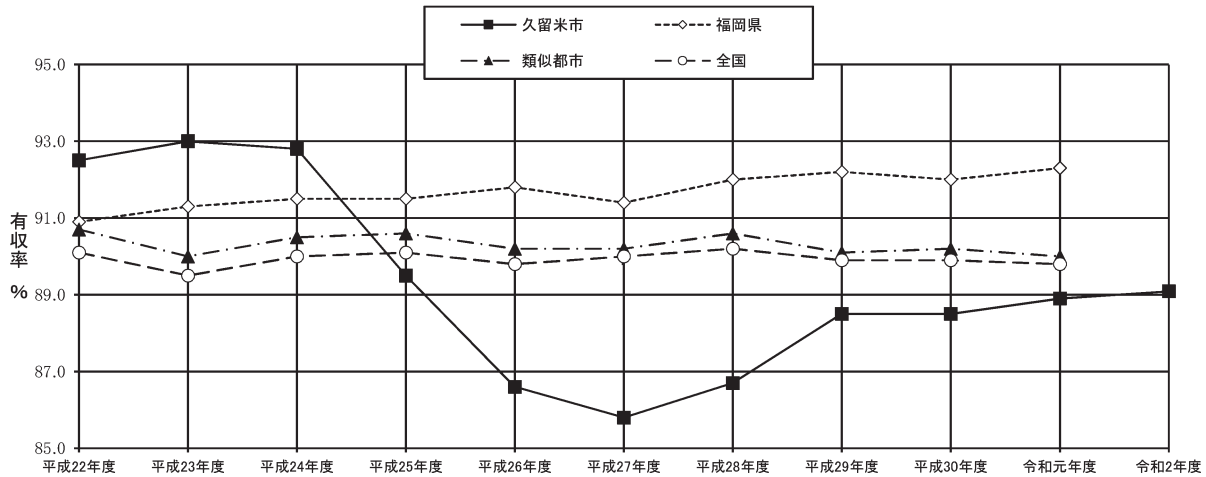
給水量(A) 28,089,099m ³ 100.00%	有効水量 26,346,125m ³ 93.79%	有収水量(B)	料金水量	24,988,824m ³	88.96%	料金徴収の基礎となった水量
		無収水量 1,321,888m ³ 4.71%	分水量	35,413m ³	0.13%	他の水道に対しての分水量
			応援給水	0m ³	0.00%	応援給水量
	無効水量(C) 1,742,974m ³ 6.21%	メーター関係水量	715,561m ³	2.55%	メーター不感のため料金徴収の対象とならない水量	
		局事業用水量	603,985m ³	2.15%	水道施設および管洗浄用水等に使用した水量	
		消防用水量	2,342m ³	0.01%	消火に使用した水量	
		調定減額水量	105,838m ³	0.38%	料金調定で減額の対象となった水量	
		漏水水量	33,782m ³	0.12%	配水の本支管等の漏水量	
		その他	1,603,354m ³	5.71%	水道施設の損傷等による水量及び不明水量	

※構成比は、表示単位に四捨五入してあることから、内訳の計は必ずしも合計に一致しない。

④ 有収率の推移

(単位:%)

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
久留米市	92.5	93.0	92.8	89.5	86.6	85.8	86.7	88.5	88.5	88.9	89.1
福岡県	90.9	91.3	91.5	91.5	91.8	91.4	92.0	92.2	92.0	92.3	-
類似都市	90.7	90.0	90.5	90.6	90.2	90.2	90.6	90.1	90.2	90.0	-
全国	90.1	89.5	90.0	90.1	89.8	90.0	90.2	89.9	89.9	89.8	-



参考:『地方公営企業年鑑』(地方公営企業経営研究会編) 『福岡県の水道』(福岡県)

* 令和2年度の他自治体の有収率は未発表のため未記載

⑤ 取水場、浄水場電力使用量及び料金

施設等 年月	太郎原取水場		放光寺浄水場		小
	電力量(kWh)	料金(円)	電力量(kWh)	料金(円)	電力量(kWh)
令和2年 4月	494,678	7,274,205	104,040	1,514,837	598,718
5月	505,901	7,349,673	100,507	1,455,075	606,408
6月	492,722	7,280,495	112,182	1,612,923	604,904
7月	491,302	7,452,989	116,350	1,711,459	607,652
8月	531,847	7,930,356	121,216	1,754,322	653,063
9月	501,888	7,452,725	110,482	1,601,057	612,370
10月	526,966	7,439,207	103,168	1,443,406	630,134
11月	518,093	7,196,451	106,379	1,453,520	624,472
12月	548,705	7,497,702	116,102	1,554,502	664,807
令和3年 1月	542,143	7,037,140	116,465	1,537,870	658,608
2月	467,306	6,195,055	102,450	1,388,008	569,756
3月	508,769	6,783,490	110,131	1,498,218	618,900
令和2年度計	6,130,320	86,889,488	1,319,472	18,525,197	7,449,792
月平均	510,860	7,240,791	109,956	1,543,766	620,816
日平均	16,795	238,053	3,615	50,754	20,410
1m ³ 当り	0.279	3.953	0.060	0.843	0.339
令和元年度	6,052,459	93,820,447	1,290,871	19,892,975	7,343,330
平成30年度	6,073,923	94,443,404	1,298,545	20,304,116	7,372,468
平成29年度	6,076,594	87,377,695	1,286,527	18,746,413	7,363,121
平成28年度	6,171,497	80,104,850	1,278,663	17,097,498	7,450,160

⑥ 高所地区電力使用量及び料金

施設等 年月	高良内配水池		上津減圧弁室		良山台
	電力量(kWh)	料金(円)	電力量(kWh)	料金(円)	電力量(kWh)
令和2年 4月	152	3,744	155	4,291	530
5月	152	3,745	156	4,321	574
6月	129	3,162	170	4,588	551
7月	157	3,855	164	4,579	583
8月	143	3,492	189	5,163	634
9月	143	3,471	156	4,509	580
10月	147	3,541	160	4,450	582
11月	147	3,514	146	4,026	562
12月	137	3,246	151	4,086	534
令和3年 1月	156	3,691	187	4,668	650
2月	132	3,112	150	4,053	535
3月	137	3,246	139	3,882	541
令和2年度計	1,732	41,819	1,923	52,616	6,856
月平均	144	3,485	160	4,385	571
日平均	5	115	5	144	19
1m ³ 当り	—	—	—	—	—
令和元年度	1,716	43,023	1,940	54,036	6,734
平成30年度	1,743	42,854	1,882	52,548	6,690
平成29年度	1,778	41,496	1,954	51,419	6,634
平成28年度	1,825	40,172	1,782	44,295	7,172

計	藤山受水		計	
	料金(円)	電力量(kWh)	料金(円)	電力量(kWh)
8,789,042	112,240	1,791,616	710,958	10,580,658
8,804,748	115,889	1,820,746	722,297	10,625,494
8,893,418	115,545	1,833,393	720,449	10,726,811
9,164,448	119,573	1,928,876	727,225	11,093,324
9,684,678	121,940	1,942,803	775,003	11,627,481
9,053,782	116,463	1,859,320	728,833	10,913,102
8,882,613	120,480	1,835,456	750,614	10,718,069
8,649,971	114,691	1,729,014	739,163	10,378,985
9,052,204	121,701	1,792,835	786,508	10,845,039
8,575,010	125,036	1,737,425	783,644	10,312,435
7,583,063	108,596	1,571,044	678,352	9,154,107
8,281,708	116,685	1,666,371	735,585	9,948,079
105,414,685	1,408,839	21,508,899	8,858,631	126,923,584
8,784,557	117,403	1,792,408	738,219	10,576,965
288,807	3,860	58,928	24,270	347,736
4,796	0,273	4,168	—	—
113,713,422	1,400,995	23,403,430	8,744,325	137,116,852
114,747,520	1,442,396	23,262,872	8,814,864	138,010,392
106,124,108	1,467,241	21,160,922	8,830,362	127,285,030
97,202,348	1,422,561	18,329,163	8,872,721	115,531,511

一ノ瀬ポンプ所	藤山配水場		計	
	料金(円)	電力量(kWh)	料金(円)	電力量(kWh)
13,782	18,266	239,182	19,103	260,999
14,559	19,615	249,081	20,497	271,706
14,133	20,175	262,994	21,025	284,877
15,340	20,718	269,704	21,622	293,478
16,558	22,637	289,106	23,603	314,319
15,442	19,671	249,820	20,550	273,242
14,659	19,556	240,929	20,445	263,579
13,935	18,228	221,439	19,083	242,914
13,373	18,904	226,811	19,726	247,516
15,273	18,985	214,560	19,978	238,192
13,352	16,832	202,483	17,649	223,000
13,507	18,680	218,793	19,497	239,428
173,913	232,267	2,884,902	242,778	3,153,250
14,493	19,356	240,409	20,232	262,771
476	636	7,904	665	8,639
—	0,278	3,454	—	—
175,842	239,562	3,650,078	246,076	3,814,536
173,876	253,686	4,288,739	264,001	4,558,017
164,297	270,232	4,339,542	280,598	4,596,754
164,036	252,268	3,716,987	263,047	3,965,490

⑦ 西部、下田配水場電力使用量及び料金

施設等 年月	西部配水場		下田配水場		電力量(kWh)
	電力量(kWh)	料金(円)	電力量(kWh)	料金(円)	
令和2年 4月	51,070	821,428	82	20,977	51,152
5月	55,471	861,175	93	21,172	55,564
6月	55,468	871,302	91	21,133	55,559
7月	57,094	912,550	91	21,170	57,185
8月	60,289	942,609	96	21,368	60,385
9月	54,544	859,708	100	21,430	54,644
10月	55,524	839,663	95	21,277	55,619
11月	53,087	795,554	96	21,155	53,183
12月	53,695	800,535	79	20,856	53,774
令和3年 1月	54,664	777,288	92	21,063	54,756
2月	48,066	705,552	73	20,748	48,139
3月	51,780	761,592	75	20,789	51,855
令和2年度計	650,752	9,948,956	1,063	253,138	651,815
月平均	54,229	829,080	89	21,095	54,318
日平均	1,783	27,257	3	694	1,786
1m ³ 当り	0.173	2,649	—	—	—
令和元年度	640,203	10,892,800	4,434	314,214	644,637
平成30年度	634,392	11,025,211	12,079	449,723	646,471
平成29年度	641,101	10,535,897	13,343	454,466	654,444
平成28年度	636,936	9,755,939	15,919	476,292	652,855

⑧ 田主丸地区電力使用量及び料金

施設等 年月	田主丸送水管流量計		田主丸残塩計		石垣
	電力量(kWh)	料金(円)	電力量(kWh)	料金(円)	電力量(kWh)
令和2年 4月	5	342	12	531	403
5月	4	374	14	570	488
6月	4	374	12	530	448
7月	4	373	13	549	552
8月	5	392	23	730	704
9月	4	372	27	815	638
10月	4	372	21	683	498
11月	4	371	13	541	414
12月	4	370	11	501	383
令和3年 1月	5	388	15	574	467
2月	4	370	11	500	365
3月	4	371	13	538	407
令和2年度計	51	4,469	185	7,062	5,767
月平均	4	372	15	589	481
日平均	0.1	12	0.5	19	16
1m ³ 当り	0.00008	0.007	—	—	—
令和元年度	51	4,329	204	7,548	6,031
平成30年度	47	4,058	188	7,165	5,398
平成29年度	51	3,885	197	7,110	5,024
平成28年度	61	3,743	211	7,075	3,931

計
料金(円)
842,405
882,347
892,435
933,720
963,977
881,138
860,940
816,709
821,391
798,351
726,300
782,381
10,202,094
850,175
27,951
—
11,207,014
11,474,934
10,990,363
10,232,231

配水池	石垣ポンプ場		計		
	料金(円)	電力量(kWh)	料金(円)	電力量(kWh)	料金(円)
	11,256	3,362	93,600	3,782	105,729
	13,654	3,897	104,071	4,403	118,669
	12,510	3,539	97,685	4,003	111,099
	15,401	4,161	113,818	4,730	130,141
	19,602	3,835	108,025	4,567	128,749
	17,661	3,765	106,243	4,434	125,091
	13,667	3,745	100,401	4,268	115,123
	11,272	3,528	94,270	3,959	106,454
	10,357	3,425	91,560	3,823	102,788
	12,600	4,606	122,040	5,093	135,602
	9,829	3,449	92,118	3,829	102,817
	11,011	3,615	95,180	4,039	107,100
	158,820	44,927	1,219,011	50,930	1,389,362
	13,235	3,744	101,584	4,244	115,780
	435	123	3,340	140	3,806
	—	0.329	8,934	—	—
	169,279	46,067	1,253,777	52,353	1,434,933
	150,316	40,044	1,135,478	45,677	1,297,017
	133,729	51,631	1,277,138	56,903	1,421,862
	98,983	31,681	902,152	35,884	1,011,953

(2) 使用水量・調定

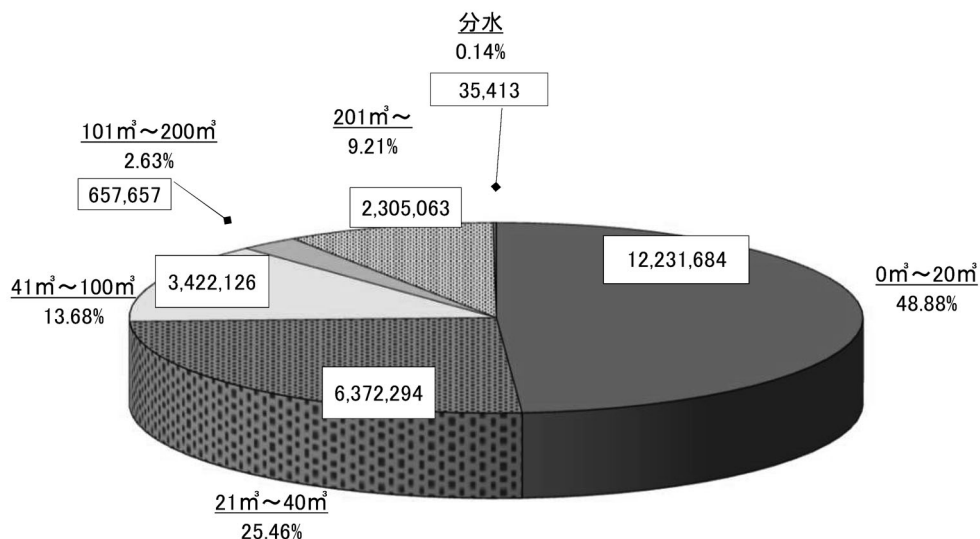
① 使用水量分析 (段階別、口径別)

(単位: m³)

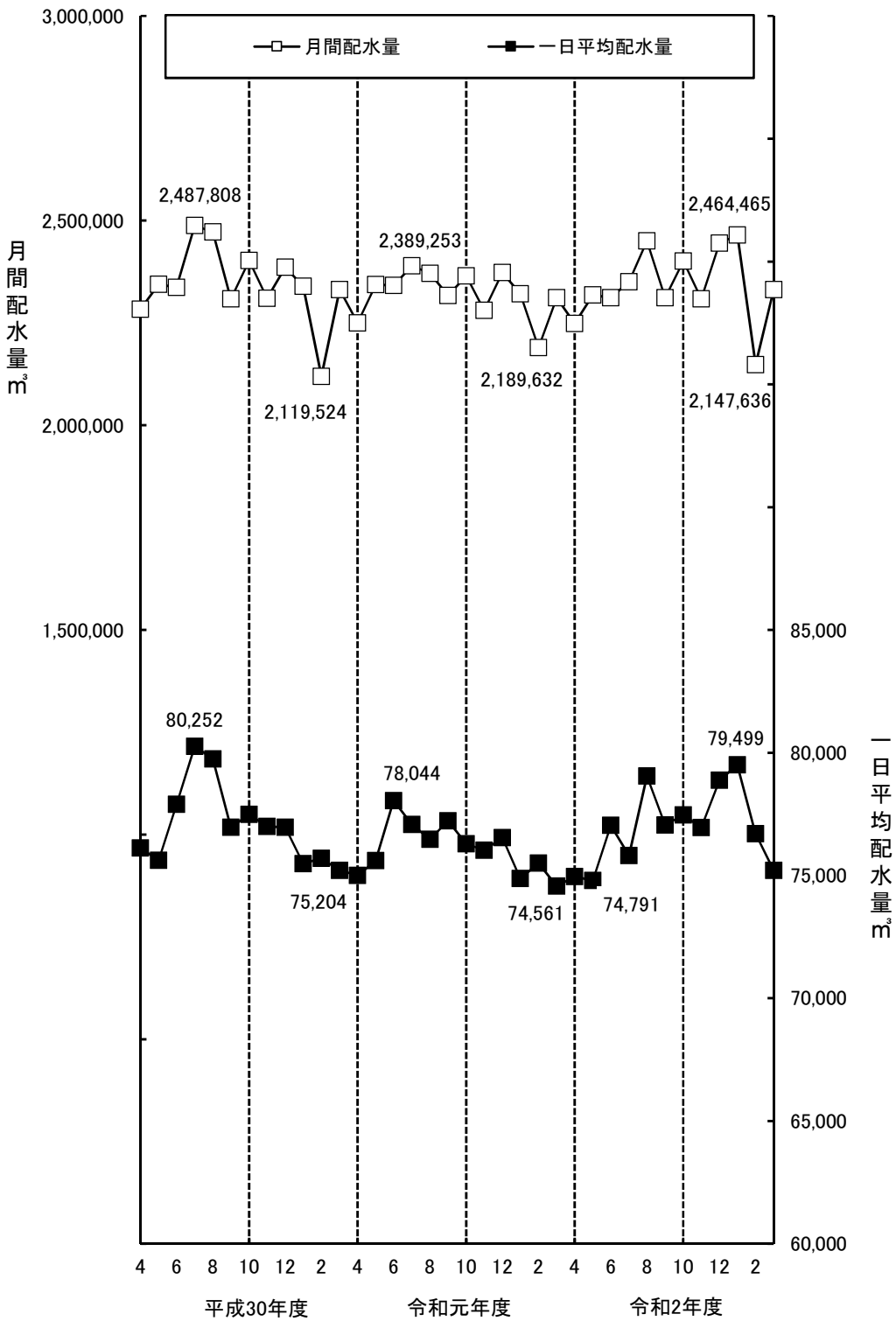
口径	段階	0m ³ ~20m ³	21m ³ ~40m ³	41m ³ ~100m ³	101m ³ ~200m ³	201m ³ ~	分水	計
13mm	水量	4,193,065	1,914,774	925,558	48,642	27,677		7,109,716
	(構成比%)	(58.98%)	(26.93%)	(13.02%)	(0.68%)	(0.39%)		(28.41%)
20mm	水量	7,688,706	4,192,229	1,986,142	116,306	88,181		14,071,564
	(構成比%)	(54.64%)	(29.79%)	(14.11%)	(0.83%)	(0.63%)		(56.23%)
25mm	水量	191,978	131,416	188,179	115,063	192,227		818,863
	(構成比%)	(23.44%)	(16.05%)	(22.98%)	(14.05%)	(23.47%)		(3.27%)
40mm	水量	112,294	91,681	208,519	222,412	629,291		1,264,197
	(構成比%)	(8.88%)	(7.25%)	(16.49%)	(17.59%)	(49.78%)		(5.05%)
50mm	水量	31,332	28,535	75,097	97,262	555,779		788,005
	(構成比%)	(3.98%)	(3.62%)	(9.53%)	(12.34%)	(70.53%)		(3.15%)
75mm	水量	11,925	11,265	31,622	46,975	533,664		635,451
	(構成比%)	(1.88%)	(1.77%)	(4.98%)	(7.39%)	(83.98%)		(2.54%)
100mm	水量	2,004	2,014	5,869	9,097	140,759		159,743
	(構成比%)	(1.25%)	(1.26%)	(3.67%)	(5.69%)	(88.12%)		(0.64%)
150mm	水量	380	380	1,140	1,900	137,485		141,285
	(構成比%)	(0.27%)	(0.27%)	(0.81%)	(1.34%)	(97.31%)		(0.56%)
小計	水量	12,231,684	6,372,294	3,422,126	657,657	2,305,063		24,988,824
	(構成比%)	(48.95%)	(25.50%)	(13.69%)	(2.63%)	(9.22%)		(99.86%)
分水	水量						35,413	35,413
	(構成比%)							(0.14%)
合計	水量	12,231,684	6,372,294	3,422,126	657,657	2,305,063	35,413	25,024,237
	(構成比%)	(48.88%)	(25.46%)	(13.68%)	(2.63%)	(9.21%)	(0.14%)	(100.00%)

※下段の()は各口径毎の段階別構成比、計欄の()は口径別構成比

※構成比は、表示単位に四捨五入してあることから、内訳の計は必ずしも合計に一致しない。



② 月別配水量推移



③水道料金調定

年月		内訳		調定		
				13mm	20mm	25mm
令和2年度	件数(件) (対前年度比%)	253,163 (98.0)	476,239 (102.4)	12,249 (99.6)	6,089 (97.2)	1,648 (98.2)
	金額(円) (対前年度比%)	1,079,446,251 (102.3)	2,446,972,880 (107.3)	216,864,763 (94.8)	393,118,744 (91.7)	254,606,193 (90.5)
令和元年度	件数(件) (対前年度比%)	258,435 (98.2)	465,288 (102.7)	12,304 (100.6)	6,262 (97.0)	1,678 (98.7)
	金額(円) (対前年度比%)	1,055,518,702 (99.5)	2,280,877,142 (102.3)	228,710,019 (99.8)	428,898,118 (95.2)	281,272,996 (97.3)
平成30年度	件数(件) (対前年度比%)	263,125 (98.4)	453,194 (103.4)	12,225 (100.6)	6,458 (100.9)	1,700 (100.1)
	金額(円) (対前年度比%)	1,060,794,117 (96.3)	2,229,425,246 (102.2)	229,237,901 (100.0)	450,474,127 (101.1)	288,952,019 (94.0)
平成29年度	件数(件) (対前年度比%)	267,361 (98.7)	438,302 (102.9)	12,151 (100.6)	6,400 (100.1)	1,699 (101.5)
	金額(円) (対前年度比%)	1,101,446,333 (97.4)	2,182,126,781 (102.4)	229,151,418 (99.9)	445,673,859 (100.9)	307,549,532 (101.1)
平成28年度	件数(件) (対前年度比%)	270,847 (98.5)	426,021 (103.2)	12,079 (101.1)	6,395 (100.3)	1,674 (101.5)
	金額(円) (対前年度比%)	1,131,246,031 (97.7)	2,130,010,109 (102.9)	229,293,649 (101.7)	441,735,623 (99.5)	304,287,123 (101.9)
平成27年度	件数(件) (対前年度比%)	275,081 (98.7)	412,630 (103.5)	11,943 (101.0)	6,375 (101.2)	1,650 (102.1)
	金額(円) (対前年度比%)	1,158,130,574 (98.9)	2,069,187,810 (103.4)	225,515,053 (101.3)	444,164,612 (101.2)	298,740,292 (102.4)

※金額は消費税及び地方消費税を含む。

内 訳					収入額計	未収累計
75mm	100mm	150mm	分水	調定額計		
624 (98.1)	101 (102.0)	19 (100.0)	12 (100.0)	750,144 (100.7)	667,018 (101.0)	83,126 (98.7)
213,793,062 (85.8)	56,947,348 (76.4)	43,609,335 (96.2)	5,064,059 (104.1)	4,710,422,635 (101.3)	4,196,280,990 (101.8)	514,141,645 (97.6)
636 (99.7)	99 (97.1)	19 (105.6)	12 (100.0)	744,733 (101.0)	660,472 (101.1)	84,261 (100.0)
249,235,228 (94.4)	74,541,651 (95.7)	45,352,757 (97.9)	4,865,823 (101.0)	4,649,272,436 (99.9)	4,122,418,380 (99.7)	526,854,056 (102.0)
638 (100.0)	102 (96.2)	18 (100.0)	12 (92.3)	737,472 (101.5)	653,205 (101.4)	84,267 (101.9)
264,102,605 (95.7)	77,875,067 (105.9)	46,346,958 (100.2)	4,815,268 (102.5)	4,652,023,308 (99.7)	4,134,707,882 (99.7)	516,508,126 (99.7)
638 (99.1)	106 (97.2)	18 (100.0)	13 (76.5)	726,688 (101.2)	643,958 (101.1)	82,730 (101.9)
276,060,065 (99.4)	73,524,734 (97.2)	46,275,678 (102.3)	4,697,129 (111.3)	4,666,505,529 (100.6)	4,148,315,462 (100.6)	518,190,067 (100.7)
644 (99.2)	109 (105.8)	18 (100.0)	17 (113.3)	717,804 (101.3)	636,653 (101.3)	81,151 (101.2)
277,646,346 (94.9)	75,668,090 (95.7)	45,256,158 (101.1)	4,221,412 (109.0)	4,639,364,541 (100.5)	4,124,556,623 (101.0)	514,807,918 (96.4)
649 (100.8)	103 (101.0)	18 (85.7)	15 (93.8)	708,464 (101.5)	628,237 (101.5)	80,227 (99.7)
292,536,209 (100.9)	79,058,505 (81.8)	44,750,988 (97.0)	3,872,327 (103.0)	4,615,956,370 (101.2)	4,082,017,359 (101.2)	533,939,011 (101.8)

(3) 収納

① 年度内収納率

請求手段		調定年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
納付制	調定	164,500	1,174,151,774	166,568	1,141,607,843	166,436	1,104,352,709	162,511	1,053,010,209		
	収納	135,630	987,487,725	136,891	954,914,509	137,449	920,418,684	134,898	881,268,128		
	(収納率%)	(82.45)	(84.10)	(82.18)	(83.65)	(82.58)	(83.34)	(83.01)	(83.69)		
口座制	調定	562,188	3,492,353,755	570,905	3,510,415,465	578,297	3,544,919,727	587,633	3,657,412,426		
	収納	508,328	3,160,827,737	516,314	3,179,793,373	523,023	3,201,999,696	532,120	3,315,012,862		
	(収納率%)	(90.42)	(90.51)	(90.44)	(90.58)	(90.44)	(90.33)	(90.55)	(90.64)		
計	調定	726,688	4,666,505,529	737,473	4,652,023,308	744,733	4,649,272,436	750,144	4,710,422,635		
	収納	643,958	4,148,315,462	653,205	4,134,707,882	660,472	4,122,418,380	667,018	4,196,280,990		
	(収納率%)	(88.62)	(88.90)	(88.57)	(88.88)	(88.69)	(88.67)	(88.92)	(89.09)		

※年度内収納率とは、調定年度の年度末における収納率を示す。

※金額は消費税及び地方消費税を含む。

② 納期内収納率

請求手段		調定年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
納付制	調定	164,500	1,174,151,774	166,568	1,141,607,843	166,436	1,104,352,709	162,511	1,053,010,209		
	収納	153,954	1,125,044,709	153,912	1,086,957,045	152,990	1,057,321,986	152,389	1,005,322,939		
	(収納率%)	(93.59)	(95.82)	(92.40)	(95.21)	(91.92)	(95.74)	(93.77)	(95.47)		
口座制	調定	562,188	3,492,353,755	570,905	3,510,415,465	578,297	3,544,919,727	587,633	3,657,412,426		
	収納	559,897	3,478,401,218	568,838	3,498,069,974	575,695	3,530,941,072	585,574	3,645,128,110		
	(収納率%)	(99.59)	(99.60)	(99.64)	(99.65)	(99.55)	(99.61)	(99.65)	(99.66)		
計	調定	726,688	4,666,505,529	737,473	4,652,023,308	744,733	4,649,272,436	750,144	4,710,422,635		
	収納	713,851	4,603,445,927	722,750	4,585,027,019	728,685	4,588,263,058	737,963	4,650,451,049		
	(収納率%)	(98.23)	(98.65)	(98.00)	(98.56)	(97.85)	(98.69)	(98.38)	(98.73)		

※納期内収納率とは、調定年度の翌年度4月末日における収納率を示す。

※金額は消費税及び地方消費税を含む。

(4) 料金

① 水道料金(変遷)表

(単位:円/税抜)

料金改定変遷		15次	16次	17次	18次	19次	20次
基本/従量		昭和53年 4月	昭和55年 4月	昭和57年 4月	昭和60年 4月	平成元年 4月	平成20年4月 現行料金
口径(mm)		管理者が別に定める額					
基本料金	φ13	360	410	550	660	750	750
	φ20	570	670	920	1,180	1,200	1,100
	φ25	990	1,200	1,650	2,130	2,480	2,480
	φ40	2,200	2,700	3,800	5,100	6,000	6,000
	φ50	4,800	5,900	9,400	11,500	13,600	13,600
	φ75	10,000	13,500	19,500	26,900	32,000	32,000
	φ100	19,000	26,000	38,000	52,500	62,500	62,500
	φ150	36,000	51,000	75,000	104,000	124,000	124,000
	φ200	75,000	110,000	163,000	226,000	270,000	270,000
	φ250	80,000	125,000	187,000	261,000	313,000	313,000
分水用		管理者が別に定める額					
私設消火栓 演習用		消火栓一個につき 一回5分までごとに					
		1,000	1,200	1,200	1,300	1,300	1,300
従量料金 *表中の金額は 1㎡当たりの金額	φ13~25	1㎡を超え 10㎡まで	0	0	0	0	10.0
		10㎡を超え 20㎡まで	70	80	105	130	150.0
		20㎡を超え 50㎡まで	90	110	150	195	220.0
		50㎡を超え 100㎡まで	105	125	175	235	230.0
		100㎡を超える分	115	140	200	270	250.0
	φ40~250	1㎡を超え 20㎡まで	70	80	105	130	150.0
		20㎡を超え 50㎡まで	90	110	150	195	220.0
		50㎡を超え 100㎡まで	105	125	175	235	230.0
		100㎡を超える分	115	140	200	270	250.0
	主な改定内容		第4次拡張事業、建設改良工事の遂行、諸物価の予想以上の高騰により水道財政の確立を図るため改定を行った。	第2次石油危機原油の大幅値上げによる諸物価の高騰や電力料金の値上げにより水道財政が逼迫したため、改定を行った。	料金収入の伸び悩みや、拡張事業等に要する経費の増加、動力費及び資材の高騰による維持管理費の増大等に起因する財政不足に対応する改定を行った。	料金収入の伸び悩みや拡張事業等に要する企業債の償還額の増大に対応し健全な財政、安定供給の確保のため改定を行った。	施設整備拡充にともなう借入金の元利償還や維持管理に要する費用など諸経費の増大と料金収入の伸び悩み等により改定を行った。
(改定率%)		(21.0)	(19.5)	(38.3)	(29.8)	(16.4)	(△5.3)

※15次~19次改定までは旧久留米地区のみ適用

②水道加入金表

(消費税抜き)

メーター口径	市内全域
13mm	40,000円
20mm	60,000円
25mm	67,800円
40mm	240,000円
50mm	562,800円
75mm	1,128,000円
100mm	4,134,000円
150mm	12,000,000円
200mm	管理者が別途定める

※メーター口径の増変更の際には、新口径と旧口径との加入金の差額を徴収する。

※加入金制度は、平成21年4月から実施。

5 給水工事・配給水管修繕・メーター他

(1) 給水工事

- ① 給水装置工事申込受付
- ② 給水申込受付

(2) 配給水管修繕

- ① 修繕工事等の件数
- ② 管種別漏水修理の推移
- ③ 弁栓類別漏水修理の推移
- ④ 漏水防止年度別実績

(3) メーター

- ① メーター設置数
- ② メーター移動年次比較

5 給水工事・配給水管修繕・メータ一他

(1) 給水工事

① 給水装置工事申込受付

(単位:戸)

年月	区分	新 設	撤 去	改 造	合 計
令和2年4月		169 [56]	24	64	257
5月		135 [37]	15	40	190
6月		294 [28]	15	42	351
7月		249 [47]	16	61	326
8月		135 [36]	40	46	221
9月		105 [35]	13	45	163
10月		135 [17]	11	55	201
11月		111 [10]	33	42	186
12月		172 [22]	10	70	252
令和3年1月		129 [31]	50	52	231
2月		149 [31]	22	42	213
3月		165 [55]	36	81	282
令和2年度 (対前年度比%)		1,948 (87.7)	285 (73.6)	640 (65.6)	2,873 (80.2)
令和元年度 (対前年度比%)		2,222 (90.3)	387 (125.2)	975 (112.2)	3,584 (98.5)
平成30年度 (対前年度比%)		2,460 (87.0)	309 (61.2)	869 (96.2)	3,638 (85.9)
平成29年度 (対前年度比%)		2,826 (107.2)	505 (99.4)	903 (105.6)	4,234 (105.9)
平成28年度		2,637	508	855	4,000

② 給水申込受付

(単位:戸)

年月	区分	専用	
		開 始	中 止
令和2年4月		1,681	1,418
5月		1,095	1,013
6月		1,374	1,388
7月		1,445	1,322
8月		1,351	1,255
9月		1,245	1,241
10月		1,342	1,314
11月		1,282	1,265
12月		1,278	1,276
令和3年1月		1,192	1,282
2月		1,452	1,612
3月		3,092	2,660
令和2年度 (対前年度比%)		17,829 (99.4)	17,046 (101.7)
令和元年度 (対前年度比%)		17,929 (103.0)	16,767 (107.9)
平成30年度 (対前年度比%)		17,401 (102.2)	15,546 (100.6)
平成29年度 (対前年度比%)		17,201 (98.8)	14,998 (98.8)
平成28年度		16,837	14,907

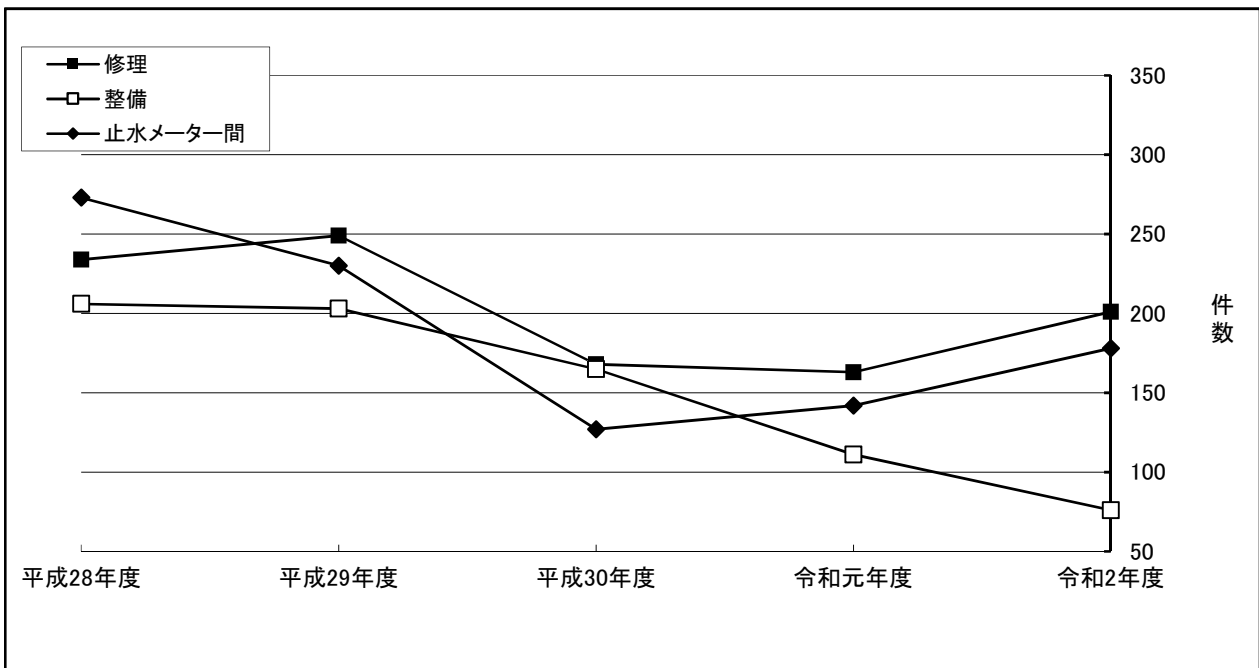
※新設には準備管工事を含む。
 ※新設の[]内は準備管数を表す。
 ※改造には増設工事を含む。

(2) 配給水管修繕

① 修繕工事等の件数

年月	区分		公道分					止水メーター間			総計
	修 理			整 備			修 理				
	管類	弁栓類	計	管類	弁室	その他	計	管類	弁栓類	計	
令和2年 4月	5	2	7	0	16	0	16	7	3	10	33
5月	13	0	13	2	0	0	2	5	16	21	36
6月	13	7	20	0	9	1	10	2	5	7	37
7月	11	0	11	0	1	0	1	3	3	6	18
8月	16	2	18	0	2	0	2	14	6	20	40
9月	18	2	20	0	2	0	2	11	2	13	35
10月	17	2	19	0	5	0	5	12	5	17	41
11月	14	1	15	0	8	0	8	11	11	22	45
12月	23	5	28	3	4	0	7	13	6	19	54
令和3年 1月	18	1	19	1	8	0	9	10	17	27	55
2月	13	0	13	3	6	0	9	3	7	10	32
3月	15	3	18	1	4	0	5	4	2	6	29
令和2年度	176	25	201	10	65	1	76	95	83	178	455
令和元年度	139	24	163	13	98	0	111	74	68	142	416
平成30年度	140	28	168	15	150	0	165	73	54	127	460
平成29年度	203	46	249	17	186	0	203	148	82	230	682
平成28年度	195	39	234	22	184	0	206	180	93	273	716

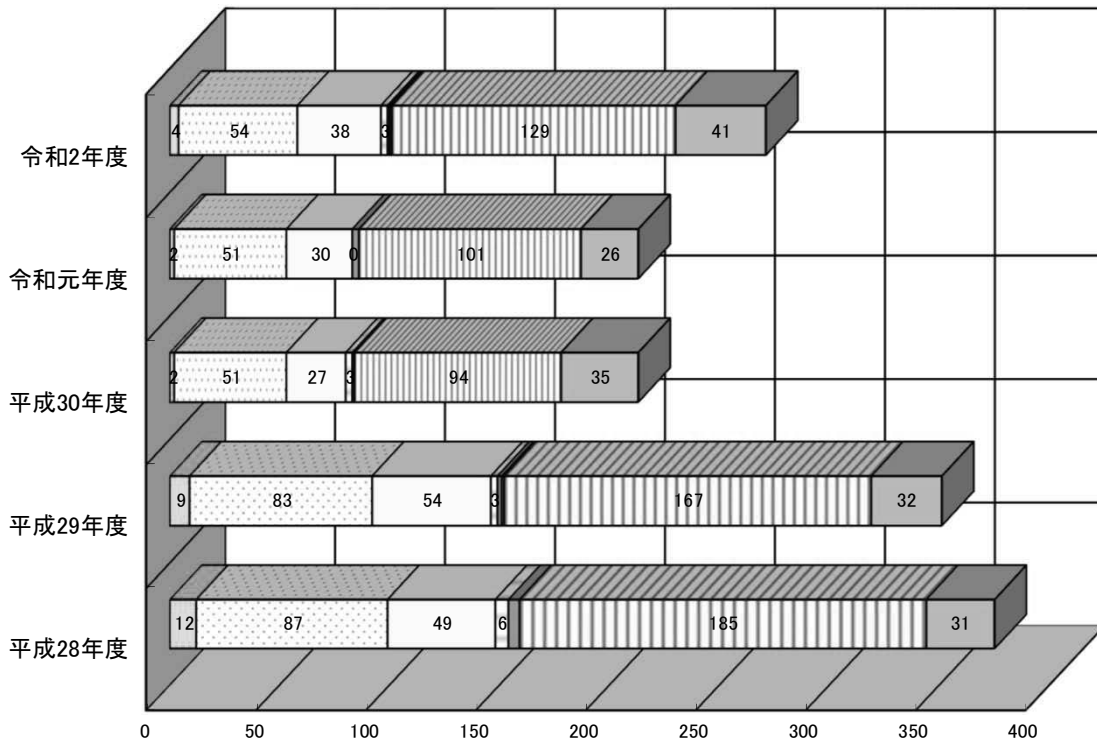
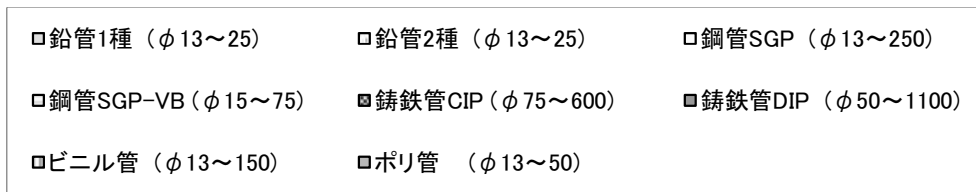
5



② 管種別漏水修理の推移

年度	管種	鉛管1種 (φ13~25)	鉛管2種 (φ13~25)	鋼管SGP (φ13~250)	鋼管SGP-VB (φ15~75)	鑄鉄管CIP (φ75~600)	鑄鉄管DIP (φ50~1100)	ビニル管 (φ13~150)	ポリ管 (φ13~50)	計
	令和2年度	件数	4	54	38	3	1	1	129	41
	(構成比%)	(1.5)	(19.9)	(14.0)	(1.1)	(0.4)	(0.4)	(47.6)	(15.1)	(100.0)
令和元年度	件数	2	51	30	0	0	3	101	26	213
	(構成比%)	(0.9)	(23.9)	(14.1)	(0.0)	(0.0)	(1.4)	(47.4)	(12.2)	(100.0)
平成30年度	件数	2	51	27	3	0	1	94	35	213
	(構成比%)	(0.9)	(23.9)	(12.7)	(1.4)	(0.0)	(0.5)	(44.1)	(16.4)	(100.0)
平成29年度	件数	9	83	54	3	2	1	167	32	351
	(構成比%)	(2.6)	(23.6)	(15.4)	(0.9)	(0.6)	(0.3)	(47.6)	(9.1)	(100.0)
平成28年度	件数	12	87	49	6	0	5	185	31	375
	(構成比%)	(3.2)	(23.2)	(13.1)	(1.6)	(0.0)	(1.3)	(49.3)	(8.3)	(100.0)

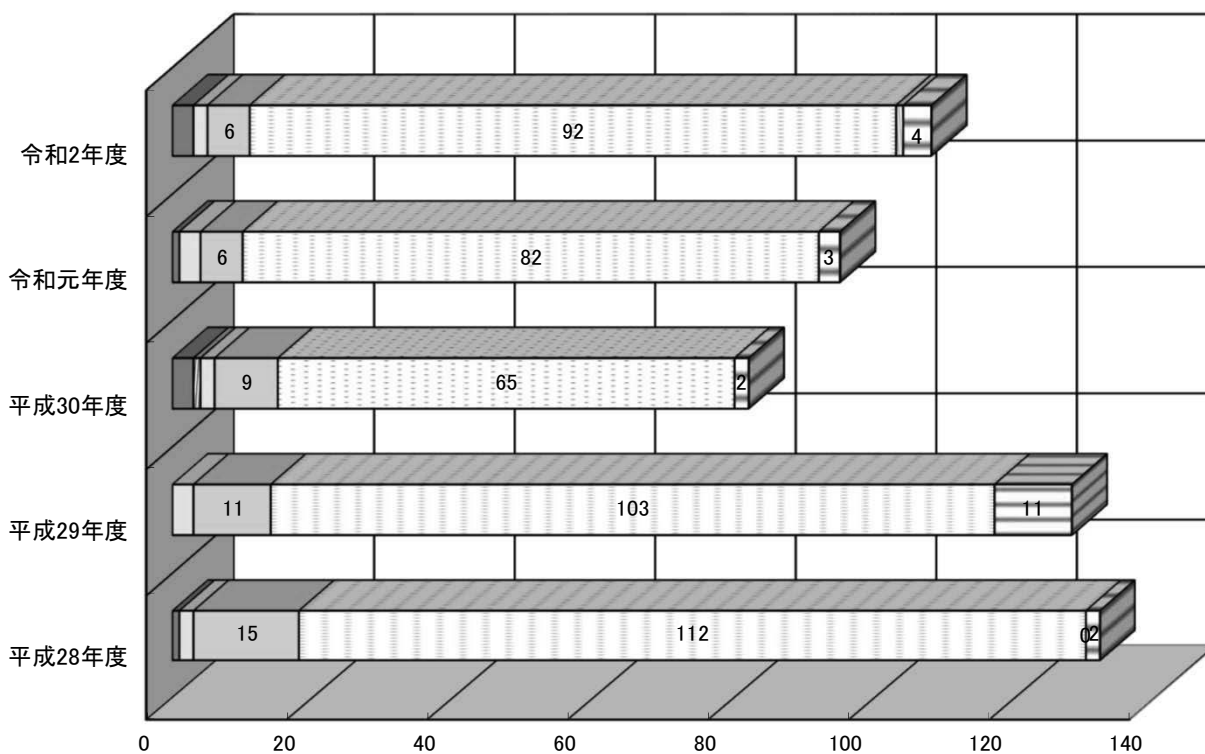
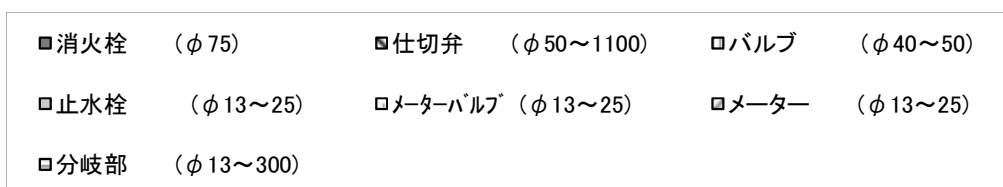
※構成比は、表示単位に四捨五入してあることから、内訳の計は必ずしも合計に一致しない。



③ 弁栓類別漏水修理の推移

管種		消火栓 (φ75)	仕切弁 (φ50~1100)	バルブ (φ40~50)	止水栓 (φ13~25)	メーターバルブ (φ13~25)	メーター (φ13~25)	分岐部 (φ13~300)	計
令和2年度	件数	3	0	2	6	92	1	4	108
	(構成比%)	(2.8)	(0.0)	(1.9)	(5.6)	(85.2)	(0.9)	(3.7)	(100.0)
令和元年度	件数	1	0	3	6	82	0	3	95
	(構成比%)	(1.1)	(0.0)	(3.2)	(6.3)	(86.3)	(0.0)	(3.2)	(100.0)
平成30年度	件数	3	1	2	9	65	0	2	82
	(構成比%)	(3.7)	(1.2)	(2.4)	(11.0)	(79.3)	(0.0)	(2.4)	(100.0)
平成29年度	件数	0	0	3	11	103	0	11	128
	(構成比%)	(0.0)	(0.0)	(2.3)	(8.6)	(80.5)	(0.0)	(8.6)	(100.0)
平成28年度	件数	1	0	2	15	112	0	2	132
	(構成比%)	(0.8)	(0.0)	(1.5)	(11.4)	(84.8)	(0.0)	(1.5)	(100.0)

※構成比は、表示単位に四捨五入してあることから、内訳の計は必ずしも合計に一致しない。



④ 漏水防止年度別実績

区分 年度	給水量 (m ³)	無効水量 (m ³)	無効率 (%)	発見漏水量 (m ³) ※1	漏水量(m ³) (対前年比%)	漏水に伴う 影響額(円) ※2 (対前年比%)	件数 (対前年比%)
					上段:公道漏水 下段:地下漏水 ※3		
令和2年度	28,089,099	1,743,033	6.2%	139,620	33,782 (147.0)	4,982,507 (146.4)	379 (124.3)
					1,030 (23.7)	151,914 (23.6)	11 (40.7)
令和元年度	27,852,685	1,713,251	6.2	173,089	22,987 (81.7)	3,403,225 (79.9)	305 (103.4)
					4,351 (295.4)	644,165 (288.9)	27 (385.7)
平成30年度	28,122,187	1,960,970	7.0	114,156	28,137 (91.8)	4,259,098 (94.9)	295 (61.6)
					1,473 (258.4)	222,968 (267.2)	7 (87.5)
平成29年度	28,255,582	1,954,502	6.9	99,883	30,640 (65.6)	4,485,696 (66.6)	479 (94.5)
					570 (36.7)	83,448 (37.2)	8 (114.3)
平成28年度	28,661,734	2,171,060	7.6	178,290	46,700 (100.8)	6,735,541 (103.2)	507 (93.4)
					1,555 (399.7)	224,277 (409.0)	7 (233.3)
平成27年度	28,878,314	2,470,895	8.6	186,166	46,321 (95.6)	6,529,408 (78.1)	543 (108.0)
					389 (6.3)	54,833 (5.1)	3 (50.0)
平成26年度	28,400,471	2,279,013	8.0	109,372	48,465 (115.5)	8,362,134 (129.8)	503 (110.8)
					6,221 (300.0)	1,073,337 (337.1)	6 (300.0)
平成25年度	27,769,748	1,713,305	6.2	105,763	41,971 (85.6)	6,442,549 (85.8)	454 (82.8)
					2,074 (36.4)	318,359 (36.4)	2 (28.6)
平成24年度	27,013,097	1,078,860	4.0	130,747	49,010 (78.4)	7,509,802 (80.0)	548 (102.4)
					5,702 (103.8)	873,717 (105.8)	7 (87.5)
平成23年度	28,630,788	1,254,208	4.4	159,575	62,489 (69.0)	9,388,347 (73.1)	535 (91.8)
					5,495 (212.0)	825,568 (224.8)	8 (266.7)

※1 宅内漏水(漏水減免分と止水メーター間) + 公道漏水

※2 漏水量 × 給水原価

※3 公道漏水のうち定期調査により発見した、地下に潜在していた漏水

(3)メーター

①メーター設置数

(単位:個)

口径 年度	口径									設置数合計
	13φ	20φ	25φ	40φ	50φ	75φ	100φ	150φ	200φ	
令和2年度	45,637	85,188	2,481	1,402	342	115	20	5	0	135,190
令和元年度	46,577	83,348	2,505	1,388	343	115	19	5	0	134,300
平成30年度	47,496	81,333	2,506	1,396	343	115	19	5	0	133,213
平成29年度	48,132	79,450	2,495	1,382	344	114	19	5	0	131,941
平成28年度	49,062	76,854	2,485	1,382	343	116	20	5	0	130,267
平成27年度	49,959	74,871	2,478	1,385	339	117	20	5	0	129,174
平成26年度	50,838	72,637	2,465	1,375	333	117	19	5	0	127,789
平成25年度	51,876	70,412	2,446	1,354	326	114	19	6	0	126,553
平成24年度	52,544	68,372	2,450	1,331	324	115	19	6	0	125,161
平成23年度	53,016	66,435	2,452	1,311	323	115	18	7	0	123,677

※設置数は閉栓に伴うメーター据置数を含む。

② メーター移動年次比較

(単位:個)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
開栓(取付)	2,270	2,429	1,912	2,091	1,517
閉栓(引上げ)	850	893	789	1,288	1,385
取替	18,599	17,916	14,650	14,913	17,370
委託修理	9,918	10,783	8,317	16,003	17,798
購入	10,401	9,625	8,251	2,096	3,560

6 経理統計

(1) 決算状況

- ① 収益的収支年次表
- ② 資本的収支年次表
- ③ 資産・負債・資本対比表

(2) 供給単価・給水原価分析

- ① 1 m³ 当たり供給単価及び給水原価内訳表
- ② 給水原価構成表

(3) 企業債借入残高状況

(4) 経営分析表

(5) キャッシュ・フロー計算書

6 経理統計

(1) 決算状況

① 収益的収支年次表

科目	平成28年度		平成29年度			金額(千円)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	
水道事業収益	4,589,775	100.0	4,623,221	100.0	100.7	4,615,047
営業収益	4,345,646	94.7	4,373,544	94.6	100.6	4,357,804
給水収益	4,295,881	93.6	4,321,014	93.5	100.6	4,307,607
その他営業収益	49,765	1.1	52,530	1.1	105.6	50,197
営業外収益	240,587	5.3	246,802	5.3	102.6	252,105
受取利息	2,570	0.1	1,685	0.0	65.6	1,790
長期前受金戻入	216,033	4.7	228,437	4.9	105.7	233,690
雑収益	21,984	0.5	16,680	0.4	75.9	16,625
特別利益	3,542	0.0	2,875	0.1	81.2	5,138
固定資産売却益	1,970	0.0	1,714	0.1	87.0	1,839
過年度損益修正益	587	0.0	609	0.0	103.7	3,299
その他特別利益	985	0.0	552	0.0	56.0	—
水道事業費用	3,810,971	100.0	3,889,723	100.0	102.1	4,011,033
営業費用	3,672,280	96.4	3,771,327	96.9	102.7	3,895,086
原水及び浄水費	1,268,164	33.3	1,366,080	35.1	107.7	1,387,557
配水及び給水費	428,669	11.2	449,146	11.5	104.8	459,316
業務費	338,467	8.9	352,484	9.0	104.1	389,351
総係費	277,673	7.3	202,175	5.2	72.8	230,236
減価償却費	1,335,888	35.1	1,364,280	35.1	102.1	1,386,453
資産減耗費	23,419	0.6	37,162	1.0	158.7	42,173
営業外費用	127,930	3.3	116,352	3.0	90.9	106,797
支払利息	127,344	3.3	116,352	3.0	91.4	106,797
雑支出	586	0.0	—	—	皆減	—
特別損失	10,761	0.3	2,044	0.1	19.0	9,150
固定資産売却損	394	0.0	86	0.0	21.8	161
減損損失	—	—	—	—	—	—
過年度損益修正損	10,184	0.3	1,958	0.1	19.2	7,589
その他特別損失	183	0.0	—	—	皆減	1,400
純利益	778,804	—	733,498	—	94.2	604,014
当年度未処分利益剰余金	1,469,112	—	1,466,171	—	99.8	1,390,194

(消費税抜き)

平成30年度		令和元年度			令和2年度		
構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
100.0	99.8	4,604,184	100.0	99.8	4,610,816	100.0	100.1
94.4	99.6	4,321,723	93.9	99.2	4,327,828	93.9	100.1
93.3	99.7	4,278,587	93.0	99.3	4,282,221	92.9	100.1
1.1	95.6	43,136	0.9	85.9	45,607	1.0	105.7
5.5	102.1	262,240	5.7	104.0	272,076	5.9	103.8
0.0	106.2	1,380	0.0	77.1	682	0.0	49.4
5.1	102.3	244,599	5.3	104.7	248,086	5.4	101.4
0.4	99.7	16,261	0.4	97.8	23,308	0.5	143.3
0.1	178.7	20,221	0.4	393.6	10,912	0.2	54.0
0.0	107.3	6,201	0.1	337.2	-	-	皆減
0.1	541.7	7,916	0.2	240.0	678	0.0	8.6
-	皆減	6,104	0.1	皆増	10,234	0.2	167.7
100.0	103.1	3,915,640	100.0	97.6	3,984,075	100.0	101.7
97.1	103.3	3,812,230	97.4	97.9	3,847,261	96.6	100.9
34.6	101.6	1,282,875	32.8	92.5	1,314,982	33.0	102.5
11.4	102.3	435,426	11.1	94.8	478,578	12.0	109.9
9.7	110.5	357,182	9.1	91.7	340,502	8.6	95.3
5.7	113.9	251,649	6.5	109.3	234,059	5.9	93.0
34.6	101.6	1,434,152	36.6	103.4	1,459,860	36.6	101.8
1.1	113.5	50,946	1.3	120.8	19,280	0.5	37.8
2.7	91.8	98,328	2.5	92.1	91,751	2.3	93.3
2.7	91.8	98,328	2.5	92.1	90,401	2.3	91.9
-	-	-	-	-	1,350	0.0	皆増
0.2	447.7	5,082	0.1	55.5	45,063	1.1	886.7
0.0	187.2	-	-	皆減	-	-	-
-	-	-	-	-	35,643	0.9	皆増
0.2	387.6	1,403	0.0	18.5	9,320	0.2	664.3
0.0	皆増	3,679	0.1	262.8	100	0.0	2.7
-	82.3	688,544	-	114.0	626,741	-	91.0
-	94.8	1,544,380	-	111.1	1,554,023	-	100.6

② 資本的収支年次表

区分	年度および金額	平成28年度		平成29年度			金額(千円)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	
収入合計		1,272,328	100.0	1,161,255	100.0	91.3	1,069,988
企業債		900,000	70.7	900,000	77.5	100.0	800,000
補助金		119,966	9.4	-	-	皆減	-
負担金		110,350	8.7	107,037	9.2	97.0	143,101
加入金		140,730	11.1	152,075	13.1	108.1	125,225
固定資産売却代金		1,282	0.1	2,143	0.2	167.2	1,662
支出合計		2,924,196	100.0	2,853,867	100.0	97.6	2,827,340
建設改良費		2,339,957	80.0	1,703,186	59.7	72.8	2,115,536
企業債償還金		578,235	19.8	641,795	22.5	111.0	711,804
補助金返還金		6,004	0.2	8,886	0.3	148.0	-
他会計長期貸付金		-	-	500,000	17.5	皆増	-
補てん財源		1,651,868	100.0	1,692,612	100.0	102.5	1,757,352
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額		152,125	9.2	103,948	6.2	68.3	136,790
減債積立金		578,235	35.0	641,795	37.9	111.0	711,804
過年度分損益勘定留保資金		781,348	47.3	946,869	55.9	121.2	908,758
当年度分損益勘定留保資金		140,160	8.5	-	-	皆減	-

(消費税込み)

平成30年度		令和元年度			令和2年度		
構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
100.0	92.1	1,035,255	100.0	96.8	1,012,535	100.0	97.8
74.8	88.9	750,000	72.4	93.8	750,000	74.1	100.0
-	-	-	-	-	149	0.0	皆増
13.4	133.7	166,943	16.1	116.7	154,747	15.3	92.7
11.7	82.3	117,104	11.3	93.5	107,639	10.6	91.9
0.1	77.6	1,208	0.2	72.7	-	-	皆減
100.0	99.1	2,259,352	100.0	79.9	2,471,417	100.0	109.4
74.8	124.2	1,481,907	65.6	70.0	1,611,070	65.2	108.7
25.2	110.9	777,445	34.4	109.2	860,347	34.8	110.7
-	皆減	-	-	-	-	-	-
-	皆減	-	-	-	-	-	-
100.0	103.8	1,224,097	100.0	69.7	1,458,882	100.0	119.2
7.8	131.6	109,665	9.0	80.2	124,317	8.5	113.4
40.5	110.9	777,445	63.5	109.2	860,347	59.0	110.7
51.7	96.0	336,987	27.5	37.1	474,218	32.5	140.7
-	-	-	-	-	-	-	-

③ 資産・負債・資本対比表

科目	平成28年度		平成29年度		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
資産合計	41,988,194	100.0	42,972,489	100.0	102.3
資産の部	41,988,194	100.0	42,972,489	100.0	102.3
固定資産	37,387,487	89.0	38,146,727	88.8	102.0
有形固定資産	37,386,210	89.0	37,645,495	87.6	100.7
土地	1,483,666	3.5	1,483,666	3.5	100.0
建物	624,483	1.5	607,704	1.4	97.3
構築物	31,165,419	74.2	31,163,278	72.5	100.0
機械及び装置	2,381,903	5.7	2,293,197	5.4	96.3
車両運搬具	1,566	0.0	1,478	0.0	94.4
工具器具及び備品	78,610	0.2	106,986	0.2	136.1
建設仮勘定	1,650,563	3.9	1,989,186	4.6	120.5
無形固定資産	1,277	0.0	1,232	0.0	96.5
投資その他の資産	-	-	500,000	1.2	皆増
流動資産	4,600,707	11.0	4,825,762	11.2	104.9
現金及び預金	3,776,649	9.0	4,129,180	9.6	109.3
未収金	774,926	1.9	666,057	1.5	86.0
貸倒引当金	△ 5,368	△ 0	△ 4,839	△ 0	90.1
短期貸付金	-	-	-	-	-
前払金	54,430	0.1	35,302	0.1	64.9
その他流動資産	70	0.0	62	0.0	88.6
負債資本合計	41,988,194	100.0	42,972,489	100.0	102.3
負債の部	17,056,008	40.6	17,306,805	40.3	101.5
固定負債	9,166,163	21.8	9,312,593	21.7	101.6
企業債	7,812,551	18.6	8,000,747	18.6	102.4
引当金	1,353,612	3.2	1,311,846	3.1	96.9
流動負債	1,388,532	3.3	1,407,714	3.3	101.4
企業債	641,795	1.5	711,804	1.7	110.9
未払金	653,555	1.6	594,151	1.4	90.9
引当金	49,105	0.1	50,978	0.1	103.8
その他流動負債	44,077	0.1	50,781	0.1	115.2
繰延収益	6,501,313	15.5	6,586,498	15.3	101.3
長期前受金	6,211,485	14.8	6,268,613	14.6	100.9
建設仮勘定長期前受金	289,828	0.7	317,885	0.7	109.7
資本の部	24,932,186	59.4	25,665,684	59.7	102.9
資本金	20,613,919	49.1	21,192,154	49.3	102.8
自己資本金	20,613,919	49.1	21,192,154	49.3	102.8
剰余金	4,318,267	10.3	4,473,530	10.4	103.6
資本剰余金	2,243,740	5.3	2,243,740	5.2	100.0
受贈財産評価額	449,953	1.1	449,953	1.0	100.0
工事負担金	1,166,773	2.8	1,166,773	2.7	100.0
国県市補助金	182,285	0.4	182,285	0.4	100.0
加入金	377,453	0.9	377,453	0.9	100.0
その他資本剰余金	67,276	0.1	67,276	0.2	100.0
利益剰余金	2,074,527	5.0	2,229,790	5.2	107.5
減債積立金	321,765	0.8	479,969	1.1	149.2
建設改良積立金	283,650	0.7	283,650	0.7	100.0
当年度未処分利益剰余金	1,469,112	3.5	1,466,171	3.4	99.8

(消費税抜き)

平成30年度			令和元年度			令和2年度		
金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
44,033,785	100.0	102.5	44,407,922	100.0	100.8	45,219,705	100.0	101.8
44,033,785	100.0	102.5	44,407,922	100.0	100.8	45,219,705	100.0	101.8
38,782,846	88.1	101.7	38,772,668	87.2	100.0	38,368,228	84.8	99.0
38,281,660	87.0	101.7	38,271,461	86.1	100.0	38,367,036	84.8	100.2
1,483,666	3.4	100.0	1,483,663	3.3	100.0	1,483,663	3.3	100.0
579,499	1.3	95.4	548,122	1.2	94.6	519,593	1.1	94.8
31,901,910	72.5	102.4	32,073,039	72.3	100.5	33,352,016	73.8	104.0
2,319,269	5.3	101.1	2,152,327	4.8	92.8	2,099,215	4.6	97.5
1,287	0.0	87.1	1,287	0.0	100.0	1,287	0.0	100.0
102,746	0.2	96.0	98,316	0.2	95.7	88,422	0.2	89.9
1,893,283	4.3	95.2	1,914,707	4.3	101.1	822,840	1.8	43.0
1,186	0.0	96.3	1,161	0.0	97.9	1,146	0.0	98.7
500,000	1.1	100.0	500,046	1.1	100.0	46	0.0	0.0
5,250,939	11.9	108.8	5,635,254	12.8	107.3	6,851,477	15.2	121.6
4,526,146	10.3	109.6	4,607,887	10.4	101.8	5,248,216	11.6	113.9
715,325	1.6	107.4	684,270	1.6	95.7	711,372	1.6	104.0
△ 7,644	△ 0	158.0	△ 8,929	0.0	116.8	△ 6,364	0.0	71.3
-	-	-	-	-	-	500,000	1.1	皆増
17,064	0.0	48.3	352,026	0.8	2,063.0	398,253	0.9	113.1
48	0.0	77.4	-	-	皆減	-	-	-
44,033,785	100.0	102.5	44,407,922	100.0	100.8	45,219,705	100.0	101.8
17,764,086	40.3	102.6	17,449,678	39.3	98.2	17,634,720	39.1	101.1
9,366,435	21.3	100.6	9,191,919	20.7	98.1	8,928,822	19.8	97.1
8,023,302	18.2	100.3	7,912,955	17.8	98.6	7,725,861	17.1	97.6
1,343,133	3.1	102.4	1,278,964	2.9	95.2	1,202,961	2.7	94.1
1,690,985	3.8	120.1	1,438,717	3.2	85.1	1,751,243	3.9	121.7
777,445	1.7	109.2	860,347	1.9	110.7	937,094	2.1	108.9
824,285	1.9	138.7	486,017	1.1	59.0	712,524	1.6	146.6
51,501	0.1	101.0	50,730	0.1	98.5	47,714	0.1	94.1
37,754	0.1	74.3	41,623	0.1	110.2	53,911	0.1	129.5
6,706,666	15.2	101.8	6,819,042	15.4	101.7	6,954,655	15.4	102.0
6,443,356	14.6	102.8	6,552,148	14.8	101.7	6,860,673	15.2	104.7
263,310	0.6	82.8	266,894	0.6	101.4	93,982	0.2	35.2
26,269,699	59.7	102.4	26,958,244	60.7	102.6	27,584,985	60.9	102.3
21,833,949	49.6	103.0	22,545,753	50.8	103.3	23,323,198	51.6	103.4
21,833,949	49.6	103.0	22,545,753	50.8	103.3	23,323,198	51.6	103.4
4,435,750	10.1	99.2	4,412,491	9.9	99.5	4,261,787	9.3	96.6
2,243,740	5.1	100.0	2,243,740	5.0	100.0	2,243,740	4.9	100.0
449,953	1.0	100.0	449,953	1.0	100.0	449,953	1.0	100.0
1,166,773	2.6	100.0	1,166,773	2.6	100.0	1,166,773	2.6	100.0
182,285	0.4	100.0	182,285	0.4	100.0	182,285	0.4	100.0
377,453	0.9	100.0	377,453	0.8	100.0	377,453	0.8	100.0
67,276	0.2	100.0	67,276	0.2	100.0	67,276	0.1	100.0
2,192,010	5.0	98.3	2,168,751	4.9	98.9	2,018,047	4.4	93.1
518,166	1.2	108.0	340,721	0.8	65.8	180,374	0.4	52.9
283,650	0.6	100.0	283,650	0.6	100.0	283,650	0.6	100.0
1,390,194	3.2	94.8	1,544,380	3.5	111.1	1,554,023	3.4	100.6

(2) 供給単価・給水原価分析

① 1m³当たり供給単価及び給水原価内訳表

区分		平成28年度			平成29年度		
有収水量		24,850,712 m ³			24,994,619 m ³		
供給単価	水道料金	金額(千円)	構成比(%)	1m ³ 当り(円)	金額(千円)	構成比(%)	1m ³ 当り(円)
		4,295,881	100.0	172.87	4,321,014	100.0	172.88
	供給単価指数	100			100		
給水原価	職員給与費	553,581	15.4	22.28	463,909	12.7	18.56
	動力費	121,245	3.4	4.88	133,809	3.7	5.35
	減価償却費	1,119,854	31.2	45.06	1,135,843	31.0	45.44
	支払利息	127,344	3.6	5.12	116,352	3.2	4.66
	受水費等	828,907	23.2	33.36	835,872	22.8	33.44
	その他	833,246	23.2	33.53	973,457	26.6	38.95
	計	3,584,177	100.0	144.23	3,659,242	100.0	146.40
給水原価指数	100			102			

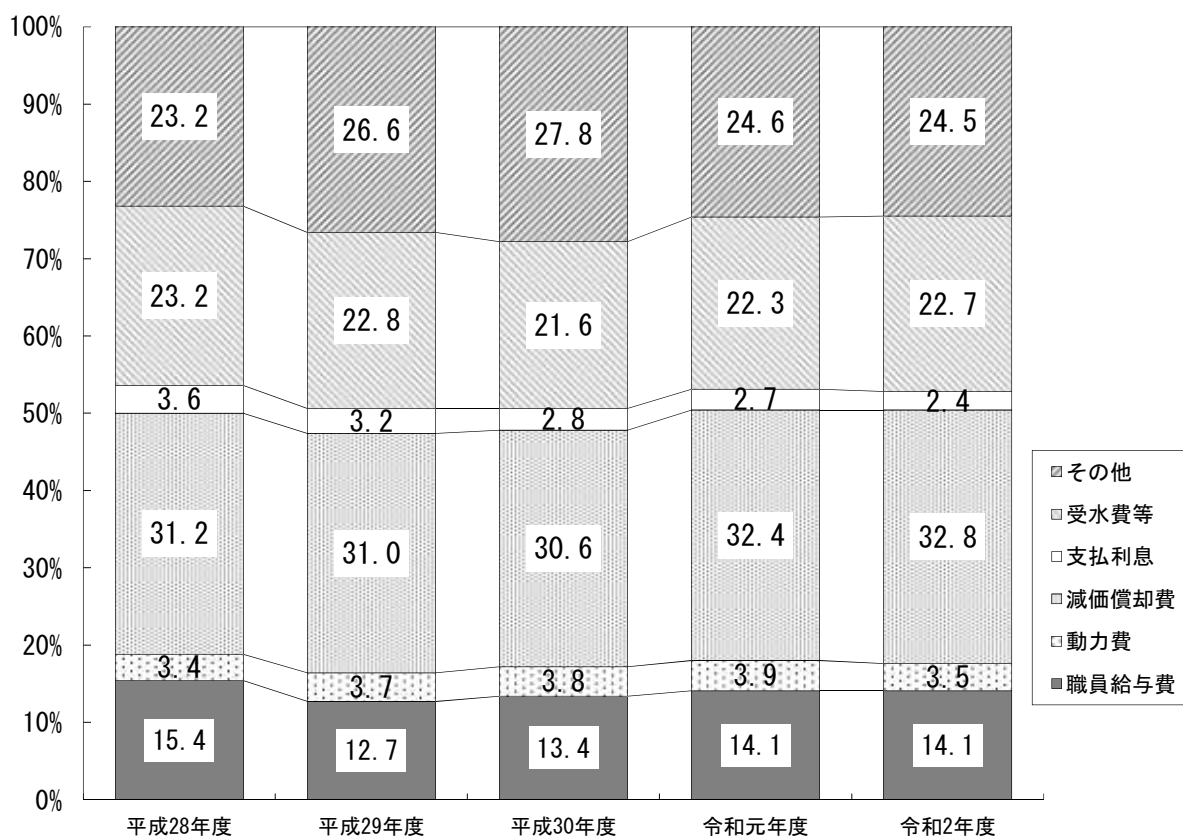
※1m³当り供給単価＝水道料金÷有収水量

※1m³当り給水原価＝〔経常費用－(長期前受金戻入＋受託工事費＋材料売却原価)〕÷有収水量

※職員給与費は、職員の給料・手当(児童手当を除く。)・法定福利費・退職給付費を計上。

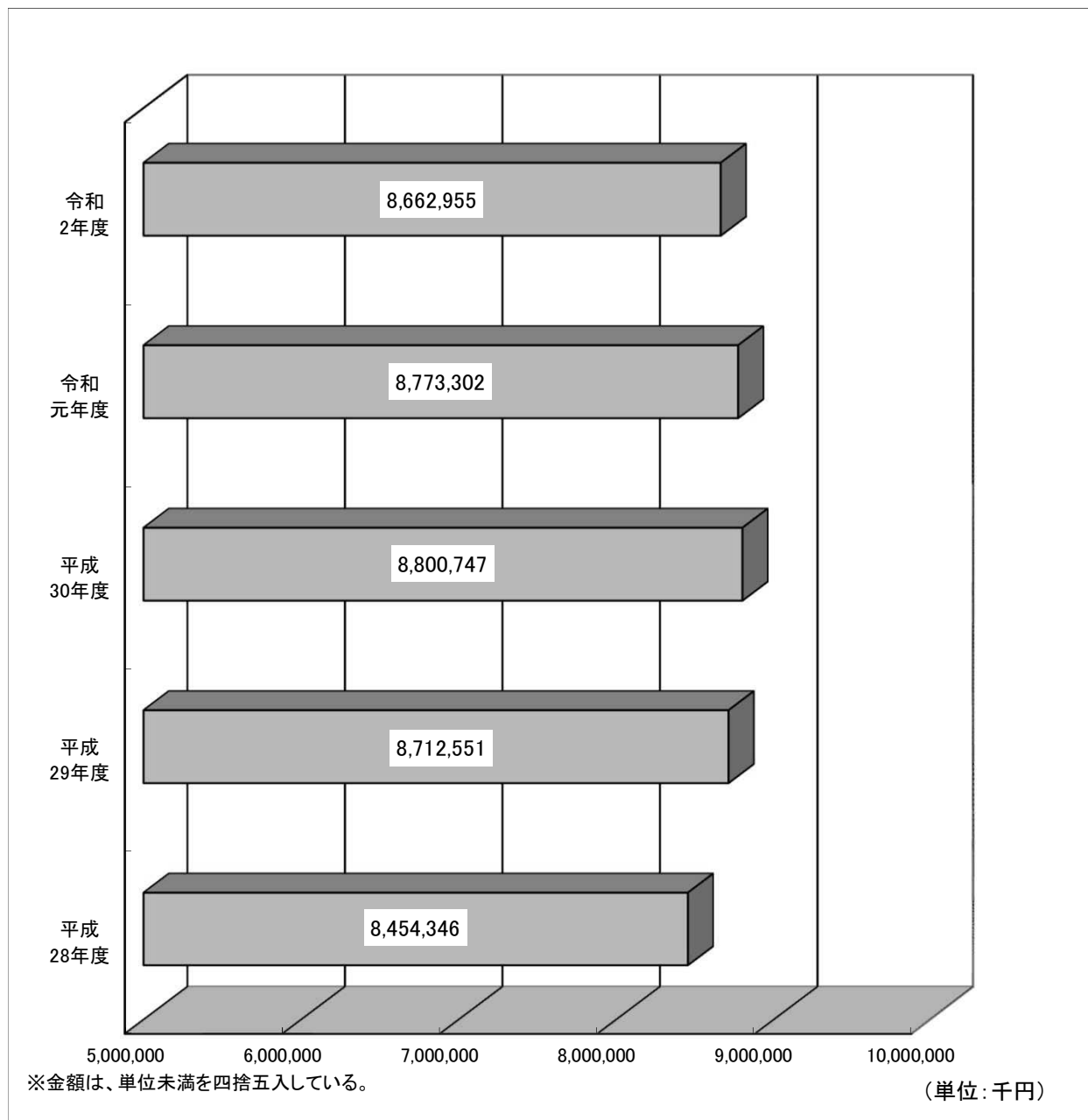
※減価償却費は長期前受金戻入額を控除した金額を計上。

② 給水原価構成表



平成30年度			令和元年度			令和2年度		
24,893,343 m ³			24,761,182 m ³			25,024,237 m ³		
金額(千円)	構成比(%)	1 m ³ 当り (円)	金額(千円)	構成比(%)	1 m ³ 当り (円)	金額(千円)	構成比(%)	1 m ³ 当り (円)
4,307,607	100.0	173.04	4,278,587	100.0	172.79	4,282,221	100.0	171.12
100			100			99		
502,067	13.4	20.17	515,309	14.1	20.81	518,856	14.1	20.73
144,076	3.8	5.79	141,124	3.9	5.70	128,878	3.5	5.15
1,152,763	30.6	46.30	1,189,553	32.4	48.04	1,211,774	32.8	48.42
106,797	2.8	4.29	98,328	2.7	3.97	90,401	2.4	3.61
813,336	21.6	32.67	819,087	22.3	33.08	837,202	22.7	33.46
1,049,154	27.8	42.15	902,558	24.6	36.45	903,815	24.5	36.12
3,768,193	100.0	151.37	3,665,959	100.0	148.05	3,690,926	100.0	147.49
105			103			102		

(3) 企業債借入残高状況



(4) 経営分析表

経営分析は、企業の活動成績や財務の状況を指標化することで財務諸表からは判断困難な、すう勢比較や他市との比較を客観的に行うことができる手法です。

経営や施設の状況を表す経営指標を活用し、経年比較や類似団体との比較を行うことにより、経営の健全性・効率性の状況を把握するため、経営分析表を作成しています。

項 目	すう勢比較			他市との比較(R1年度)		説 明	分 析
	H30年度	R1年度	R2年度	15～30万人	全国平均		
総収支比率(%) $\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}}$	115.06	117.58	115.73	113.10	112.02	総収支比率は、営業収 支・営業外収支・特別損益 の全ての企業活動の成否 がこれによって判定され る。単年度の収支が黒字 であることを示す100%以 上であることが必要であ る。	令和2年度は、収益が前 年度並みであった一方、費 用の増加により、数値が減 少した。
経常収支比率(%) $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$	115.19	117.22	116.78	113.35	112.01	経常収支比率は、給水 収益等の収益で、維持管 理費や支払利息等の費用 をどの程度賄えているかを 示すものである。比率が高 いほど良い。	令和2年度は、経常収益 が微増であった一方、維持 管理費の増加により、数値 が減少した。
営業収支比率(%) $\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{\text{営業費用-受託工事費}}$	111.88	113.36	112.49	104.85	103.82	営業収支比率は、収益 性を見るための指標の1つ であり、営業費用が営業 収益によってどの程度賄 われているかを示すもので ある。この比率が高いほど 営業利益率が良いことを 表し、これが100%未満で あることは営業損失が生じ ていることを意味する。	令和2年度は、料金収入 が前年並みであった一方、 維持管理費の増加により、 数値が減少した。
自己資本回転率(回) $\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{\text{資本金+剰余金+繰延収益(期首期末平均)}}$	0.13	0.13	0.13	0.14	0.13	自己資本回転率は、自 己資本に対する営業収益 の割合であり、期間中に自 己資本の何倍の営業収益 があったかを示すものであ る。この比率が高いほど投 下資本に比して営業活動 が活発であることを意味す る。	すう勢比較では、横ばい であり、他市とほぼ同値で ある。
総資本回転率(回) $\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{\text{負債+資本(期首期末平均)}}$	0.10	0.10	0.10	0.10	0.09	総資本回転率は、総資 本に対する営業収益の割 合であり、期間中に総資本 の何倍の営業収益があっ たかを示すものである。	すう勢比較では、横ばい であり、他市とほぼ同値で ある。
固定資産回転率(回) $\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{\text{固定資産(期首期末平均)}}$	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	固定資産回転率は固定 資産に対する営業収益の 割合であり、期間中に固定 資産の何倍の営業収益が あったかを示すものであ る。回転率が高い場合は 施設が有効に稼働してい ることを示し、低い場合は 一般的に過大投資になっ ていることが考えられる。	すう勢比較では、横ばい であり、他市と同値であ る。

項 目	すう勢比較			他市との比較(R1年度)		説 明	分 析
	H30年度	R1年度	R2年度	15～30万人	全国平均		
企業債償還元金対減価償却比率(%) $\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}-\text{長期前受金戻入}}$	61.75	65.36	71.00	72.03	68.16	企業債償還元金対減価償却費比率は、投下資本の回収と再投資との間のバランスを見る指標である。一般的にこの比率が100%を超えると再投資を行うにあたって企業債等の外部資金が必要となり、投資の健全性は損なわれることになる。	企業債償還元金の増加により、すう勢比較は増加傾向にあるが、経営指標としては健全である。
流動比率(%) $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	310.53	391.69	391.24	309.10	264.97	流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表している。流動比率は100%以上であることが必要であり、100%以下の場合不良債務が発生していることになる。	令和2年度は、未払金の増加により、数値が低下したが、経営指標としては健全である。
当座比率(%) $\frac{\text{現金預金}+(\text{未収金}-\text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}}$	309.51	367.22	339.94	293.75	251.09	当座比率は、流動負債に対する支払手段としての流動資産のうち、現金・預金、未収金といった当座資金をどれだけ持っているかを示す指標であり、事業体の支払能力をより厳密に測ることができる。	令和2年度は、未払金の増加により、数値が低下したが、経営指標としては健全である。
自己資本構成比率(%) $\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}}$	74.89	76.06	76.38	69.73	71.98	自己資本構成比率は、総資本に占める自己資本の割合を示す。この比率が高いほど、借入金の割合は低く、財政が健全である。	すう勢比較では、ほぼ横ばいである。他市と比較しても上回っており健全である。
固定資産対長期資本比率(%) $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}}$	91.59	90.23	88.27	91.22	92.33	固定資産対長期資本比率は、固定資産の取得に要した資金とそれに対応する長期資本の割合を示す。低い方が良い。	すう勢比較では、減少傾向にあり、他市と比較しても高い水準にある。
施設利用率(%) $\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{配水能力}}$	52.84	52.19	52.78	61.71	60.00	施設利用率は、1日配水能力に対する1日平均配水量の割合を示すもので、施設の利用状況を総合的に判断する上で重要な指標である。	すう勢比較では、ほぼ横ばいであり、他市との比較でも平均を下回っている。危機管理のためや、老朽施設を改修するためには、ある程度の余裕も必要であるため、これらを踏まえて利用率の向上を目指していく必要がある。
職員1人あたり営業収益(千円) $\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	73,861	72,029	66,582	69,619	72,535	この比率は、職員が有効に活用されているかをみるもので多い方が有効に利用されている事を示す。	令和2年度から、会計年度任用職員制度が始まり、職員数、職員給与の算定方法が大きく変わったため、数値が減少した。

項 目	すう勢比較			他市との比較(R1年度)		説 明	分 析
	H30年度	R1年度	R2年度	15～30万人	全国平均		
職員給与費対料金収入比率(%) 職員給与費 —— 水道料金	11.66	12.04	12.12	12.09	11.90	この比率は、料金に占める企業職員給与費の割合をみるもので、固定経費である職員給与費は少ない方が良く、比率は低い方が良い。	すう勢比較では、ほぼ横ばいであり、他市と比較してもほぼ同水準である。
企業債利息対料金収入比率(%) 企業債利息 —— 水道料金	2.48	2.30	2.11	4.83	4.56	この比率は、料金に占める企業債償還利息の割合をみるもので固定経費である企業債利息は少ない方が良く、比率は低い方が良い。	高金利で借入れた企業債の償還が進んでいることにとまない、企業債利息が減少したため、すう勢比較は年々数値の減少がみられる。
企業債元金償還金対料金収入比率(%) 企業債元金償還金 —— 水道料金	16.52	18.17	20.09	20.32	19.74	この比率は、料金に占める企業債償還金の割合をみるもので固定経費である償還金は少ない方が良く、比率は低い方が良い。	令和2年度は企業債償還金が増加したため、数値が増加した。しかし他市との比較では、まだ同水準である。
利子負担率(%) 支払利息及び企業債取扱諸費 —— 企業債+長期借入金+一時借入金	1.21	1.12	1.04	1.66	1.70	利子負担率は、借入金額だけでなくその調達コストである年間平均利率をみるもので低い方が低コストで借入できたことを表す。	令和2年度は支払利息、企業債償還残高ともに減少したため、数値が低下した。他市との比較でも良い。

(5) キャッシュ・フロー計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位 千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	626,741
減価償却費	1,459,860
減損損失	35,643
退職給付引当金の増加額	3,197
賞与引当金の減少額	△ 3,017
貸倒引当金の減少額	△ 2,565
修繕引当金の減少額	△ 79,200
長期前受金戻入額	△ 248,503
受取利息及び配当金	△ 681
支払利息及び企業債取扱諸費	90,401
固定資産除却損	17,271
未収金の減少額	306
未払金の増加額	71,356
預り金の増加額	12,288
小計	1,983,097
利息及び配当金の受取額	628
利息の支払額	△ 90,401
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,893,324
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 1,367,292
工事負担金等による収入	224,644
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,142,648
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	750,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 860,347
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 110,347
資金増加額(又は減少額)	640,329
資金期首残高	4,607,887
資金期末残高	5,248,216

キャッシュ・フロー計算書について

企業経営の評価は、売上高（市場占有率）や経常利益で判断するのが一般的です。

しかし、企業の資金は、営業活動だけでなく投資及び財務活動においても資金の収支があり企業全体で資金を管理する必要があります。

また、内部留保資金の内訳が表示されるとともに、投資活動における資金の手当先が明示され企業活動における資金の移動がわかりやすくなります。

そこで、利益とは別の視点から資金の流れを把握するため「キャッシュ・フロー計算書」があります。

キャッシュ・フロー計算書の区分について

キャッシュ・フロー計算書には、ⅠからⅢまでの三つの区分があります。

Ⅰ「業務活動によるキャッシュ・フロー」

主たる営業活動からどの位資金を獲得したかを示すもので、通常、これにより獲得した資金が投資活動に使われます。

Ⅱ「投資活動によるキャッシュ・フロー」

施設整備拡充等の投資活動における資金の流れを示すものです。

Ⅲ「財務活動によるキャッシュ・フロー」

営業及び投資活動を維持するために、どの程度資金が調達または返済されたかを示すものです。

令和2年度キャッシュ・フローについて

【業務活動での収支】

業務キャッシュ・フローでは、純利益 626,741 千円、内部留保資金である減価償却費 1,459,860 千円の発生が、資金の主な増加要因となっています。

一方、長期前受金戻入額 248,503 千円は、現金の収入を伴わない収益のため、資金の主な減少要因となっています。

この結果、業務活動によるキャッシュ・フローは 1,893,324 千円となっています。

【投資活動での収支】

投資キャッシュ・フローでは、工事に係る負担金等の収入 224,644 千円が資金の増加要因となっています。

一方、有形固定資産の取得による支出 1,367,292 千円が資金の減少要因となっています。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△1,142,648 千円となっています。

【財務活動での収支】

財務キャッシュ・フローは、企業債の借入れ 750,000 千円が資金の増加要因であり、企業債の償還 860,347 千円が資金の減少要因となっています。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは△110,347 千円となっています。

以上により、令和2年度における、期中の現金及び現金同等物の増減額は 640,329 千円のプラスとなりました。

Ⅲ 下水道事業

1 総 説

(1) 事業の沿革

(2) 最近10年間の事業推移

① 主要数値の推移

② 処理水量・処理区域内人口の推移

③ 収益・利益・純利益の推移

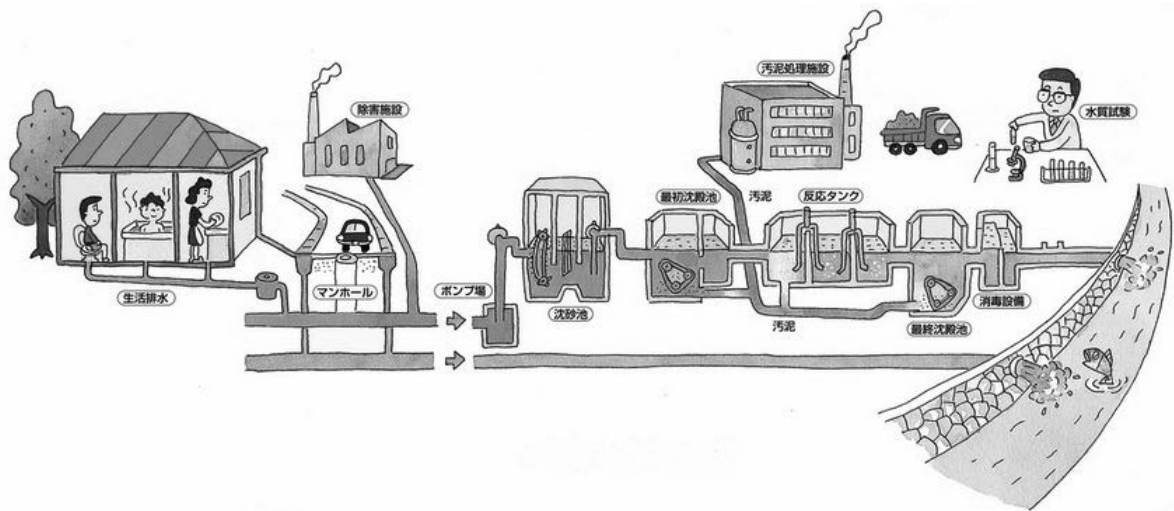
1. 総説

(1) 事業の沿革

年	月	主な事項
昭和37	4	下水道事業計画立案
42	6	建設省より下水道事業の認可を受ける
	8	都市計画決定(622ha)及び事業認可(240ha)
43	2	下水道管渠布設工事着手
44	7	下水道事業計画変更及び都市計画事業変更認可(処理場を追加)
	12	津福終末処理場建設工事着手
46	3	筒川都市下水路の計画決定(500ha)
	12	筒川都市下水路の都市計画事業認可(503ha)
47	5	公共下水道供用開始(96ha) 津福終末処理場簡易処理で運転開始(処理能力:7,100m ³ /日)
	6	高良内処理場運転開始
48	6	津福終末処理場高級処理に切替(既設系拡張、処理能力:14,200m ³ /日)
	10	全体計画見直し(6,220ha)
50	11	篠山ポンプ場(都市下水路)改築基本協定成立(建設省筑後川工事事務所へ改築委託)
51	2	都市下水路篠山排水ポンプ場事業着手
54	4	津福終末処理場 新系1・2池増設(処理能力:32,000m ³ /日) 長門石中継ポンプ場運転開始
55	12	櫛原中継ポンプ場運転開始
56	3	全体計画見直し(有明流総に整合)
	4	宮ノ陣団地中継ポンプ場運転開始
57	4	篠山排水ポンプ場1台供用開始(14m ³ /S) 津福終末処理場 新系3・4増設(処理能力:42,600m ³ /日)
	5	都市計画決定の変更(南部処理区追加)
	7	下水道事業変更計画(1,936ha=津福処理区:1,474ha+南部処理区:462ha)
	8	都市計画事業変更認可(1,936ha)
58	4	筒川都市下水路を廃止 筒川雨水幹線として下水道法の認可
	9	筒川雨水幹線都市計画法事業認可
59	4	高良内処理場廃止
60	4	南部処理区の工事に着手
	6	安武・国分汚水幹線管渠築造着手(φ2,000mm)
61	3	津福終末処理場を中央浄化センターに名称変更 中央浄化センター第2プラント1池増設(処理能力:51,440m ³ /日)
平成元	3	中央浄化センター第2プラント2池増設(処理能力:60,280m ³ /日)
	4	大善寺団地中継ポンプ場運転開始
	6	南部浄化センター建設着工
	3	公共下水道基本計画(全体計画)見直し(5,050ha)
	4	中央浄化センター第2プラント3池増設(処理能力:69,120m ³ /日)
	6	南部浄化センター供用開始(1・2池、処理能力:12,420m ³ /日)
	7	1 南部浄化センター3池増設(処理能力:18,630m ³ /日)
	10	宮ノ陣新産団地中継ポンプ場運転開始(平成19年度より若松中継ポンプ場に名称変更)
	8	3 全体計画見直し(5,230ha)
	9	4 小森野・大善寺中継ポンプ場運転開始

年	月	主な事項
	8	都市計画決定の変更(3,975ha)
	12	下水道事業計画変更(3,427ha)
10	1	都市計画事業変更認可(3,427ha)
	4	南部浄化センター4池増設(処理能力:24,840m ³ /日)
11	4	水環境創造事業(筒川雨水幹線)着手
12	3	大善寺団地中継ポンプ場廃止
	10	宮ノ陣中継ポンプ場運転開始(宮ノ陣団地中継ポンプ場廃止)
	11	都市計画決定の変更(4,000ha)
	12	下水道事業計画変更(3,452ha)
13	2	都市計画事業変更認可(3,452ha)
	11	「久留米市生活排水処理基本計画策定検討委員会」意見書市長報告
14	3	水環境創造事業(筒川雨水幹線)第1貯留施設整備完了 「久留米市生活排水処理基本計画」策定 公共下水道基本計画(全体計画)見直し(4,840ha)
	4	南部浄化センター5池増設(処理能力:31,050m ³ /日) 合川中継ポンプ場運転開始
15	2	田主丸町特定環境保全公共下水道基本計画(全体計画)策定(398ha)
	3	「福岡県汚水処理構想」策定
	6	田主丸町特定環境保全公共下水道事業計画認可(99ha)
	11	都市計画決定の変更(4,197ha)
16	2	下水道事業計画変更(3,762ha) 処理場の処理能力見直し、中央:55,090m ³ /日、南部:29,000m ³ /日
	3	都市計画事業変更認可(3,762ha) 北野町公共下水道基本計画(全体計画)策定(483ha)
	4	南部浄化センター6池増設(処理能力:34,800m ³ /日)
	9	北野町公共下水道都市計画決定(483ha)
	10	北野町公共下水道事業計画認可(99ha) 北野町公共下水道都市計画事業認可(99ha)
17	1	都市計画決定の変更(4,197ha)※北野町污水受入に伴う変更
	2	1市4町合併に伴い新久留米市誕生
	8	下水道事業計画変更(4,115ha=久留米:4,016ha+北野:99ha)
	10	都市計画事業変更認可(4,115ha=久留米:4,016ha+北野:99ha)
18	3	水環境創造事業(筒川雨水幹線)第2貯留施設整備完了
19	4	中央浄化センター第2プラント4池増設(処理能力:61,860m ³ /日) 南部浄化センター7池増設(処理能力:40,780m ³ /日) 下水道総合浸水対策緊急事業(諏訪野雨水幹線)着手
20	2	下水道事業計画変更(4,429ha=公共:4,321ha[久留米:4,187ha+北野:134ha]、 特環:108ha[田主丸])
	3	都市計画事業変更認可(4,321ha=久留米:4,187ha+北野:134ha)
	4	中核市へ移行 田主丸特定環境保全公共下水道一部供用開始(70.4ha) 田主丸浄化センター供用開始(1池、処理能力:2,100m ³ /日)
	8	「久留米市生活排水処理基本構想」策定 ※平成45年度の事業完了目標を設定 全体計画見直し(6,430ha:三潞・城島地区の拡大、公共:6014ha、特環:416ha)

年	月	主な事項	
21	3	「福岡県汚水処理構想」策定(見直し)	
	4	公共下水道 北野地区一部供用開始(28ha) ※津福処理区	
	5	都市計画決定の変更(久留米地区:4,506ha、三潨地区43ha)	
	7	「有明海関連水域流域別下水道整備総合計画」策定(福岡県)	
22	4	北野地区(神代橋ルート)一部供用開始 ※南部処理区 北野・上津中継ポンプ場運転開始	
	5	下水道事業計画変更(5,029ha=公共:4,873ha[久留米:4,494ha+北野:271ha+三潨:43ha+城島:65ha]、特環:156ha[田主丸]) 処理場の処理能力見直し、中央:60,600m ³ /日、南部:41,200m ³ /日	
	6	都市計画事業変更認可(4,808ha=久留米:4,494ha+北野:271ha+三潨:43ha)	
	7	三潨・城島地区の基本設計業務に着手	
23	6	諏訪野地区の雨水貯留施設の整備(H20~24、一部繰越)が完了	
24	11	下水道事業計画変更(5,050ha=公共:4,885ha[久留米:4,506ha+北野:271ha+三潨:43ha+城島:65ha]、特環:165ha[田主丸])	
25	3	都市計画事業変更認可(4,820ha=久留米:4,506ha+北野:271ha+三潨:43ha)	
26	4	下水道事業に地方公営企業法を適用 下水道事業計画変更(5,072ha=公共:4,885ha[久留米:4,506ha+北野:271ha+三潨:43ha+城島:65ha]、特環:187ha[田主丸]) 全体計画見直し(6,480ha=公共:5,977ha+特環:503ha)	
	12	都市計画決定の変更(久留米地区:4,757ha、三潨地区:184ha)	
	27	4	三潨・城島地区一部供用開始(三潨地区=8ha、城島地区=27ha) 三潨中継ポンプ場運転開始
29	6	下水道事業計画変更(5,800ha=公共:5,490ha[久留米:4,757ha+北野:414ha+三潨:184ha+城島:135ha]、特環:310ha[田主丸]) 都市計画事業変更認可(5,355a=久留米:4,757a+北野:414ha+三潨:184ha)	
	2	南部浄化センター供用開始以来初となる電気設備改築工事(H27~28)が完了	
	6	東櫛原地区の雨水貯留施設の整備(H25~29)が完了	
30	11	下水道事業計画変更(維持管理方針の追加、中央・南部浄化センターを段階的高度処理へ変更)	
31	4	全体計画見直し(6,460ha)	
令和元	10	都市計画決定の変更(久留米:4,839ha、三潨:304ha、城島:198ha、田主丸:405ha)	
	2	3	下水道事業計画変更(6,176ha=久留米:4,795ha+北野:474ha+三潨:304ha+城島:198ha+田主丸:405ha) ※特環を廃止し、全域を公共下水道へ変更 都市計画事業変更認可(6,176ha) ※面積内訳は同上、全域に都市計画法を適用 中央浄化センター第2プラント5池増設(処理能力:67,300m ³ /日)
	3	3	久留米市上下水道事業経営戦略の策定 久留米市下水道ストックマネジメント計画の策定 全体計画見直し(6,481ha) 下水道事業計画変更(金丸5号雨水幹線、久留米大学雨水貯留施設の追加) 南部浄化センター8・9池増設(処理能力:46,500m ³ /日) 田主丸浄化センター2池増設(処理能力:4,200m ³ /日)



下水処理の流れ（上図は下水処理の全体の流れを示しています）

(2)最近10年間の事業推移

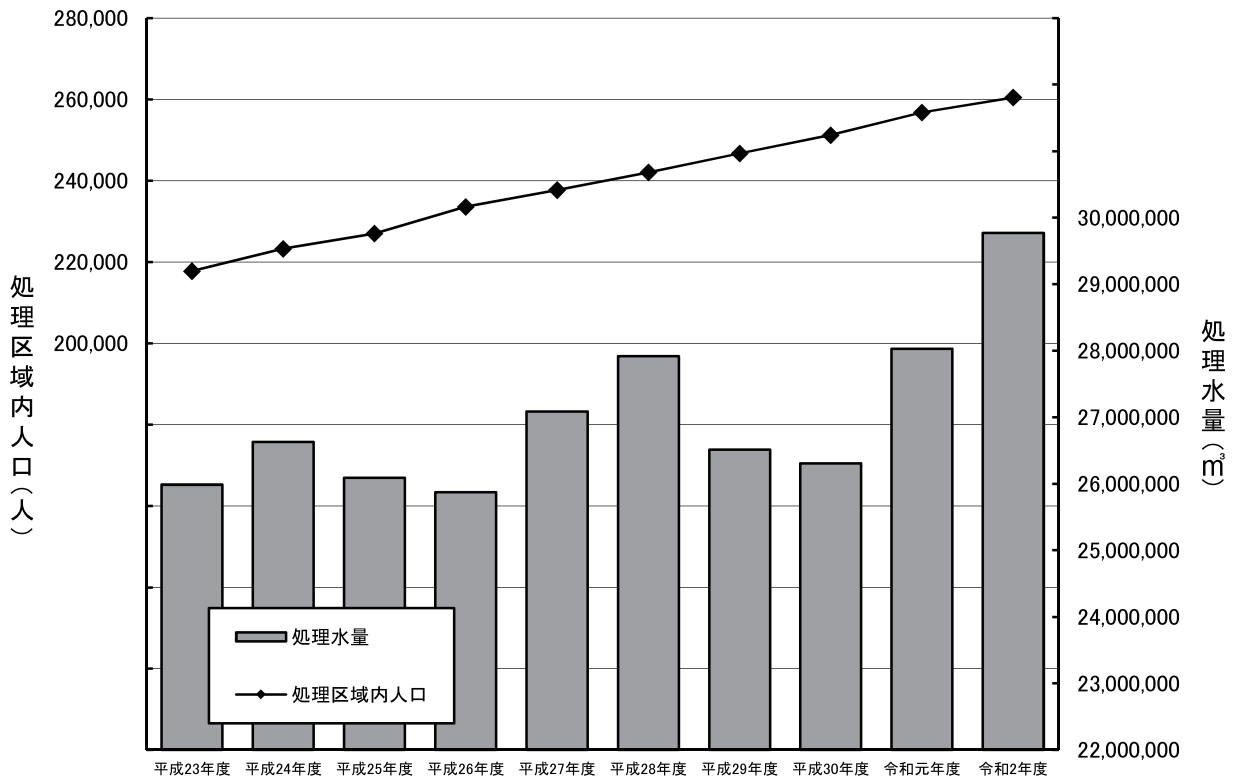
①主要数値の推移

項目	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	単位					
行政区域内人口(A)	人	302,333	304,831	305,214	305,549	305,993
市街地人口	人	183,547	183,547	183,547	183,547	183,547
全体計画人口	人	283,700	283,700	283,700	285,700	285,700
現在排水区域内人口	人	217,800	223,287	226,996	233,545	237,699
現在処理区域内人口(B)	人	217,800	223,287	226,996	233,545	237,699
現在水洗便所設置済人口	人	196,136	201,875	206,781	210,818	215,146
行政区域面積	ha	22,996	22,996	22,996	22,996	22,996
市街地面積	ha	3,250	3,252	3,252	3,252	3,252
全体計画面積	ha	6,430	6,430	6,430	6,480	6,480
現在排水区域面積	ha	4,345	4,454	4,550	4,695	4,813
現在処理区域面積	ha	4,345	4,454	4,550	4,695	4,813
人口普及率(B/A)	%	72.0%	73.2%	74.4%	76.4%	77.7%
年間総処理水量	m ³	25,987,857	26,631,557	26,091,479	25,876,031	27,086,923
年間有収水量	m ³	21,483,045	21,861,529	22,122,858	22,244,821	22,711,492
現在晴天時最大処理水量	m ³ /日	98,729	91,159	92,673	100,815	80,838
現在晴天時平均処理水量	m ³ /日	70,204	66,846	67,430	67,423	64,487
下水管布設延長	km	1,040	1,077	1,114	1,157	1,190
汚水管	km	1,027	1,064	1,099	1,142	1,175
雨水管	km	14	14	15	15	15
歳入 / 総収益	千円	9,687,592	10,297,204	11,940,482	6,454,821	6,524,808
(うち使用料収入/下水道収益)	千円	4,123,765	4,192,309	4,225,443	4,029,725	4,100,827
歳出 / 総費用	千円	9,590,410	10,181,423	11,615,624	6,112,585	6,212,390
翌年度へ繰越すべき財源	千円	5,079	35,758	14,601	-	-
実質収支 / 純利益	千円	92,103	80,023	310,257	342,236	312,418
職員数	人	49	50	54	55	53

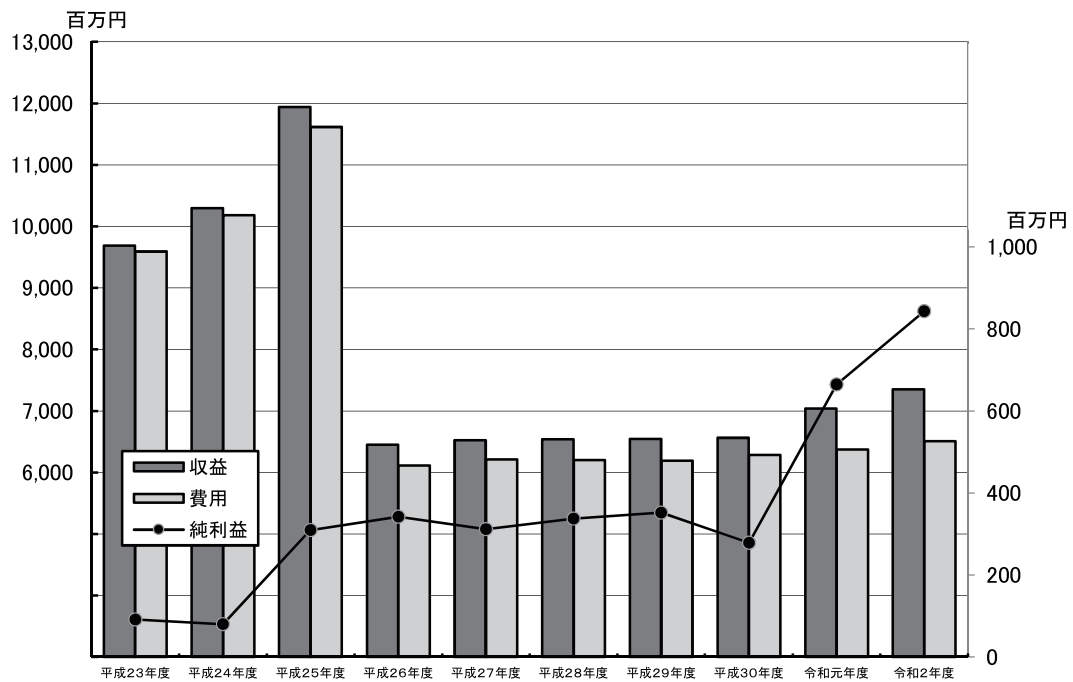
※ 下水道事業には、平成26年度より地方公営企業法の全部を適用している。

平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	伸率(%)		伸率(%)		伸率(%)		伸率(%)		伸率(%)
306,211	0.1	305,581	△ 0.2	304,703	△ 0.3	304,705	0.0	304,079	△ 0.2
188,031	2.4	188,031	0.0	188,031	0.0	188,031	0.0	188,031	0.0
285,700	0.0	285,700	0.0	285,700	0.0	279,600	△ 2.1	282,700	1.1
242,049	1.8	246,698	1.9	251,242	1.8	256,829	2.2	260,464	1.4
242,049	1.8	246,698	1.9	251,242	1.8	256,829	2.2	260,464	1.4
219,044	1.8	222,715	1.7	226,272	1.6	228,445	1.0	229,681	0.5
22,996	0.0	22,996	0.0	22,996	0.0	22,996	0.0	22,996	0.0
3,244	△ 0.2	3,244	0.0	3,244	0.0	3,244	0.0	3,244	0.0
6,480	0.0	6,480	0.0	6,480	0.0	6,460	△ 0.3	6,481	0.3
4,941	2.7	5,035	1.9	5,142	2.1	5,250	2.1	5,338	1.7
4,941	2.7	5,035	1.9	5,142	2.1	5,250	2.1	5,338	1.7
79.0%	1.7	80.7%	2.2	82.5%	2.2	84.3%	2.2	85.7%	1.7
27,916,592	3.1	26,514,312	△ 5.0	26,309,195	△ 0.8	28,030,353	6.5	29,773,506	6.2
23,100,180	1.7	23,368,659	1.2	23,491,734	0.5	23,606,196	0.5	23,983,228	1.6
94,476	16.9	86,208	△ 8.8	94,299	9.4	93,959	△ 0.4	94,189	0.2
70,619	9.5	69,495	△ 1.6	69,085	△ 0.6	71,141	3.0	73,591	3.4
1,225	2.9	1,251	2.1	1,283	2.6	1,316	2.6	1,340	1.8
1,210	3.0	1,236	2.1	1,268	2.6	1,301	2.6	1,325	1.8
15	0.0	15	0.0	15	0.0	15	0.0	15	0.0
6,537,369	0.2	6,544,564	0.1	6,566,138	0.3	7,038,493	7.2	7,350,879	4.4
4,162,767	1.5	4,212,468	1.2	4,217,749	0.1	4,228,584	0.3	4,230,931	0.1
6,198,657	△ 0.2	6,192,529	△ 0.1	6,286,889	1.5	6,373,414	1.4	6,506,988	2.1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
338,712	8.4	352,035	3.9	279,249	△ 20.7	665,079	138.2	843,891	26.9
52	△ 1.9	52	0.0	52	0.0	52	0.0	51	△ 1.9

② 処理水量・処理区域内人口の推移



③ 収益・費用・純利益の推移



2 終末処理場

(1) 総括

- ① 月別流入水量
- ② 汚泥処理状況
- ③ 消化ガス利用状況

(2) 中央浄化センター

- ① 施設概要
- ② 汚水処理状況
- ③ 放流水の水質基準及び水質状況
- ④ 下水精密試験結果
- ⑤ 汚泥処理状況

(3) 南部浄化センター

- ① 施設概要
- ② 汚水処理状況
- ③ 放流水の水質基準及び水質状況
- ④ 下水精密試験結果
- ⑤ 汚泥処理状況

(4) 田主丸浄化センター

- ① 水処理フローシート
- ② 汚水・汚泥処理状況
- ③ 下水精密試験結果

2 終末処理場

(1) 総括

① 月別流入水量

(単位: m³)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4月	中央	1,391,832	1,324,093	1,211,982	1,163,477	1,212,889
	南部	872,965	895,041	878,031	897,567	938,039
	田主丸	35,916	39,900	40,911	43,650	49,044
	計	2,300,713	2,259,034	2,130,924	2,104,694	2,199,972
5月	中央	1,473,100	1,217,354	1,308,818	1,183,143	1,230,868
	南部	931,305	889,629	927,321	917,152	968,790
	田主丸	38,233	40,887	43,607	45,620	50,765
	計	2,442,638	2,147,870	2,279,746	2,145,915	2,250,423
6月	中央	1,833,640	1,180,953	1,363,226	1,210,024	1,607,028
	南部	1,015,735	862,095	940,351	896,989	1,093,518
	田主丸	42,537	41,431	45,918	46,559	55,420
	計	2,891,912	2,084,479	2,349,495	2,153,572	2,755,966
7月	中央	1,614,411	1,451,775	1,470,931	1,805,607	2,729,660
	南部	977,196	976,417	1,141,047	1,122,908	1,462,417
	田主丸	44,416	47,066	55,431	55,959	77,467
	計	2,636,023	2,475,258	2,667,409	2,984,474	4,269,544
8月	中央	1,216,355	1,251,039	1,125,975	1,798,725	1,408,646
	南部	875,474	907,408	918,774	1,101,403	1,023,541
	田主丸	40,913	44,117	46,100	58,430	54,833
	計	2,132,742	2,202,564	2,090,849	2,958,558	2,487,020
9月	中央	1,471,603	1,302,996	1,168,181	1,415,511	1,366,102
	南部	943,115	912,679	914,912	946,016	999,981
	田主丸	44,489	43,118	44,715	48,080	52,139
	計	2,459,207	2,258,793	2,127,808	2,409,607	2,418,222
10月	中央	1,416,541	1,516,963	1,176,817	1,251,433	1,293,333
	南部	916,568	972,382	919,281	944,294	987,704
	田主丸	41,101	44,100	44,670	47,209	52,042
	計	2,374,210	2,533,445	2,140,768	2,242,936	2,333,079
11月	中央	1,317,303	1,209,239	1,119,614	1,149,253	1,192,604
	南部	872,632	858,130	880,859	910,672	936,515
	田主丸	39,309	40,123	42,895	46,502	49,199
	計	2,229,244	2,107,492	2,043,368	2,106,427	2,178,318
12月	中央	1,291,299	1,214,211	1,249,119	1,231,373	1,235,804
	南部	890,953	879,644	922,712	950,087	964,092
	田主丸	40,947	41,464	44,381	48,626	52,435
	計	2,223,199	2,135,319	2,216,212	2,230,086	2,252,331
1月	中央	1,215,586	1,203,754	1,177,056	1,208,651	1,197,307
	南部	866,554	880,014	894,564	947,176	970,208
	田主丸	40,249	41,120	43,110	48,452	54,957
	計	2,122,389	2,124,888	2,114,730	2,204,279	2,222,472
2月	中央	1,140,826	1,084,360	1,099,683	1,193,392	1,147,262
	南部	811,063	789,721	829,481	902,541	886,251
	田主丸	36,157	37,484	39,596	46,874	49,456
	計	1,988,046	1,911,565	1,968,760	2,142,807	2,082,969
3月	中央	1,219,058	1,306,610	1,198,562	1,327,182	1,287,382
	南部	858,471	924,873	935,969	968,648	982,880
	田主丸	38,740	42,122	44,595	51,168	52,928
	計	2,116,269	2,273,605	2,179,126	2,346,998	2,323,190
中央合計		16,601,554	15,263,347	14,669,964	15,937,771	16,908,885
南部合計		10,832,031	10,748,033	11,103,302	11,505,453	12,213,936
田主丸合計		483,007	502,932	535,929	587,129	650,685
総合計		27,916,592	26,514,312	26,309,195	28,030,353	29,773,506
月平均		2,326,383	2,209,526	2,192,433	2,335,863	2,481,126
日平均		76,484	72,642	72,080	76,586	81,571
雨量		2,411	1,789	1,842	2,288	2,659

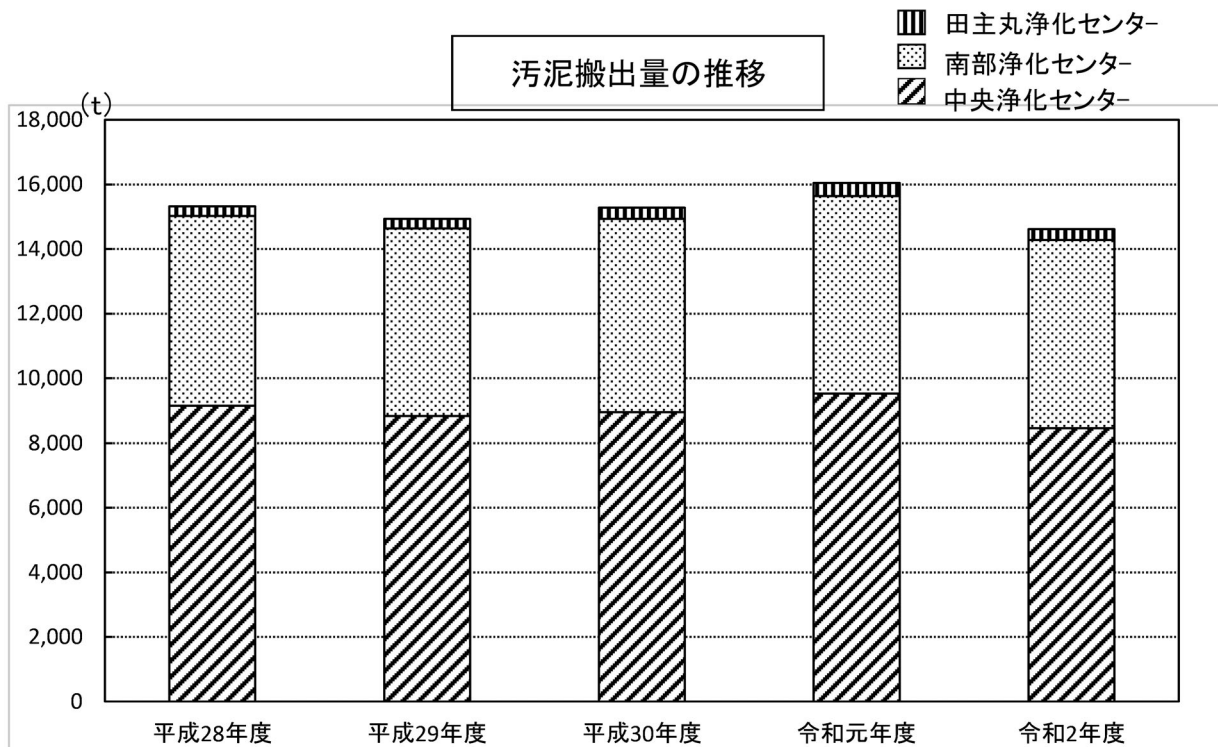
※ 中央…中央浄化センター、南部…南部浄化センター、田主丸…田主丸浄化センター

② 汚泥処理状況

	中央浄化センター			南部浄化センター		
	流入量 (m ³)	汚泥搬出量 (t)	再利用方法	流入量 (m ³)	汚泥搬出量 (t)	再利用方法
平成28年度	16,601,554	9,155	土壌改良剤 建設資材	10,832,031	5,870	コンポスト
平成29年度	15,263,347	8,842	コンポスト	10,748,033	5,789	土壌改良剤 建設資材
平成30年度	14,669,964	8,958	セメント原料 建設資材	11,103,302	5,977	コンポスト
令和元年度	15,937,771	9,521	コンポスト	11,505,453	6,117	セメント原料 建設資材
令和2年度	16,908,885	8,460	セメント原料 建設資材	12,213,936	5,814	コンポスト

	田主丸浄化センター			合 計
	流入量 (m ³)	汚泥搬出量 (t)	再利用方法	汚泥搬出量 (t)
平成28年度	483,007	294	コンポスト	15,319
平成29年度	502,932	304	土壌改良剤 建設資材	14,936
平成30年度	535,929	346	コンポスト	15,281
令和元年度	587,129	410	コンポスト	16,048
令和2年度	650,685	344	コンポスト	14,618

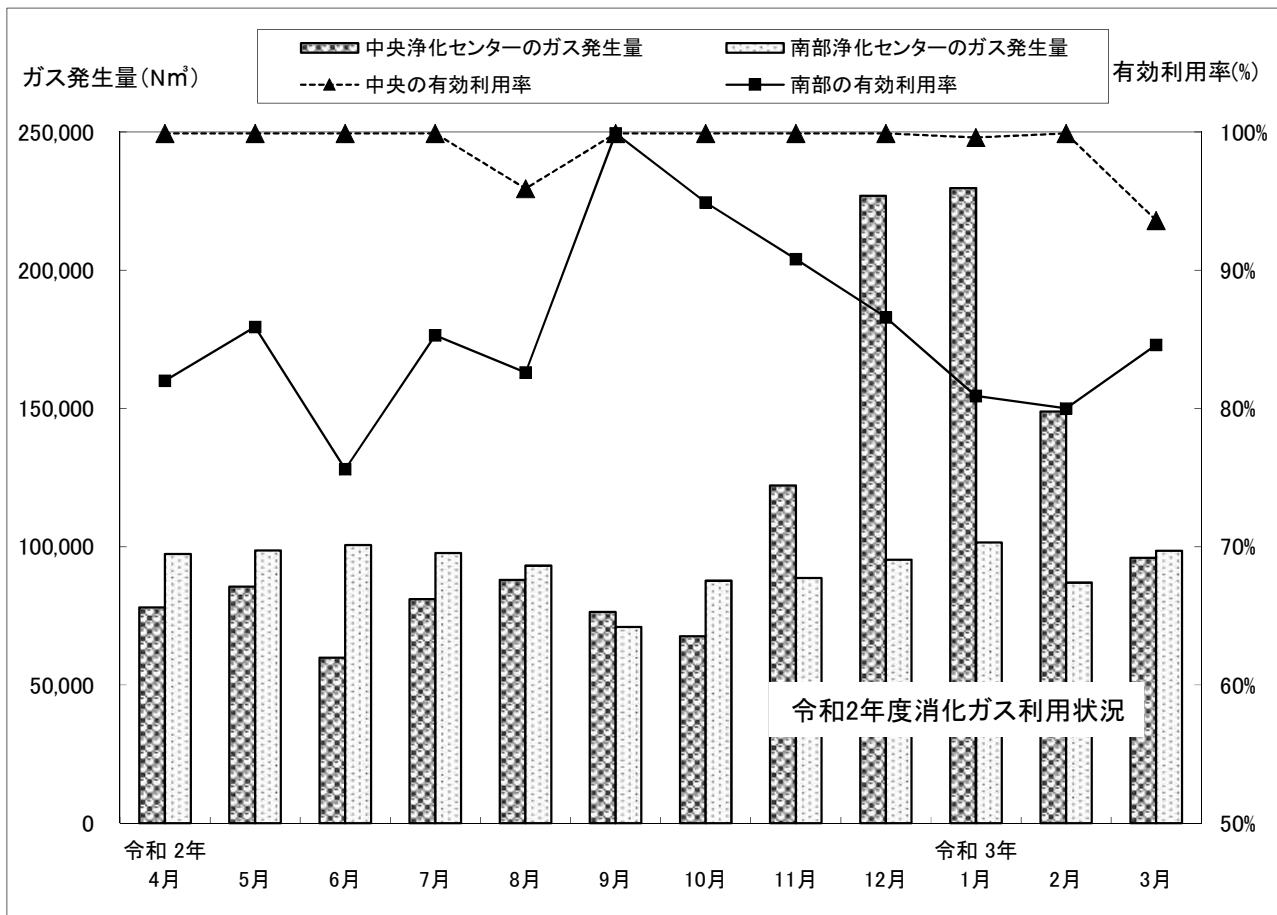
2



③ 消化ガス利用状況

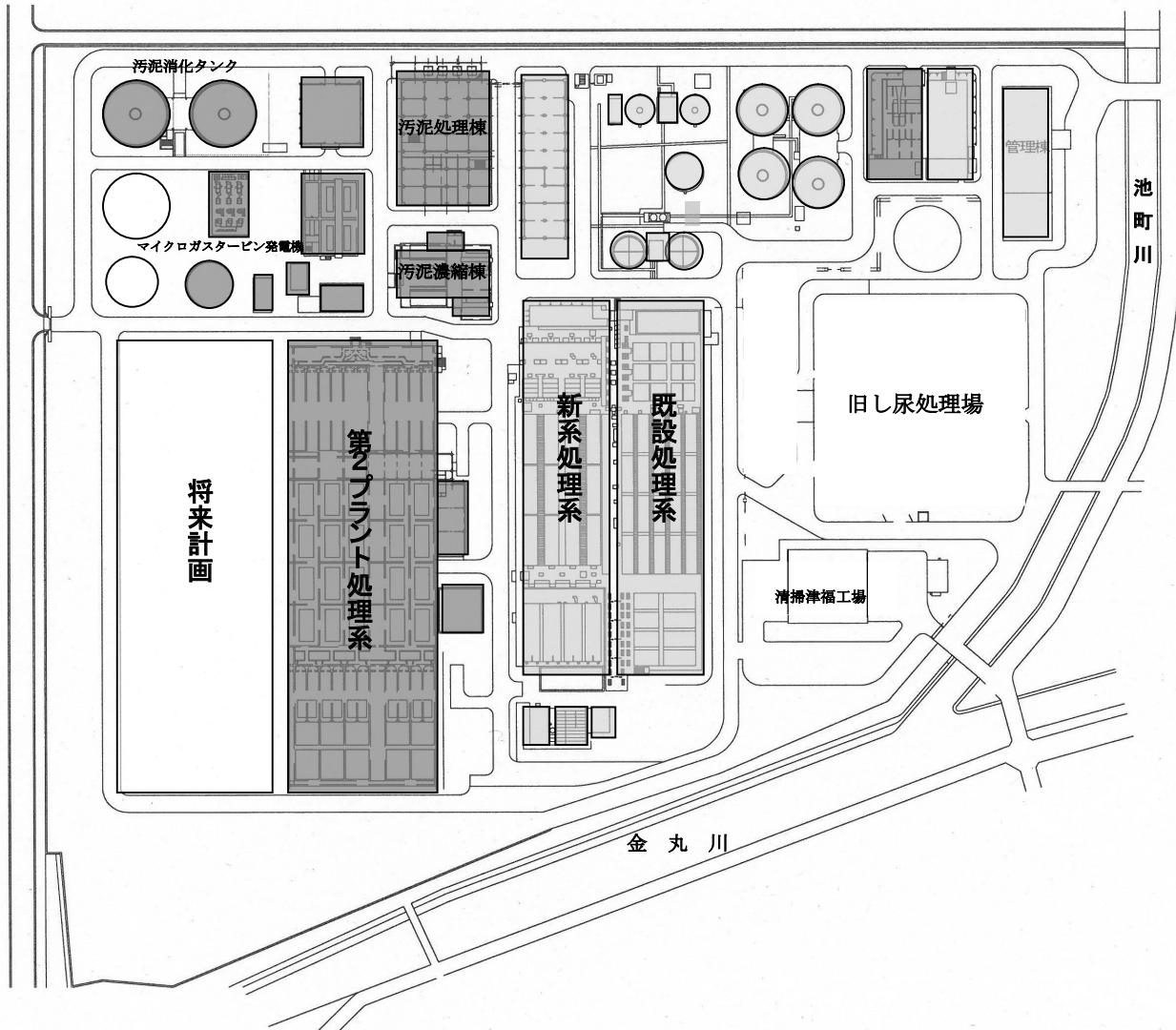
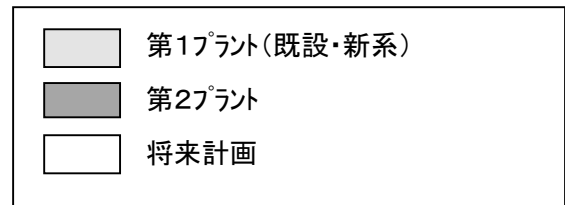
	中央浄化センター				南部浄化センター				中央・南部 総消化ガス 合計 (Nm ³)
	発電機使用及 びボイラー燃焼 (Nm ³)	余剰ガス (Nm ³)	総消化ガス量 (Nm ³)	有効利用率 (%)	発電機使用及 びボイラー燃焼 (Nm ³)	余剰ガス (Nm ³)	総消化ガス量 (Nm ³)	有効利用率 (%)	
令和2年4月	77,978	20	77,998	99.9%	79,926	17,448	97,374	82.0%	175,372
5月	85,507	20	85,527	99.9%	84,763	13,837	98,600	85.9%	184,127
6月	59,796	20	59,816	99.9%	76,103	24,482	100,585	75.6%	160,401
7月	80,958	60	81,018	99.9%	83,329	14,341	97,670	85.3%	178,688
8月	84,461	3,540	88,001	95.9%	76,958	16,182	93,140	82.6%	181,141
9月	76,339	20	76,359	99.9%	70,925	16	70,941	99.9%	147,300
10月	67,533	40	67,573	99.9%	83,286	4,412	87,698	94.9%	155,271
11月	122,129	20	122,149	99.9%	80,578	8,080	88,658	90.8%	210,807
12月	226,887	20	226,907	99.9%	82,564	12,733	95,297	86.6%	322,204
令和3年1月	228,836	880	229,716	99.6%	82,201	19,322	101,523	80.9%	331,239
2月	148,850	20	148,870	99.9%	69,686	17,321	87,007	80.0%	235,877
3月	89,851	6,100	95,951	93.6%	83,451	15,108	98,559	84.6%	194,510
計	1,349,125	10,760	1,359,885	99.2%	953,770	163,282	1,117,052	85.3%	2,476,937
最大	228,836	6,100	229,716	99.9%	84,763	24,482	101,523	99.9%	331,239
最小	59,796	20	59,816	93.6%	69,686	16	70,941	75.6%	147,300
令和2年度平均	112,427	897	113,324	99.2%	79,481	13,607	93,088	85.3%	206,411
令和元年度平均	105,586	1,661	107,247	98.4%	80,837	8,076	88,912	90.9%	196,159
平成30年度平均	104,370	4,714	109,085	95.6%	77,998	11,779	89,777	86.8%	198,861
平成29年度平均	112,088	1,962	114,050	98.2%	79,694	13,248	92,942	85.7%	206,992

中央・南部両浄化センター有効利用率 合計 92.9%



(2) 中央浄化センター

① 施設概要

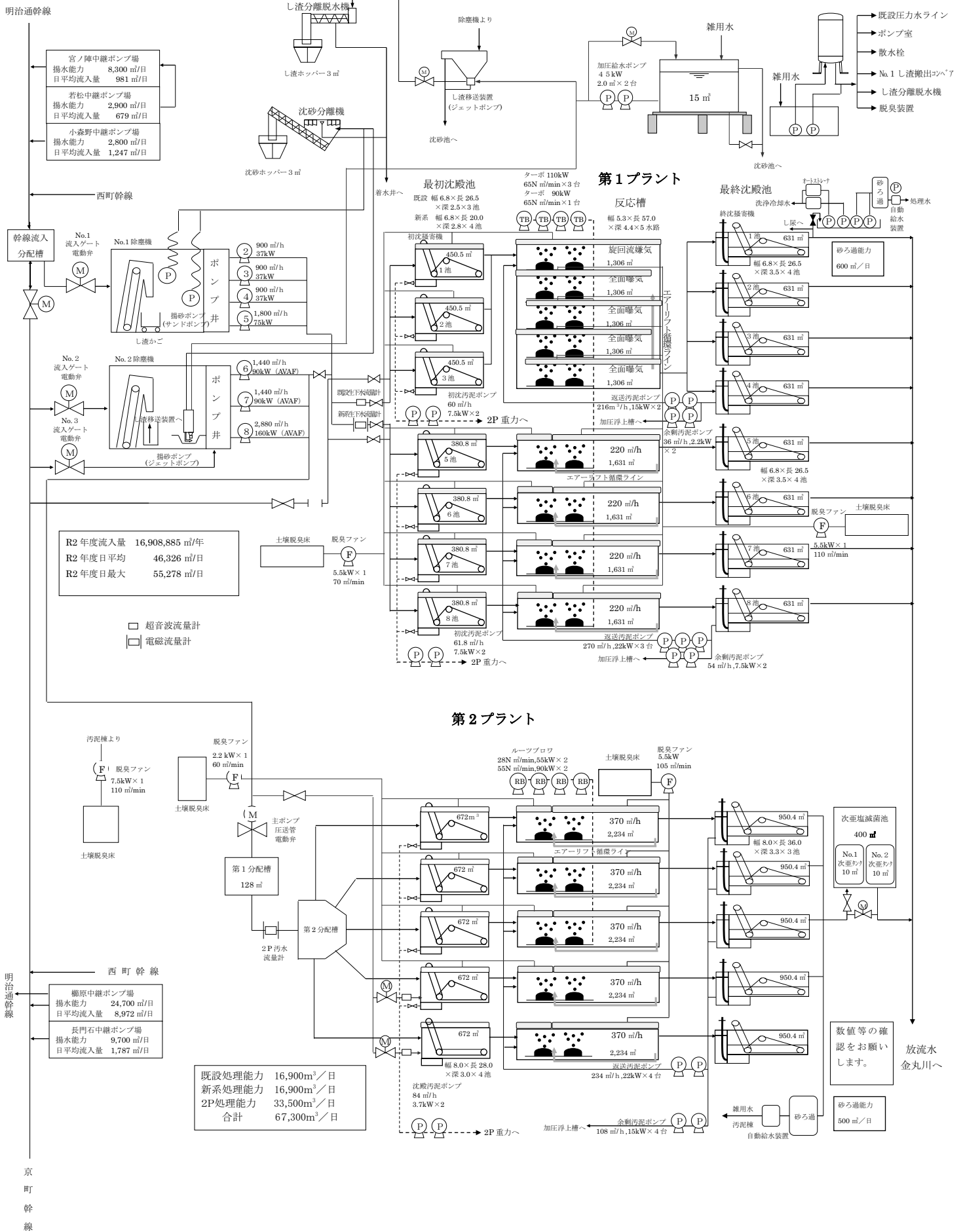


○ 施設概要 (令和3年3月31日時点)

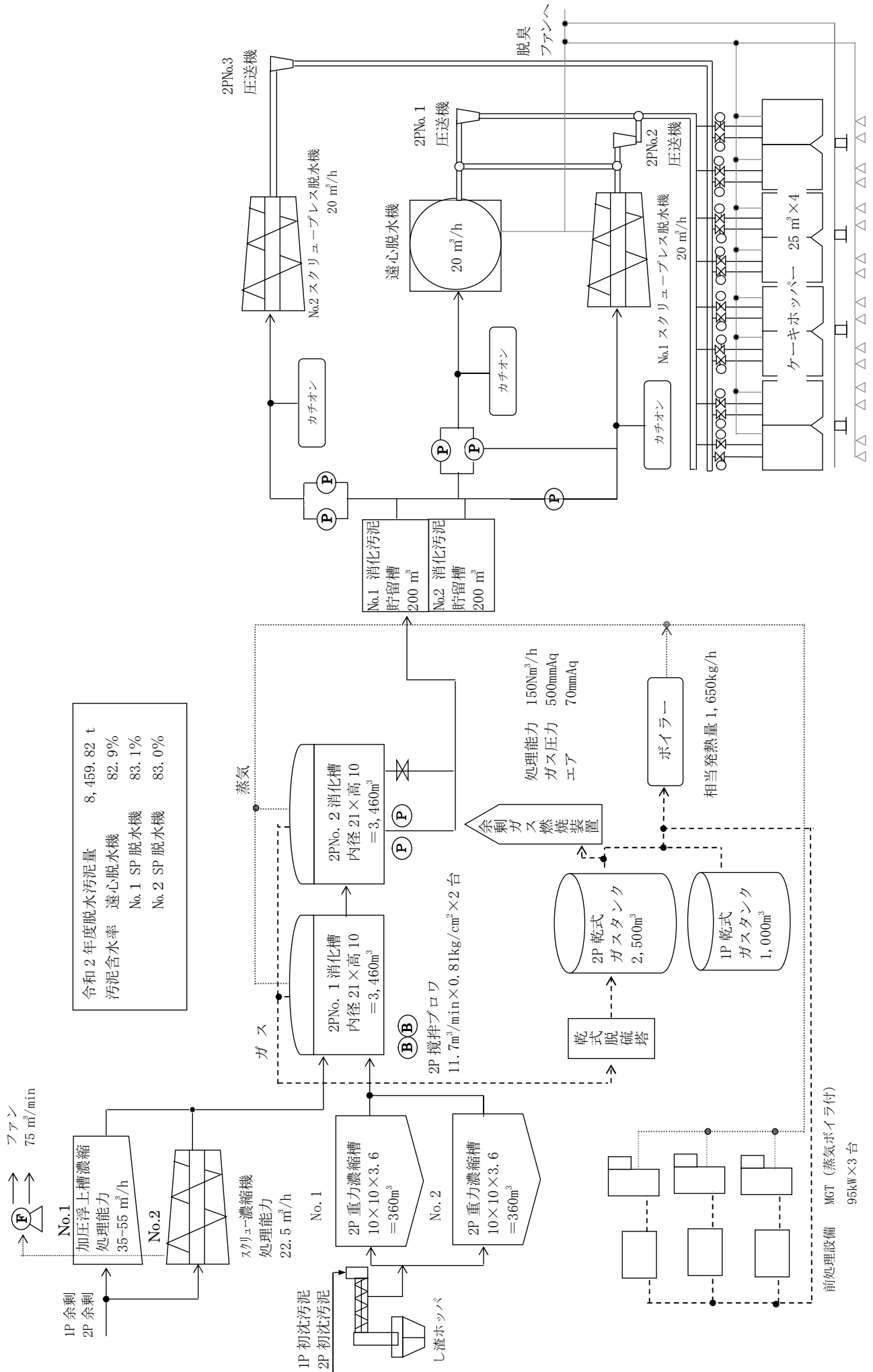
- 所在地 : 久留米市津福本町 2241
- 敷地面積 : 9.64ha
- 供用開始 : 昭和 47 年 5 月
- 計画処理面積 : 1,889ha
- 計画処理人口 : 109,800 人
- 計画処理能力 : 62,400 m³/日
- 現有処理能力 : 67,300 m³/日
- 処理方式 : 嫌気無酸素好気法〔段階的高度処理〕
- 排除方式 : 分流式
- 放流先 : 一級河川 金丸川 (C 類型)

〇水処理フローシート

(令和3年3月31日時点)



○ 汚泥処理フローシート (令和3年3月31日時点)



② 汚水処理状況

○ 流入水量(月別)

上段=月の合計
下段=日量の平均

(単位: m³)

年度 月	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4月	1,391,832	1,324,093	1,211,982	1,163,477	1,212,889
	46,394	44,136	40,399	38,783	40,430
5月	1,473,100	1,217,354	1,308,818	1,183,143	1,230,868
	47,519	39,269	42,220	38,166	39,705
6月	1,833,640	1,180,953	1,363,226	1,210,024	1,607,028
	61,121	39,365	45,441	40,334	53,568
7月	1,614,411	1,451,775	1,470,931	1,805,607	2,729,660
	52,078	46,831	47,449	58,245	88,054
8月	1,216,355	1,251,039	1,125,975	1,798,725	1,408,646
	39,237	40,356	36,322	58,023	45,440
9月	1,471,603	1,302,996	1,168,181	1,415,511	1,366,102
	49,053	43,433	38,939	47,184	45,537
10月	1,416,541	1,516,963	1,176,817	1,251,433	1,293,333
	45,695	48,934	37,962	40,369	41,720
11月	1,317,303	1,209,239	1,119,614	1,149,253	1,192,604
	43,910	40,308	37,320	38,308	39,753
12月	1,291,299	1,214,211	1,249,119	1,231,373	1,235,804
	41,655	39,168	40,294	39,722	39,865
1月	1,215,586	1,203,754	1,177,056	1,208,651	1,197,307
	39,212	38,831	37,970	38,989	38,623
2月	1,140,826	1,084,360	1,099,683	1,193,392	1,147,262
	40,744	38,727	39,274	41,151	40,974
3月	1,219,058	1,306,610	1,198,562	1,327,182	1,287,382
	39,324	42,149	38,663	42,812	41,528
合計	16,601,554	15,263,347	14,669,964	15,937,771	16,908,885
月平均	1,383,463	1,271,946	1,222,497	1,328,148	1,409,074
日平均	45,484	41,817	40,192	43,546	46,326

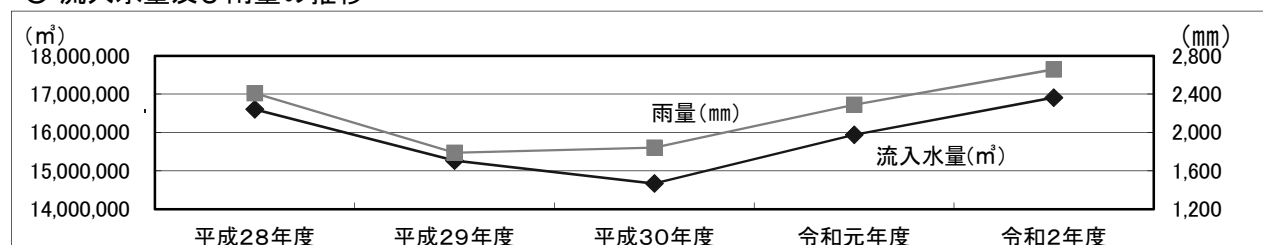
(単位: m³、mm、kWh)

日最大※1	59,510	51,893	56,857	57,294	55,278
年間総雨量	2,411	1,789	1,842	2,288	2,659
電力使用量※2	5,438,974	5,426,741	5,300,904	5,365,268	5,696,776

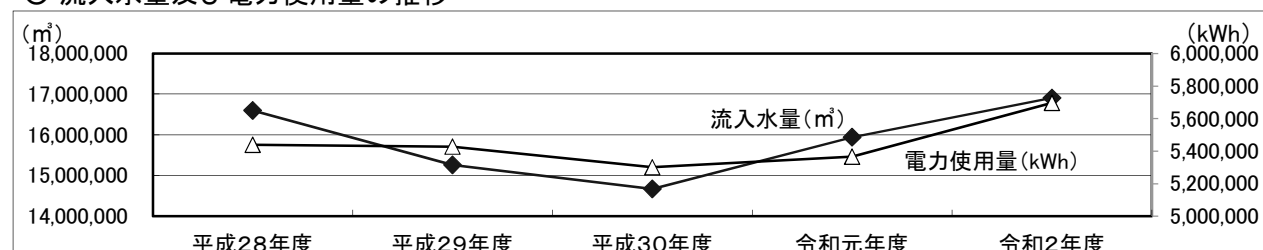
※1) 日最大は、雨の日及び翌日を除く日最大

※2) 電力使用量=受電電力量+発電電力量

○ 流入水量及び雨量の推移



○ 流入水量及び電力使用量の推移





中央浄化センター全景

・ 各種データ(中央浄化センター)

月	項目	流入水量(m ³)				返送汚泥量(m ³)		
		1P既設	1P新系	2P	合計	1P既設	1P新系	2P
4月		413,033	411,066	388,790	1,212,889	262,658	293,340	303,708
5月		409,862	423,168	397,838	1,230,868	272,605	303,583	318,957
6月		492,156	634,977	479,895	1,607,028	285,919	296,111	302,917
7月		610,273	1,142,130	977,257	2,729,660	331,795	299,212	320,105
8月		462,242	488,602	457,802	1,408,646	288,730	307,979	326,877
9月		436,662	470,998	458,442	1,366,102	270,183	293,638	307,519
10月		420,303	417,064	455,966	1,293,333	271,614	304,153	313,067
11月		382,645	382,880	427,079	1,192,604	259,239	290,651	301,352
12月		392,067	377,896	465,839	1,235,802	266,850	302,308	311,797
1月		364,410	363,779	469,112	1,197,301	267,462	302,573	316,412
2月		346,210	355,448	445,604	1,147,262	242,867	273,580	284,947
3月		413,833	413,855	459,694	1,287,382	270,488	300,005	307,757
合計		5,143,696	5,881,863	5,883,318	16,908,877	3,290,410	3,567,133	3,715,415
令和2年度 月平均		428,641	490,155	490,277	1,409,073	274,201	297,261	309,618
令和2年度 日平均		14,092	16,115	16,119	46,326	9,015	9,773	10,179
令和元年度 月平均		425,644	439,089	463,415	1,328,148	271,870	297,732	305,981
平成30年度 月平均		395,683	393,754	431,356	1,222,497	264,236	295,946	304,709

月	項目	余剰汚泥引抜量(m ³)				重力濃縮汚泥量 (m ³)	浮上濃縮汚泥量 (m ³)	消化槽投入量 (m ³)
		1P既設	1P新系	2P	合計			
4月		6,180	5,660	7,740	19,580	4,606	3,447	8,054
5月		5,500	5,260	8,490	19,250	5,356	3,207	8,563
6月		5,045	5,033	6,591	16,669	5,603	2,976	8,579
7月		3,217	2,231	3,792	9,240	4,700	1,760	6,460
8月		5,430	4,530	7,900	17,860	5,150	2,984	8,133
9月		4,940	4,480	7,080	16,500	5,139	3,073	8,211
10月		5,564	5,290	5,454	16,308	5,758	3,047	8,805
11月		5,520	5,080	5,500	16,100	5,231	2,852	8,083
12月		4,600	5,570	5,820	15,990	5,162	2,873	8,035
1月		5,370	5,280	6,960	17,610	5,084	3,167	8,251
2月		5,080	5,480	5,800	16,360	4,635	2,894	7,528
3月		6,440	5,820	8,040	20,300	4,971	3,724	8,694
合計		62,886	59,714	79,167	201,767	61,394	36,002	97,396
令和2年度 月平均		5,241	4,976	6,597	16,814	5,116	3,000	8,116
令和2年度 日平均		172	164	217	553	168	99	267
令和元年度 月平均		5,842	6,656	7,443	19,940	5,350	3,569	8,918
平成30年度 月平均		5,574	5,643	7,226	18,443	5,293	3,526	8,820

返送率(%)			空気量(m ³)			平均空気倍率(倍)		
1P既設	1P新系	2P	1P既設	1P新系	2P	1P既設	1P新系	2P
68.1	76.8	84.9	2,270,745	2,568,022	2,432,580	5.50	6.25	6.26
75.0	83.6	91.2	2,387,950	2,382,737	2,665,423	5.83	5.63	6.70
63.1	62.9	92.6	2,640,880	2,748,036	2,882,608	5.37	4.33	6.01
57.7	37.6	76.2	2,534,608	2,501,889	2,874,154	4.15	2.19	2.94
66.0	69.6	77.6	2,724,615	2,756,393	3,201,747	5.89	5.64	6.99
66.9	71.1	73.6	2,715,253	2,775,347	3,063,856	6.22	5.89	6.68
70.3	79.8	75.9	2,656,185	2,795,904	3,243,975	6.32	6.70	7.11
77.1	86.1	79.8	2,582,990	2,882,165	3,109,259	6.75	7.53	7.28
75.6	88.5	75.9	2,419,517	2,534,754	3,044,858	6.17	6.71	6.54
80.0	91.0	77.0	2,154,659	2,366,167	2,999,035	5.91	6.50	6.39
78.6	86.8	72.9	1,989,011	2,225,973	2,899,990	5.75	6.26	6.51
72.2	80.2	73.9	2,277,028	2,481,613	2,869,379	5.50	6.00	6.24
			29,353,441	31,019,000	35,286,864			
70.9	76.2	79.3	2,446,120	2,584,917	2,940,572	5.71	5.27	6.00
			80,420	84,984	96,676			
71.7	80.8	74.6	2,482,178	2,653,679	2,735,251	5.83	6.04	5.90
74.0	84.7	78.8	2,453,255	2,620,763	2,882,577	6.20	6.66	6.68

消化污泥引拔量 (m ³)	脱水機投入量 (m ³)	2P第一 消化槽温度(°C)	搬出污泥量 (t)	受電電力量 (kWh)	発電電力量 (kWh)	使用電力量 (kWh)
7,419	8,821	33.0	508.86	290,688	129,985	420,673
7,836	8,964	33.0	783.38	299,786	142,228	442,014
8,173	9,138	33.5	753.12	382,210	94,195	476,405
6,588	6,515	33.1	569.74	392,131	132,557	524,688
7,339	8,035	33.7	729.77	377,887	134,727	512,614
7,806	7,788	33.7	658.07	359,078	126,599	485,677
9,221	8,788	32.7	723.64	362,623	122,743	485,366
8,312	7,818	32.0	600.50	351,422	114,713	466,135
8,346	8,517	33.1	790.51	353,198	130,902	484,100
7,366	8,351	31.7	723.96	340,810	134,494	475,304
6,509	7,517	31.4	724.13	307,236	133,657	440,893
8,822	9,106	32.2	894.14	331,714	151,193	482,907
93,736	99,357		8,459.82	4,148,783	1,547,993	5,696,776
7,811	8,280	32.8	704.99	345,732	128,999	474,731
257	272		23.18	11,367	4,241	15,608
8,649	9,097	34.2	793.41	296,527	150,081	446,608
9,600	9,203	34.6	746.48	282,476	157,748	440,224

③ 放流水の水質基準及び水質状況

	試験項目	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	下水道法 技術上の基準
生活環境項目	水素イオン濃度(pH)	-	6.7	6.6	6.6	6.7	6.8	5.8-8.6
	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	3.9	4.4	3.9	3.0	3.7	15
	浮遊物質(SS)	mg/L	2.2	2.1	1.9	1.3	1.6	40
	n-ヘキサン抽出物質(鉱油)	mg/L	<0.5	0.50	<0.5	<0.5	<0.5	5
	n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂類)							30
	大腸菌群数	個/cm ³	11	6	6	14	44	3000
	窒素含有量(N)	mg/L	9.6	9.8	9.6	9.9	9.9	20※
	磷含有量(P)	mg/L	0.85	1.11	1.01	1.08	0.90	16(日間平均8)
処理困難物質	フェノール類含有量	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	5
	銅含有量	mg/L	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3
	亜鉛含有量	mg/L	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2
	溶解性鉄含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	10
	溶解性マンガン含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	10
	クロム含有量	mg/L	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2
	カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
	シアン化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
	有機燐化合物(パラチオン・メチルパラチオン・メチルジメトンおよびEPNIに限る。)	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
	鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
	六価クロム化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.5
	砒素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
	アルキル水銀化合物	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出されないこと
	ポリ塩化ビフェニル	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003
	トリクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
	ジクロロメタン	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
	四塩化炭素	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
	1, 2-ジクロロエタン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
	1, 1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.4
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
	1, 3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
	チウラム	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
	シマジン	mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
	チオベンカルブ	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
	ベンゼン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
	セレン及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
	ほう素及びその化合物	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	10
	ふっ素及びその化合物	mg/L	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	8
	1, 4-ジオキサン	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.50
	アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	7.20	8.17	8.00	8.21	7.95	100

※H30.11月 事業計画の変更(段階的高度処理)承認により、120(日間平均60)mg/Lから20mg/Lに変更



2

南部浄化センター全景

④下水精密試験結果

○ 流入水

項目			水温	pH	透視度	蒸発 残留物	溶解性 物質	SS	強熱 残留物	強熱 減量	強熱 減量	COD	BOD
日付			(°C)		(cm)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(%)	(mg/L)	(mg/L)
R2	4	8	21.0	7.2	4.6	464	324	140	222	242	52.2	94.3	141
		23	21.2	7.4	5.0	566	424	142	304	262	46.3	98.1	162
	5	14	23.8	7.2	4.5	524	370	154	254	270	51.5	99.3	161
		21	23.4	7.1	4.6	498	350	148	246	252	50.6	108.6	126
	6	2	25.0	7.0	4.5	598	420	178	266	332	55.5	112.4	192
		17	25.8	7.1	3.6	488	290	198	208	280	57.4	97.9	145
	7	2	25.3	7.1	5.0	482	328	154	252	230	47.7	101.2	145
		21	26.0	7.1	5.2	536	394	142	268	268	50.0	109.0	137
	8	5	27.3	7.1	4.8	532	398	134	270	262	49.2	89.5	130
		19	28.8	7.1	4.3	574	430	144	330	244	42.5	96.2	139
	9	1	29.4	7.2	4.8	464	290	174	222	242	52.2	100.2	166
		24	27.0	7.2	4.0	680	494	186	330	350	51.5	104.0	164
10	7	26.4	7.1	3.8	622	440	182	328	294	47.3	113.8	161	
	21	25.7	7.0	5.2	628	508	120	348	280	44.6	94.0	138	
11	10	23.8	7.1	4.3	678	484	194	426	252	37.2	82.6	150	
	17	24.3	7.2	4.2	604	428	176	276	328	54.3	106.4	154	
12	2	22.9	7.2	3.9	572	444	128	304	268	46.9	101.8	155	
	16	21.2	7.5	5.0	610	456	154	346	264	43.3	105.0	144	
R3	1	6	19.8	7.4	3.9	730	564	166	420	310	42.5	111.0	176
		20	19.0	7.4	3.7	674	480	194	358	316	46.9	114.4	173
	2	3	19.5	7.4	5.0	520	372	148	272	248	47.7	93.0	156
		16	19.6	7.4	4.0	556	378	178	204	352	63.3	125.6	173
3	3	19.9	7.3	4.2	534	362	172	270	264	49.4	112.0	162	
	10	20.5	7.3	5.8	500	406	94	304	196	39.2	82.4	121	
最大			29.4	7.5	5.8	730	564	198	426	352	63.3	125.6	192
最小			19.0	7.0	3.6	464	290	94	204	196	37.2	82.4	121
令和2年度平均			23.6	7.2	4.4	568	409	158	292	275	48.7	102.1	152
令和元年度平均			23.7	7.1	4.0	627	437	189	300	326	51.4	113.0	191
平成30年度平均			23.9	7.1	4.0	615	432	183	286	329	53.4	122.1	186

○ 放流水

項目			水温	pH	透視度	蒸発 残留物	溶解性 物質	SS	強熱 残留物	強熱 減量	強熱 減量	COD	BOD
日付			(°C)		(cm)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(%)	(mg/L)	(mg/L)
R2	4	8	22.0	6.7	>100	308	308	<1	236	72	23.4	7.8	3.2
		23	22.0	6.8	>100	323	323	<1	239	84	26.0	9.3	4.2
	5	14	25.0	6.9	>100	318	317	1.3	243	75	23.6	7.8	5.0
		21	24.2	6.7	>100	325	325	<1	243	82	25.2	8.4	2.6
	6	2	26.6	7.0	>100	335	333	2.3	252	83	24.8	9.7	3.0
		17	27.7	6.8	>100	306	304	1.8	230	76	24.8	7.7	7.4
	7	2	26.8	6.8	>100	314	312	2.0	274	40	12.7	7.4	5.2
		21	26.7	6.8	>100	372	372	<1	270	102	27.4	7.2	1.6
	8	5	27.6	6.8	>100	348	346	2.2	257	91	26.1	8.2	3.1
		19	29.7	6.9	>100	335	333	1.8	258	77	23.0	8.1	3.9
	9	1	30.3	7.0	>100	308	306	2.0	236	72	23.4	7.3	3.0
		24	26.3	6.9	>100	414	413	1.3	298	116	28.0	9.6	3.2
10	7	25.8	6.9	>100	388	384	4.3	303	85	21.9	8.7	4.1	
	21	25.2	6.7	>100	487	486	1.3	362	125	25.7	11.1	8.2	
11	10	23.2	6.8	>100	357	354	2.8	266	91	25.5	8.1	3.5	
	17	23.5	6.9	>100	349	347	2.0	249	100	28.7	7.8	1.2	
12	2	21.0	6.8	>100	354	353	1.0	258	96	27.1	7.9	2.7	
	16	19.3	6.8	>100	332	330	2.0	251	81	24.4	8.8	3.6	
R3	1	6	18.0	6.8	>100	347	345	2.5	265	82	23.6	10.2	8.6
		20	18.8	6.7	>100	337	333	3.8	249	88	26.1	8.9	3.2
	2	3	17.2	6.8	>100	307	307	<1	232	75	24.4	8.5	3.5
		16	18.0	6.7	>100	316	315	1.0	212	104	32.9	7.9	2.6
3	3	19.3	6.7	>100	317	316	1.3	243	74	23.3	8.0	2.3	
	10	21.0	6.9	>100	322	321	1.3	249	73	22.7	8.9	2.1	
最大			30.3	7.0	>100	487	486	4.3	362	125	32.9	11.1	8.6
最小			17.2	6.7	>100	306	304	<1	212	40	12.7	7.2	1.2
令和2年度平均			23.5	6.8	>100	342	340	1.6	257	85	24.7	8.4	3.7
令和元年度平均			24.2	6.8	>100	344	343	1.3	257	86	25.2	7.9	3.0
平成30年度平均			24.4	6.6	>100	337	335	1.9	246	91	26.8	8.9	3.9

* pH:水素イオン指数 SS:浮遊物質

* COD:化学的酸素要求量 BOD:生物化学的酸素要求量 C-BOD:有機物質の分解に伴う酸素消費量

塩化物イオン (mg/L)	全窒素 (mg/L)	有機性窒素 (mg/L)	アンモニア性窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	油分 (mg/L)
62.8	51	15	35	6.4	-
99.2	49	18	31	7.9	-
63.2	54	23	31	9.0	-
65.0	40	17	23	5.7	-
76.4	50	26	24	6.3	24.4
62.6	42	19	23	6.0	-
55.4	37	10	27	6.2	-
67.8	44	19	25	6.1	-
73.6	42	17	25	4.9	-
78.6	57	32	25	6.6	-
72.8	63	35	28	7.5	-
101	62	32	30	8.0	-
96.0	51	23	28	5.6	-
103	50	21	29	7.2	-
152	45	20	25	6.9	16.7
63.4	46	5.0	32	7.2	-
86.0	49	17	32	7.2	-
110	51	18	33	7.6	-
148	53	23	31	6.9	-
111	57	23	34	9.5	-
82.2	51	23	29	8.5	-
53.4	49	23	26	6.6	-
65.6	46	19	27	6.4	-
68.8	48	20	28	7.5	-
152	63	35	35	9.5	24.4
53.4	37	5.0	23	4.9	16.7
84.0	49	20	28	6.9	20.5
78.0	50	20	30	7.6	19.6
70.6	47	18	29	7.4	14.00

C-BOD (mg/L)	塩化物イオン (mg/L)	全窒素 (mg/L)	有機性窒素 (mg/L)	アンモニア性窒素 (mg/L)	亜硝酸性窒素 (mg/L)	硝酸性窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	油分 (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)	色度 (度)	窒素三態 (mg/L)	残留塩素 (mg/L)
1.0	73.0	11	2.5	1.8	0.075	7.2	0.83	<0.5	<1	-	8.03	0.46
0.7	66.4	10	2.2	0.33	0.048	7.7	1.1	<0.5	<1	-	7.93	0.20
1.0	71.4	8.4	1.5	0.61	0.045	6.2	0.47	<0.5	<1	-	6.49	0.26
1.2	73.8	9.2	1.7	0	0.014	7.5	1.6	0.50	<1	-	7.51	0.26
1.1	74.6	12	2.5	4.3	0.052	5.3	2.2	<0.5	<1	-	7.13	0.26
1.4	71.2	10	2.6	0.93	0.041	7.1	0.57	<0.5	106	-	7.51	0.20
1.8	85.8	6.6	1.5	0	0.028	5.0	0.35	<0.5	277	-	5.10	0.21
1.0	75.8	9.9	2.0	0.55	0.017	7.3	<0.15	<0.5	<1	-	7.54	0.50
1.6	71.0	9.6	1.3	0	0.014	8.2	0.24	<0.5	<1	-	8.26	0.26
1.5	66.8	9.5	0.82	0	<0.01	8.6	0.42	<0.5	246	-	8.68	0.17
1.0	79.4	11	3.7	0	0.011	7.3	0.38	<0.5	328	-	7.39	0.25
0.3	107	8.9	2.3	0	<0.01	6.6	0.59	<0.5	<1	-	6.64	0.21
1.6	98.4	10	1.3	0	0.010	9.1	0.69	<0.5	2	-	9.15	0.25
6.5	121	10	1.5	0	0.017	9.4	1.4	<0.5	<1	-	9.42	0.26
1.1	71.2	9.9	1.6	0	0.016	8.2	1.5	<0.5	16	-	8.29	0.19
0.6	68.2	9.3	1.5	0	<0.01	7.8	0.43	<0.5	<1	-	7.84	0.34
0.9	77.8	10	1.5	0	0.011	9.2	0.84	<0.5	<1	-	9.21	0.31
1.3	64.6	11	2.1	0	<0.01	8.9	2.1	<0.5	<1	-	8.88	0.35
1.2	68.6	14	3.1	2.8	0.13	7.9	2.0	<0.5	<1	-	9.17	0.27
1.1	62.8	9.4	2.0	0	0.013	7.4	0.45	<0.5	3	-	7.41	0.25
1.1	62.4	10	1.4	0	<0.01	8.6	1.3	<0.5	86	-	8.65	0.21
0.7	57.8	10	1.5	0	0.010	8.8	1.4	<0.5	<1	-	8.90	0.39
1.0	65.0	9.4	1.4	0	0.012	7.9	0.39	<0.5	<1	-	7.95	0.34
1.0	58.8	9.4	1.5	0	0.019	7.9	0.30	<0.5	<1	-	7.92	0.42
6.5	121	14	3.7	4.3	0.13	9.4	2.2	0.50	328	-	9.42	0.50
0.3	57.8	6.6	0.8	0	0.010	5.0	<0.15	<0.5	<1	-	5.10	0.17
1.3	74.7	9.9	1.8	0.40	0.030	7.7	0.90	<0.5	44	-	7.95	0.28
1.0	74.0	9.6	1.5	0.37	0.060	7.9	1.0	<0.5	9	11.5	8.21	0.30
1.2	63.3	9.6	1.4	0.31	0.058	7.8	1.0	<0.5	6	12.0	8.00	0.30

下水精密試験結果(処理困難物質)

○ 流入水

年月	項目	フェノール類 (mg/L)	銅 (mg/L)	亜鉛 (mg/L)	溶解性鉄 (mg/L)	溶解性マンガン (mg/L)	全クロム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
R2. 5		<0.5	<0.3	0.3	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.8	<0.05
R2. 11		<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.8	<0.05
最大		<0.5	<0.3	0.3	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.8	<0.05
最小		<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.8	<0.05
平均		<0.5	<0.3	0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.8	<0.05
下水道排除基準 (参考)		5	3	2	10	10	2	0.03	1	0.1	0.5	0.1	0.005	検出されないこと	8	0.5

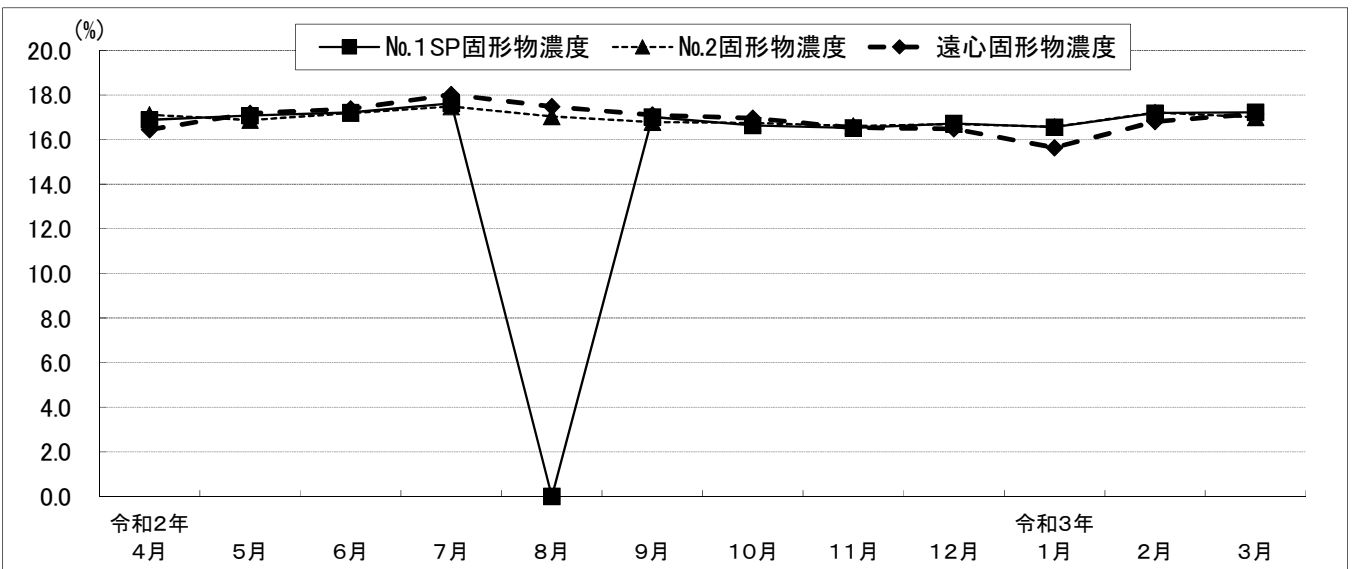
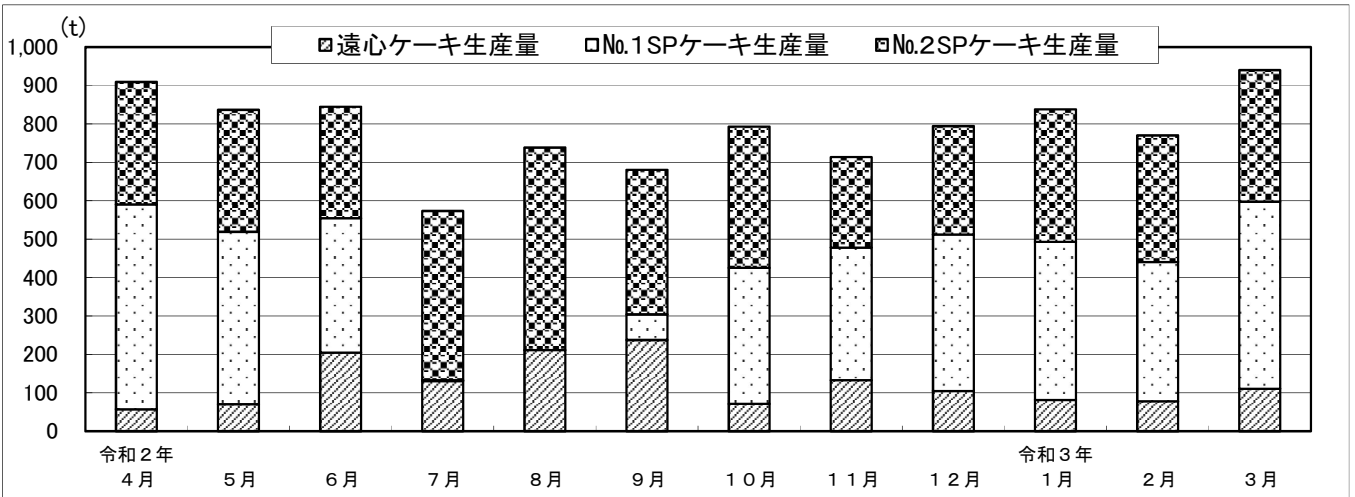
○ 放流水

年月	項目	フェノール類 (mg/L)	銅 (mg/L)	亜鉛 (mg/L)	溶解性鉄 (mg/L)	溶解性マンガン (mg/L)	全クロム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	全シアン (mg/L)	有機りん (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	ヒ素 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
R2. 5		<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
R2. 7		<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
R2. 9		<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
R2. 11		<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
R3. 1		<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
R3. 3		<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
最大		<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
最小		<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
平均		<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
下水道水質基準		5	3	2	10	10	2	0.03	1	1	0.1	0.5	0.1	0.005	検出されないこと	0.003	0.1	0.1

年月	項目	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	シス1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	ほう素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
R2. 5		<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
R2. 7		<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
R2. 9		<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
R2. 11		<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
R3. 1		<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
R3. 3		<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
最大		<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
最小		<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
平均		<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
下水道水質基準		0.2	0.02	0.04	1	0.4	3	0.06	0.02	0.06	0.03	0.2	0.1	0.1	10	8	0.5

⑤ 汚泥処理状況

	遠心ケーキ生産量			No.1 SPケーキ生産量			No.2 SPケーキ生産量			総ケーキ生産量		合計 出荷量 (t)
	ケーキ量 (t)	固形物濃度 (%)	固形物 (t)	ケーキ量 (t)	固形物濃度 (%)	固形物 (t)	ケーキ量 (t)	固形物濃度 (%)	固形物 (t)	(参考値) (t)	固形物 (t)	
令和2年 4月	56.8	16.4	9.3	533.6	16.9	90.1	318.7	17.1	54.5	909.1	154.0	508.86
5月	70.2	17.2	12.1	448.9	17.1	76.6	317.2	16.9	53.5	836.3	142.2	783.38
6月	204.5	17.4	35.5	349.7	17.2	60.2	290.3	17.2	49.9	844.5	145.6	753.12
7月	130.5	18.0	23.5	2.1	17.6	0.4	440.4	17.5	77.0	573.0	100.9	569.74
8月	211.1	17.5	36.9	0.0	0.0	0.0	527.1	17.0	89.8	738.2	126.7	729.77
9月	237.8	17.1	40.7	66.6	17.0	11.3	375.9	16.8	63.1	680.3	115.1	658.07
10月	70.8	17.0	12.0	354.2	16.6	58.9	367.7	16.7	61.6	792.7	132.5	723.64
11月	132.5	16.5	21.9	345.4	16.5	57.1	235.4	16.6	39.1	713.3	118.1	600.50
12月	105.1	16.5	17.3	406.8	16.7	68.0	282.2	16.7	47.1	794.1	132.4	790.51
令和3年 1月	81.1	15.6	12.7	411.7	16.6	68.2	345.3	16.6	57.2	838.1	138.0	723.96
2月	77.6	16.8	13.0	362.8	17.2	62.3	329.7	17.2	56.8	770.1	132.1	724.13
3月	110.4	17.1	18.9	486.9	17.2	83.9	342.8	17.0	58.3	940.1	161.0	894.14
合計	1,488.4		253.9	3,768.7		636.9	4,172.7		707.8	9,429.8	1,598.6	8,459.82
令和2年度月平均	124.0	16.9	21.2	314.1	15.6	53.1	347.7	16.9	59.0	785.8	133.2	704.99
令和2年度日平均	4.1		0.7	10.3		1.7	11.4		1.9	25.8	4.4	23.2
令和元年度日平均	2.5	14.3	0.4	17.3	17.2	3.0	9.5	17.1	1.6	29.3	5.1	26.0
平成30年度日平均	2.0	17.3	0.4	18.3	17.4	3.2	7.6	17.2	1.3	27.9	4.9	24.5

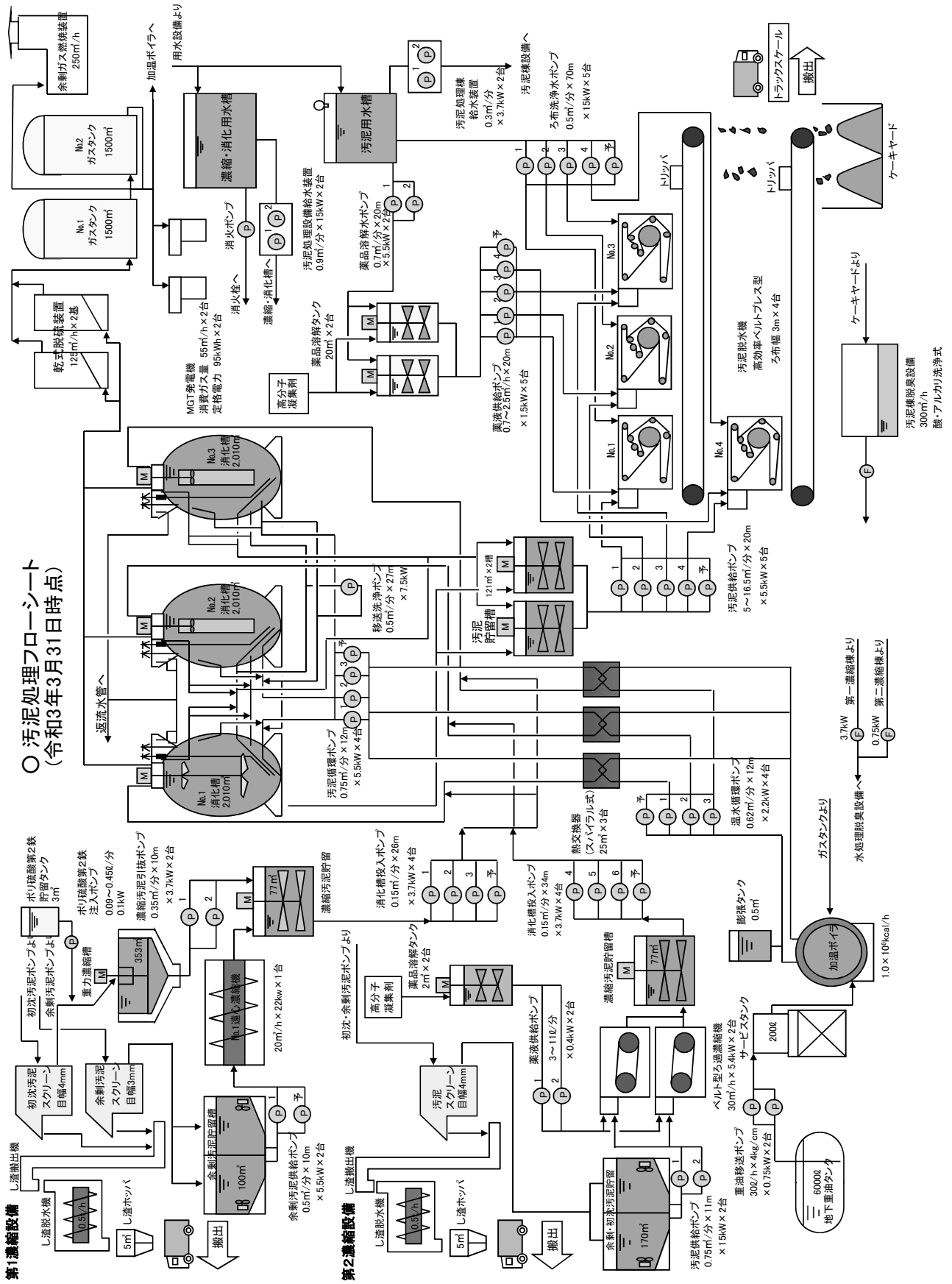


(3) 南部浄化センター

① 施設概要



○ 汚泥処理フローシート
(令和3年3月31日時点)



② 汚水処理状況

○ 流入水量(月別)

上段=月の合計

下段=日量の平均

(単位:m³)

年度 月	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4月	872,965	895,041	878,031	897,567	938,039
	29,099	29,835	29,268	29,919	31,268
5月	931,305	889,629	927,321	917,152	968,790
	30,042	28,698	29,914	29,586	31,251
6月	1,015,735	862,095	940,351	896,989	1,093,518
	33,858	28,737	31,345	29,900	36,451
7月	977,196	976,417	1,141,047	1,122,908	1,462,417
	31,522	31,497	36,808	36,223	47,175
8月	875,474	907,408	918,774	1,101,403	1,023,541
	28,241	29,271	29,638	35,529	33,017
9月	943,115	912,679	914,912	946,016	999,981
	31,437	30,423	30,497	31,534	33,333
10月	916,568	972,382	919,281	944,294	987,704
	29,567	31,367	29,654	30,461	31,861
11月	872,632	858,130	880,859	910,672	936,515
	29,088	28,604	29,362	30,356	31,217
12月	890,953	879,644	922,712	950,087	964,092
	28,740	28,376	29,765	30,648	31,100
1月	866,554	880,014	894,564	947,176	970,208
	27,953	28,388	28,857	30,554	31,297
2月	811,063	789,721	829,481	902,541	886,251
	28,967	28,204	29,624	31,122	31,652
3月	858,471	924,873	935,969	968,648	982,880
	27,693	29,835	30,193	31,247	31,706
合計	10,832,031	10,748,033	11,103,302	11,505,453	12,213,936
月平均	902,669	895,669	925,275	958,788	1,017,828
日平均	29,677	29,447	30,420	31,435	33,463

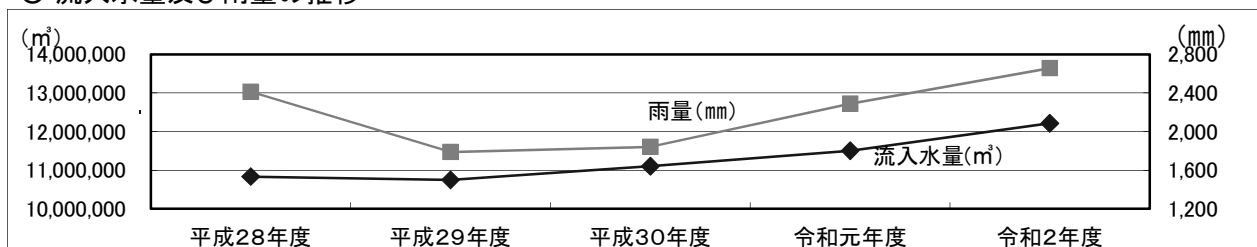
(単位:m³, mm, kWh)

日最大※1	33,409	32,697	35,824	34,897	36,912
年間総雨量	2,411	1,789	1,842	2,288	2,658
電力使用量※2	3,896,526	4,006,969	4,209,773	4,146,158	4,229,717

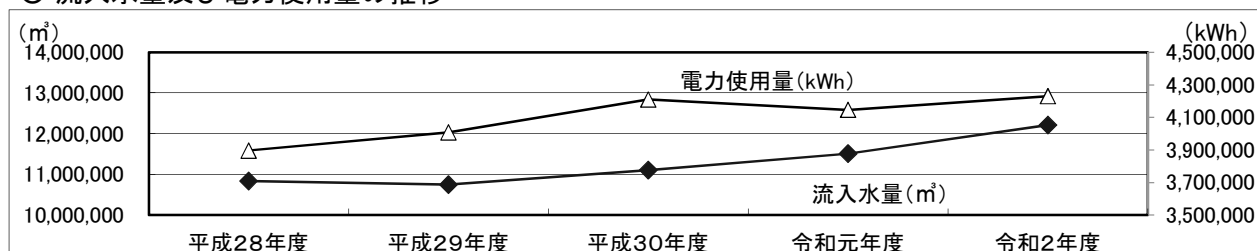
※1) 日最大は、雨の日及び翌日を除く日最大

※2) 電力使用量=受電電力量+発電電力量

○ 流入水量及び雨量の推移



○ 流入水量及び電力使用量の推移



・各種データ(南部浄化センター)

月	項目	平均気温 (℃)	降雨量総量 (mm)	下水流入量 (m ³)	返送汚泥量 (m ³)	返送汚泥率 月平均値 (%)	個別加算 風量 (m ³)	空気倍率 月平均値 (倍)	初沈汚泥量 (m ³)	余剰汚泥量 (m ³)
4月		15.1	91.5	938,039	404,173	43.1	3,756,314	4.07	15,670	11,833
5月		22.2	166.5	968,790	421,380	43.5	3,860,229	4.08	15,506	11,958
6月		26.2	563.0	1,093,518	411,872	37.7	3,317,981	3.28	15,119	12,969
7月		26.4	1,152.0	1,462,417	436,529	29.8	2,658,056	2.17	15,044	12,320
8月		30.9	91.0	1,023,541	429,167	41.9	3,382,292	3.37	16,084	12,340
9月		25.5	209.5	999,981	414,081	41.4	3,668,659	3.80	15,529	11,999
10月		20.4	69.0	987,704	401,417	40.6	4,079,674	4.20	16,515	14,679
11月		15.2	39.0	936,515	386,735	41.3	3,600,532	3.91	15,814	14,057
12月		7.5	25.5	964,092	416,008	43.2	3,725,869	3.96	14,797	13,960
1月		6.2	33.0	970,208	418,329	43.1	3,928,814	4.14	15,352	12,980
2月		9.7	97.0	886,251	383,287	43.2	3,730,105	4.28	11,970	9,566
3月		14.0	120.5	982,880	435,665	44.3	3,934,894	4.06	14,319	9,714
合計			2,657.5	12,213,936	4,958,643		43,643,419		181,719	148,375
最大		30.9	1,152.0	1,462,417	436,529	44.3	4,079,674	4.28	16,515	14,679
最小		6.2	25.5	886,251	383,287	29.8	2,658,056	2.17	11,970	9,566
令和2年度月平均		18.3	221.5	1,017,828	413,220	41.1	3,636,952	3.78	15,143	12,365
令和2年度日平均				33,463	13,585		119,571		498	407
令和元年度月平均		18.6	189.3	958,788	375,135	39.3	3,615,494	3.90	14,018	12,995
平成30年度月平均		17.8	153.5	925,275	420,497	45.6	3,902,871	4.24	15,513	11,623

月	項目	消化槽投入 汚泥量 (m ³)	消化槽引抜 汚泥量 (m ³)	脱水機供給 汚泥量 (m ³)	脱水汚泥量 (t)	使用電力量 (kWh)	発電電力量 (再エネ分) (kWh)	売電電力量 (kWh)
4月		6,581.5	6,859.0	6,446.7	344.82	334,901	139,793	114,869
5月		6,489.9	6,845.4	6,423.5	588.62	351,532	142,546	116,669
6月		6,540.4	6,725.0	6,260.5	457.50	347,363	123,683	100,868
7月		6,164.1	6,257.5	6,024.8	427.30	357,783	138,605	114,194
8月		5,912.6	6,062.4	5,879.7	477.40	361,204	123,305	101,690
9月		6,224.7	7,919.4	7,434.7	436.56	357,472	119,353	98,395
10月		6,763.4	7,699.0	7,642.1	569.57	368,044	142,040	116,722
11月		5,794.4	6,108.6	5,942.5	611.03	339,902	139,426	114,821
12月		5,994.4	4,599.9	4,101.1	447.85	345,202	120,146	96,105
1月		5,778.0	6,695.8	5,515.1	467.39	369,914	144,388	114,514
2月		5,053.5	6,754.6	5,366.9	405.80	335,861	120,729	95,104
3月		5,636.8	7,596.8	6,586.2	580.18	360,540	144,429	114,545
合計		72,933.7	80,123.4	73,623.8	5,814.02	4,229,717	1,598,442	1,298,496
最大		6,763.4	7,919.4	7,642.1	611.03	369,914	144,429	116,722
最小		5,053.5	4,599.9	4,101.1	344.82	334,901	119,353	95,104
令和2年度月平均		6,077.8	6,677.0	6,135.3	484.50	352,476	133,204	108,208
令和2年度日平均		199.8	219.5	201.7	15.93	11,588	4,379	3,558
令和元年度月平均		5,441.3	4,121.6	5,816.3	509.78	345,513	137,369	112,781
平成30年度月平均		5,502.2	4,141.7	5,739.1	463.79	350,815	133,765	108,272

※端数処理により集計が合わない場合がある。

③ 放流水の水質基準及び水質状況

	試験項目	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	下水道法 技術上の基準
生活環境項目	水素イオン濃度(pH)	-	7.0	7.0	7.1	7.2	7.1	5.8-8.6
	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	4.8	4.8	4	3.2	2.9	15
	浮遊物質(SS)	mg/L	2.3	2.3	2.5	2.3	2.6	40
	n-ヘキサン抽出物質(鉱物油)	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	5
	n-ヘキサン抽出物質(動植物油脂類)							30
	大腸菌群数	個/cm ³	1	4	4	3	2	3000
	窒素含有量(N)	mg/L	26	27	26	28	27	120(日間平均60)
	燐含有量(P)	mg/L	1.21	0.709	0.644	0.54	0.83	3※
処理困難物質	フェノール類含有量	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	5
	銅含有量	mg/L	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3
	亜鉛含有量	mg/L	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2
	溶解性鉄含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	10
	溶解性マンガン含有量	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	10
	クロム含有量	mg/L	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2
	カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
	シアン化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
	有機燐化合物(パラチオン・メチルパラチオン・メチルジメトンおよびEPNIに限る。)	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
	鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
	六価クロム化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.5
	砒素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
	アルキル水銀化合物	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出されないこと
	ポリ塩化ビフェニル	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003
	トリクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
	ジクロロメタン	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
	四塩化炭素	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
	1, 2-ジクロロエタン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
	1, 1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.4
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
	1, 3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
	チウラム	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
	シマジン	mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
	チオベンカルブ	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
	ベンゼン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
	セレン及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
	ほう素及びその化合物	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	10
	ふっ素及びその化合物	mg/L	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	<0.8	8
1, 4-ジオキサン	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.5	
アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	10.30	10.7	10.4	10.4	10.2	100	

※H30.11月 事業計画の変更(段階的高度処理)承認により、16(日間平均8)mg/Lから3mg/Lに変更

④ 下水精密試験結果

○ 流入水

項目 日付	水温 (°C)		pH	透視度 (cm)		蒸発 残留物 (mg/L)	溶解性 物質 (mg/L)	SS (mg/L)	強熱 残留物 (mg/L)	強熱 減量 (mg/L)	強熱 減量 (%)	COD (mg/L)
R2	4	2	20.6	7.4	5.4	492	358	134	252	240	48.8	96
		15	20.8	7.3	4.3	548	336	212	242	306	55.8	102
	5	13	22.9	7.3	4.6	540	352	188	248	292	54.1	89
		20	23.4	7.3	5.6	454	338	116	238	216	47.6	85
	6	3	24.7	7.2	4.2	650	448	202	240	410	63.1	120
		10	25.4	7.2	3.9	518	344	174	232	286	55.2	97
	7	2	25.6	7.2	5.0	582	378	204	284	298	51.2	102
		17	25.2	7.1	4.6	578	402	176	272	306	52.9	104
	8	5	27.0	7.2	4.0	528	324	204	236	292	55.3	100
		12	27.2	7.2	5.0	568	362	206	278	290	51.1	91
	9	2	29.5	7.0	3.9	596	334	262	252	344	57.7	108
		9	28.0	7.0	3.8	564	344	220	220	344	61.0	112
10	7	26.1	7.1	3.4	616	342	274	242	374	60.7	112	
	14	26.0	7.1	3.8	570	340	230	256	314	55.1	106	
11	11	23.4	7.2	3.6	640	384	256	244	396	61.9	119	
	19	24.0	7.0	4.4	566	388	178	228	338	59.7	131	
12	2	22.0	7.5	4.0	524	312	212	222	302	57.6	116	
	9	21.6	7.1	4.4	554	346	208	242	312	56.3	116	
R3	1	6	19.6	7.1	3.8	720	444	276	274	446	61.9	100
		13	18.8	7.1	3.6	600	178	422	242	358	59.7	128
	2	3	18.9	7.3	3.9	624	374	250	244	380	60.9	121
		17	19.5	7.3	4.4	564	324	240	254	310	55.0	105
3	3	19.5	7.3	3.9	594	352	242	268	326	54.9	113	
	10	19.6	7.2	3.3	658	406	252	244	414	62.9	128	
最大		29.5	7.5	5.6	720	448	422	284	446	63.1	131	
最小		18.8	7.0	3.3	454	178	116	220	216	47.6	85	
令和2年度平均		23.3	7.2	4.2	577	355	222	248	329	56.7	108	
令和元年度平均		23.6	7.3	4.4	567	355	211	249	318	55.9	110	
平成30年度平均		23.8	7.3	4.2	584	357	227	255	329	56.3	111	

※ 1時間毎の24時間等量混合採水試料での分析値

○ 放流水

項目 日付	水温 (°C)		pH	透視度 (cm)		蒸発 残留物 (mg/L)	溶解性 物質 (mg/L)	SS (mg/L)	強熱 残留物 (mg/L)	強熱 減量 (mg/L)	強熱 減量 (%)	COD (mg/L)
R2	4	2	20.5	7.3	>100	337	334	2.8	241	96	28.5	10.9
		15	21.2	7.1	>100	309	306	3.0	221	88	28.5	11.2
	5	13	23.8	7.2	>100	276	274	1.8	210	66	23.9	10.6
		20	24.1	7.2	>100	296	294	2.2	224	72	24.3	9.9
	6	3	25.3	7.1	>100	275	273	1.6	204	71	25.8	11.1
		10	26.2	7.2	>100	280	278	1.8	198	82	29.3	10.7
	7	2	26.3	7.0	>100	323	321	2.2	252	71	22.0	9.8
		17	25.8	7.1	>100	358	356	2.2	256	102	28.5	9.1
	8	5	27.7	7.0	>100	283	281	1.8	210	73	25.8	9.9
		12	28.2	7.0	>100	312	310	1.6	231	81	26.0	9.7
	9	2	29.6	7.1	>100	317	313	3.6	217	100	31.5	10.5
		9	28.6	7.0	>100	289	285	3.6	199	90	31.1	11.3
10	7	26.8	7.1	>100	292	289	3.4	213	79	27.1	11.1	
	14	26.2	7.1	>100	288	283	4.6	219	69	24.0	10.3	
11	11	23.9	7.1	>100	280	279	1.4	214	66	23.6	10.0	
	19	24.3	7.0	>100	284	282	1.6	206	78	27.5	11.4	
12	2	22.7	7.4	>100	280	278	1.8	223	57	20.4	10.7	
	9	22.2	7.1	>100	296	295	1.4	235	61	20.6	11.1	
R3	1	6	20.0	7.1	>100	305	302	2.8	238	67	22.0	12.1
		13	19.2	7.0	>100	280	277	3.0	217	63	22.5	11.8
	2	3	19.5	7.0	>100	311	308	3.0	233	78	25.1	12.1
		17	19.1	7.0	88	301	297	4.0	229	72	23.9	12.5
3	3	20.0	7.0	>100	302	298	4.2	232	70	23.2	11.4	
	10	20.1	7.1	>100	292	288	3.6	219	73	25.0	11.4	
最大		29.6	7.4	>100	358	356	4.6	256	102	31.5	12.5	
最小		19.1	7.0	88	275	273	1.4	198	57	20.4	9.1	
令和2年度平均		23.8	7.1	99	299	296	2.6	223	76	25.4	10.9	
令和元年度平均		24.0	7.2	99	318	316	2.3	220	98	30.8	10.7	
平成30年度平均		24.2	7.1	99	313	310	2.5	220	93	29.6	10.7	

BOD (mg/L)	全窒素 (mg/L)	有機性 窒素 (mg/L)	アンモニア 性窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	油分 (mg/L)
153	39	11	28	7.2	-
222	41	13	28	6.9	-
188	45	15	30	7.6	3.3
116	32	5	27	6.7	-
195	37	8	29	7.8	-
170	41	14	27	7.6	-
194	31	7	24	6.4	-
171	37	14	23	5.7	-
187	35	9	26	6.5	-
142	37	13	24	6.5	-
207	38	11	27	8.0	-
187	42	18	24	8.3	-
218	59	29	30	11	-
242	37	9	28	8.9	-
228	49	21	28	10	7.0
212	43	15	28	9.1	-
242	41	7	34	5.8	-
232	47	18	29	8.2	-
240	60	28	32	9.1	-
239	47	16	31	10	-
238	50	21	29	8.0	-
219	41	12	29	7.9	-
206	46	14	32	9.4	-
256	52	20	32	10	-
256	60	29	34	11	7.0
116	31	5	23	5.7	3.3
204	43	15	28	8.0	5.1
191	42	11	31	8.2	10.0
193	39.4	8.9	30.5	8.55	16.8

BOD (mg/L)	C-BOD (mg/L)	全窒素 (mg/L)	有機性 窒素 (mg/L)	アンモニア 性窒素 (mg/L)	亜硝酸 性窒素 (mg/L)	硝酸性 窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	油分 (mg/L)	大腸菌 群数 (個/cm ³)	色度 (度)	窒素 三態 (mg/L)	残留塩素 (mg/L)
2.6	1.9	27	3.43	22	1.2	0.37	0.97	<0.5	<1	-	10.4	0.18
3.6	1.5	23	1.1	21	0.67	0.23	2.1	<0.5	<1	-	9.3	0.16
2.8	2.1	28	4.3	23	0.52	0.20	0.74	<0.5	1	-	9.9	0.13
3.6	1.9	22	1.4	19	1.0	0.60	0.77	<0.5	1	-	9.2	0.17
3.1	2.0	26	3.9	21	0.70	0.37	0.56	<0.5	10	-	9.5	0.16
2.0	1.5	26	2.2	23	0.5	0.25	0.37	<0.5	2	-	10.0	0.20
2.7	1.4	22	4.1	16	1.0	0.88	0.79	<0.5	9	-	8.3	0.12
1.8	1.4	22	3.5	17	0.7	0.82	0.52	<0.5	<1	-	8.3	0.20
3.6	1.8	26	4.4	20	0.8	0.84	0.22	<0.5	4	-	9.6	0.11
3.2	1.2	20	0.02	18	1.0	0.98	0.41	<0.5	3	-	9.2	0.14
3.0	2.1	26	3.8	21	0.80	0.42	0.49	<0.5	13	-	9.6	0.13
2.4	1.2	23	3.6	17	1.2	1.20	1.9	<0.5	2	-	9.2	0.13
4.2	1.8	30	6.6	21	1.5	0.92	2.2	<0.5	6	-	10.8	0.15
4.4	2.5	26	3.2	22	0.6	0.24	0.73	<0.5	3	-	9.6	0.09
3.7	1.5	29	4.4	24	0.43	0.20	1.4	<0.5	<1	-	10.2	0.17
1.8	1.1	29	6.5	21	0.94	0.54	0.50	<0.5	<1	-	9.9	0.15
2.1	1.3	25	3.57	21	0.29	0.14	1.2	<0.5	2	-	8.8	0.17
1.6	1.3	32	4.6	27	0.32	0.13	0.77	<0.5	3	-	11.3	0.11
3.6	2.2	31	0.8	29	0.86	0.34	0.44	<0.5	1	-	12.8	0.17
2.9	2.3	31	5.0	25	0.71	0.30	0.95	<0.5	<1	-	11.0	0.18
2.7	2.2	31	5.7	23	1.30	1.0	0.35	<0.5	<1	-	11.5	0.12
3.0	2.4	27	1.5	23	1.3	1.2	0.64	<0.5	<1	-	11.7	0.14
2.7	2.2	28	0.6	26	0.8	0.61	0.35	<0.5	<1	-	11.8	0.18
3.4	3.2	32	1.0	30	0.6	0.39	0.43	<0.5	1	-	13.0	0.18
4.4	3.2	32	6.6	30	1.5	1.2	2.2	<0.5	13	-	13.0	0.20
1.6	1.1	20	0.02	16	0.29	0.13	0.22	<0.5	<1	-	8.3	0.09
2.9	1.8	27	3.3	22	0.83	0.55	0.83	<0.5	2	-	10.2	0.15
3.2	1.6	28	3.8	23	0.87	0.30	0.54	<0.5	3	16.2	10.2	0.14
4.0	1.7	26.1	4.1	19.2	1.1	1.7	0.644	<0.5	4	15.9	10.4	0.13

下水精密試験結果(処理困難物質)

○ 流入水

年月	項目	フェノール類 (mg/L)	銅 (mg/L)	亜鉛 (mg/L)	溶解性鉄 (mg/L)	溶解性マンガン (mg/L)	全クロム (mg/L)	ガドリウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	ひ素 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
	R2. 5	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.8	<0.05
	R2. 11	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.8	<0.05
	最大	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.8	<0.05
	最小	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.8	<0.05
	平均	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.8	<0.05
	下水道排除基準 (参考)	5	3	2	10	10	2	0.03	1	0.1	0.5	0.1	0.005	検出されないこと	8	0.5

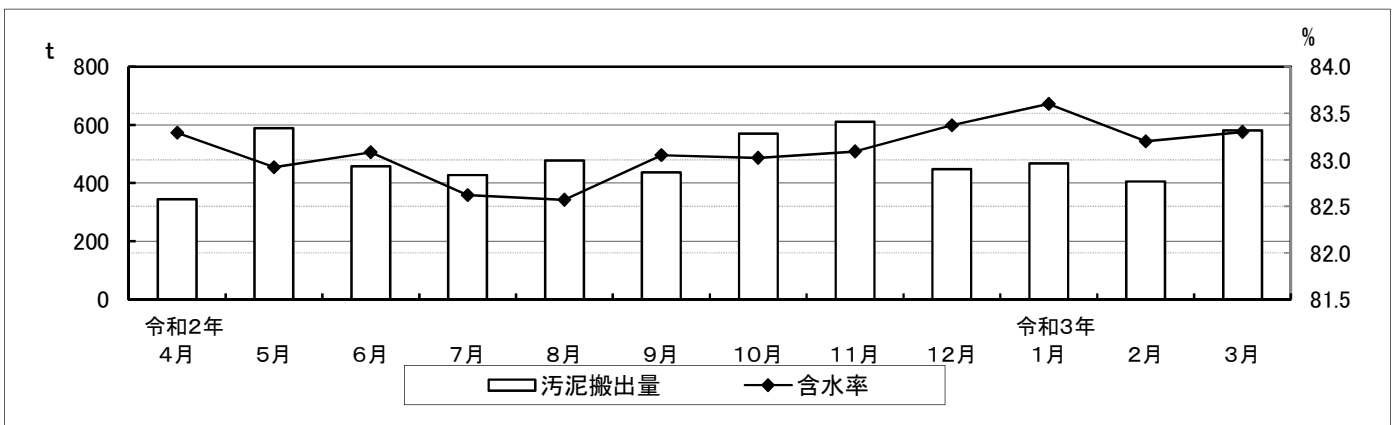
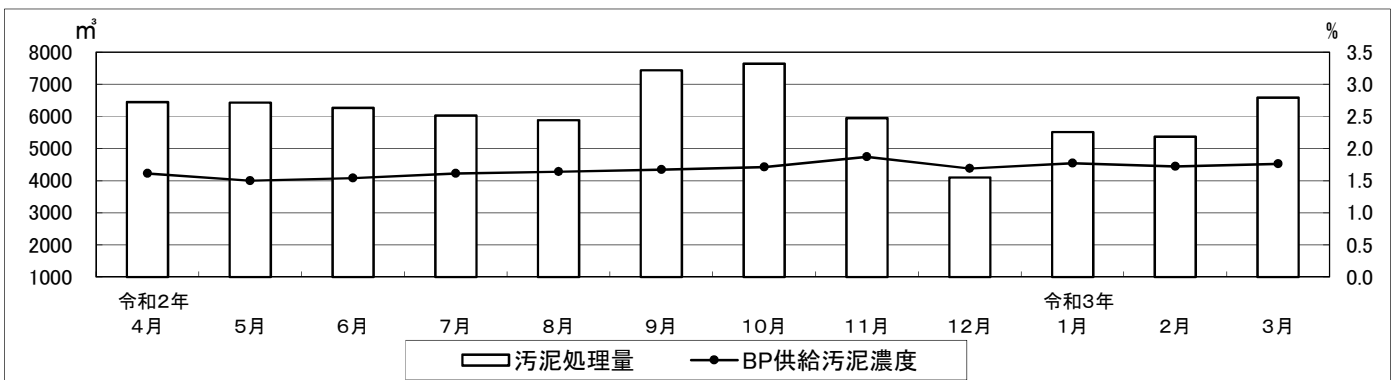
○ 放流水

年月	項目	フェノール類 (mg/L)	銅 (mg/L)	亜鉛 (mg/L)	溶解性鉄 (mg/L)	溶解性マンガン (mg/L)	全クロム (mg/L)	ガドリウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	有機りん (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	ひ素 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	R2. 5	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
	R2. 7	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
	R2. 9	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
	R2. 11	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
	R3. 1	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
	R3. 3	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
	最大	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
	最小	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
	平均	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1	<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
	下水道水質基準	5	3	2	10	10	2	0.03	1	1	0.1	0.5	0.1	0.005	検出されないこと	0.003	0.1	0.1

年月	項目	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	シス1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロパン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)	チオベンカルブ (mg/L)	ヘンセン (mg/L)	セレン (mg/L)	ほう素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
	R2. 5	<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
	R2. 7	<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
	R2. 9	<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
	R2. 11	<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
	R3. 1	<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
	R3. 3	<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
	最大	<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
	最小	<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
	平均	<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
	下水道水質基準	0.2	0.02	0.04	1	0.4	3	0.06	0.02	0.06	0.03	0.2	0.1	0.1	10	8	0.5

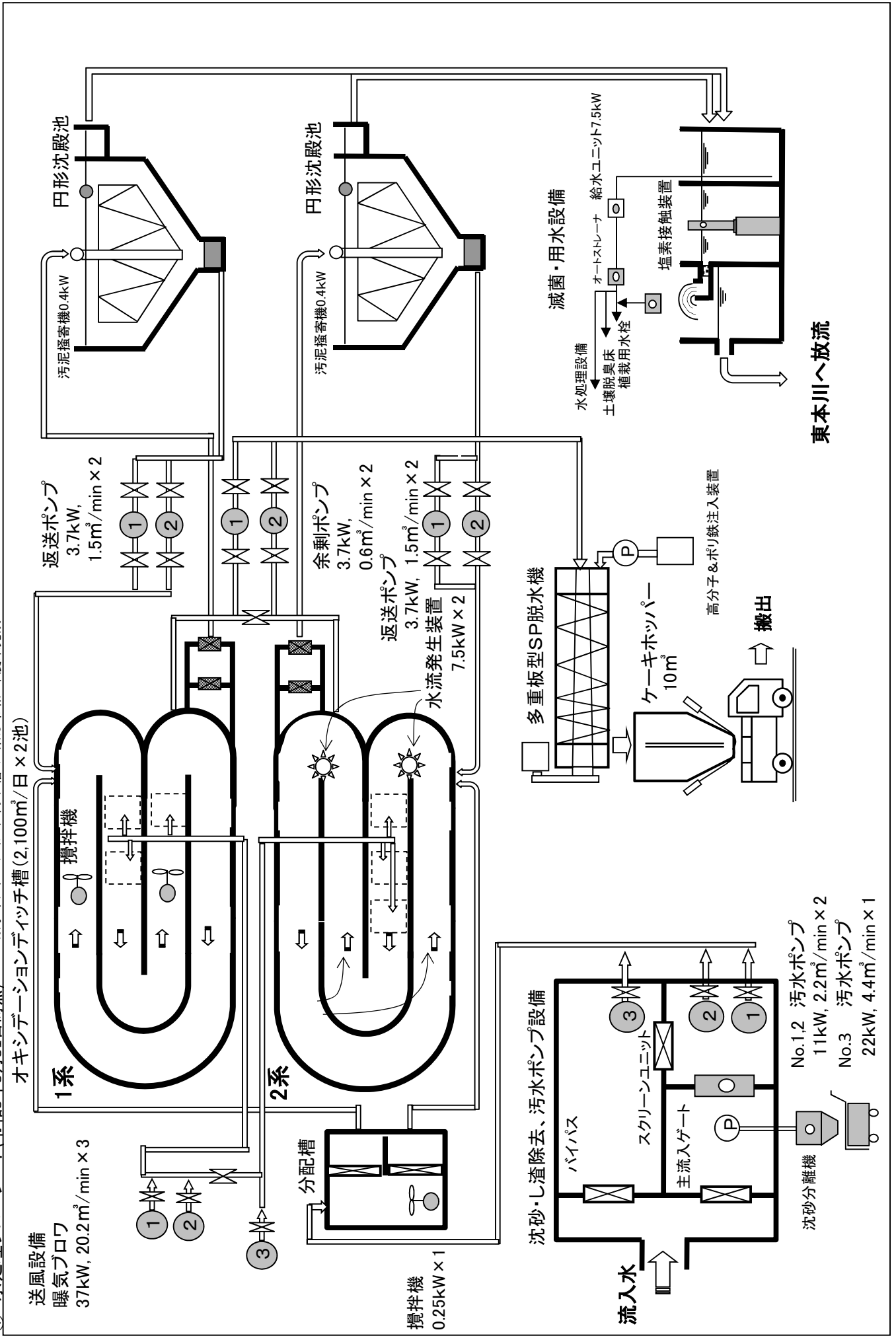
⑤ 汚泥処理状況

項目 月	BP脱水機						BP脱水ケーキ		
	汚泥処理量 (m ³)	濃度 (%)	固形物 (t)	薬品使用量 (kg)	注入率 (%)	薬品溶解量 (m ³)	含水率 (%)	固形物 (t)	汚泥搬出量 (t)
令和2年 4月	6,446.7	1.61	103.79	1,826.28	1.76	608.76	83.29	57.62	344.82
5月	6,423.5	1.50	96.35	1,709.43	1.77	569.81	82.92	100.54	588.62
6月	6,260.5	1.54	96.41	1,616.79	1.68	538.93	83.08	77.41	457.50
7月	6,024.8	1.61	97.00	1,531.17	1.58	510.39	82.62	74.26	427.30
8月	5,879.7	1.64	96.43	1,500.90	1.56	500.30	82.57	83.21	477.40
9月	7,434.7	1.67	124.16	1,942.80	1.56	647.60	83.05	74.00	436.56
10月	7,642.1	1.71	130.68	2,015.94	1.54	671.98	83.02	96.71	569.57
11月	5,942.5	1.87	111.12	1,609.83	1.45	536.61	83.09	103.33	611.03
12月	4,101.1	1.69	69.31	1,159.56	1.67	386.52	83.37	74.48	447.85
令和3年 1月	5,515.1	1.77	97.62	1,586.07	1.62	528.69	83.60	76.65	467.39
2月	5,366.9	1.72	92.31	1,499.31	1.62	499.77	83.20	68.17	405.80
3月	6,586.2	1.76	115.92	1,889.61	1.63	629.87	83.30	96.89	580.18
合計	73,623.8	-	1,231.10	19,887.69	-	6,629.23	-	983.27	5,814.02
令和2年度月平均	6,135.3	1.67	102.59	1,657.31	1.62	552.44	83.09	81.94	484.50
令和2年度日平均	201.7	1.67	3.37	54.49	1.62	18.16	83.09	2.69	15.93
令和元年度日平均	191.2	1.81	3.45	58.71	1.70	19.57	82.74	2.90	16.76
平成30年度日平均	188.7	1.75	3.30	49.33	1.48	16.44	82.77	2.83	16.37



(4) 田丸浄化センター

① 水処理フローシート(令和3年3月31日時点) ※オキシデーションディッチ槽の2系は令和2年度末完成



② 汚水・汚泥処理状況

○ 流入水量

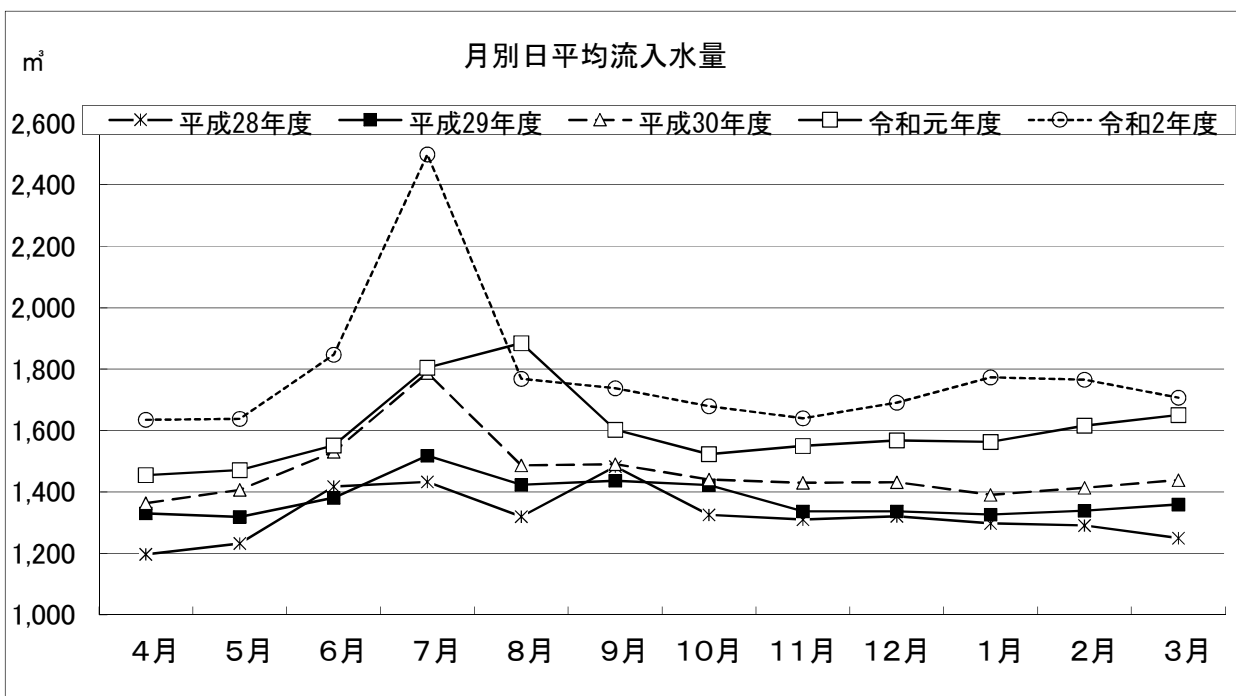
上段: 月の合計
下段: 日平均水量 (単位 m³)

年度 月	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4月	35,916	39,900	40,911	43,650	49,044
	1,197	1,330	1,364	1,455	1,635
5月	38,233	40,887	43,607	45,620	50,765
	1,233	1,319	1,407	1,472	1,638
6月	42,537	41,431	45,918	46,559	55,420
	1,418	1,381	1,531	1,552	1,847
7月	44,416	47,066	55,431	55,959	77,467
	1,433	1,518	1,788	1,805	2,499
8月	40,913	44,117	46,100	58,430	54,833
	1,320	1,423	1,487	1,885	1,769
9月	44,489	43,118	44,715	48,080	52,139
	1,483	1,437	1,491	1,603	1,738
10月	41,101	44,100	44,670	47,209	52,049
	1,326	1,423	1,441	1,523	1,679
11月	39,309	40,123	42,895	46,502	49,199
	1,310	1,337	1,430	1,550	1,640
12月	40,947	41,464	44,381	48,626	52,435
	1,321	1,338	1,432	1,569	1,691
1月	40,249	41,120	43,110	48,452	54,957
	1,298	1,326	1,391	1,563	1,773
2月	36,157	37,484	39,596	46,874	49,456
	1,291	1,339	1,414	1,616	1,766
3月	38,740	42,122	44,595	51,168	52,928
	1,250	1,359	1,439	1,651	1,707
合計	483,007	502,932	535,929	587,129	650,692
月平均	40,251	41,911	44,661	48,927	54,224
日平均	1,323	1,378	1,468	1,604	1,783

○ 返送汚泥量

上段: 月の合計
下段: 日平均水量 (単位 m³)

年度 月	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4月	29,269	36,179	32,332	52,396	54,235
	976	1,206	1,078	1,747	1,808
5月	35,422	43,634	46,343	62,085	51,219
	1,143	1,408	1,495	2,003	1,652
6月	30,148	35,936	44,088	54,381	47,110
	1,005	1,198	1,470	1,813	1,570
7月	36,799	40,790	53,925	56,412	51,553
	1,187	1,316	1,740	1,820	1,663
8月	37,143	43,383	47,095	55,553	57,037
	1,198	1,399	1,519	1,792	1,840
9月	42,913	37,414	49,981	53,870	52,341
	1,430	1,247	1,666	1,796	1,745
10月	38,448	39,984	46,936	55,996	55,124
	1,240	1,290	1,514	1,806	1,778
11月	37,753	37,581	38,147	54,141	52,421
	1,258	1,253	1,272	1,805	1,747
12月	36,932	32,493	44,201	55,592	52,556
	1,191	1,048	1,426	1,793	1,695
1月	44,007	31,575	47,470	50,616	54,490
	1,420	1,019	1,531	1,633	1,758
2月	40,050	33,226	48,582	48,497	51,501
	1,430	1,187	1,735	1,672	1,839
3月	37,793	37,783	53,381	56,230	44,790
	1,219	1,219	1,722	1,814	1,445
合計	446,677	449,978	552,481	655,769	624,377
月平均	37,223	37,498	46,040	54,647	52,031
日平均	1,224	1,233	1,514	1,792	1,712



○ 余剰汚泥量

(単位 m³)

年度 月	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4月	1,288	1,170	1,030	1,240	2,696
5月	853	1,134	1,181	1,870	3,052
6月	1,375	1,252	1,624	2,318	673
7月	1,383	1,336	2,114	2,043	1,026
8月	1,516	1,549	1,264	1,146	785
9月	1,175	1,724	2,517	1,808	2,527
10月	1,107	1,527	1,412	1,518	2,420
11月	966	1,037	680	1,455	3,111
12月	903	949	964	1,001	2,597
1月	1,174	1,279	1,233	1,236	2,021
2月	1,168	1,033	1,537	1,400	2,090
3月	1,197	1,253	1,261	1,920	112
合計	14,105	15,243	16,817	18,955	23,110
月平均	1,175	1,270	1,401	1,580	1,926

○ 脱水汚泥発生量

(単位 t)

年度 月	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4月	28.7	26.8	27.2	36.1	50.1
5月	18.8	26.8	37.1	43.8	42.8
6月	28.4	26.9	36.4	43.4	7.1
7月	19.0	26.8	36.8	35.9	14.3
8月	28.5	26.7	26.9	21.5	14.4
9月	28.2	26.8	36.5	28.6	50.4
10月	19.0	26.7	18.0	28.7	42.9
11月	19.0	17.8	18.2	35.8	35.4
12月	19.0	18.0	17.9	28.6	28.6
1月	28.5	26.9	27.1	28.9	21.5
2月	28.8	26.9	36.8	36.0	29.0
3月	28.7	27.0	27.3	42.5	7.2
合計	294.6	304.1	346.4	409.8	343.7
月平均	24.5	25.3	28.9	34.1	28.6



田主丸浄化センター全景

③ 下水精密試験結果

○ 流入水

年月	項目		水温	pH	透視度	SS	BOD	塩化物イオン	全窒素	アンモニア性窒素	全りん	油分
			(°C)		(cm)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
R2	4	9	18.0	7.2	5	260	140	33	24	19	2.7	-
	5	14	20.0	7.2	6	150	140	34	27	23	2.9	25
	6	4	22.0	7.1	5	200	150	34	25	19	2.6	-
	7	2	23.0	7.2	5	220	140	28	31	20	2.7	-
	8	6	24.0	7.1	7	180	150	30	20	18	2.5	-
	9	3	25.0	7.3	9	190	110	51	27	21	2.8	-
	10	1	24.0	7.1	7	200	80	33	22	19	2.6	-
	11	5	20.0	7.2	5	160	130	34	20	14	2.5	33
	12	3	21.0	7.2	5	220	110	34	29	22	3.1	-
R3	1	7	14.0	7.4	8	50	64	49	24	23	2.3	-
	2	4	20.5	7.2	8	70	74	33	29	22	2.4	-
	3	4	16.0	7.0	5	120	140	35	29	23	2.6	-
最大			25.0	7.4	9	260	150	51	31	23	3.1	33
最小			14.0	7.0	5	50	64	28	20	14	2.3	25
令和2年度平均			20.6	7.1	6	168	119	35	25	20	2.6	29
令和元年度平均			20.2	7.2	6	178	171	32	35	18	3.5	14.0
平成30年度平均			21.9	7.1	6	88	151	40	29	19	3.1	28.7

※流入水においては、COD、有機性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素及び大腸菌群数については測定しない

○ 放流水

年月日	項目		水温	pH	透視度	SS	COD	BOD	塩化物イオン	全窒素	有機性窒素	アンモニア性窒素
			(°C)		(cm)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
R2	4	9	21.4	7.1	>100	<1	0.7	0.7	33	2.0	0.8	0.52
		23	19.5	7.0	>100	1	2.6	0.5	-	2.1	0.4	0.33
	5	14	24.3	7.1	>100	<1	4.7	<0.5	35	2.1	0.5	0.65
		26	23.1	6.9	>100	<1	5.3	0.8	-	2.3	0.5	1.0
	6	4	26.1	7.1	>100	1	5.8	0.6	33	2.5	0.5	1.6
		18	23.9	7.0	>100	1	6.0	<0.5	-	2.2	0.5	1.5
	7	2	26.2	7.1	>100	<1	6.1	<0.5	27	2.6	0.7	1.8
		16	25.0	7.0	>100	1	4.7	<0.5	-	2.0	0.4	1.0
	8	6	28.8	7.1	>100	1	5.4	1.2	31	2.1	0.01	1.9
		20	31.0	7.2	>100	3	6.5	1.2	-	2.7	0.5	2.1
	9	3	27.8	7.3	>100	2	5.8	1.2	34	1.9	0.6	1.2
		17	27.0	7.2	>100	<1	6.5	0.9	-	1.8	0.5	0.90
	10	1	27.8	7.1	>100	<1	5.4	<0.5	33	2.0	0.4	0.80
		15	26.2	7.1	>100	1	5.6	<0.5	-	2.5	0.5	0.86
	11	5	24.7	7.0	>100	<1	5.6	<0.5	34	2.0	0.09	0.78
		19	22.2	7.0	>100	1	5.6	<0.5	-	2.8	0.5	1.4
R3	12	3	21.6	7.0	>100	2	5.8	<0.5	35	2.4	0.4	1.0
		17	20.0	7.1	>100	<1	5.5	<0.5	-	2.6	0.6	1.1
	1	7	12.0	7.1	>100	<1	6.0	1.0	36	1.6	0.3	0.88
		21	20.0	7.1	>100	1	6.8	1.8	-	2.7	0.7	1.9
	2	4	20.0	7.0	>100	1	5.8	0.6	33	2.9	0.7	2.1
		18	17.5	7.1	82	6	9.3	5.4	-	7.0	0.7	6.2
	3	4	20.5	7.0	>100	2	7.0	0.8	34	2.7	0.6	2.0
	11	18.4	7.1	>100	2	8.3	1.6	-	4.3	0.7	0.43	
最大			31.0	7.3	>100	6	9.3	5.4	36	7.0	0.8	6.2
最小			12.0	6.9	82	<1	0.7	<0.5	27	1.6	0.0	0.33
令和2年度平均			23.1	7.0	>100	1	5.7	0.8	33	2.5	0.4	1.4
令和元年度平均			22.0	7.0	>100	<1	5.5	0.5	33	2.0	0.6	1.00
平成30年度平均			24.0	7.0	>100	<1	6.1	0.5	35	1.5	1.2	0.70

亜硝酸 性窒素 (mg/L)	硝酸性 窒素 (mg/L)	全りん (mg/L)	油分 (mg/L)	大腸菌 群数 (個/cm ³)	窒素 三態 (mg/L)
0.03	0.7	4.7	1	<1	0.93
<0.01	1.4	2.0	<0.5	<1	1.53
<0.01	0.9	1.6	<0.5	<1	1.16
0.03	0.8	1.5	<0.5	<1	1.23
0.04	0.4	1.7	<0.5	<1	1.08
0.03	0.2	1.6	<0.5	<1	0.83
0.03	0.1	1.6	<0.5	<1	0.85
0.02	0.6	1.2	<0.5	<1	1.02
0.09	0.1	1.1	<0.5	<1	0.95
0.03	<0.1	1.1	<0.5	<1	0.92
0.02	0.1	1.2	<0.5	2	0.60
0.03	0.4	1.7	<0.5	<1	0.79
0.01	0.8	1.9	<0.5	<1	1.13
0.02	1.1	1.8	<0.5	<1	1.46
0.03	1.1	1.3	<0.5	<1	1.44
0.04	0.9	1.8	<0.5	<1	1.50
0.03	1.0	1.5	<0.5	<1	1.41
0.03	0.9	1.8	<0.5	<1	1.37
0.04	0.4	0.57	<0.5	<1	0.79
0.03	<0.1	1.0	<0.5	<1	0.84
0.02	<0.1	1.6	<0.5	<1	0.91
0.02	<0.1	1.2	<0.5	<1	2.55
0.02	<0.1	0.48	<0.5	<1	0.87
<0.01	0.6	0.91	<0.5	<1	0.77
0.09	1.4	4.7	1	2	2.55
<0.01	<0.1	0.48	<0.5	<1	0.60
<0.01	0.6	1.5	<0.5	<1	1.12
<0.01	0.3	1.4	<0.5	11	0.74
0.01	0.4	1.8	<0.5	46	0.58

○ 下水精密試験結果(処理困難物質)

・放流水

年月	項目 フェノール類 (mg/L)	銅 (mg/L)	亜鉛 (mg/L)	溶解性鉄 (mg/L)	溶解性マンガン (mg/L)	全クロム (mg/L)	カリウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	有機りん (mg/L)
R2.5	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1
R2.11	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1
最大	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1
最小	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1
平均	<0.5	<0.3	<0.2	<1	<1	<0.2	<0.003	<0.1	<0.1
下水道法基準	5	3	2	10	10	2	0.03	1	1

年月	項目 ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1, 2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	シス1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)
R2.5	<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006
R2.11	<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006
最大	<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006
最小	<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006
平均	<0.02	<0.002	<0.004	<0.1	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006
下水道法基準	0.2	0.02	0.04	1	0.4	3	0.06	0.02	0.06

鉛 (mg/L)	六価 クロム (mg/L)	ひ素 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	アルキル 水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロ エチレン (mg/L)	テトラクロ エチレン (mg/L)
<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
<0.01	<0.05	<0.01	<0.0005	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01
0.1	0.5	0.1	0.005	検出され ないこと	0.003	0.1	0.1

シマジン (mg/L)	チオベン カルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	ほう素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	1, 4- ジオキサン (mg/L)
<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<1	<0.8	<0.05
0.03	0.2	0.1	0.1	10	8	0.5

3 管 渠 等

(1) マンホール、取付管数及び管路延長

(2) 中継ポンプ場

① 施設概要

② 電力使用量、料金及び吐出量

(3) 下水道処理区域図

① 久留米・北野地区

② 三潁・城島地区

③ 田主丸地区

3 管渠等

(1) マンホール、取付管数及び管路延長

令和3年3月31日現在

年度/地区		マンホール等(上段:単年度整備実績、下段:整備累計)				管路延長(m)	
		人孔(個)	汚水樹(個)	計(個)	取付管(箇所)	単年度整備実績	整備累計
平成25年度	久留米地区	928	△ 32	896	1,178	22,683.95	991,248.85
		32,114	23,468	55,582	34,042		
	北野地区	109	0	109	128	3,684.10	55,787.06
		1,697	0	1,697	2,530		
	田主丸地区	130	0	130	109	4,542.80	45,971.03
		1,500	0	1,500	1,618		
	三猪地区	2	0	2	0	374.50	1,744.20
		7	0	7	0		
	城島地区	158	0	158	119	3,730.05	4,212.65
166		0	166	119			
年度計	1,327	△ 32	1,295	1,534	35,015.40		
累計	35,484	23,468	58,952	38,309		1,098,963.79	
平成26年度	久留米地区	609	△ 72	537	828	17,374.48	1,008,623.33
		32,723	23,396	56,119	34,870		
	北野地区	226	0	226	352	8,284.70	64,071.76
		1,923	0	1,923	2,882		
	田主丸地区	218	0	218	210	6,742.52	52,713.55
		1,718	0	1,718	1,828		
	三猪地区	115	0	115	102	6,393.10	8,137.30
		122	0	122	102		
	城島地区	128	0	128	127	3,740.80	7,953.45
294		0	294	246			
年度計	1,296	△ 72	1,224	1,619	42,535.60		
累計	36,780	23,396	60,176	39,928		1,141,499.39	
平成27年度	久留米地区	775	△ 119	656	985	19,543.62	1,028,166.95
		33,498	23,277	56,775	35,855		
	北野地区	54	0	54	106	2,820.20	66,891.96
		1,977	0	1,977	2,988		
	田主丸地区	92	0	92	182	3,291.50	56,005.05
		1,810	0	1,810	2,010		
	三猪地区	108	0	108	102	4,252.54	12,389.84
		230	0	230	204		
	城島地区	152	0	152	126	3,759.69	11,713.14
446		0	446	372			
年度計	1,181	△ 119	1,062	1,501	33,667.55		
累計	37,961	23,277	61,238	41,429		1,175,166.94	
平成28年度	久留米地区	597	△ 73	524	974	16,325.95	1,044,492.90
		34,095	23,204	57,299	36,829		
	北野地区	144	0	144	191	4,944.70	71,836.66
		2,121	0	2,121	3,179		
	田主丸地区	177	0	177	281	5,028.10	61,033.15
		1,987	0	1,987	2,291		
	三猪地区	202	0	202	167	4,856.35	17,246.19
		432	0	432	371		
	城島地区	141	0	141	171	3,705.10	15,418.24
587		0	587	543			
年度計	1,261	△ 73	1,188	1,784	34,860.20		
累計	39,222	23,204	62,426	43,213		1,210,027.14	

年度/地区		マンホール等(上段:単年度整備実績、下段:整備累計)				管路延長(m)	
		人孔(個)	汚水樹(個)	計(個)	取付管(箇所)	単年度整備実績	整備累計
平成29年度	久留米地区	496	△ 44	452	763	12,529.50	1,057,022.40
		34,591	23,160	57,751	37,592		
	北野地区	158	0	158	208	4,491.90	76,328.56
		2,279	0	2,279	3,387		
	田主丸地区	128	0	128	123	3,806.50	64,839.65
		2,115	0	2,115	2,414		
	三瀬地区	116	0	116	107	2,815.70	20,061.89
		548	0	548	478		
城島地区	84	0	84	74	2,480.90	17,899.14	
	671	0	671	617			
年度計	982	△ 44	938	1,275	26,124.50		
累計	40,204	23,160	63,364	44,488		1,236,151.64	
平成30年度	久留米地区	610	△ 22	588	749	14,389.40	1,071,411.80
		35,201	23,138	58,339	38,341		
	北野地区	235	0	235	265	4,818.00	81,146.56
		2,514	0	2,514	3,652		
	田主丸地区	281	0	281	222	6,506.00	71,345.65
		2,396	0	2,396	2,636		
	三瀬地区	125	0	125	129	3,061.80	23,123.69
		673	0	673	607		
城島地区	117	0	117	80	2,745.30	20,644.44	
	788	0	788	697			
年度計	1,368	△ 22	1,346	1,445	31,520.50		
累計	41,572	23,138	64,710	45,933		1,267,672.14	
令和元年度	久留米地区	588	△ 23	565	1,200	15,311.80	1,086,723.60
		35,789	23,115	58,904	39,541		
	北野地区	212	0	212	277	5,103.50	86,250.06
		2,726	0	2,726	3,929		
	田主丸地区	178	0	178	155	5,201.10	76,546.75
		2,574	0	2,574	2,791		
	三瀬地区	210	0	210	260	5,452.20	28,575.89
		883	0	883	867		
城島地区	75	0	75	70	1,810.90	22,455.34	
	863	0	863	767			
年度計	1,263	△ 23	1,240	1,962	32,879.50		
累計	42,835	23,115	65,950	47,895		1,300,551.64	
令和2年度	久留米地区	360	△ 29	331	704	10,234.70	1,096,958.30
		36,149	23,086	59,235	40,245		
	北野地区	79	0	79	159	2,126.90	88,376.96
		2,805	0	2,805	4,088		
	田主丸地区	190	0	190	113	3,916.90	80,463.65
		2,764	0	2,764	2,904		
	三瀬地区	215	0	215	271	5,425.60	34,001.49
		1,098	0	1,098	1,138		
城島地区	87	0	87	94	2,323.20	24,778.54	
	950	0	950	861			
年度計	931	△ 29	902	1,341	24,027.30		
累計	43,766	23,086	66,852	49,236		1,324,578.94	

(2) 中継ポンプ場

① 施設概要

施設名称	長門石中継ポンプ場	榎原中継ポンプ場	宮ノ陣中継ポンプ場
所在地	長門石二丁目15-1	東榎原町854	宮ノ陣二丁目1-50
供用開始年月 (改築年)	昭和54年4月 (平成15年3月)	昭和56年2月 (平成22年3月)	昭和56年10月 (平成12年10月)
受電電圧	6600V	6600V	6600V
発電機仕様	エンジン出力 145kW	エンジン出力 391kW	エンジン出力 199kW
	発電機出力 150kVA	発電機出力 400kVA(低圧)	発電機出力 200kVA
	燃料消費量 43.5ℓ/h	燃料消費量 95ℓ/h	燃料消費量 56ℓ/h
汚水ポンプ仕様	TO150SCGF437-51/61	TO300BG475-61	CWF150G-P
	口径 200mm 出力 37kW	口径 300mm 出力 75kW	口径 150mm 出力 37kW
	吐出量 3.4m ³ /min	吐出量 9.2m ³ /min	吐出量 2.9m ³ /min
	最大吐出量 6.8m ³ /min	最大吐出量 18.4m ³ /min	最大吐出量 5.8m ³ /min
	揚程 26m 台数 3(内1台予備)	揚程25m 台数3(内1台予備)	揚程 31m 台数 3(内1台予備)
流入幹線 (管断面) 処 理 場 名	長門石汚水幹線 (管断面700mm) → 中央浄化センター	東榎原汚水幹線 (管断面1,100mm) → 中央浄化センター	宮ノ陣2号汚水幹線 (管断面700mm) → 中央浄化センター
備 考	平成14年度大規模改修実施 平成28年5月耐震化完了	平成20年度大規模改修実施 平成30年2月耐震化完了	平成12年度改築

若松中継ポンプ場	小森野中継ポンプ場	合川中継ポンプ場	大善寺中継ポンプ場
宮ノ陣町若松字栗ノ瀬1-14	小森野二丁目1-71	新合川一丁目3	大善寺町藤吉959
平成7年10月	平成9年4月	平成14年4月	平成9年4月
200V	200V	6600V	200V
エンジン出力 78PS	エンジン出力 98PS	エンジン出力 494kW(定格)	エンジン出力 80PS
発電機出力 50kVA	発電機出力 74kVA	発電機出力 400kVA	発電機出力 62.5kVA
燃料消費量 17ℓ/h	燃料消費量 22ℓ/h	燃料消費量 127.3ℓ/h	燃料消費量 18.0ℓ/h
100DSMZ	CNF150GY-P	PSRVV-200 PSRVV-300	CNF1502G-P
口径 100mm 出力 5.5kW	口径 150mm 出力 15kW	口径 200mm 出力 45kW 口径 300mm 出力 75kW	口径 150mm 出力 11kW
吐出量 1.01m ³ /min	吐出量 2.0m ³ /min	吐出量 4.5m ³ /min 吐出量 9.0m ³ /min	吐出量 1.9m ³ /min
最大吐出量 2.02m ³ /min	最大吐出量 2.0m ³ /min	最大吐出量 13.5m ³ /min	最大吐出量 3.8m ³ /min
揚程 11m 台数 3(内1台予備)	揚程 24m 台数 2(内1台予備)	揚程 28m 台数 45kW×1 75kW×2(内1台予備)	揚程 17m 台数 3(内1台予備)
宮ノ陣北野汚水幹線 (管断面250mm) → 中央浄化センター	小森野2号汚水幹線 (管断面500mm) → 中央浄化センター	合川善導寺汚水幹線 (管断面1,500mm) → 南部浄化センター	大善寺2号汚水幹線 (管断面500mm) → 南部浄化センター
平成19年度より新産団地を若松 中継ポンプ場に名称変更 平成31年3月耐震化完了	平成19年度より酸素発生装置 稼働開始 平成29年7月耐震化完了	平成25年3月非常用発電機設置	平成25年3月ポンプ1台増設 平成30年3月耐震化完了

施設名称	北野中継ポンプ場	上津中継ポンプ場	三漕中継ポンプ場
所在地	北野町高良1622	藤山町野添1897-1	三漕町巻町原202-1
供用開始年月 (改築年)	平成22年4月	平成22年4月	平成27年4月
受電電圧	6600V	6600V	6600V
発電機仕様	エンジン出力120kW(定格)	エンジン出力132.4kW(定格)	エンジン出力188kW(定格)
	発電機出力 150kVA	発電機出力 125kVA	発電機出力 200kVA
	燃料消費量 35.4ℓ/h	燃料消費量 29.5ℓ/h	燃料消費量 49.8ℓ/h
汚水ポンプ仕様	CWF150G-P	CWF150G-P	CNWXF1502-PY
	口径 150mm 出力 30kW	口径 150mm 出力 30kW	口径 200mm 出力 45kW
	吐出量 2.3m ³ /min	吐出量 1.6m ³ /min	吐出量 3.92m ³ /min
	最大吐出量 2.3m ³ /min	最大吐出量 1.6m ³ /min	最大吐出量 3.92m ³ /min
	揚程 33m 台数 2(内1台予備)	揚程 40m 台数 2(内1台予備)	揚程 32m 台数 2(内1台予備)
流入幹線 (管断面) 処 理 場 名	北野1号汚水幹線 (管断面700mm) → 南部浄化センター	野添1号汚水幹線 (管断面600mm) → 南部浄化センター	城島1号汚水幹線 (管断面800mm) → 南部浄化センター
備 考			

篠山排水ポンプ場
旭町69-8
昭和57年4月 (平成31年3月)
6600V
エンジン出力 500PS
発電機出力 300kVA
燃料消費量 73.9ℓ/h
2500-SPV
口径 2500mm エンジン出力 1600PS
吐出量 840m ³ /min
最大吐出量 1680m ³ /min
揚程 5.7m 台数 2
筒川 → 筑後川
平成29-30年度電気設備改修実施

② 電力使用量、料金及び吐出量

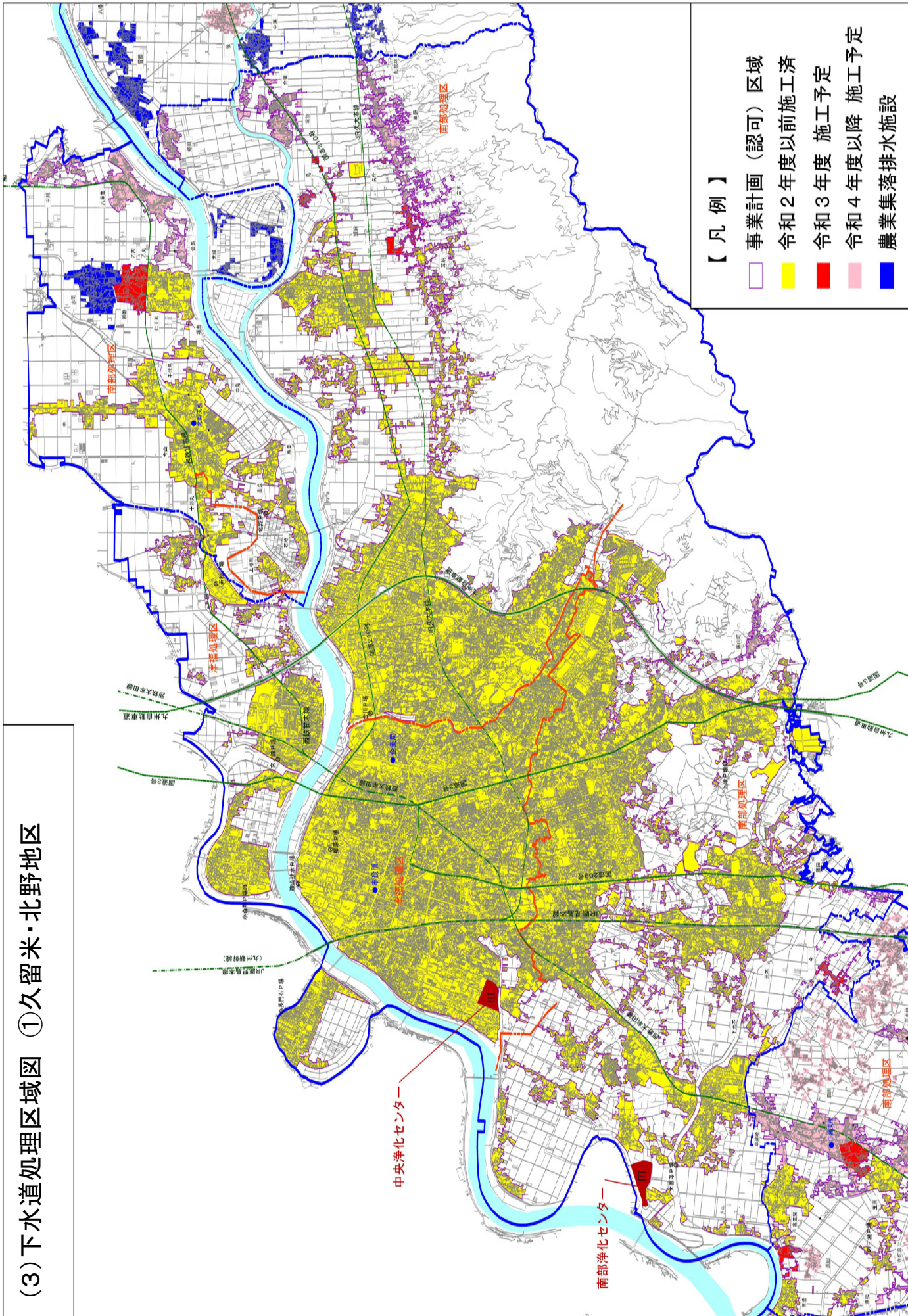
施設等 年月	長門石中継ポンプ場			櫛原中継ポンプ場			電力量(kWh)
	電力量(kWh)	料金(円)	吐出量(m ³)	電力量(kWh)	料金(円)	吐出量(m ³)	
令和 2年4月	9,995	212,673	48,006	33,185	599,855	247,230	15,553
5月	10,409	217,306	50,991	33,383	600,935	252,210	16,295
6月	13,097	250,003	68,559	40,745	689,605	324,060	16,542
7月	22,404	380,216	117,372	61,355	985,001	510,530	18,899
8月	10,318	223,364	50,388	37,024	666,795	269,280	16,369
9月	10,472	223,330	50,881	36,148	648,802	262,710	15,563
10月	9,728	204,294	46,031	33,634	583,717	246,340	15,713
11月	9,151	196,188	42,312	31,771	557,191	227,000	15,154
12月	9,716	201,630	43,464	35,306	593,782	231,630	16,193
令和 3年 1月	10,010	187,087	44,495	35,890	548,789	235,000	16,515
2月	9,338	180,993	42,023	32,862	520,497	221,730	15,053
3月	10,465	194,399	47,667	36,247	561,535	247,020	16,730
令和 2年度計	135,103	2,671,483	652,189	447,550	7,556,504	3,274,740	194,579
月平均	11,259	222,624	54,349	37,296	629,709	272,895	16,215
日平均	370	7,319	1,787	1,226	20,703	8,972	533
令和元年度	124,852	2,434,298	608,204	424,924	7,151,556	3,157,310	190,719
平成30年度	123,840	2,691,962	607,007	438,147	8,496,644	3,098,950	208,564
平成29年度	125,943	2,781,935	627,226	422,085	8,036,546	3,113,980	206,510
平成28年度	134,903	2,895,025	677,535	455,332	8,130,338	3,335,325	202,283

施設等 年月	合川中継ポンプ場			大善寺中継ポンプ場			電力量(kWh)
	電力量(kWh)	料金(円)	吐出量(m ³)	電力量(kWh)	料金(円)	吐出量(m ³)	
令和 2年4月	30,320	490,932	253,131	6,865	162,575	46,306	15,021
5月	33,059	519,017	262,326	7,246	169,323	48,665	15,691
6月	35,039	532,974	286,772	6,117	149,287	53,539	15,579
7月	45,706	719,111	392,822	6,117	151,416	68,951	18,881
8月	34,862	605,305	279,871	7,575	212,459	48,813	16,231
9月	34,000	592,430	268,493	6,560	166,153	48,467	14,905
10月	34,343	569,461	274,641	6,273	157,287	46,907	15,617
11月	33,251	556,399	266,594	6,892	158,155	44,988	15,475
12月	34,915	565,736	280,810	6,162	144,836	47,461	16,234
令和 3年 1月	34,219	511,480	274,550	6,625	151,878	47,905	15,785
2月	30,923	486,676	250,610	6,084	142,930	43,233	14,269
3月	36,221	541,794	277,660	7,249	162,924	48,375	15,774
令和 2年度計	416,858	6,691,315	3,368,280	79,765	1,929,223	593,610	189,462
月平均	34,738	557,610	280,690	6,647	160,769	49,468	15,789
日平均	1,142	18,332	9,228	219	5,286	1,626	519
令和元年度	349,870	6,374,737	3,158,544	75,747	1,882,336	566,280	176,839
平成30年度	346,745	6,097,534	3,098,491	75,762	1,876,963	581,894	179,356
平成29年度	335,214	5,112,098	2,965,096	75,873	1,794,244	595,635	168,979
平成28年度	334,703	4,874,997	2,857,338	73,284	1,641,953	614,107	173,885

宮ノ陣中継ポンプ場		若松中継ポンプ場			小森野中継ポンプ場		
料金(円)	吐出量(m ³)	電力量(kWh)	料金(円)	吐出量(m ³)	電力量(kWh)	料金(円)	吐出量(m ³)
275,923	29,533	2,913	76,031	19,249	6,476	160,567	36,150
282,729	31,157	3,326	83,300	20,199	7,636	180,967	36,936
284,209	31,354	3,130	79,739	21,402	7,487	178,055	38,454
317,489	38,144	4,579	110,905	28,450	8,581	207,176	47,935
280,253	32,102	4,127	103,532	21,306	9,125	220,756	37,460
268,978	29,145	3,407	89,319	19,919	7,375	186,348	36,312
258,399	29,653	2,934	75,804	19,869	6,032	152,140	37,997
250,742	27,729	2,837	4,703	19,049	6,947	163,887	36,278
258,682	28,526	2,751	70,772	20,037	5,980	146,615	38,496
238,329	27,864	3,526	83,315	20,403	8,020	179,758	37,951
224,595	25,213	2,742	70,348	18,138	6,053	147,224	34,607
244,730	27,773	2,993	74,799	19,984	6,925	162,340	36,730
3,185,058	358,193	39,265	922,567	248,005	86,637	2,085,833	455,306
265,422	29,849	3,272	76,881	20,667	7,220	173,819	37,942
8,726	981	108	2,528	679	237	5,715	1,247
4,300,324	408,403	42,909	1,077,218	236,382	91,359	2,223,457	453,558
3,743,871	346,224	42,944	1,072,072	229,509	94,566	2,264,586	457,774
3,266,058	366,813	42,623	1,013,013	226,385	82,261	1,942,357	450,695
3,145,245	421,445	45,833	1,042,623	238,018	85,438	1,908,261	439,497

北野中継ポンプ場		上津中継ポンプ場			三瀬中継ポンプ場		
料金(円)	吐出量(m ³)	電力量(kWh)	料金(円)	吐出量(m ³)	電力量(kWh)	料金(円)	吐出量(m ³)
230,310	59,884	7,447	144,188	18,419	5,096	91,619	7,773
236,416	62,320	8,042	151,126	18,973	5,050	90,856	8,253
234,360	63,242	8,599	157,383	20,613	5,237	92,816	9,063
277,033	81,993	10,979	195,014	26,854	10,208	208,478	19,460
246,853	65,194	9,316	159,980	20,290	7,076	166,272	9,504
230,336	61,759	8,953	153,669	19,736	5,558	145,937	8,538
225,524	64,535	8,632	141,022	20,192	5,080	134,878	8,355
221,719	62,738	7,968	132,104	19,147	5,072	133,974	7,893
227,078	66,216	7,359	124,456	19,939	5,528	138,597	8,099
204,129	64,383	7,474	114,945	19,982	5,648	127,626	8,028
192,724	59,239	7,255	113,337	18,261	5,160	123,054	7,485
207,980	64,886	7,862	120,914	19,843	5,604	128,572	8,278
2,734,462	776,389	99,886	1,708,138	242,249	70,317	1,582,679	110,729
227,872	64,699	8,324	142,345	20,187	5,860	131,890	9,227
7,492	2,127	274	4,680	664	193	4,336	303
2,660,562	692,460	94,451	2,490,601	218,149	58,765	1,042,581	93,270
2,970,489	658,474	92,681	1,996,928	202,503	56,181	1,466,527	73,904
2,782,084	592,041	87,553	1,506,475	185,923	48,208	858,238	55,499
2,725,536	552,663	82,217	2,895,025	172,760	44,888	857,072	31,935

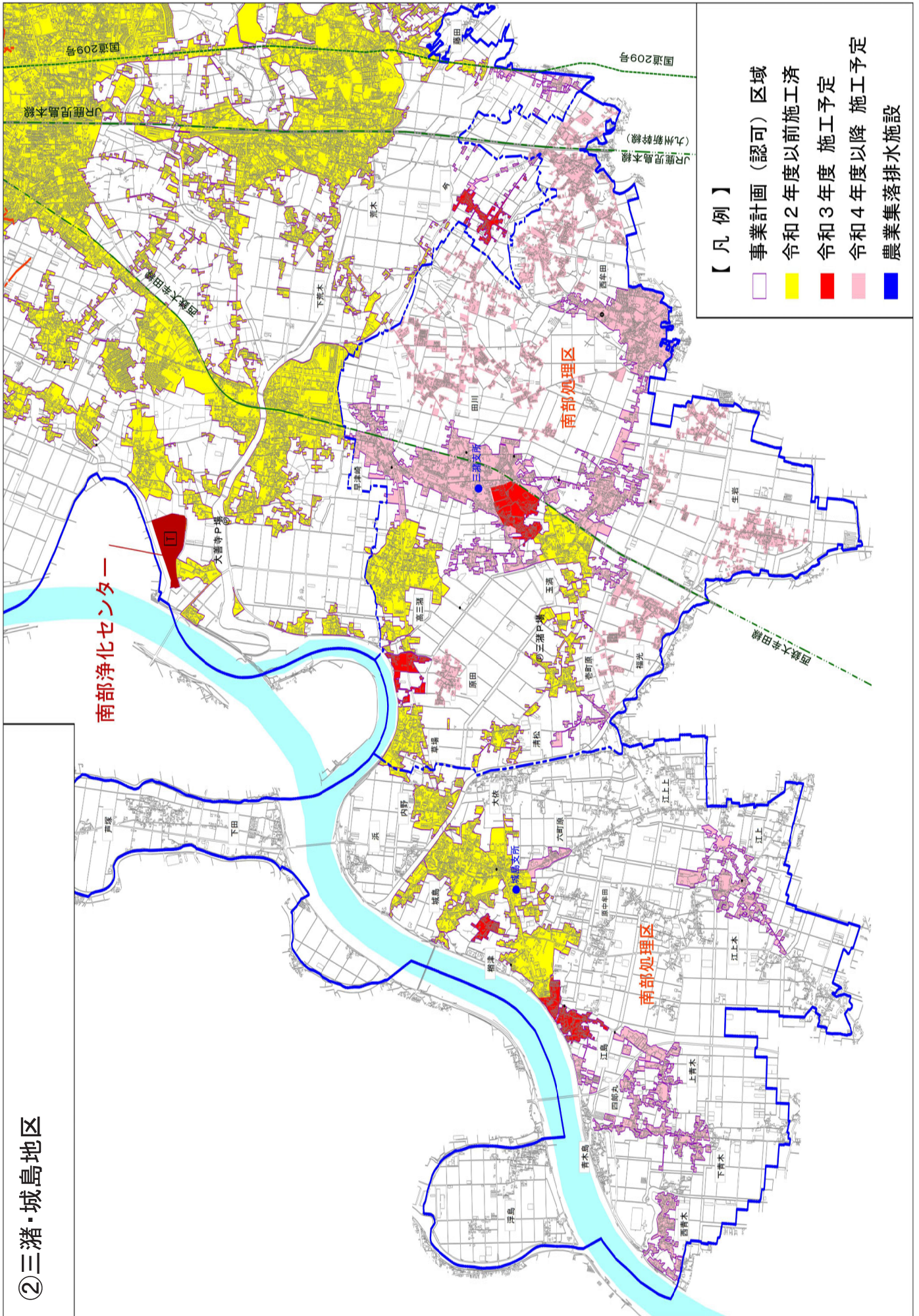
(3) 下水道処理区域図 ①久留米・北野地区



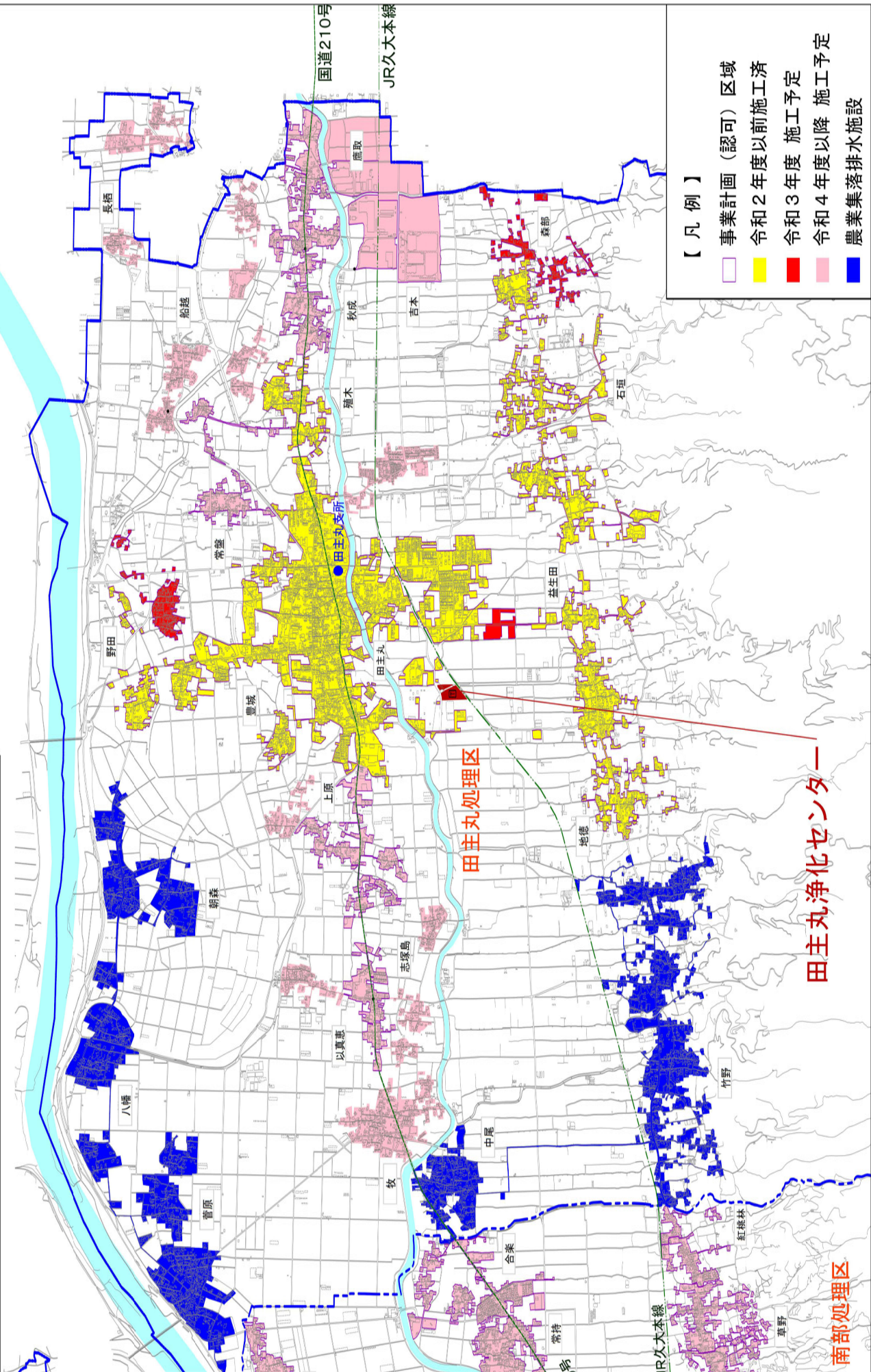
【 凡 例 】

- 事業計画（認可）区域
- 令和2年度以前施工済
- 令和3年度 施工予定
- 令和4年度以降 施工予定
- 農業集落排水施設

②三潁・城島地区



田主丸地区



【 凡 例 】

- 事業計画（認可）区域
- 令和2年度以前施工済
- 令和3年度 施工予定
- 令和4年度以降 施工予定
- 農業集落排水施設

田主丸処理区

田主丸浄化センター

南部処理区

4 使用料、受益者負担金

(1) 下水道使用料

- ① 有収水量と有収率の推移
- ② 下水道使用料の単価表
- ③ 下水道使用料調定

(2) 下水道事業受益者負担金・分担金

- ① 受益者負担金・分担金の額
- ② 受益者負担金・分担金の調定・収納状況

(3) 水洗化の促進

- ① 融資制度
- ② 融資の状況

(4) 私道への公共下水道布設制度

4 使用料、受益者負担金

(1) 下水道使用料

① 有収水量と有収率の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
汚水処理水量(千 m^3)	27,917	26,514	26,309	28,030	29,774
有収水量(千 m^3)	23,100	23,369	23,492	23,606	23,983
有収率(%)	82.7	88.1	89.3	84.2	80.6

② 下水道使用料の単価表

(平成20年4月1日改定)

区 分	基本使用料 (1 か月につき)	従量使用料 (1 か月につき)	
		水量区分	単価
一般汚水	10 m^3 まで 1,260 円	10 m^3 を超え 20 m^3 まで	1 m^3 につき 155 円
		20 m^3 を超え 50 m^3 まで	1 m^3 につき 176 円
		50 m^3 を超え 100 m^3 まで	1 m^3 につき 196 円
		100 m^3 を超え 200 m^3 まで	1 m^3 につき 238 円
		200 m^3 を超え 300 m^3 まで	1 m^3 につき 270 円
		300 m^3 を超え 500 m^3 まで	1 m^3 につき 290 円
		500 m^3 を超え 1000 m^3 まで	1 m^3 につき 293 円
		1000 m^3 を超える分	1 m^3 につき 296 円
公衆浴場汚水	10 m^3 まで 1,260 円	10 m^3 を超える分	1 m^3 につき 10 円

※ 消費税相当額を含まない

※ 従量使用料は、従量使用料欄の水量の区分に従い、使用水量をそれぞれの区分ごとに分割して算出した額の合計額とする

③ 下水道使用料調定

年月		内訳	調定	収入額	未収累計額
令和2年	4月	件数(件)	55,114	156	54,958
		金額(円)	359,509,528	447,084	359,062,444
5月		件数(件)	51,417	45,149	61,226
		金額(円)	394,294,277	283,925,977	469,430,744
6月		件数(件)	55,132	48,668	67,690
		金額(円)	358,565,700	391,558,860	436,437,584
7月		件数(件)	51,623	54,902	64,411
		金額(円)	394,674,008	362,671,791	468,439,801
8月		件数(件)	55,307	51,443	68,275
		金額(円)	382,659,907	381,710,717	469,388,991
9月		件数(件)	51,682	52,958	66,999
		金額(円)	413,058,424	359,889,421	522,557,994
10月		件数(件)	55,492	53,654	68,837
		金額(円)	379,896,600	432,371,995	470,082,599
11月		件数(件)	51,743	52,839	67,741
		金額(円)	409,688,143	356,133,134	523,637,608
12月		件数(件)	55,564	51,994	71,311
		金額(円)	375,840,870	431,105,298	468,373,180
令和3年	1月	件数(件)	51,849	56,702	66,458
		金額(円)	415,053,729	362,320,695	521,106,214
2月		件数(件)	55,568	51,012	71,014
		金額(円)	381,230,272	373,781,954	528,554,532
3月		件数(件)	52,901	56,091	67,824
		金額(円)	389,412,324	432,354,883	485,611,973
令和2年度		件数(件) (対前年度比%)	643,392 (101.7)	575,568 (102.0)	67,824 (99.3)
		金額(円) (対前年度比%)	4,653,883,782 (101.3)	4,168,271,809 (101.9)	485,611,973 (96.1)

令和元年度	件数(件) (対前年度比%)	632,542 (102.1)	564,263 (102.0)	68,279 (102.5)
	金額(円) (対前年度比%)	4,594,914,518 (100.9)	4,089,653,392 (100.8)	505,261,126 (101.9)
平成30年度	件数(件) (対前年度比%)	619,563 (102.5)	552,979 (102.5)	66,584 (102.4)
	金額(円) (対前年度比%)	4,554,860,270 (100.1)	4,058,936,023 (100.2)	495,924,247 (99.9)
平成29年度	件数(件) (対前年度比%)	604,323 (102.3)	539,306 (102.2)	65,017 (102.9)
	金額(円) (対前年度比%)	4,549,164,764 (101.2)	4,052,724,903 (101.2)	496,439,861 (101.1)
平成28年度	件数(件) (対前年度比%)	590,808 (102.5)	527,632 (102.6)	63,176 (101.8)
	金額(円) (対前年度比%)	4,495,494,835 (101.5)	4,004,508,065 (102.1)	490,986,770 (97.1)

※金額は消費税及び地方消費税を含む。

(2) 下水道事業受益者負担金・分担金

「受益者負担金・分担金制度」は、下水道整備により利益を受ける地域の皆様に、土地の面積に応じて建設費用の一部を負担していただく制度です。

① 受益者負担金・分担金の額

下水道供用開始区域内の土地の面積に1㎡当たり171円を乗じて得た額

② 受益者負担金・分担金の調定・収納状況

・受益者負担金（旧久留米地域、三潴町、北野町 ※令和2年度以降は田主丸町、城島町含む）

年度	調定額（円）	収納額（円）	収納率（%）
令和2年度	74,265,990	72,230,150	97.26
令和元年度	61,663,380	59,209,980	96.02
平成30年度	69,398,360	66,317,430	95.56
平成29年度	86,820,040	83,472,610	96.14
平成28年度	84,150,920	80,347,970	95.48

・受益者分担金（田主丸町、城島町 ※令和2年度以降は分割納付分のみ）

年度	調定額（円）	収納額（円）	収納率（%）
令和2年度	4,319,590	3,742,380	86.64
令和元年度	20,171,510	18,875,230	93.57
平成30年度	16,940,260	15,673,980	92.53
平成29年度	24,452,340	23,392,230	95.66
平成28年度	21,495,970	20,720,630	96.39

(3) 水洗化の促進

① 融資制度

水洗便所の改造工事に要する費用を一時に負担することが困難な方のために、融資あっせん制度を設けています。

- ・取扱金融機関

福岡銀行	福岡県信用組合	筑後信用金庫
久留米市農業協同組合（JAくるめ）		
筑邦銀行	西日本シティ銀行	大川信用金庫
にじ農業協同組合（JAにじ）	福岡大城農業協同組合（JA福岡大城）	
三潁町農業協同組合（JAみづま）	（※いずれも市内の本店及び各支店）	
- ・融資金額 13万円～52万円
- ・償還利率 年利1.15%（R2.4.1現在）
- ・償還方法 融資した日の属する月の翌日から毎月均等償還（元利均等償還）
- ・融資の条件
 - 家屋の所有者又はその所有者の同意を得た使用者であること
 - 市内に住所を有し、市内に住んでいる者であること
 - 独立の生計を営む者であること
 - 工事の費用を一時に負担することが困難な者であること
 - 借受けた資金の償還及び利息の支払能力を十分有すること
 - 市税及び下水道受益者負担金を滞納していないこと
 - 身元確実な連帯保証人があること（ただし、市内に住所を有し、独立の生計を営み、かつ、市税及び下水道受益者負担金を滞納していない者）
- ・利子補給 融資あっせん制度を利用した下水道接続工事について、元金と利息を完済後、利子の補給をいたします（元金52万円の利子額が上限となります）。

② 融資の状況

（令和2年度末現在）

年度	融資件数(件)	融資金額(万円)	確認申請件数(件)	借受率(%)	平均融資金額(円)
令和2年度	14	700	1,627	0.9	500,000
令和元年度	13	618	1,817	0.7	475,385
平成30年度	15	682	1,917	0.8	454,667
平成29年度	20	1,216	1,977	1.0	608,000
平成28年度	20	1,020	2,035	1.0	510,000

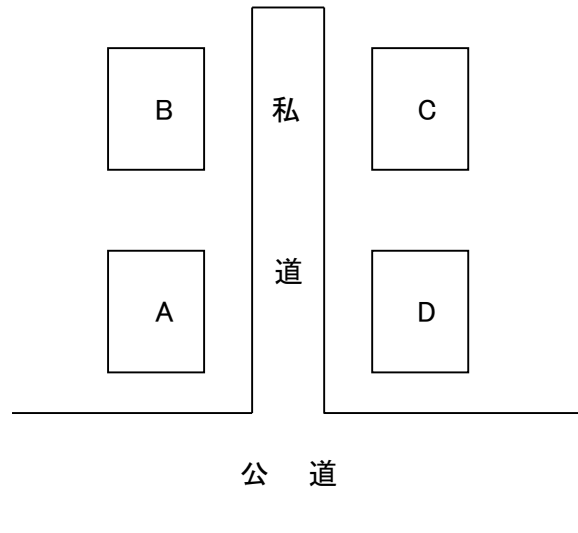
(4) 私道への公共下水道布設制度

私道に面する家屋の下水道利用を促進するため、私道関係者の申請に基づき、一定の要件を備えていれば、市が公共下水道を布設しています。

対象になる私道 生活道路として利用されている道路

- 主要要件
1. 道路の一端が公道に接していること
 2. 公道に面した家屋(A及びD)を除いて2戸以上あること。かつ、その家屋(B及びC)が同一人の所有に属さないこと
 3. 私道の所有者全員が公共下水道の布設を承諾していること

【 イメージ図 】



私道布設実績

(令和2年度末現在)

年度	私道布設件数	受益棟数
平成28年度以前	994	6,449
平成29年度	13	77
平成30年度	15	59
令和元年度	10	43
令和2年度	8	27
累計	1,040	6,655

5 経理統計

(1) 決算状況

- ① 収益の収支年次表
- ② 資本の収支年次表
- ③ 資産・負債・資本対比表

(2) 汚水処理原価・汚水処理原価分析

- ① 1 m³当たり使用料単価及び汚水処理原価内訳表
- ② 汚水処理原価構成表

(3) 企業債借入残高状況

(4) 経営分析表

(5) キャッシュ・フロー計算書

5 経理統計

(1) 決算状況

① 収益的収支年次表

科目	平成28年度		平成29年度			金額(千円)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	
下水道事業収益	6,537,369	100.0	6,544,564	100.0	100.1	6,566,138
営業収益	4,430,026	67.8	4,555,436	69.6	102.8	4,585,527
下水道収益	4,162,767	63.7	4,212,468	64.4	101.2	4,217,749
雨水処理負担金	168,256	2.6	243,969	3.7	145.0	255,059
その他営業収益	99,003	1.5	98,999	1.5	100.0	112,719
営業外収益	2,105,944	32.2	1,985,421	30.3	94.3	1,979,025
受取利息及び配当金	—	—	7	0.0	皆増	5
他会計補助金	710,430	10.8	627,373	9.6	88.3	609,778
長期前受金戻入	1,390,964	21.3	1,354,788	20.7	97.4	1,366,258
雑収益	4,550	0.1	3,253	0.0	71.5	2,984
特別利益	1,399	0.0	3,707	0.1	265.0	1,586
過年度損益修正益	458	0.0	311	0.0	67.9	405
その他特別利益	941	0.0	3,396	0.1	360.9	1,181
下水道事業費用	6,198,657	100.0	6,192,529	100.0	99.9	6,286,889
営業費用	5,136,081	82.9	5,185,632	83.7	101.0	5,331,230
管渠費	460,217	7.4	444,670	7.2	96.6	439,825
ポンプ場費	105,174	1.7	137,233	2.2	130.5	120,707
処理場費	835,563	13.5	872,800	14.1	104.5	914,439
雨水施設費	25,922	0.4	65,000	1.0	250.8	49,991
業務費	127,457	2.1	133,193	2.2	104.5	164,890
総係費	123,744	2.0	107,109	1.7	86.6	111,721
減価償却費	3,344,614	54.0	3,401,669	54.9	101.7	3,481,239
資産減耗費	113,390	1.8	23,958	0.4	21.1	48,418
営業外費用	1,053,396	17.0	1,006,052	16.3	95.5	952,261
支払利息及び企業債取扱諸費	1,045,236	16.9	995,341	16.1	95.2	940,921
雑支出	8,160	0.1	10,711	0.2	131.3	11,340
特別損失	9,180	0.1	845	0.0	9.2	3,398
固定資産売却損	53	0.0	14	0.0	26.4	—
過年度損益修正損	8,849	0.1	823	0.0	9.3	3,398
その他特別損失	278	0.0	8	0.0	2.9	—
純利益	338,712	—	352,035	—	103.9	279,249
当年度未処分利益剰余金	793,367	—	695,402	—	87.7	634,652

(消費税抜き)

平成30年度		令和元年度			令和2年度		
構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
100.0	100.3	7,038,493	100.0	107.2	7,350,879	100.0	104.4
69.8	100.7	4,613,847	65.6	100.6	4,696,310	63.9	101.8
64.2	100.1	4,228,584	60.1	100.3	4,230,931	57.6	100.1
3.9	104.5	273,360	3.9	107.2	297,096	4.0	108.7
1.7	113.9	111,903	1.6	99.3	168,283	2.3	150.4
30.2	99.7	2,421,589	34.4	122.4	2,642,783	36.0	109.1
0.0	71.4	7	0.0	140.0	8	0.0	114.3
9.3	97.2	600,577	8.5	98.5	576,640	7.9	96.0
20.8	100.8	1,815,809	25.8	132.9	2,063,043	28.1	113.6
0.1	91.7	5,196	0.1	174.1	3,092	0.0	59.5
0.0	42.8	3,057	0.0	192.7	11,786	0.1	385.5
0.0	130.2	227	0.0	56.0	8,937	0.1	3937.0
0.0	34.8	2,830	0.0	239.6	2,849	0.0	100.7
100.0	101.5	6,373,414	100.0	101.4	6,506,988	100.0	102.1
84.8	102.8	5,461,201	85.7	102.4	5,542,326	85.1	101.5
7.0	98.9	510,109	8.0	116.0	357,690	5.5	70.1
1.9	88.0	118,081	1.8	97.8	127,161	2.0	107.7
14.5	104.8	947,197	14.9	103.6	978,186	15.0	103.3
0.8	76.9	63,897	1.0	127.8	90,977	1.4	142.4
2.6	123.8	127,423	2.0	77.3	106,941	1.6	83.9
1.8	104.3	113,377	1.8	101.5	126,489	1.9	111.6
55.4	102.3	3,558,242	55.8	102.2	3,696,432	56.8	103.9
0.8	202.1	22,875	0.4	47.2	58,450	0.9	255.5
15.1	94.7	902,124	14.2	94.7	843,621	13.0	93.5
14.9	94.5	889,565	14.0	94.5	827,207	12.7	93.0
0.2	105.9	12,559	0.2	110.7	16,414	0.3	130.7
0.1	402.1	10,089	0.1	296.9	121,041	1.9	1199.7
—	皆減	—	—	—	—	—	—
0.1	412.9	8,049	0.1	236.9	4,530	0.1	56.3
—	皆減	2,040	0.0	皆増	116,511	1.8	5711.3
—	79.3	665,079	—	238.2	843,891	—	126.9
—	91.3	949,731	—	149.6	848,623	—	89.4

② 資本的収支年次表

区分	平成28年度		平成29年度		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
収入合計	5,958,809	100.0	8,944,785	100.0	150.1
企業債	3,299,000	55.4	5,909,700	66.1	179.1
補助金	1,835,955	30.8	1,690,790	18.9	92.1
負担金	823,833	13.8	844,281	9.4	102.5
他会計からの長期借入金	-	-	500,000	5.6	皆増
固定資産売却代金	21	0.0	14	0.0	66.7
支出合計	10,008,098	100.0	10,309,728	100.0	103.0
建設改良費	6,553,954	65.5	6,711,986	65.1	102.4
企業債償還金	3,454,144	34.5	3,597,742	34.9	104.2
前年度一時借入金(起債前借)	1,950,000		3,811,700		195.5
補てん財源	5,999,289	100.0	5,176,643	100.0	86.3
過年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額	5,104	0.1	-	-	皆減
当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額	234,285	3.9	232,352	4.5	99.2
減債積立金	206,459	3.5	340,000	6.6	164.7
過年度分損益勘定留保資金	-	-	325,352	6.3	皆増
当年度分損益勘定留保資金	1,741,741	29.0	1,341,539	25.9	77.0
繰越利益剰余金	-	-	-	-	-
当年度利益剰余金	-	-	-	-	-
一時借入金(起債前借)	3,811,700	63.5	2,937,400	56.7	77.1

(消費税込み)

平成30年度			令和元年度			令和2年度		
金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
7,402,976	100.0	82.8	8,018,799	100.0	108.3	9,931,091	100.0	123.8
4,126,700	55.8	69.8	5,691,600	71.0	137.9	5,391,000	54.3	94.7
2,482,569	33.5	146.8	1,548,965	19.3	62.4	3,761,635	37.9	242.8
793,707	10.7	94.0	778,234	9.7	98.1	778,456	7.8	100.0
-	-	皆減	-	-	-	-	-	-
-	-	皆減	-	-	-	-	-	-
9,846,643	100.0	95.5	12,178,441	100.0	123.7	9,522,091	100.0	78.2
6,306,461	64.0	94.0	8,561,177	70.3	135.8	5,935,848	62.3	69.3
3,540,182	36.0	98.4	3,617,264	29.7	102.2	3,586,243	37.7	99.1
2,937,400		77.1	4,074,800		138.7	4,414,200		108.3
5,381,067	100.0	103.9	8,234,442	100.0	153.0	4,005,200	100.0	48.6
-	-	-	-	-	-	-	-	-
218,710	4.1	94.1	240,028	2.9	109.7	-	-	皆減
350,000	6.5	102.9	280,000	3.4	80.0	-	-	皆減
729,288	13.5	224.2	2,155,131	26.2	295.5	-	-	皆減
8,269	0.2	0.6	1,145,083	13.9	13,847.9	-	-	皆減
-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-
4,074,800	75.7	138.7	4,414,200	53.6	108.3	4,005,200	100.0	90.7

③ 資産・負債・資本対比表

科目	平成28年度		平成29年度		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
資産合計	112,056,392	100.0	116,265,146	100.0	103.8
資産の部	112,056,392	100.0	116,265,146	100.0	103.8
固定資産	108,665,564	96.9	111,570,128	96.0	102.7
有形固定資産	108,665,564	96.9	111,570,128	96.0	102.7
土地	4,844,040	4.3	4,844,040	4.2	100.0
建物	5,191,800	4.6	5,388,182	4.6	103.8
構築物	88,341,769	78.8	93,572,938	80.5	105.9
機械及び装置	7,183,652	6.4	6,776,795	5.9	94.3
車両運搬具	115	0.0	78	0.0	67.8
工具器具及び備品	27,413	0.0	27,920	0.0	101.8
建設仮勘定	3,076,775	2.8	960,175	0.8	31.2
流動資産	3,390,828	3.1	4,695,018	4.0	138.5
現金及び預金	623,216	0.6	2,475,292	2.1	397.2
未収金	1,900,712	1.7	1,671,715	1.4	88.0
貸倒引当金	△ 24,032	△ 0.0	△ 21,814	△ 0.0	90.8
前払金	890,932	0.8	569,825	0.5	64.0
負債資本合計	112,056,392	100.0	116,265,146	100.0	103.8
負債の部	101,719,667	90.7	105,158,792	90.4	103.4
固定負債	53,775,888	48.0	56,659,023	48.7	105.4
企業債	53,717,927	47.9	56,088,004	48.2	104.4
他会計借入金	-	-	500,000	0.4	皆増
引当金	57,961	0.1	71,019	0.1	122.5
流動負債	9,638,468	8.6	9,502,963	8.2	98.6
一時借入金	3,811,700	3.4	2,937,400	2.5	77.1
企業債	3,597,391	3.2	3,539,273	3.1	98.4
他会計借入金	-	-	-	-	-
未払金	2,176,487	2.0	2,953,025	2.6	135.7
引当金	34,146	0.0	34,230	0.0	100.2
その他流動負債	18,744	0.0	39,035	0.0	208.3
繰延収益	38,305,311	34.1	38,996,806	33.5	101.8
長期前受金	36,361,611	32.4	38,276,458	32.9	105.3
建設仮勘定長期前受金	1,943,700	1.7	720,348	0.6	37.1
資本の部	10,336,725	9.3	11,106,354	9.6	107.4
資本金	7,169,736	6.4	8,037,330	6.9	112.1
資本金	7,169,736	6.4	8,037,330	6.9	112.1
剰余金	3,166,989	2.9	3,069,024	2.7	96.9
資本剰余金	2,373,622	2.2	2,373,622	2.1	100.0
受贈財産評価額	516,874	0.5	516,874	0.5	100.0
国県市補助金	1,856,748	1.7	1,856,748	1.6	100.0
利益剰余金	793,367	0.7	695,402	0.6	87.7
減債積立金	-	-	-	-	-
当年度未処分利益剰余金	793,367	0.7	695,402	0.6	87.7

(消費税抜き)

平成30年度			令和元年度			令和2年度		
金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
120,112,027	100.0	103.3	123,040,238	100.0	102.4	127,921,516	100.0	104.0
120,112,027	100.0	103.3	123,040,238	100.0	102.4	127,921,516	100.0	104.0
113,999,394	94.9	102.2	118,373,726	96.2	103.8	120,259,496	94.0	101.6
113,999,394	94.9	102.2	118,373,726	96.2	103.8	120,259,496	94.0	101.6
4,844,040	4.0	100.0	4,844,040	3.9	100.0	4,844,040	3.8	100.0
5,225,594	4.4	97.0	5,022,021	4.1	96.1	4,814,970	3.8	95.9
96,019,144	80.0	102.6	99,370,834	80.8	103.5	100,586,059	78.6	101.2
6,533,777	5.4	96.4	7,747,790	6.3	118.6	8,378,656	6.5	108.1
79	0.0	101.3	79	0.0	100.0	79	0.0	100.0
28,883	0.0	103.4	28,774	0.0	99.6	29,423	0.0	102.3
1,347,877	1.1	140.4	1,360,188	1.1	100.9	1,606,269	1.3	118.1
6,112,633	5.1	130.2	4,666,512	3.8	76.3	7,662,020	6.0	164.2
2,689,318	2.2	108.6	1,878,829	1.5	69.9	2,707,865	2.1	144.1
2,229,504	1.9	133.4	2,161,202	1.8	96.9	3,362,903	2.6	155.6
△ 21,019	△ 0.0	96.4	△ 19,456	△ 0.0	92.6	△ 18,279	△ 0.0	94.0
1,214,830	1.0	213.2	645,937	0.5	53.2	1,609,531	1.3	249.2
120,112,027	100.0	103.3	123,040,238	100.0	102.4	127,921,516	100.0	104.0
108,307,409	90.2	103.0	110,570,541	89.9	102.1	114,607,927	89.6	103.7
57,196,553	47.6	100.9	59,327,310	48.2	103.7	60,443,850	47.2	101.9
56,596,789	47.1	100.9	58,701,887	47.7	103.7	60,298,741	47.1	102.7
500,000	0.4	100.0	500,000	0.4	100.0	-	-	皆減
99,764	0.1	140.5	125,423	0.1	125.7	145,109	0.1	115.7
10,751,873	9.0	113.1	10,451,089	8.5	97.2	11,098,647	8.7	106.2
4,074,800	3.4	138.7	4,414,200	3.6	108.3	4,356,600	3.4	98.7
3,617,006	3.1	102.2	3,586,243	2.9	99.1	3,794,146	3.0	105.8
-	-	-	-	-	-	500,000	0.4	皆増
2,998,209	2.5	101.5	2,397,570	2.0	80.0	2,387,412	1.9	99.6
34,214	0.0	100.0	33,402	0.0	97.6	32,750	0.0	98.0
27,644	0.0	70.8	19,674	0.0	71.2	27,739	0.0	141.0
40,358,983	33.6	103.5	40,792,142	33.2	101.1	43,065,430	33.7	105.6
38,752,879	32.3	101.2	40,036,118	32.6	103.3	40,540,394	31.7	101.3
1,606,104	1.3	223.0	756,024	0.6	47.1	2,525,036	2.0	334.0
11,804,618	9.8	106.3	12,469,697	10.1	105.6	13,313,589	10.4	106.8
8,796,344	7.3	109.4	9,146,344	7.4	104.0	9,426,344	7.4	103.1
8,796,344	7.3	109.4	9,146,344	7.4	104.0	9,426,344	7.4	103.1
3,008,274	2.5	98.0	3,323,353	2.7	110.5	3,887,245	3.0	117.0
2,373,622	2.0	100.0	2,373,622	1.9	100.0	2,373,622	1.8	100.0
516,874	0.5	100.0	516,874	0.4	100.0	516,874	0.4	100.0
1,856,748	1.5	100.0	1,856,748	1.5	100.0	1,856,748	1.4	100.0
634,652	0.5	91.3	949,731	0.8	149.6	1,513,623	1.2	159.4
-	-	-	-	-	-	665,000	0.5	皆増
634,652	0.5	91.3	949,731	0.8	149.6	848,623	0.7	89.4

(2) 汚水処理原価・汚水処理原価分析

① 1 m³当たり使用料単価及び汚水処理原価内訳表

区分		平成28年度			平成29年度		
有収水量		23,100,180 m ³			23,368,659 m ³		
使用料単価	下水道使用料	金額(千円)	構成比(%)	1 m ³ 当り(円)	金額(千円)	構成比(%)	1 m ³ 当り(円)
				4,162,767	100.0	180.20	4,212,468
汚水処理原価	管渠費	460,217	11.6	19.92	440,310	10.7	18.84
	ポンプ場費	99,641	2.5	4.31	132,960	3.2	5.69
	処理場費	790,874	20.0	34.24	836,682	20.4	35.80
	その他維持管理費	369,429	9.4	15.99	247,677	6.0	10.60
	支払利息等	906,861	23.0	39.26	805,580	19.6	34.47
	減価償却費	1,323,787	33.5	57.31	1,647,396	40.1	70.50
	計	3,950,809	100.0	171.03	4,110,605	100.0	175.90
	(参考) 分流式下水道に要する 経費控除前	4,484,943	-	194.15	4,607,930	-	197.18

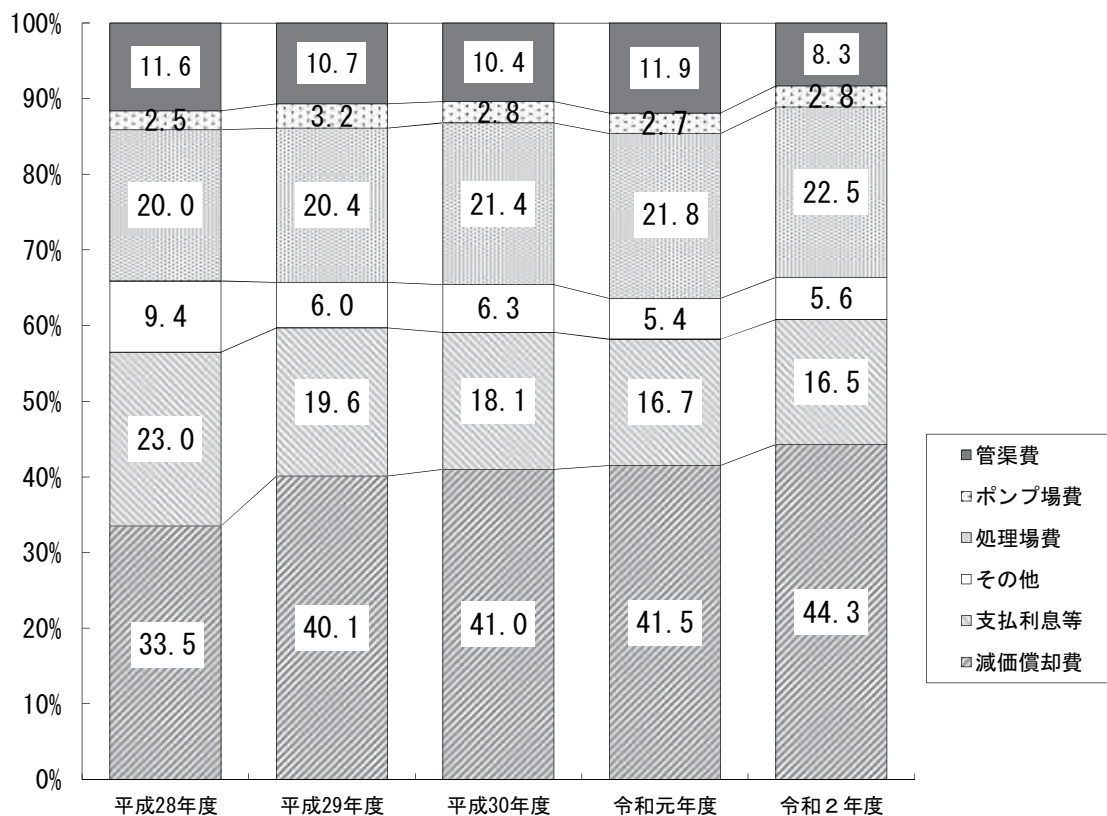
※1 m³当り使用料単価＝下水道使用料÷有収水量

※1 m³当り汚水処理原価＝{経常費用－(雨水処理経費)}÷有収水量

※減価償却費は、長期前受金戻入額を控除した額を計上

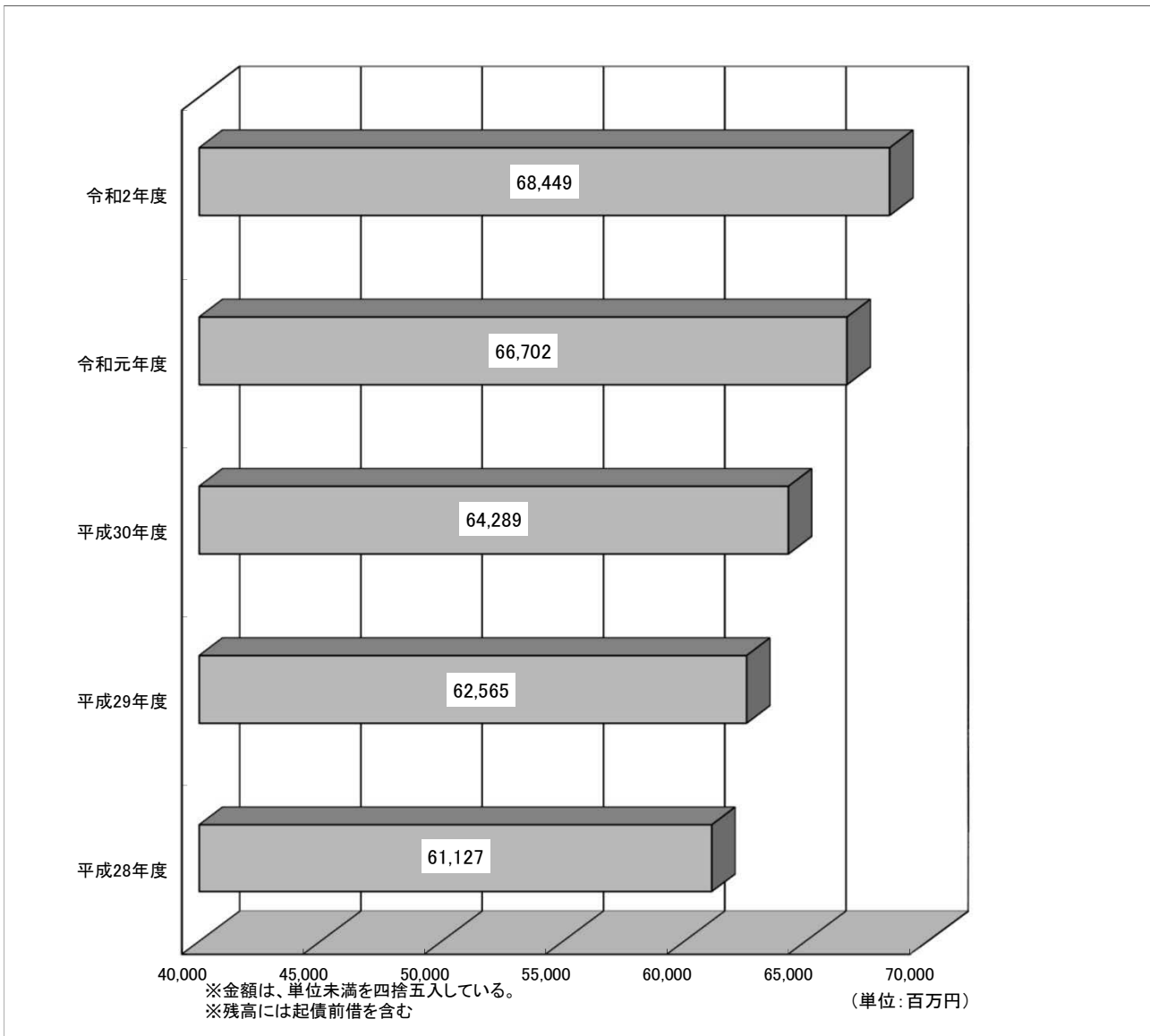
※下水道事業会計全体の単価・原価である

② 汚水処理原価構成表



平成30年度			令和元年度			令和2年度		
23,491,734 m ³			23,606,196 m ³			23,983,228 m ³		
金額(千円)	構成比(%)	1m ³ 当り (円)	金額(千円)	構成比(%)	1m ³ 当り (円)	金額(千円)	構成比(%)	1m ³ 当り (円)
4,217,749	100.0	179.54	4,228,584	100.0	179.13	4,230,931	100.0	176.41
436,699	10.4	18.59	507,300	11.9	21.49	352,998	8.3	14.72
116,666	2.8	4.97	112,447	2.7	4.76	119,149	2.8	4.97
900,018	21.1	38.31	925,865	21.8	39.22	948,966	22.5	39.57
262,133	6.3	11.16	228,384	5.4	9.67	234,823	5.6	9.79
757,713	18.1	32.25	709,486	16.7	30.06	698,474	16.5	29.12
1,716,390	41.0	73.06	1,764,775	41.5	74.76	1,871,084	44.3	78.02
4,189,619	100.0	178.34	4,248,257	100.0	179.96	4,225,494	100.0	176.19
4,678,484	-	199.15	4,723,371	-	200.09	4,645,684	-	193.71

(3) 企業債借入残高状況



(4)経営分析表

本市の下水道事業会計では、公共下水道(主に久留米、北野、三潴地区)と特定環境保全公共下水道(主に田主丸、城島地区)という二つの事業を実施してきたが、令和2年3月11日の下水道法事業計画の変更協議をもって、事業計画を変更し、市内全域が公共下水道となっている。

ここでは、類型都市や全国平均とあわせて、公共下水道事業における主な指標を掲載している。なお統計の都合上、本市の指標は令和2年度、類型及び全国平均は令和元年度のものである。

項 目	公共下水道					説 明	分 析
	すう勢比較			他市との比較(R1年度)			
	H30年度	R1年度	R2年度	類型	全国平均		
下水道普及率(%) $\frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{行政区域内人口}}$	82.5	84.3	85.7	78.0	84.3	行政区域内人口に占める処理区域内人口の割合で、事業の整備状況を表すものである。	未普及地域の整備途上ではあり、年々微増している。類型他市や全国平均より高い数値となっている。
進捗率(%) $\frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{全体計画人口}}$	87.9	91.9	92.1	95.5	97.4	全体計画人口に占める処理区域内人口の割合で、全体計画に対する進捗状況を表すものである。	未普及地域の整備途上ではあり、年々微増している。類型他市や全国平均より低い数値となっている。
処理区域内人口密度(人/ha) $\frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{現在処理区域面積}}$	48.9	48.9	48.8	43.0	66.6	処理区域面積1haあたりの人口を表したものである。	すう勢比較としてはほぼ横ばいであり、類型他市より高く、全国平均より低い数値となっている。
施設利用率(%) $\frac{\text{現在晴天時平均処理水量(m}^3\text{/日)}}{\text{現在処理能力(晴天時)(m}^3\text{/日)}}$	66.5	64.3	62.4	67.4	62.2	現在晴天時平均処理水量を現在処理能力(晴天時)で除したもので、施設がどの程度利用されているのかを示す。	すう勢比較としては微減しており、類型他市より低く、全国平均とは同水準となっている。
有収率(%) $\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間汚水処理水量}}$	89.3	84.2	80.6	78.9	79.9	処理した汚水のうち使用料徴収の対象となる有収水量の割合である。有収率が高いほど、使用料徴収の対象とならない不明水が少なく、効率的であるといえることができる。	すう勢比較としては低下傾向であるが、類型他市や全国平均より高い数値となっている。
水洗化率(%) $\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}}$	90.1	89.0	88.2	94.3	96.2	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水を処理している人口の割合である。	すう勢比較としてはやや低下傾向にあり、類型他市や全国平均より低い数値となっている。

項 目	公共下水道					説 明	分 析
	すう勢比較			他市との比較(R1年度)			
	H30年度	R1年度	R2年度	類型	全国平均		
使用料単価(円/㎡) 使用料収入 年間有収水量	179.5	179.1	176.4	163.1	137.6	有収水量1㎡あたりの使用料収入であり、使用料の水準を示す。	すう勢比較としては低下傾向にあるが、類型他市や全国平均より、高い数値となっている。
汚水処理原価(円) 汚水処理費 年間有収水量 ※ 下段()は、分流式下水道に要する経費を控除する前の値	178.3 (199.2)	180.0 (200.1)	176.2 (193.7)	160.2 (190.3)	131.9 (147.7)	有収水量1㎡あたりの汚水処理費であり、その水準を示す。汚水処理費は、維持管理費と資本費に分けられる。維持管理費は、日常の下水道施設の維持管理に要する経費であり、具体的には、人件費、動力費、薬品費、施設補修費、管渠清掃費等によって構成される。資本費は、減価償却費、企業債利息(一時借入金利息は除く。)及び企業債取扱諸費等の合計額である。	令和2年度は、維持管理費における管渠費の委託料、修繕費が減少しており、全体汚水処理原価も減少している。一方で、資本費は増加しており、類型他市や全国平均より高い水準となっている。
汚水処理原価(維持管理費)(円/㎡) 汚水処理費(維持管理費) 年間有収水量	73.0	75.1	69.1	76.3	67.7		
汚水処理原価(資本費)(円/㎡) 汚水処理費(資本費) 年間有収水量	105.3	104.8	107.1	83.9	64.2		
経費回収率(%) 使用料収入 汚水処理費 ※ 下段()は、分流式下水道に要する経費を控除する前の値	100.7 (91.8)	99.5 (89.5)	100.1 (91.1)	101.8 (85.7)	104.3 (93.1)	汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収程度を示す。下水道の経営は、経費の負担区分を踏まえて汚水処理費全てを使用料によってまかなうことが原則であるといわれる。よって経費回収率は、下水道事業の経営を最も端的に表している指標といえる。	令和元年度は、100を下回り、使用料収入で汚水処理費を賄っていない状況となっていたが、令和2年度は改善している。すう勢比較としては、維持管理費に伴うものが増加傾向であるが、類型他市や全国平均より、高い水準にある。
経費回収率(維持管理費)(%) 使用料収入 汚水処理費(維持管理費)	245.9	238.4	255.5	213.9	203.3		
処理人口1人あたりの維持管理費(汚水分)(円/人) 維持管理費(汚水分) 現在処理区域内人口	6,828	6,907	6,358	7,734	7,349	現在処理区域内人口1人あたりにかかる維持管理費であり、効率的な維持管理の状況を見るものである。維持管理費には、管渠、ポンプ場、処理場及びその他の費用全てが含まれる。	令和2年度は、減少しており、類型他市や全国平均より低い数値となっている。
処理人口1人あたりの資本費(汚水分)(円/人) 資本費(汚水分) 現在処理区域内人口	9,847	9,633	9,865	8,512	6,972	現在処理区域内人口1人あたりにかかっている資本費である。なお、この場合の資本費とは、減価償却費と企業債利息等である。	令和2年度は増加しており、類型他市や全国平均より高い数値となっている。

項 目	公共下水道					説 明	分 析
	すう勢比較			他市との比較(R1年度)			
	H30年度	R1年度	R2年度	類型	全国平均		
処理人口1人あたりの管理運営費(汚水分) 管理運営費(汚水分) 現在処理区域内人口	16,677	16,678	16,453	16,246	14,322	現在処理区域内人口1人あたりにかかる管理運営費である。この場合の管理運営費とは、維持管理費と資本費を合計したものである。	すう勢比較としてはほぼ横ばいであり、類型他市とは同水準、全国平均より高い数値となっている。
総収支比率(%) 総収益 総費用	104.4	110.4	113.0	110.1	108.0	総収益と総費用の比率を表したものである。単年度の収支が黒字であることを示す100%以上であることが必要である。	すう勢比較としては増加しており、類型他市や全国平均より、高い数値となっている。
経常収支比率(%) 経常収益 経常費用	104.5	110.6	114.9	110.1	108.1	使用料収入等の収益で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを示すものである。比率が高いほど良い。	すう勢比較としては増加しており、類型他市や全国平均より、高い数値となっている。
利子負担率(%) 支払利息+企業債取扱諸費 企業債+長期借入金+一時借入金	1.5	1.4	1.2	1.8	2.4	有利子の負債に対する支払利息の割合であり、外部利子の平均利率を表す。利子負担率が高くなるとその後の経営を圧迫する要因の一つとなる。	すう勢比較では微減であり、類型他市や全国平均よりも低い数値である。
自己資本構成比率(%) 自己資本金+剰余金+評価差額等 +繰延収益 負債・資本合計	43.4	43.3	44.1	57.6	61.8	総資本に占める自己資本の割合であり、財政状態の長期的な安全性を見る指標である。	すう勢比較としては微増であり、類型他市や全国平均よりも低い数値となっている。
固定資産対長期資本比率(%) 固定資産 固定負債+資本金+剰余金 +評価差額等+繰延収益	100.5	101.2	99.2	101.9	131.1	自己資本構成比率と同じく、事業の固定的・長期的安全性を見る指標で、資金が長期的に拘束される固定資産が、どの程度自己資本や長期借入金によって調達されているかを示す。	令和2年度は減少しており、類型他市や全国平均よりも低い数値となっている。
処理区域内人口1人あたりの地方債現在高(千円/人) 地方債現在高 現在処理区域内人口	256	260	263	227	143	地方債現在高を処理区域内人口で除したものである。	未普及地域の整備途上であり、地方債残高は増加傾向となっている。類型他市や全国平均より高い数値となっている。

※この表における類型他市は、以下をすべて満たすものである

(公共下水道)

- ・処理区域内人口100千人以上
- ・処理区域内人口密度が1haあたり50人以上、75人未満
- ・供用開始後30年以上

(5) キャッシュ・フロー計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	843,891
減価償却費	3,696,032
退職給付引当金の増加額	19,687
賞与引当金の減少額	△ 652
貸倒引当金の減少額	△ 1,177
長期前受金戻入額	△ 2,065,958
受取利息及び配当金	△ 8
支払利息及び企業債取扱諸費	827,207
固定資産除却損	49,200
未収金の減少額	308,991
未払金の増加額	145,365
預り金の増加額	8,065
小計	3,830,643
利息及び配当金の受取額	8
支払利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 827,207
業務活動によるキャッシュ・フロー	3,003,444
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 6,558,556
国庫補助金等による収入	2,190,091
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,368,465
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
一時借入れによる収入	750,000
一時借入金の返済による支出	△ 750,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	561,700
その他の企業債による収入	415,100
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 3,095,255
その他の企業債の償還による支出	△ 490,988
企業債前借による収入	4,356,600
他会計からの繰入による収入	446,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,194,057
資金増加額(又は減少額)	829,036
資金期首残高	1,878,829
資金期末残高	2,707,865

キャッシュ・フロー計算書について

企業経営の評価は、売上高（市場占有率）や経常利益で判断するのが一般的です。

しかし、企業の資金は、営業活動だけでなく投資及び財務活動においても資金の収支があり企業全体で資金を管理する必要があります。

また、内部留保資金の内訳が表示されるとともに、投資活動における資金の手当先が明示され企業活動における資金の移動がわかりやすくなります。

そこで、利益とは別の視点から資金の流れを把握するため「キャッシュ・フロー計算書」があります。

キャッシュ・フロー計算書の区分について

キャッシュ・フロー計算書には、ⅠからⅢまでの三つの区分があります。

Ⅰ「業務活動によるキャッシュ・フロー」

主たる営業活動からどの位資金を獲得したかを示すもので、通常、これにより獲得した資金が投資活動に使われます。

Ⅱ「投資活動によるキャッシュ・フロー」

施設整備拡充等の投資活動における資金の流れを示すものです。

Ⅲ「財務活動によるキャッシュ・フロー」

営業及び投資活動を維持するために、どの程度資金が調達または返済されたかを示すものです。

令和2年度キャッシュ・フローについて

【業務活動での収支】

業務キャッシュ・フローでは、純利益 843,891 千円、内部留保資金である減価償却費 3,696,032 千円の発生が、資金の主な増加要因となっています。

一方、長期前受金戻入額 2,065,958 千円、利息の支払額 827,207 千円が資金の主な減少要因となっています。

この結果、業務活動によるキャッシュ・フローは 3,003,444 千円となっています。

【投資活動での収支】

投資キャッシュ・フローでは、工事に係る補助金等の収入 2,190,091 千円が資金の増加要因となっています。

一方、有形固定資産の取得による支出 6,558,556 千円が資金の減少要因となっています。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△4,368,465 千円となっています。

【財務活動での収支】

財務キャッシュ・フローは、企業債（起債前借含む）の借入れ 5,333,400 千円が資金の主な増加要因であり、企業債の償還 3,586,243 千円が資金の減少要因となっています。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは 2,194,057 千円となっています。

以上により、令和2年度における、期中の現金及び現金同等物の増減額は 829,036 千円のプラスとなりました。

IV その他の事業

1 農業集落排水事業

(1) 概要

(2) 使用料

① 使用料の算定

② 収納状況

(3) 受益者分担金

① 分担金の額

② 収納状況

(4) 発生汚泥量及び流入汚水量

(5) 水質データ

1 農業集落排水事業

(1) 概要

農業集落排水事業は、農村地域の集落の生活排水を汚水処理施設により浄化して川や水路に戻すことにより、水環境や農作物の生産条件の改善とともに、生活環境を快適にする事業です。

本市の農業集落排水事業は、田主丸に3か所・北野に2か所の浄化センターを整備して運用しています。なお、平成27年度より田主丸の西郷地区が供用開始され、計画された全ての地区において整備が完了しました。

○ 供用開始の時期

地区名		供用開始時期	
田主丸	三明寺・善院	平成10年3月	
	柴刈	平成16年3月	
	富本・隈・西郷	隈	平成25年3月
		富本	平成26年4月
	西郷	平成27年4月	
北野	赤司	平成10年5月	
	南部	平成12年3月	

○ 水洗化率

(令和3年3月末現在)

		計画	整備		水洗化(接続)		水洗化率	
		人口(人)	人口(人)	戸数(戸)	人口(人)	戸数(戸)	人口	戸数
田主丸	三明寺・善院	1,490	752	264	704	247	93.6%	93.6%
	柴刈	3,360	1,841	721	1,588	622	86.3%	86.3%
	富本・隈・西郷	2,230	1,133	414	783	286	69.1%	69.1%
北野	赤司	1,410	756	293	730	283	96.6%	96.6%
	南部	1,280	760	252	685	227	90.1%	90.1%
合計		9,770	5,242	1,944	4,490	1,665	85.7%	85.6%

(2) 使用料

① 使用料の算定

農業集落排水処理施設使用料は、基本使用料に加え、一般家庭は世帯の人数により、事業所は排水量により徴収しています。

区分	使用料(1月につき)		
一般家庭	基本使用料	1世帯につき 1,400円	
	世帯人員割 使用料	世帯人員1人～2人まで	1人につき 700円
		世帯人員3人～5人まで	1人につき 600円
		世帯人員6人～8人まで	1人につき 500円
		世帯人員9人以上	1人につき 400円
事業所等	基本使用料	1事業所につき 2,000円	
	従量使用料	1m ³ につき 120円	

② 収納状況

	調定額(円)	収入額(円)	収納率(%)
令和2年度	78,256,013	77,274,296	98.8
令和元年度	79,513,495	78,187,241	98.3
平成30年度	79,191,545	77,736,499	98.2
平成29年度	80,396,526	78,840,694	98.1
平成28年度	80,782,963	78,508,704	97.2

(3) 受益者分担金

① 分担金の額

受益者分担金の額は、一般家庭では一世帯または建築物1戸につき150,000円とし、事業所等では従業員数または使用水量により算出した額とします。

② 収納状況

	調定額(円)	収入額(円)	収納率(%)
令和2年度	1,200,000	1,200,000	100
令和元年度	600,000	600,000	100
平成30年度	750,000	750,000	100
平成29年度	3,120,000	3,007,500	96.4
平成28年度	4,235,000	3,897,500	92.0

(4) 発生汚泥量及び流入汚水量

・発生汚泥量

町名	浄化センター	年間発生汚泥量 (m ³)				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
田主丸	柴刈	612	619	617	621	618
	冷水	324	328	323	327	326
	西郷	324	333	390	399	398
北野	赤司	240	240	240	239	270
	南部	220	220	220	220	255
合計		1,720	1,741	1,790	1,806	1,867

※ 発生汚泥量は、各浄化センター及び合計のデータを、小数第2位までのデータにて集計し、小数第1位にて四捨五入して整数にて表記。

・流入汚水量

町名	浄化センター	年間流入汚水量 (m ³)				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
田主丸	柴刈	178,959	179,968	178,460	169,682	176,648
	冷水	83,220	83,815	81,258	81,974	85,719
	西郷	137,408	134,316	135,016	135,252	141,366
北野	赤司	74,154	74,127	73,535	72,896	73,208
	南部	88,090	83,520	84,573	75,801	70,445
合計		561,831	555,746	552,842	535,605	547,386

※ 令和2年 7/25～ 9/2 の40日間については、北野 南部浄化センター計測器故障のため流入汚水量計測不可。よって、年間流入汚水量については、日平均流入汚水量(193m³/日)×365日として算定した値(70,445m³)を使用。

・最大処理水量

町名	浄化センター	晴天時現在最大処理水量 (m ³ /日)				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
田主丸	柴刈	724	649	642	604	586
	冷水	272	267	377	267	321
	西郷	733	573	610	440	466
北野	赤司	262	251	462	235	246
	南部	302	289	287	271	250
合計		2,293	2,029	2,378	1,817	1,869

(5) 水質データ

① 田主丸 柴刈浄化センター

月	項目	月合計(m³)	日最大(m³)	日最少(m³)	日平均(m³)	BOD(mg/L)	SS(mg/L)	pH	汚泥(m³)	
令和2年	4月	14,380	514	452	479	1.4	2	7.1	52	
	5月	14,933	526	455	482	1.0	2	7.2	51	
	6月	15,156	631	453	505	1.0	3	7.0	52	
	7月	19,575	2,002	458	632	1.0	2	7.2	52	
	8月	16,909	601	511	546	1.4	2	7.2	50	
	9月	15,125	544	427	459	1.0	2	7.1	51	
	10月	14,202	490	434	458	1.0	2	7.0	52	
	11月	13,561	481	426	452	1.2	2	6.9	52	
	12月	14,444	586	435	466	1.4	2	7.3	52	
	令和3年	1月	12,903	462	385	416	1.7	2	7.1	52
		2月	11,556	441	398	413	1.7	3	7.2	52
		3月	13,904	471	428	449	2.4	4	7.4	51
計		176,648			484				618	

② 田主丸 冷水浄化センター

月	項目	月合計(m³)	日最大(m³)	日最少(m³)	日平均(m³)	BOD(mg/L)	SS(mg/L)	pH	汚泥(m³)	
令和2年	4月	7,098	269	204	237	1.4	2	6.9	27	
	5月	7,191	246	211	232	3.1	2	6.8	27	
	6月	7,112	259	211	237	1.3	2	6.5	27	
	7月	9,356	452	223	302	1.6	2	6.6	27	
	8月	7,859	276	237	254	1.1	2	6.8	27	
	9月	6,988	249	222	233	1.9	2	6.8	27	
	10月	6,927	239	197	224	1.5	2	6.7	27	
	11月	6,561	238	202	219	1.3	2	6.7	27	
	12月	6,582	224	195	212	1.2	2	6.9	27	
	令和3年	1月	7,110	321	204	229	2.7	2	6.8	27
		2月	6,148	235	207	220	2.2	2	6.9	27
		3月	6,787	240	193	219	2.5	2	7.2	27
計		85,719			235				326	

③ 田主丸 西郷浄化センター

月	項目	月合計(m³)	日最大(m³)	日最少(m³)	日平均(m³)	BOD(mg/L)	SS(mg/L)	pH	汚泥(m³)	
令和2年	4月	11,000	473	303	367	2.3	2	7.1	33	
	5月	11,438	506	295	369	6.8	2	7.0	33	
	6月	12,931	754	315	431	6.9	2	6.9	33	
	7月	17,927	1,386	345	578	1.9	2	7.0	33	
	8月	11,687	487	321	377	1.0	2	7.1	33	
	9月	11,550	620	308	385	1.2	3	7.2	33	
	10月	11,212	514	290	362	1.8	2	7.0	33	
	11月	10,453	414	286	348	1.5	2	7.0	33	
	12月	10,981	415	305	354	1.3	2	7.4	34	
	令和3年	1月	11,177	444	299	361	1.8	2	7.1	33
		2月	10,076	466	290	360	1.9	2	7.2	33
		3月	10,934	513	281	353	2.4	4	7.5	33
計		141,366			387				398	

※ 汚泥量は、各浄化センター及び年間合計のデータを、小数第2位までのデータにて集計し、各データを、小数第1位にて四捨五入して、整数にて表記。

④ 北野 赤司浄化センター

月	項目	月合計(m³)	日最大(m³)	日最少(m³)	日平均(m³)	BOD(mg/L)	SS(mg/L)	pH	汚泥(m³)	
令和2年	4月	5,944	216	189	198	11.0	5	7.3	20	
	5月	6,293	226	187	203	8.4	5	7.4	20	
	6月	6,280	246	187	209	24.0	4	7.5	20	
	7月	7,592	239	191	245	14.0	7	7.3	36	
	8月	6,344	221	188	205	6.8	4	7.2	19	
	9月	5,934	229	183	198	8.0	7	7.6	25	
	10月	5,959	210	181	192	7.1	3	7.6	21	
	11月	5,755	203	181	192	15.0	6	7.5	21	
	12月	5,995	228	181	193	12.0	7	7.5	20	
	令和3年	1月	6,002	222	178	194	16.0	11	7.6	37
		2月	5,327	206	177	190	18.0	10	7.4	20
		3月	5,783	198	178	187	11.0	5	7.5	11
計		73,208			201				270	

⑤ 北野 南部浄化センター

月	項目	月合計(m³)	日最大(m³)	日最少(m³)	日平均(m³)	BOD(mg/L)	SS(mg/L)	pH	汚泥(m³)	
令和2年	4月	5,727	218	173	191	8.5	15	6.8	20	
	5月	5,740	205	173	185	7.3	4	7.5	20	
	6月	5,869	211	174	196	7.9	<2	6.9	20	
	※ 7月	4,854	217	178	202	8.5	6	7.2	20	
	※ 8月					7.0	6	7.3	20	
	※ 9月	5,499	215	175	196	11.0	3	7.5	33	
	10月	5,958	215	102	192	16.0	9	7.1	20	
	11月	5,916	214	99	197	10.0	5	7.1	20	
	12月	5,878	238	178	190	13.0	13	6.9	33	
	令和3年	1月	6,148	250	179	198	13.0	9	7.0	20
		2月	5,337	206	179	191	20.0	13	6.9	12
		3月	5,837	211	177	188	16.0	9	7.4	16
計		70,445			193				255	

※ 7/25 ~ 9/2 の40日間については、北野 南部浄化センター計測器故障のため流入汚水量計測不可。
よって、年間流入汚水量については、日平均流入汚水量(193m³/日)×365日として算定した値。

※ 汚泥量は、各浄化センター及び年間合計のデータを、小数第2位までのデータにて集計し、各データを、小数第1位にて四捨五入して、整数にて表記。

2 浄化槽の整備

(1) 合併処理浄化槽設置費助成事業（個人設置型）

- ①-1 補助概要（令和2年度まで）
- ①-2 補助概要（令和2年度以降の変更点）
- ② 設置補助状況
- ③ 維持管理費補助状況

(2) 特定地域生活排水処理事業（市町村設置型）

- ① 概要
- ② 分担金及び使用料

2 浄化槽の整備

浄化槽整備事業には、個人の浄化槽設置に対し工事費の一部を補助する合併処理浄化槽設置費助成事業(個人設置型)と、浄化槽を市町村が設置し維持管理を行う特定地域生活排水処理事業(市町村設置型)の二つの事業がある。

(1) 合併処理浄化槽設置費助成事業(個人設置型)

生活排水処理の面的整備(公共下水道事業や農業集落排水事業)の計画区域以外の区域及び計画区域内であっても当面その整備が見込まれない区域並びに特定地域生活排水処理事業による処理区域以外の区域において、合併処理浄化槽を設置しようとする者に対して予算の範囲内で補助金を交付する。(久留米市浄化槽設置整備事業補助金)

尚、平成30年度からは単独処理浄化槽又はし尿汲み取り便槽からの転換の場合において、補助金額を加算する。

また、浄化槽設置整備事業補助金を受けた者に対して、設置の翌年度から5年間を限度として、維持管理費の一部を補助する。(久留米市浄化槽維持管理費補助金)

① -1 補助概要(令和2年度まで)

設 置 補 助	対 象	地 域	公共下水道事業、農業集落排水事業、特定地域生活排水処理事業の対象区域以外
		建 築 物	専用住宅等(居住部分の床面積が、建物の床面積の2分の1以上)
		浄化槽	5～10人槽
	算定人槽 区分別 補助額	5人槽	332,000円
		6人槽	373,000円
		7人槽	414,000円
		8人槽	458,000円
		9～10人槽	548,000円
		① 既存単独処理浄化槽の処分に要する費用	90,000円
		② 既存し尿汲み取り便槽の処分に要する費用	60,000円
	上記①に伴う配管設置工事に要する費用	300,000円	
	上記②に伴う配管設置工事に要する費用	140,000円	
維持管理費補助	上記の設置補助を受けた浄化槽の維持管理費につき、設置の翌年度から5年間を限度として10,000円/年を補助		

① -2 補助概要(令和2年度以降の変更点)

- ・対象建築物について、営利目的の住居系建築物(建売住宅、アパート・借家等)は対象外
- ・対象の浄化槽は、5～10人槽まで
- ・既存単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換工事に伴う、配管設置工事に要する費用については 300,000 円へ増額

② 設置補助状況

(単位:基)

	平成 28 年度 以前	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	累 計
久留米	3,769	12	18	11	8	3,818
田主丸	1,908	35	18	22	13	1,996
北 野	1,724	13	8	5	1	1,751
城 島	886	4	4	4	0	898
三 瀬	3,415	65	56	77	40	3,653
合 計	11,702	129	104	119	62	12,116

③ 維持管理費補助状況

- ・平成 28 年度:対象数1,119基の内、申請数914基(申請率 81.7%)
- ・平成 29 年度:対象数951基の内、申請数780基(申請率 82.0%)
- ・平成 30 年度:対象数834基の内、申請数671基(申請率 80.5%)
- ・令和元年度 :対象数668基の内、申請数551基(申請率 82.5%)
- ・令和 2 年度 :対象数634基の内、申請数515基(申請率 81.2%)

(2) 特定地域生活排水処理事業(市町村設置型)

市町村が、個人の敷地内に合併処理浄化槽を設置し、その後の維持管理を行う事業であり、平成13年度から旧城島町の全域を対象として事業着手(水質汚濁防止法の生活排水対策重点地域)。浄化槽使用者は、設置工事に伴う分担金と使用料を支払う。

※平成22年度からは、城島地区の公共下水道計画区域外の区域を対象として事業を行う。

※令和3年度から、国の補助制度変更により、城島地区の公共下水道計画区域外を浄化槽処理促進区域として定め、特定地域浄化槽を公共浄化槽と定義した。

① 概要

対 象	浄化槽	住宅に限らず、すべての構築物
	建築物	5～50人槽
浄化槽の設置	個人の申請により、市が設置及び維持管理を行う	

② 分担金及び使用料

・分担金

人槽区分	分担金(円)
5人槽	125,000
6～7人槽	150,000
8～10人槽	175,000
11～15人槽	428,000
16～20人槽	658,000
21～25人槽	828,000
26～30人槽	963,000
31～40人槽	1,119,000
41～50人槽	1,289,000

・使用料 ※消費税抜き額

人槽区分	使用料(月額、円)
5人槽	4,000
6～7人槽	4,380
8～10人槽	5,040
12人槽	11,800
14人槽	12,380
16人槽	14,090
18人槽	14,570
21人槽	15,230
23人槽	16,190

人槽区分	使用料(月額、円)
25人槽	16,950
28人槽	17,900
30人槽	18,660
33人槽	20,950
35人槽	22,570
40人槽	23,140
45人槽	25,710
50人槽	27,610

○ 設置状況

(単位:基)

	平成13年度 から28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	累 計
整備基数	1,032	16	23	20	10	1,101
寄附基数	631	-	-	1	0	632
合 計	1,663	16	23	21	10	1,733

※下水道切替に伴う撤去基数 138基

○ 維持管理状況

- ・令和元年度 維持管理数 1,528基 (撤去数119基、休止中76基)
- ・令和2年度 維持管理数 1,522基 (撤去数138基、休止中73基)

3 し尿等処理

- (1) 概要
- (2) 清掃津福工場フローシート
- (3) 搬入量の推移

3 し尿等処理

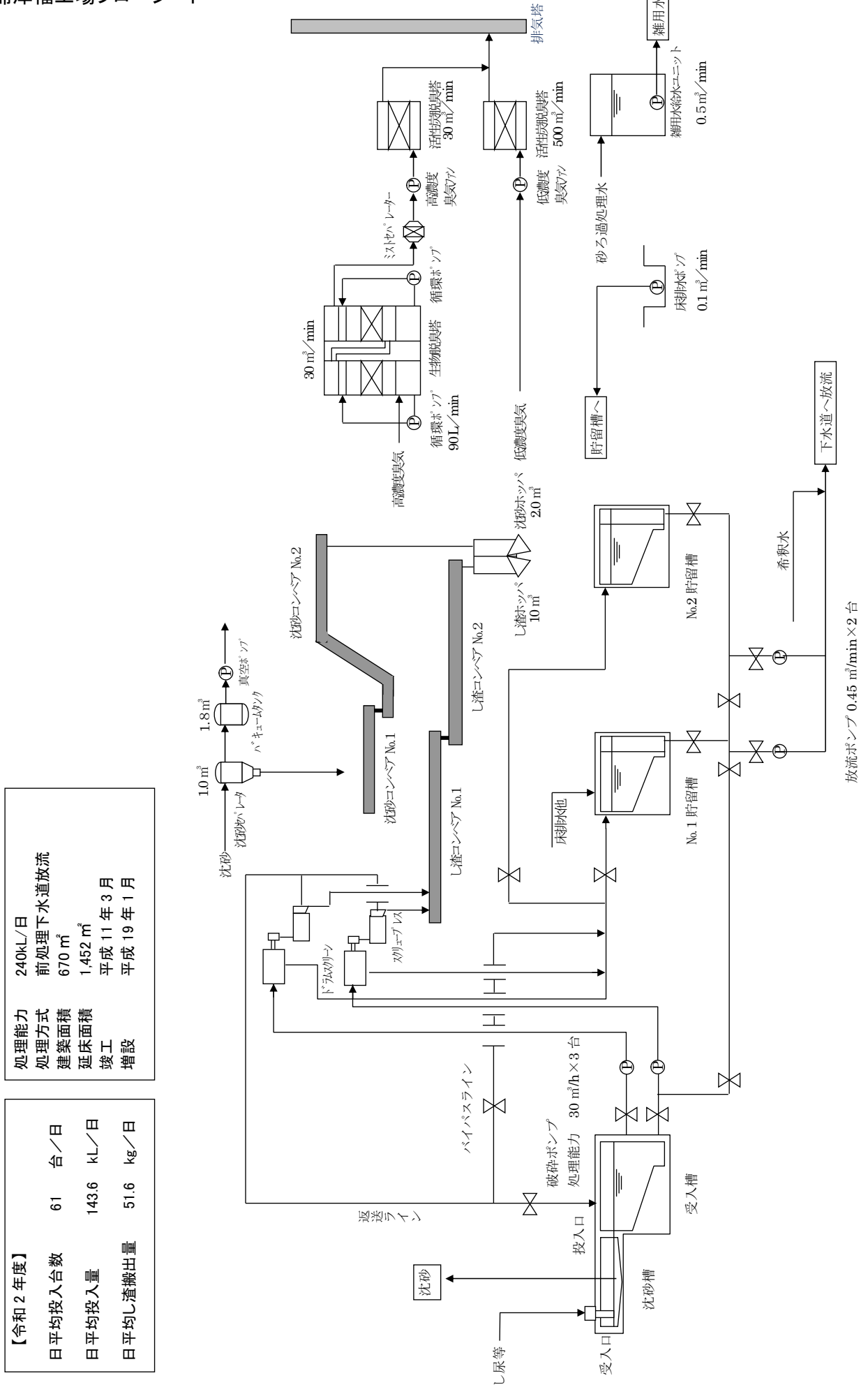
(1) 概要

し尿・浄化槽汚泥の処理は、昭和37年に清掃津福工場が供用を開始し、許可業者による収集運搬を開始した。その後、市勢の発展に伴う人口増加によりし尿・浄化槽汚泥の収集量は増加してきた。

昭和47年の下水道の供用開始後も、浄化槽や簡易水洗便所の普及によりし尿・浄化槽汚泥の量は増加したが、昭和56年をピークに減少に転じている。

	田主丸地区	北野地区	久留米・三潁・城島地区
処理の主体	うきは久留米環境施設組合	両筑衛生施設組合	久留米市
構成団体	2市 久留米市、うきは市	4市2町 久留米市、筑紫野市、太宰府市、 小都市、大刀洗町、筑前町	久留米市
施設名	耳納衛生センター	両筑苑	久留米市清掃津福工場
所在地	田主丸町鷹取891-1	北野町今山2399	津福本町2241番地2
処理方法	標準脱窒素処理法＋高度処理法	標準脱窒素処理法＋高度処理法	前処理後、希釈して下水道へ放流
再資源化	建設資材 肥料	肥料	建設資材 肥料
最終処分	—	—	—
許可業者	(有)田主丸衛生社	(有)キタエイ	(有)南部、(同)キューセイ、 (株)環境サニタリー、 (有)久留米清掃センター、 (有)大輝清掃社、 (株)立花商事、(有)三潁環境、 (有)藤本商事
人口 (令和3年3月31日)	18,847	17,398	267,834
処理能力 (kL/日)	91	300	240
し尿量 (kL/年)	3,245	2,804	12,384
浄化槽汚泥量 (kL/年)	6,457	4,332	27,967
小計 (kL/年)	9,702	7,136	40,351
合計 (kL/年)	57,189		

(2) 清掃津福工場フローシート



処理能力	240kL/日
処理方式	前処理下水道放流
建築面積	670 m ²
延床面積	1,452 m ²
竣工	平成 11 年 3 月
増設	平成 19 年 1 月

【令和 2 年度】	
日平均投入台数	61 台/日
日平均投入量	143.6 kL/日
日平均し渣搬出量	51.6 kg/日

(3) 搬入量の推移

(単位：kL)

搬入先		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
耳納衛生センター (田主丸地区)	し尿	4,093	3,890	3,628	3,440	3,245
	浄化槽汚泥	7,262	6,940	6,836	6,821	6,457
	計	11,355	10,830	10,464	10,261	9,702
	増減率(%)	△ 8.1	△ 4.6	△ 3.4	△ 1.9	△ 5.4
両筑苑 (北野地区)	し尿	3,589	3,425	3,122	2,908	2,804
	浄化槽汚泥	5,287	5,020	4,737	4,706	4,332
	計	8,876	8,445	7,859	7,614	7,136
	増減率(%)	△ 4.9	△ 4.9	△ 6.9	△ 3.1	△ 6.3
清掃津福工場 (久留米・三潴・ 城島地区)	し尿	14,999	13,454	12,919	12,841	12,384
	浄化槽汚泥	27,203	27,415	26,669	25,930	27,967
	小計	42,202	40,869	39,588	38,771	40,351
	増減率(%)	△ 5.9	△ 3.2	△ 3.1	△ 2.1	4.1
合 計	し尿	22,681	20,769	19,669	19,189	18,433
	浄化槽汚泥	39,752	39,375	38,242	37,457	38,756
	合計	62,433	60,144	57,911	56,646	57,189
	増減率(%)	△ 6.2	△ 3.7	△ 3.7	△ 2.2	1.0

V 久留米市と企業局の概要

- 1 久留米市の市勢
- 2 歴代企業管理者
- 3 主要施設所在地一覧
- 4 年表

1 久留米市の市勢

		令和3年4月1日現在	令和2年4月1日現在
総人口	(人)	304,079	304,705
男	(人)	144,409	144,562
女	(人)	159,670	160,143
世帯数	(戸)	138,003	136,444
一世帯あたり	(人)	2.20	2.23
面積	(Km ²)	229.96	229.96

久留米市の人口推移

年次	人口			世帯数	摘要
	総数	男	女		
明治22年	24,750	12,369	12,381	4,262	市制施行
大正 9年	43,629	20,645	22,984	8,243	第1回国勢調査
14年	68,487	32,781	35,706	13,338	第2回国勢調査
昭和 5年	83,009	41,763	41,246	14,887	第3回国勢調査
10年	91,920	46,215	45,705	16,318	第4回国勢調査
15年	89,490	41,949	47,541	16,874	第5回国勢調査
22年	90,999	42,705	48,294	19,570	第6回国勢調査
25年	100,997	48,178	52,819	21,160	第7回国勢調査
30年	138,804	68,511	70,293	27,668	第8回国勢調査
35年	155,041	74,270	80,771	34,102	第9回国勢調査
40年	158,974	75,304	83,670	38,712	第10回国勢調査
45年	194,178	92,269	101,909	50,270	第11回国勢調査
50年	204,474	97,633	106,841	57,401	第12回国勢調査
55年	216,972	104,141	112,831	65,029	第13回国勢調査
60年	222,847	106,395	116,452	68,666	第14回国勢調査
平成 2年	228,347	109,193	119,154	75,123	第15回国勢調査
7年	234,433	112,100	122,333	82,811	第16回国勢調査
12年	236,543	112,476	124,067	88,777	第17回国勢調査
17年	306,434	145,210	161,224	113,400	第18回国勢調査
22年	302,402	143,885	158,517	116,664	第19回国勢調査
27年	304,552	144,971	159,581	121,913	第20回国勢調査

資料：総務省統計局「国勢調査報告」

※この表は調査時現在の市域の数字である。

※平成17年から人口等が増加しているのは広域合併によるものである。

2 歴代企業管理者

	氏 名	期 間
初代	山 村 静 夫	昭和44年 4月 1日 ~ 昭和47年11月15日
	(職 務 代 理 者)	昭和47年11月16日 ~ 昭和47年11月24日
第2代	広 木 国 男	昭和47年11月25日 ~ 昭和49年 3月31日
第3代	檜 原 寛	昭和49年 4月 1日 ~ 昭和54年 8月31日
第4代	山 本 宏	昭和54年 9月 1日 ~ 昭和57年 4月 2日
	(職 務 代 理 者)	昭和57年 4月 3日 ~ 昭和59年12月23日
第5代	橋 本 博	昭和59年12月24日 ~ 昭和63年 2月15日
	(職 務 代 理 者)	昭和63年 2月16日 ~ 昭和63年12月31日
第6代	秦 健 次 郎	昭和64年 1月 1日 ~ 平成 4年12月31日
第7代	石 松 喜 代 治	平成 5年 1月 1日 ~ 平成 7年 2月 6日
	(職 務 代 理 者)	平成 7年 2月 7日 ~ 平成 8年 3月31日
第8代	伊 藤 忠	平成 8年 4月 1日 ~ 平成12年 3月31日
第9代	井 上 一 也	平成12年 4月 1日 ~ 平成15年 2月 6日
	(職 務 代 理 者)	平成15年 2月 7日 ~ 平成15年 3月31日
第10代	坂 田 博 春	平成15年 4月 1日 ~ 平成19年 3月31日
第11代	稲 益 富 支 典	平成19年 4月 1日 ~ 平成27年 3月31日
第12代	萩 原 重 信	平成27年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日
第13代	徳 永 龍 一	平成31年 4月 1日 ~ 現在

3 主要施設所在地一覧

(令和3年3月31日現在)

施設の名称	所在地	敷地面積(㎡)
企業局庁舎	合川町2190-3	7,130.86
放光寺浄水場	山本町豊田614	56,670.19
太郎原取水場	太郎原町391-1	11,247.19
山本配水池	山本町豊田717-1	3,872.50
藤山配水場	藤山町115-5	22,289.21
高良内配水池	高良内町2231-272	770.00
西部配水場	三瀨町壺町原363	4,794.63
石垣配水池	田主丸町石垣1395-35	2,114.00
中央浄化センター	津福本町2241	95,356.60
南部浄化センター	安武町住吉1900	117,537.76
田主丸浄化センター	田主丸町益生田1101-6	13,870.00

※敷地面積は、固定資産台帳による。

4 年表

年(西暦)	一般事項	久留米市	企業局では
明治5年(1872)	新橋-横浜間の鉄道開通	三浦県庁を久留米市両替町に移す	
明治20年(1887)		日本ゴムの前身志まやたび創業	横浜市上水道完成(わが国で1番目)
明治22年(1889)	博多駅開業、九州で初めて鉄道開通	久留米市政施行 (4,262世帯、24,750人)	函館市上水道完成(わが国で2番目)
明治24年(1891)	熊本電燈開業、九州で初めて電燈ともる		長崎市上水道完成(わが国で3番目)
明治40年(1907)	九州鉄道、国有となる	電灯、電話開通	
明治43年(1910)	日韓併合		
大正2年(1913)		三井電車開通(日吉町-福島間)	
大正3年(1914)	第1次世界大戦勃発	豆津橋(木橋仮橋)架設	
大正12年(1923)	関東大震災が起こり、関東各地の水道が大被害を受けた	櫛原村、久留米市に合併	久留米市議会で水道調査委員会を設置、敷設認可を申請
大正14年(1925)	旧ガス事業法施行(1月1日)	第2回国勢調査 (13,338世帯、68,487人)	河川式水源による上水道の実施設計施行の顧問を委託/久留米市水道創設事業認可
昭和2年(1927)	初の地下鉄開業(浅草-上野間)	市役所庁舎新築のため移転	久留米市水道創設事業に着手/久留米市水道創設事業竣工(計画一日最大給水量15,000m ³)
昭和5年(1930)	西部ガス株式会社設立	第3回国勢調査 (14,887世帯、83,009人)	久留米市上水道、筑後川を水源とし給水開始(給水人口11,175人、普及率13.5%)
昭和6年(1931)	満州事変勃発/瓦斯事業法改正公布	ブリヂストンタイヤ創設	
昭和7年(1932)	五・一五事件 社団法人水道協会設立		
昭和10年(1935)	ドイツ再軍備宣言	第4回国勢調査 (16,318世帯、91,920人)	久留米第12師団各部隊へ分水開始(給水人口26,475人 普及率28.8%)
昭和11年(1936)	二・二六事件		城島町水道株式会社へ分水開始
昭和16年(1941)	太平洋戦争勃発/佐賀市営ガス事業開始		
昭和18年(1943)		三井郡御井町、久留米市に合併	
昭和20年(1945)	終戦	久留米市空襲を受ける(8月11日)	戦争による市内配給水管破壊の復旧工事開始(給水人口49,781人普及率51.5%)
昭和23年(1948)		久留米市警察署、久留米市消防署発足	第5次水道料金改定
昭和25年(1950)	朝鮮戦争勃発	久留米医科大を基礎として久留米大学設立	
昭和26年(1951)	日米安全保障条約調印	三井郡山川村、合川村、上津荒木村、高良内村、久留米市に合併	水道第1次拡張事業に着手
昭和27年(1952)	地方公営企業法制定	久留米市教育委員会発足	地方公営企業法により久留米市企業組織条例を公布し、企業部・水道課・ガス課を設け、同時に復興部水道課ガス課を廃止
昭和28年(1953)	テレビ放送開始	28年大洪水/『市政ぐるめ』創刊	地方公営企業法の施行に伴い本市の水道事業は同法の適用を受け地方公営企業として発足/大洪水により取水場、導水管等に大被害を受け全市断水/水害復旧工事に着手(昭和30年竣工被害額40,400千円)
昭和29年(1954)	自衛隊発足	南筑高校、市に移管	久留米商工会議所内に水道課を移転/久留米市水道第1次拡張事業認可
昭和30年(1955)	神武景気	筑後川堤防復旧工事完成 第8回国勢調査 (27,668世帯、138,804人)	独立採算制の確立により久留米市水道局として一般会計より独立/久留米市水道指定工事店制度発足(指定店数20店)
昭和31年(1956)	財団法人日本水道協会に改称		
昭和32年(1957)	水道法制定	小森野橋災害復旧工事完成	
昭和33年(1958)	下水道法制定	三井郡山本村、宮ノ陣村、久留米市に合併	荘島町保健所跡へ水道局移転
昭和34年(1959)	伊勢湾台風中部地方を襲う	久留米市制施行70周年	水道事業創設30周年/佐賀県北茂安村へ分水開始

年(西暦)	一般事項	久留米市	企業局では
昭和35年(1960)	新安保条約発行	三井郡草野町、久留米市に合併	久留米市水道第2次拡張事業認可
昭和36年(1961)	水資源開発法制定	国立久留米工業短期大学付設高校、信愛女子学院高等学校、筑邦女子高等学校などが設立	久留米市水道第2次拡張事業に着手(昭和41年竣工総工費293,396千円、計画給水人口144,000人、計画一日最大給水量40,000m ³)
昭和37年(1962)		し尿処理場竣工/市庁舎増築工事始まる	
昭和38年(1963)	ケネディ大統領暗殺	長雨等の天候不順のため農作物に約3億円にのぼる被害	水道料金値上げの動きが活発化し各都市で値上げが実施され本市でも第10次料金改定を行なう。/一日最大給水量が40,000m ³ を突破し夏場の給水量制限に入る。
昭和39年(1964)	東京オリンピック/東海道新幹線開通	筑後川が水資源開発促進法に基づく開発水系として指定される。	久留米市水道第3次拡張事業認可
昭和40年(1965)	ベトナム戦争勃発	耳納スカイライン第三期工事終了/西鉄高架事業着手	久留米市水道第3次拡張事業に着手(昭和48年竣工総工費1,948,425千円、計画給水人口212,000人、計画一日最大給水量93,000m ³) / 放光寺浄水場築造始まる。
昭和41年(1966)	厚生省40年度水道調査書発表(全国の給水人口6,839万人普及率69.9%)	清掃工場操業始まる	久留米市給水人口121,671人普及率75.7%
昭和42年(1967)	公害対策基本法公布施行/液化石油ガスの保安の確保および取引の適正化に関する法律成立	三瀬郡筑邦町(2月)、三井郡善導寺町(4月)、久留米市に合併/人口189,288人世帯数49,726戸	三瀬郡筑邦町の合併に伴い、簡易水道(荒木、安武地区)を併営/久留米市水道庁舎建設委員会設置
昭和43年(1968)	3億円事件	久留米市に電子計算機導入	簡易水道の併営により城島水道株式会社所有の配水管を買収(安武町、大善寺町布設分)/荒木、安武地区の簡易水道を上水道へ統合し給水開始
昭和44年(1969)	米の宇宙船「アポロ11号」人類初の月面着陸	久留米市企業管理者の設置/久留米市制施行80周年/西鉄大牟田線高架線開通	水道庁舎新築工事完成(鉄筋コンクリート3階建て1,617m ² 総工費78,018千円)
昭和45年(1970)	日本万国博覧会	久留米商業高校旧教育大跡地に移転工事始まる	建設大臣より63,000m ³ /日の水利権許可(太郎原取水口)を受け、既得水利権40,000m ³ /日と合わせて103,000m ³ /日となり水不足の不安解消/草野、山本地区簡易水道を上水道に統合し給水開始
昭和46年(1971)	変動為替相場制へ移行	高良内ニュータウン第一期造成工事終了	久留米市ほか2市4町(大川市、筑後市、北野町、城島町、大木町、三瀬町)により久留米市広域上水道企業団設立
昭和47年(1972)	沖縄本土復帰	公共下水道供用開始/久留米まつり始まる	
昭和48年(1973)	第4次中東戦争/第1次オイルショック/資源エネルギー庁発足	九州縦貫道(鳥栖-南関39km)が開通	久留米市水道第1次整備事業に着手(3ヶ年計画、総工費764,803千円)
昭和49年(1974)		久留米を主会場にインターハイ開催/久留米市人口20万人を突破	
昭和50年(1975)	厚生省、水道普及率86.7%と発表/山陽新幹線博多まで開通/ベトナム戦争終結	久留米市と郡山市との姉妹都市締結/筑後川下流開発農業水利事業スタート第12回国勢調査(57,401世帯、204,474人)	久留米市水道第4次拡張事業に着手(昭和56年竣工総工費2,115,671千円、計画給水人口212,000人、計画一日最大給水量116,200m ³) / 久留米市給水人口174,977人普及率85.6%
昭和51年(1976)	ロッキード事件疑惑	総合福祉センター(長門石町)着工/市民プールオープン/移動図書館(グリーン号)巡回開始	

年(西暦)	一般事項	久留米市	企業局では
昭和52年(1977)	気象衛星「ひまわり」打ち上げ	自治省から久留米市が「魅力ある地方都市ベスト3」に選出	久留米市広域上水道企業団に加入していた北野町が小郡市、大刀洗町と三井水道企業団を設立し、企業団へ加入／久留米市広域上水道が完成し給水開始(久留米市の一日最大受水量25,200m ³)／三漕都城島町への分水中止
昭和53年(1978)	新東京国際空港(成田)開港／九州北部の湯水深刻となる	国土庁から久留米市が「モデル定住圏都市」に指定される	県南給水装置工事技術者資格統一試験委員会を設立
昭和54年(1979)	第2次オイルショック／第5回先進国首脳会議(東京サミット)開催	久留米市制施行90周年	水道事業創設50周年
昭和55年(1980)	厚生省が53年度末の水道普及率90.3%と発表	中国合肥市と友好都市締結／久留米モデル定住圏計画	久留米市普及率も90%を突破し、市民皆水道時代に／石綿管の本格的入替実施
昭和56年(1981)	ポルトピア'81	障害者福祉都市宣言	久留米市水道第2次整備事業に着手(3ヵ年計画、総工費1,912,000千円)
昭和57年(1982)	長崎水害	池町川浄化対策事業完成／暴力団抗争事件のエスカレートにともない市議会で暴力追放宣言決議	昭和5年に創設した御井浄水場系統施設老朽化に伴い、放光寺浄水場系統と統合し近代的な浄水場改築事業に着手(昭和60年竣工総工費7,577,000千円、施設能力103,000m ³ /日)
昭和58年(1983)	福岡県において、久留米市を含む7市16町1村を計画区域とする筑後地域広域的な水道整備計画が策定される	久留米地場産業センターオープン／西鉄東口再開発事業が完成	久留米広域上水道企業団に大牟田市、大和町、高田町が加入／給水人口200,000人に突入
昭和59年(1984)	グリコ・森永脅迫事件発生	久留米・鳥栖テクノポリス地域に指定／久留米市制施行95周年	久留米市水道第5次拡張次事業認可、着手(平成元年度竣工総工費4,970,000千円、計画給水量233,400人、計画一日最大給水量126,800m ³)／藤山配水場築造工事開始／久留米市給水人口203,181人普及率92.6%／初めて一日最大給水量100,000m ³ 突破
昭和60年(1985)	筑後大堰完成／電々公社・専売公社民営化／科学万博「つくば博'85」開幕	厚生省より「おいしい水」に選出／郵政省から「テレビピア」に指定される／厚生省から「ポルトピア」に指定される／自治省から「潤いのあるまちづくり」で表彰	集中管理制御システムを導入した近代的設備の放光寺浄水場が完成／藤山配水場第一期築造工事完成(配水池容量16,000m ³)／広川町へ分水開始
昭和61年(1986)	伊豆大島三原山、209年ぶり大噴火	国土庁から「花と緑の都市モデル地区整備事業」に指定される／農水省から「久留米・耳納地区グリーンピア」に指定される	
昭和62年(1987)	国鉄分割民営化／ニューヨーク株式市場で株大暴落(ブラックマンデー)／世界人口50億を突破	郵政省から「郵トピア」に指定される／国土庁から「学園都市地区基本計画策定調査地域」に指定される	水道営業管理システム完成／藤山配水系給水開始(上津ポンプ所、高良内ポンプ所の廃止)
昭和63年(1988)		久留米市女性憲章の制定	山本配水地が完成し給水開始(草野ポンプ所、発心配水池、吉木配水池の廃止)
平成元年(1989)	消費税法施行	久留米市制施行100周年／世界つじ祭開催	水質管理システムを導入／水道料金改定／福岡県南広域水道企業団(名称変更)へ1市2町の加入
平成2年(1990)	国際花と緑の博覧会開催／イラク、クウェートへ侵攻(湾岸危機勃発)／東西ドイツ45年ぶり統一	とびうめ国体開催(自転車、軟式野球、バレーボール、カヌー)／第三次久留米市総合計画基本構想の策定	水道部とガス部の組織統合／企業局新庁舎完成(延床面積1,152.86m ²)
平成3年(1991)	台風17号・19号により各地に被害／湾岸戦争勃発／長崎雲仙普賢岳で大火砕流発生／ソビエト連邦崩壊	久留米市個人情報保護条例スタート／台風17号・19号により久留米市には70億円を越す被害が発生	水道・ガス設計積算業務システムを導入
平成4年(1992)	PKO協力法案成立／新水質基準法公布	つじフェスタ92イン・くるめ開催／久留米市・東京交流会の発足／モデスト市と姉妹都市締結／市民センター建設推進計画の答申／新市庁舎起工	財務会計システムを導入

年(西暦)	一般事項	久留米市	企業局では
平成5年(1993)	北海道南西沖地震/鹿児島地方集中豪雨	久留米市人口230,000人を超える/上津クリーンセンター稼働開始/久留米地域が地方拠点都市整備法の指定を受ける	粉末活性炭による浄化処理施設完成、処理開始/新水質基準による水質検査開始
平成6年(1994)	円高進行(一時対ドル100円未満)/全国的な水不足に	市民センターオープン/南部浄化センター稼働開始	梅雨期の記録的な小雨により水不足、濁水対策本部を設置
平成7年(1995)	阪神・淡路地区で都市直下型の地震発生/オウム真理教事件	20階建の新市庁舎オープン/合肥市との友好都市締結15周年	阪神・淡路大震災による被災地に、応急給水・施設復旧支援のため職員派遣/7月31日よりビル電話導入/アクアスタディーホール、津福実習所の完成
平成8年(1996)	病原性大腸菌(O-157)による食中毒の多発	久留米市民温水プールオープン/久留米商業高校創立百周年/石橋文化センター開園40周年/前津江村とのふるさと協定締結10周年/石橋美術館別館オープン	集金制納付の廃止/光ディスクによる図面管理システムの導入/人事交流で福岡県南企業団より赴任
平成9年(1997)	香港99年ぶりに中国へ返還/消費税率3%から5%に	部を再編統合し4減1増の組織改正/地域防災無線システムを整備/外環状線「東合川野伏間線」一部開通/全国権サミット開催	上下水道賦課徴収事務を一元化
平成10年(1998)	インド、パキスタン地下核実験実施/公職選挙法改正/郵便番号7ケタへ/日本ワールドカップフランス大会初出場	ごみの17種類分別収集開始/久留米市消防発足50周年/おおはし歴史公園オープン/24時間巡回型ホームヘルプサービス開始/緊急雇用安定地域に指定	水道ガス部防災訓練実施/県南給水装置工事技術者資格統一試験委員会を解散
平成11年(1999)	景気対策として地域振興券交付/コンピュータ2000年問題対応強化/ヨーロッパ通貨統合によりユーロ誕生	久留米市政施行110周年/市民カードによる自動交付機スタート/新天建寺橋開通/市役所窓口の閉庁時間を午後6時まで延長開始/筑邦市民センター多目的棟オープン	広報誌「AuRA」発刊
平成12年(2000)	新ミレニアム/介護保険制度開始/有珠山・三宅島噴火/九州・沖縄サミット開催/南北朝鮮首脳が歴史的初会合	二千年橋開通/JR久大本線久留米大学前駅完成/ホームアルカディア宮/陣分譲開始	高良内配水池増設完成/配水補助管制度導入/直結直圧給水方式導入/八女郡広川町大字藤田の一部を給水区域に編入/基幹施設整備事業 認可・着手(目標年度 平成26年、計画給水人口 262,500人、計画1日最大給水量 135,800m ³)
平成13年(2001)	中央省庁再編/自民党小泉政権が発足/米中核同時テロとアフガニスタンへの報復攻撃/国内初の狂牛病の牛を確認	久留米市が「特例市」に指定される/えーるピア久留米オープン/耳納市民センター多目的棟オープン/新総合計画「市民一人ひとりが輝く都市久留米」がスタート/介護相談員制度がスタート	太郎原水制工完成
平成14年(2002)	雪印食品牛肉産地虚偽表示/みずほ銀行のシステムトラブル/ワールドカップサッカーの日本・韓国共催	久留米市が環境ISOの認証を取得/新情報公開制度がスタート/石橋美術館がリニューアルオープン/合併任意協議会の設立	水道法一部改正/老朽給水管改良工事スタート
平成15年(2003)	新型肺炎(SARS)流行/米英軍イラク攻撃 フェセイン政権崩壊/日本郵政公社スタート	広域合併法定協議会設立/久留米六角堂オープン/久留米アジアバイオ計画が構造改革特別区域へ認定	水道法改正に伴い貯水槽水道対策を充実/浄水場監視制御システム更新開始(3ヵ年)
平成16年(2004)	イラク情勢悪化 日本人人質問題 世界各地でテロ続発/北朝鮮拉致被害者家族日本へ/鳥インフルエンザ流行/スマトラ沖地震と津波	久留米広域合併 合併協定書調印/ごみ減量緊急宣言/筑後川花火大会を2会場に	寒波による給水管凍結が相次ぐ/新排水処理施設完成/企業借入を10年ぶりに再開
平成17年(2005)	ロンドン・バリ島など各地で大規模テロ/兵庫・尼崎JR脱線事故/耐震強度の偽装で不安広がる/アスベスト被害深刻化/福岡西方沖地震発生	久留米市、田主丸町、北野町、城島町、三瀬町の1市4町による広域合併により新久留米市発足/杉谷埋立地第一処分場が完成/国道209号津福バイパス供用開始/久留米市新行政改革行動計画スタート	合併に伴い三瀬郡城島町・三瀬町の水道事業を統合/田主丸町簡易水道事業を継承/西部配水場整備事業に着手、大木町との共同施設として整備
平成18年(2006)	北朝鮮地下核実験/安倍政権が発足/景気は「いざなぎ」超え/自治体官製談合で県知事逮捕相次ぐ/九州国立博物館開館	総合計画第2次基本計画策定/暴力団抗争の勃発/久留米広域小児救急センター開設	水道料金制度審議会を設置/中期経営計画を策定/繁忙期の休日開庁/夜間休日の漏水修繕を委託化/検針業務の一部を法人委託化

年(西暦)	一般事項	久留米市	企業局では
平成19年(2007)	参院選で自民歴史的敗北「ねじれ国会」に/米国サブプライム問題で金融界混乱/民営郵政スタート/原油高暮らしに影響/食品偽装相次ぐ	中核市移行が確定/広域合併後初の市議会議員選挙42名へ/暴力団抗争事件相次ぐ/ダイハツ工業株吉本工業団地への進出決定	水道料金制度審議会の答申を受け、水道料金統一案を上程、議決/浄水場運転管理業務の完全委託化/水道GLP認定取得/西部配水場本体内工完成
平成20年(2008)	オバマ氏がアメリカ史上初黒人大統領に当選/麻生政権発足/中国産食品トラブル相次ぐ/後期高齢者医療制度開始/リーマンブラザーズ破綻から世界金融危機	中核市移行(保健所・教育センターを開設)/B1グランプリ開催/道の駅くろめ開駅/久留米つばき園開園/暴力団本部事務所使用差止め仮処分申し立て	水道料金改定実施/西部配水場供用開始/田主丸送水管事業着手(水道事業認可変更)/検針業務完全委託化
平成21年(2009)	民主党が第1党(政権交代)鳩山政権発足/定額給付金の支給/新型インフルエンザの発生/スマトラ島沖地震発生による死者1千人以上/世界的スーパースター マイケルジャクソン死亡	市制施行120周年記念式典開催/城島げんきかん・みずま総合体育館オープン/九州新幹線の高架橋全線完成/石橋正二郎氏生誕120年	ガス事業譲渡後、下水道部との組織統合により上下水道部へ/合併後の加入金制度統一/漏水修繕業務完全委託化/西部配水場緊急連絡管運用開始/佐世保市災害応援給水
平成22年(2010)	チリ落盤事故33人救出/北朝鮮が韓国を砲撃/尖閣諸島中国漁船衝突事件/宮崎県で口蹄疫発生/上海万博開催/小惑星探査機はやぶさ帰還/W杯南アフリカ大会で日本決勝T進出	国際ツバキ会議を開催/久留米ふるさと特別大使に田中麗奈さん就任/くるめりあ六ツ門オープン/久留米市合肥市友好都市締結30周年記念事業開催	水道事業中期経営計画策定
平成23年(2011)	東日本大震災発生/福島第一原発事故/テレビ放送が地上デジタル放送に移行/円が戦後最高値を更新/東電が初の計画停電実施/サッカーでレコジャパンW杯優勝	九州新幹線久留米駅が開業/総合都市プラザの建設を表明/協働のまちづくりを推進/宮ノ陣に新しいごみ処理施設を建設へ	東日本大震災支援のため職員派遣/日本水道協会九州地方支部総会の開催
平成24年(2012)	衆院選で自民党が政権奪還 安倍政権発足/IPS細胞の山中教授 ノーベル賞受賞/オバマ氏がアメリカ大統領再選/消費税増税法案が可決/ロンドン五輪で最多のメダル38獲得	九州北部豪雨発生/総合都市プラザの管理運営計画を検討/北部一般廃棄物処理施設造成工事に着手/グリーンアジア国際戦略総合特区に指定	上下水道料金センターの開設/太郎原取水場の新取水施設が運用開始/八女市星野へ災害応援給水/田主丸地区の民生用水道管布設工事に着手
平成25年(2013)	巨人軍、長嶋茂雄・松井秀喜両氏に国民栄誉賞/富士山が世界文化遺産に登録/参院選で与党勝利、ねじれ国会解消/2020年夏季五輪の開催地が東京に決定	市キャラクター「くるっば」誕生/夏の高校野球県大会で南筑高校が準優勝/九州初セーフコミュニティ国際認証を取得/官民一体で暴力団の本部を撤去/総合都市プラザ建設着工	田主丸地区へ上水道供給開始/榊原バイパス陥没事故発生/放光寺浄水場1系1号配水池の耐震補強が完了/ポトル水「筑後川のめぐみ」の販売開始
平成26年(2014)	消費税率5%から8%に/富岡製糸場が世界文化遺産に登録/ノーベル物理学賞に青色LEDを開発した赤崎勇、天野浩、中村修二の3氏/御嶽山噴火/広島市北部で大規模な土砂災害発生	東合川野伏間線が全線開通/指定暴力団旧本部事務所跡地の売却が決定/世界のつばき館がオープン/北部一般廃棄物処理施設の建設工事着工	「筑後川のめぐみ」モンドセレクション金賞受賞/下水道事業に地方公営企業法を適用/南部浄化センターマイクロガスタービン発電設備による売電開始/久留米の水たより」を創刊
平成27年(2015)	マイナンバー制度開始/安全保障関連法が成立/北陸新幹線開業/「明治日本の産業革命遺産」世界文化遺産に登録/公職選挙法改正で選挙権18歳以上へ	1市4町合併10周年を迎える/新総合計画第3次基本計画策定/福岡ソフトバンクホークスと包括連携協定を締結/久留米市合肥市友好都市締結30周年	城島・三瀬地区で下水道供用を開始/久留米市企業局中期経営計画を策定/農業集落排水事業の整備が完了/田主丸町の簡易水道一部地域を上水道へ統合
平成28年(2016)	熊本地震の発生/リオ五輪日本勢の活躍/米大統領が広島訪問/ノーベル生理学・医学賞に大隅良典氏/北海道新幹線開業/「ポケモンGO」日本で配信開始/伊勢志摩サミット開催	久留米シティプラザオープン/氷点下6.5度の大寒波が襲来/熊本地震の被災地へ支援/宮ノ陣クリーンセンター稼働/4市2町で広域連携中枢都市圏を形成	記録的な寒波の到来で水道管の凍結や漏水が多数発生/熊本地震の被災地へ職員派遣/田主丸町に石垣配水池が完成/上下水道施設の老朽化対策・耐震化が進む
平成29年(2017)	九州北部豪雨の発生/陸上100メートル日本人初の9秒台/プレミアムフライデー初実施/沖ノ島が世界遺産に登録/トランプ米大統領が就任後初来日/19年振りに日本出身横綱誕生	九州北部豪雨被災地への様々な支援実施/野村総研「成長可能性都市ランキング」で全国9位に/アンテナショップ「福岡久留米館」がオープン/ケニア共和国の東京オリ・パラ事前キャンプ地に/こども子育てサポートセンター開設	九州北部豪雨被災地(福岡県朝倉市)への給水支援・職員派遣実施/田主丸地区の簡易水道事業が終了/東瀬原地区雨水貯留施設の供用開始/原水水质が悪化するも見事に浄水品質を維持/マンホールカード配布開始
平成30年(2018)	平成30年7月豪雨の発生により西日本が甚大な被害を受ける/築地市場83年の歴史に幕/「働き方改革関連法」が成立/「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産に登録	民間出身の市長誕生/平成30年7月豪雨による被害に久留米市一丸となって対応/認知症高齢者等支援事業スタート/久留米アリーナ開館/カザフスタンの東京オリ・パラ事前キャンプ地として選出/広報戦略課を軸に情報発信を強化	平成30年7月豪雨により中央浄化センターが甚大な被害を受けるも迅速な対応により早期復旧を実現/平成30年7月豪雨被災地(愛媛県大洲市)への給水支援・職員派遣実施/「筑後川のめぐみ」モンドセレクション金賞連続受賞
令和元年(2019)	天皇陛下の即位に伴い「令和」の新時代が幕明け/「百舌鳥・古市古墳群」が世界文化遺産に登録/ラグビーW杯日本大会で初の8強入り/消費税率が10%に引上げ/幼児教育・保育の無償化がスタート/令和元年東日本台風の発生により甚大な被害を受ける	資生堂をはじめとした活発なオフィス誘致の推進/久留米出身スポーツ選手が世界の舞台で輝きを見せる/7月・8月豪雨により甚大な被害を受けるも迅速に対応/市立小・中学校(各2校)にタブレット端末を導入・教職員にテレワークを導入	新管理者のもと新たな体制で始出/8月の記録的豪雨により築造中の構築物が甚大な被害を受ける/中央浄化センターの浸水対策を実施/中央・南部浄化センター間の管路ネットワーク化が完了/筑後川の水利権使用継続許可を受ける/水道GLPの更新完了
令和2年(2020)	国内外において新型コロナウイルス感染症の流行/全国にて緊急事態宣言が発令/台風10号の発生により九州各地で被害/アニメ映画「鬼滅の刃」大ヒット/レジ袋有料化スタート	新型コロナウイルス感染症の流行に対し久留米市一丸となって対応/西鉄久留米駅東口の再生スタート/城島町の小学校が初の統合/市公式LINEの発信開始	久留米市上下水道事業運営審議会を設置/経営戦略策定に着手/新型コロナウイルス感染症に関する支援策として料金等の支払い猶予を実施/筒川沿川に監視カメラ・水位計を設置/水道アセットマネジメント計画、下水道ストックマネジメント計画の策定

令和3年度版 久留米市上下水道事業統計年報

令和3年9月印刷・発行

発行 久留米市企業局上下水道部
福岡県久留米市合川町2190-3

編集 久留米市企業局上下水道部経理課

印刷所 (有)新幸印刷

※この冊子は再生紙を使用しています。